



PORSCHE



# 918 Spyder

取扱説明書

「Porsche」、 「Porsche クレスト」、 「911」、 「918 Spyder」、 「PCCBJ」、 「PCM」、 「PDK」、 「PSM」 および 「Equipment」 はポルシェ社の登録商標です。  
Printed in Japan

本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可が無い限り禁止致します。

© Dr. Ing. h.c.F. Porsche AG  
ポルシェジャパン株式会社

## 車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

## ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

東京都目黒区下目黒1-8-1  
ポルシェジャパン株式会社  
アフターセールス部サービスグループ

## 車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

オプション装備品や国別仕様は、法律等の基準によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。そのような項目にはアスタリスク（\*印）を付けていますのでご注意ください。この取扱説明書に記載されている装備品の一部はオプション部品です。車両ご購入の際にこれらの装備品を追加したい場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店で、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明致します。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容の一部が車両の仕様と一部異なる場合があります。

## 取扱説明書内の安全に関する指示

この取扱説明書内には様々な安全に関する指示が使用されています。

**危険**

重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

**警告**

重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

**注意**

ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

**知識**

車両を損傷する恐れがあります

「知識」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

**インフォメーション**

追加情報、ヒントおよび指示につきましては「インフォメーション」に表示されています。「インフォメーション」の内容をよく読み、指示に従ってください。

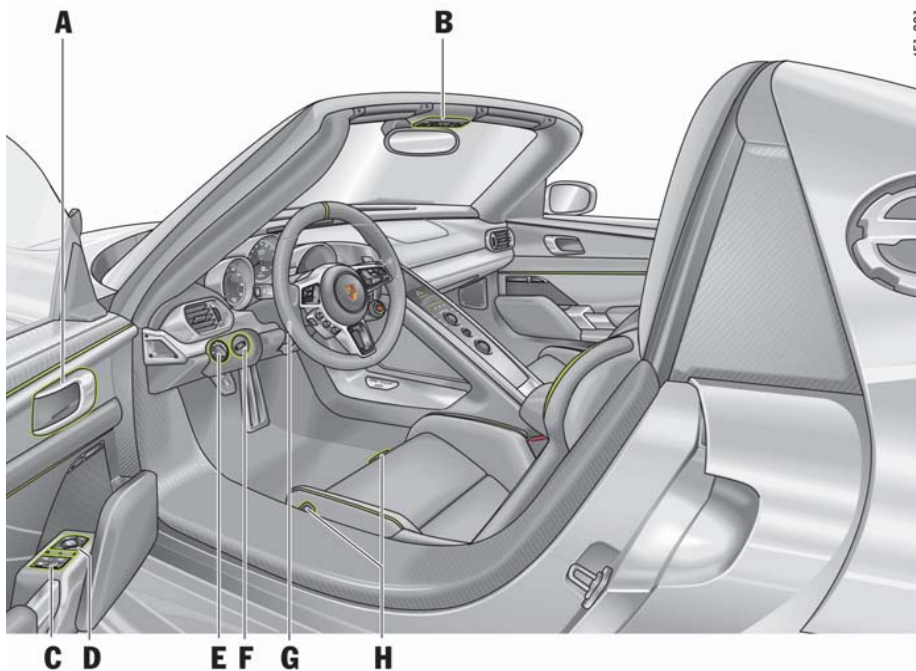
<b>目次</b> .....	<b>1</b>	電気補助ヒーター .....	35	クロノ・メニュー (ストップウォッチ) .....	69
運転席 .....	4	エア・ベント .....	35	GForceメニュー .....	71
ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル .....	5	<b>ウィンドウ、ルーフ・パネル</b> .....	<b>37</b>	Rangeメニュー .....	71
ダッシュボード .....	6	パワー・ウィンドウ .....	38	Boostメニュー .....	71
センター・コンソール .....	7	着脱式ルーフ・パネル .....	39	「Speed & Assist」ディスプレイの操作 .....	72
ルーフ・コンソール .....	8	<b>ライト、方向指示灯、フロント・ワイパー</b> .....	<b>43</b>	制限速度表示 .....	73
<b>開閉操作とロック</b> .....	<b>9</b>	ライト・スイッチ .....	44	クルーズ・コントロールの表示 .....	74
概要 - 車外からの開閉操作とロック .....	10	方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・レバー / パーキング・ライト・スイッチ .....	45	制限速度の表示* .....	74
車外からのドアの開閉操作とロック .....	11	インストルメント・ライト .....	46	リフト・システムの表示 .....	75
車内からのドアの開閉操作とロック .....	12	ハザード・ライト .....	46	<b>警告と情報メッセージの概要</b> .....	76
トランク・リッドおよびサービス・フラップの開閉 .....	14	インテリア・ライト/読書灯 .....	47	ポルシェ・カー・コネクト* .....	84
開閉操作とロック時の故障および特別な機能 .....	16	概要 - フロント・ワイパー .....	49	<b>インフォテイメント</b> .....	<b>85</b>
キーおよびセントラル・ロッキング・システムの知識 .....	19	フロント・ワイパー / ウォッシャー・レバー .....	50	インフォテイメントの概要 - ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) .....	86
<b>シート、ミラー、ステアリング・ホイール</b> .....	<b>20</b>	<b>ドライバー・インフォメーション</b> .....	<b>52</b>	PCMメニューの概要 .....	89
シート .....	21	ドライバー・インフォメーション - インストルメント・パネル .....	53	PCMの操作 .....	90
シートベルト .....	22	インストルメント・パネル・ディスプレイ .....	54	PCM操作の概要 .....	90
エアバッグ・システム .....	24	バッテリー / オルタネーター - 12Vシステム .....	56	PCMの操作ボタンおよび機能 .....	91
チャイルド・シート .....	25	チェック・エンジン (エミッション・コントロール) .....	56	オプション .....	92
ドア・ミラー .....	25	警告音 .....	56	地図設定* .....	95
ルーム・ミラー .....	27	「Car & Info」ディスプレイの操作 .....	57	<b>INFO</b> .....	96
ステアリング・ホイールの調節 .....	27	CAR (車両) メニュー .....	59	ディスプレイ表示項目のカスタマイズ .....	96
マルチファンクション・ステアリング・ホイール .....	28	トリップ・メニュー .....	62	システム・バージョン/ライセンス情報の表示 .....	97
サンバイザー .....	29	タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM) .....	63	アプリケーション .....	98
<b>エアコン</b> .....	<b>30</b>			<b>CAR (車両)</b> .....	99
2ゾーン・オート・エアコン .....	31			Interior (インテリア) メニュー .....	99
* 日本仕様に設定はありません。				Exterior (エクステリア) メニュー .....	102
				Vision (視界) メニュー .....	103
				Charge (充電) メニュー .....	104
				<b>電話</b> .....	106
				Bluetooth® .....	106
				Bluetooth®ハンズフリー・ユニットの操作 .....	106

携帯電話で接続を確立する	107	フット・ブレーキ	147	ハイブリッド・システムの作動条件	180
電話をかける、受ける	108	ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)	148	走行中のハイブリッド機能と作動モード	180
電話番号を入力する	109	クルーズ・コントロール	148	ハイブリッド車の始動	182
電話帳	109	Porsche Doppelkupplung(PDK)	149	ポルシェ・カー・コネクト*	183
発着信履歴	110	セレクター・レバー・ポジション	151	走行モード	183
メッセージ	112	走行制限プログラム	154	インストルメント・パネルのハイブリッド・ディスプレイ	186
チューナー	116	トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム	155	「Car & Info」ディスプレイの設定	187
FMラジオ	116	エレクトリック・ポルシェ・トラクション・マネージメント(ePTM)	156	乗車タイマーのプログラミング	188
DABラジオ*	119	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	156	ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ディスプレイ	189
メディア	121	ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	161	連続した電動モーター走行-Eパワー・モード	189
メディア・ソース	121	ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス(PTVプラス)	162	充電装置の概要	191
メディアの再生	123	ポルシェ・アクティブ・エアロダイナミクス(PAA)	163	高電圧バッテリーの充電	191
エアコン	127	フロント・アクスル・リフト・システム	164	ポルシェ急速充電ステーション(DC)*	198
お気に入り	128	リヤ・アクスル・ステアリング	165	<b>駐車</b>	<b>201</b>
NAVI*	130	収納スペースおよびラゲッジ・セット	166	リバース・カメラ	202
操作概要*	130	収納	167	ガレージ・ドア・オープナー(ホームリンク®)*	202
ナビゲーション音声案内*	130	ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー	168	<b>警報システムおよび盗難防止</b>	<b>206</b>
目的地の入力*	130	トランク・ルーム	169	警報システム	207
交通情報(TMC)*	135	ラゲッジ・セット	170	イモビライザー	208
ルート案内のオプション変更*	135	<b>プラグイン・ハイブリッド・システム</b>	<b>174</b>	ステアリング・コラム・ロック	208
お気に入り地点の登録*	138	安全に関する知識	175	盗難を防止するために	208
<b>安全運転について</b>	<b>139</b>	概要	175	<b>車両のお手入れ</b>	<b>209</b>
お出かけの前に	140	ハイブリッド構成部品の概要	176	メンテナンスの諸注意	210
慣らし運転の知識	140	概要説明-ハイブリッド自動車による燃費効率の良い運転	177	エンジン・オイル・レベルの点検	212
車両の技術的な仕様変更	140	概要説明-運転上のアドバイス	178	エンジン・オイルの補充	212
運転中の装備の設定および操作	141	概要説明-様々な状況での燃費効率の良い運転	179	ウォッシュャー液	213
スポーツ・タイヤ	141			ワイパー・ブレード	214
地上高	142			エミッション・コントロール・システム	214
サーキット走行(スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど)	142			予備燃料タンク	215
国外での走行	142				
テール・パイプ	142				
故障診断用ソケット	143				
イグニッション・ロック、ステアリング・ロック	143				
エレクトリック・パーキング・ブレーキ	145				

\* 日本仕様に設定はありません。

燃料の給油 .....	215	重量（メーカー発表値） .....	257
車両のお手入れ .....	217	充填容量 .....	257
リサイクル .....	222	動力性能（メーカー発表値） .....	258
<b>軽修理 .....</b>	<b>223</b>	車両寸法（メーカー発表値） .....	258
軽修理について .....	224	<b>適合性 .....</b>	<b>259</b>
クーラント・レベルの点検と補充 .....	225	ラジオ周波数帯と自動および手動選局	
ブレーキ・フルード .....	226	間隔 .....	260
パワー・ステアリング .....	226	規格との適合 .....	260
エア・クリーナーの交換 .....	226	Bluetooth <sup>®</sup> 認証 .....	261
室内防塵用フィルターの交換 .....	226	Bluetooth <sup>®</sup> 認定 .....	262
タイヤとホイール .....	227	<b>索引 .....</b>	<b>265</b>
センター・ロック付きホイール .....	231		
センター・ナット .....	232		
ホイールの交換 .....	232		
リム・クリーナー .....	236		
パンクしたとき .....	236		
電気系統 .....	239		
12Vバッテリー .....	244		
車両キー（リモート・コントロール）			
用電池の交換 .....	246		
ライトの交換 .....	247		
ヘッドライト .....	247		
けん引、車両の救援 .....	248		
消火器* .....	251		
発炎筒 .....	251		
<b>タイヤ空気圧とテクニカル・</b>			
<b>データ .....</b>	<b>252</b>		
車両の識別データ .....	253		
動力ユニット・データ（メーカー			
発表値） .....	254		
燃費、電力消費量および排出ガス			
（メーカー発表値） .....	254		
タイヤ、ホイール .....	255		
冷間時のタイヤ空気圧（20℃） .....	255		

\* 日本仕様に設定はありません。



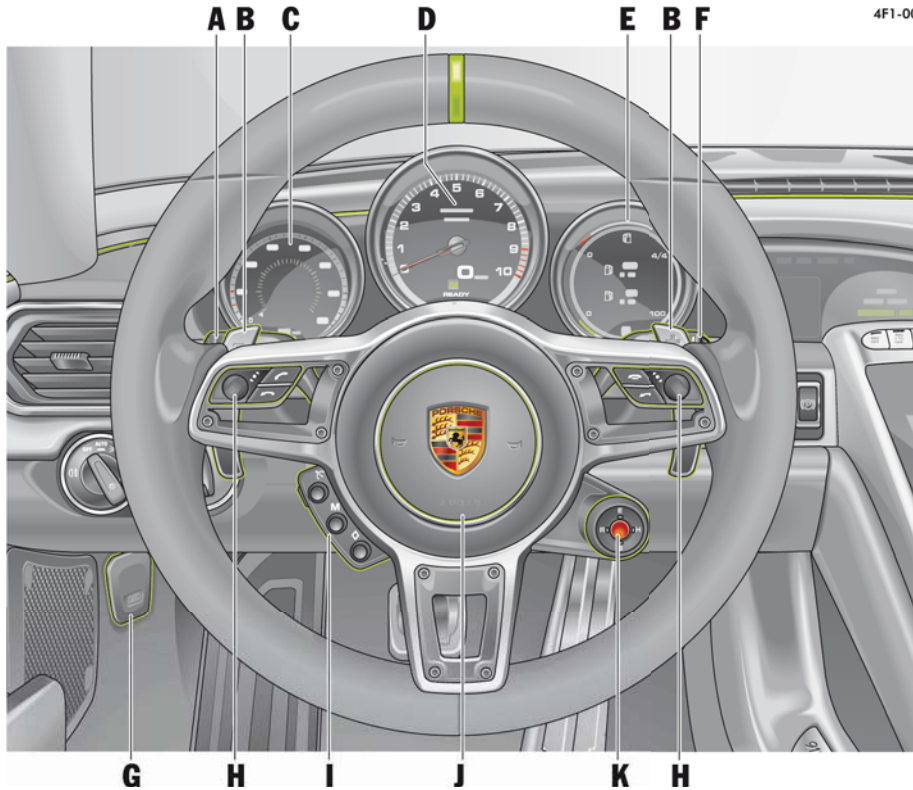
4F1-001

## 運転席

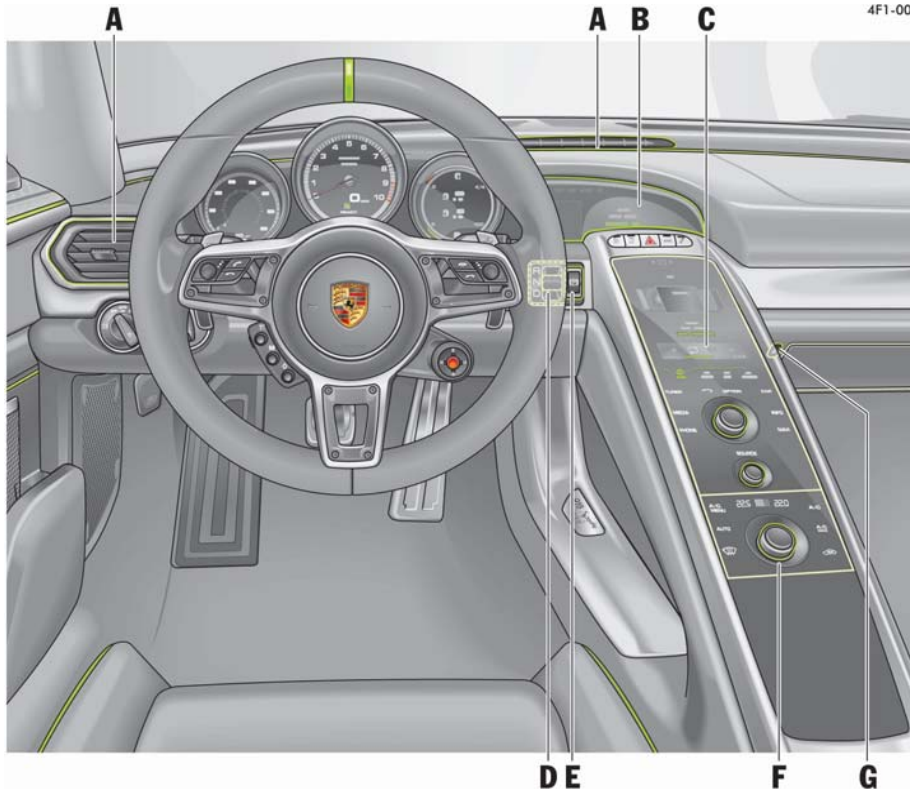
- A** インナー・ドア・ハンドル  
(13ページ)
- B** ルーフ・コンソール  
(8ページ)
- C** パワー・ウィンドウ  
(38ページ)  
フューエル・フィラー・フラップのロック  
解除  
(216ページ)  
セントラル・ロッキング・ボタン  
(13ページ)
- D** ドア・ミラー設定  
(26ページ)  
サービス・フラップ/トランク・ルームの  
ロック解除  
(14ページ)
- E** ライト・スイッチ  
(44ページ)
- F** イグニッション・ロック  
(143ページ)
- G** ステアリング・ホイール調節  
(27ページ)
- H** シート調節  
(21ページ)

## ステアリング・ホイールおよび インストルメント・パネル

- A** 方向指示灯  
(45ページ)
- B** PDKシフト・パドル  
(153ページ)
- C** 「Speed & Assist」  
(54ページ)
- D** 「Power & Drive」  
(54ページ)
- E** 「Car & Info」  
(54ページ)
- F** フロント・ワイパー  
(50ページ)
- G** 故障診断用ソケット
- H** 電話コントロール  
(28ページ)  
インストルメント・パネル  
(57ページ)
- I** PDKトランスミッション、クルーズ・コントロール/制限速度、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)およびインストルメント・パネル・ディスプレイのコントローラー
- J** ホーン
- K** マップ・スイッチ (走行モード操作ボタン)  
(183ページ)



## ダッシュボード



- A** エア・ベント  
(35ページ)
- B** インフォメーション・ディスプレイ  
(92ページ)
- C** タッチスクリーン・ディスプレイ  
(91ページ)
- D** PDKセレクトター・レバー  
(149ページ)
- E** エレクトリック・パーキング・ブレーキ  
(145ページ)
- F** エアコン・コントロール・パネル  
(31ページ)
- G** グローブ・ボックス  
(167ページ)



## センター・コンソール

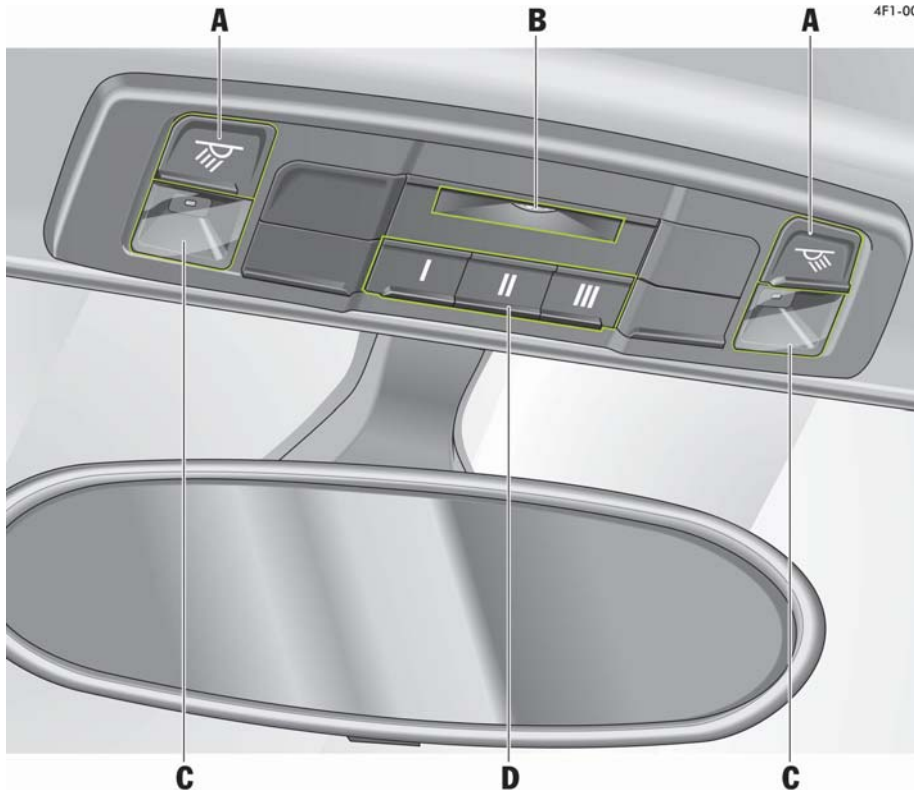


- A** ESC OFFボタン  
(158ページ)
- B** ESC+TC OFFボタン  
(159ページ)
- C** ハザード・ライト・スイッチ  
(46ページ)
- D** フロント・アクスル・リフト・システム・ボタン  
(164ページ)
- E** ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)・ボタン  
(161ページ)
- F** ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)用ロータリー・プッシュ・ボタン  
(87ページ)
- G** ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)内のエアコン・メニュー・ボタン  
(127ページ)
- H** エアコンのAUTO機能ボタン  
(32ページ)
- I** フロント・ウィンドウ・デフロスター機能ボタン  
(33ページ)
- J** エアコン・ステータス・ディスプレイ  
(34ページ)
- K** エアコン用ロータリー・プッシュ・ボタン  
(31ページ)
- L** オーディオ音量、ミュート調節用ロータリー・プッシュ・ボタン  
(92ページ)
- M** 内気循環機能ボタン  
(34ページ)
- N** エアコン・システムMAXボタン  
(33ページ)
- O** エアコン・コンプレッサー ON/OFFボタン  
(32ページ)

4F1-002

## ルーフ・コンソール

- A インテリア・ライト/読書灯用ボタン  
(47ページ)
- B インテリア・ライト  
(47ページ)
- C 読書灯  
(47ページ)
- D ガレージ・ドア・オープナー (ホームリンク<sup>®</sup>) \*  
(202ページ)



\* 日本仕様に設定はありません。

# 開閉操作とロック




概要 - 車外からの開閉操作とロック .....	10
車外からのドアの開閉操作とロック .....	11
車内からのドアの開閉操作とロック .....	12
トランク・リッドおよびサービス・ フラップの開閉 .....	14
開閉操作とロック時の故障および特別な 機能 .....	16
キーおよびセントラル・ロッキング・ システムの知識 .....	19

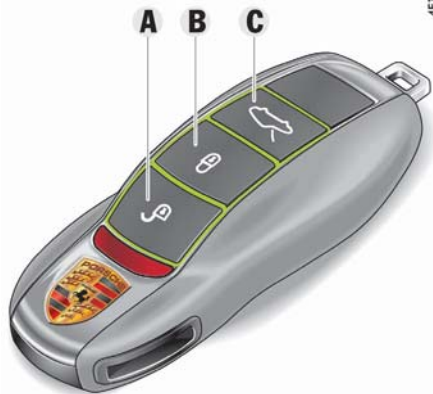
## 概要 – 車外からの開閉操作とロック

この概要説明は後述の「車外からの開閉操作とロック」に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。



運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
ロック解除	キーの  ボタンを押してください。	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。
ロック	キーの  ボタンを押してください。	ハザード・ライトが2回点滅します。 ドアがロックされます。
人/動物を車両に残してロックする (室内モニタリング・システムをOFFにする)	キーの  ボタンを2回押してください (約2秒以内)。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
警報の解除	ドアをロック解除してください。	警報が止まります。



- A - 車両のロック解除  
 B - 車両のロック  
 C - トランク・リッドのロック解除

## 車外からのドアの開閉操作とロック

- ▷ キーのボタン操作でロックおよびロック解除を行ってください。

### i インフォメーション

運転席ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合は、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから10秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロック位置①）にしなければなりません。助手席側ドアはロック状態を維持します。

### i インフォメーション

🔓ボタンを使用してロックを解除した後、いずれのドア/トランク・リッドも開かなかった場合、車両は30秒後に自動的に再ロックされます。

### i インフォメーション

ここでは初期設定の機能を元に説明しています。PCMでドアの設定を変更することができます。

- ▷ 開閉操作とロックの設定変更に関するインフォメーション：  
 「ロック」(102ページ)を参照してください。



## ドア・ロックを解除してドアを開く

1. 🔓ボタンを押してください。  
 ハザード・ライトが1回点滅します。  
 ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

## i インフォメーション

ロックを解除してからドアまたはトランク・リッドを開かなかつた場合、30秒後に自動的に再ロックされます。傾斜センサー\*と室内モニタリング・システムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。

この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。


- ▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー\*が再び作動します。

### ドアのロック解除機能の設定

運転席のドアのみをロック解除する、または助手席のドアも同時にロック解除する設定に変更することができます。

なお、設定内容に関係なく、両方のドアをロック解除することができます。

- ▷ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。

開閉操作とロックの設定変更に関するインフォメーション：

- ▷ 「ロック」(102ページ)を参照してください。

## ドアをロックする



警告

車外からのドアの  
ロック

車外から車両をロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります。そのため、車外からロックする場合、車内に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▷ 車両をロックするときは車内に人や動物がいないことを確認してください。

## i インフォメーション

すべてのドアとトランク・リッドが閉じている場合にのみ、ハザード・ライトが点滅して車両がロックされたことを知らせます。

## i インフォメーション



ドアまたはトランク・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。

警告音が鳴り、「Car & Info」ディスプレイに警告が表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。

運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。残りのドア/トランク・リッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れていないか確認してください。

キーが操作範囲外にあると、車両ドアおよびトランク・リッドをロック後に開くことができなくなります。

## キーによるロック

1. ドアを開けてください。
2.  ボタンを1回押してください。ハザード・ライトが2回点滅します。車外、車内のどちらからもドアを開くことができなくなります。  
**または人や動物を車内に残す場合：**
  - ▷  ボタンを2秒以内に2回押してください。ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
  - ▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

## 車内からのドアの開閉操作とロック

ここでは初期設定の機能を元に説明しています。PCMで設定を変更することができます。

開閉操作とロックの設定変更に関するインフォメーション：

- ▷ 「ロック」(102ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。



4F1-007

セントラル・ロッキング・ボタン

## 🔒 ドアをロックする

ドアが閉じている場合：

- ▷ セントラル・ロッキング・ボタンを押してください。  
イグニッションがONの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。  
両方の車両ドアがロックされます。  
ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより開くことができます。

### ボタンのインジケーター・ライト

- ▷ 「警報システム」(207ページ)を参照してください。

## オート・ロック機能による自動ロック

この機能が作動しているときは、車速が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

開閉操作の設定変更に関するインフォメーション：

- ▷ 「ロック」(102ページ)を参照してください。

## 🔒 ドア・ロックを解除する

- ▷ セントラル・ロッキング・ボタンを押してください。

両方の車両ドアがロック解除されます。

## オート・ロック機能による自動ロック解除

この機能を有効にした場合、イグニッション・キーを抜き取ると車両が自動的にロック解除されます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

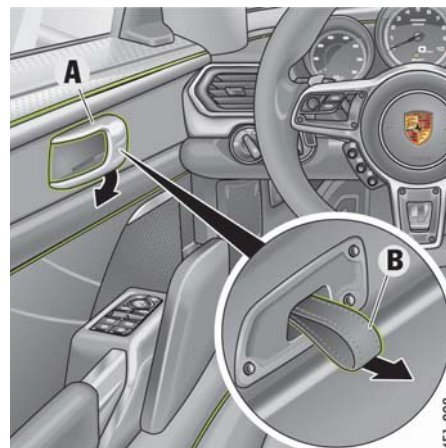
- ▷ 「ロック」(102ページ)を参照してください。

### **i** インフォメーション

車両キーまたはスペア・キーで車両をロックした場合、セントラル・ロッキング・ボタンでロックを解除することは**できません**。

### **i** インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車内に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。更に、ハザード・ライトも自動的に作動します。



4F1-008

## ドアを開く

- ▷ インナー・ドア・ハンドルAまたはドア・オープニング・ループBを引いてください。

### **i** インフォメーション

イグニッション・キーの🔒 ボタンを1回押して車両をロックした場合、車内からドア、トランク・リッドおよびサービス・フラップを開くことは**できません**。



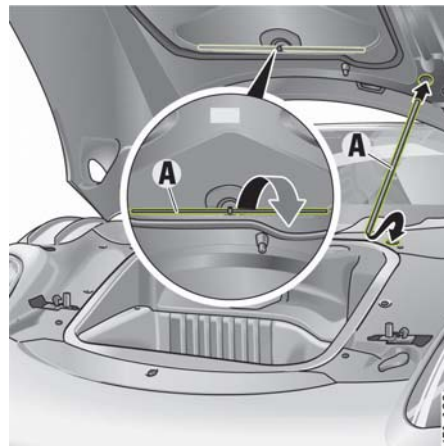
A・トランク・リッド  
B・サービス・フラップ

## トランク・リッドおよびサービス・フラップの開閉

- ▷ 運転席ドアにあるボタンAを押してください。リッドのロックが解除されます。

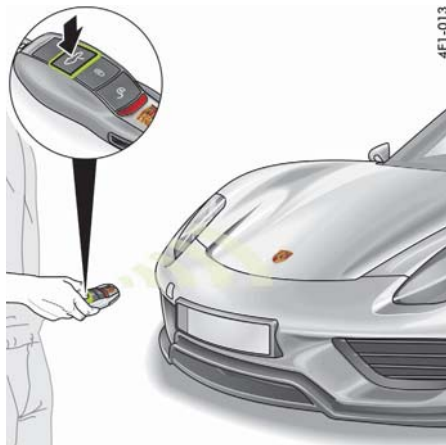


- ▷ リッドを少し持ち上げてください。レバーでセーフティ・キャッチのロックを解除してください。トランク・リッドを開くと、トランク・ルーム内のライトが点灯します。



- ▷ Weissachパッケージ装備車では、リッド・ステイAをリッドのブラケットから外し、取り付け穴（図を参照）に差し込んでください。






## キーでトランク・リッドを開く

### i インフォメーション

トランク・リッドのロックを解除すると、他の車両ドアもロック解除されます。

### キーでトランク・リッドをロック解除する/開く

1.  ボタンを押してください。
2. リッドを少し持ち上げ、レバーでセーフティ・キャッチのロックを解除してください。

## トランク・リッドを閉じる

1. Weissachパッケージ装備車：  
リッドを少し持ち上げ、リッド・ステイAを取り外して保管位置にはめ込んでください。
2. リッドを下げて、手のひらで左右のロック部分を押し下げてください。
3. リッドが確実にロックされていることを確認してください。

リッドが確実にロックされていない場合、車両の発進時に「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージが表示されます。



## ボタンでサービス・フラップを開く

- ▷ 運転席ドアのボタンBを押してください。  
フラップのロックが解除され、開くことができます。

## サービス・フラップを閉じる

1. ロック部分を手のひらで押して、フラップを確実にロックしてください。
2. フラップが確実にロックされていることを確認してください。

フラップが確実にロックされていない場合、車両の発進時に「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージが表示されます。


## 開閉操作とロック時の故障 および特別な機能

### 運転席ドアのみがロック解除される

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)で、ドアのロック/ロック解除の設定を変更することができます。

▷ 「ロック」(102ページ)を参照してください。

なお、設定内容に関係なく、両方のドアをロック解除できません。


▷ キーの  ボタンを2秒以内に2回押してください。

### 車両のロックが解除できない

リモート・コントロール・キーが、次のいずれかの状態にあることが考えられます。

- システムが故障している
- キーの電池が消耗している
- 電磁波の影響によって正常に機能していない

車両のロックが解除できない場合：

1. フロント・ウィンドウの中央に車両キーを置き、同時に  ボタンを押してください (図を参照)。

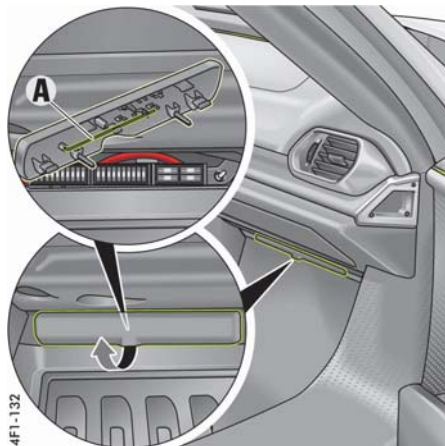


それでも車両のロックが解除できない場合：

2. エマージェンシー・キーを車両キーから取り外してください。「エマージェンシー・キー」(19ページ)を参照してください。
3. エマージェンシー・キーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください。

▷ 「セントラル・ロッキング・システムが故障した場合の運転席側ドアの緊急ロック」(18ページ)を参照してください。

エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し、90°反時計回りに回してキーを再度抜き取ってください。
4. ドア・ハンドルを引いて、ドアを開いてください。
5. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから10秒以内にイグニッションをONにしてください。

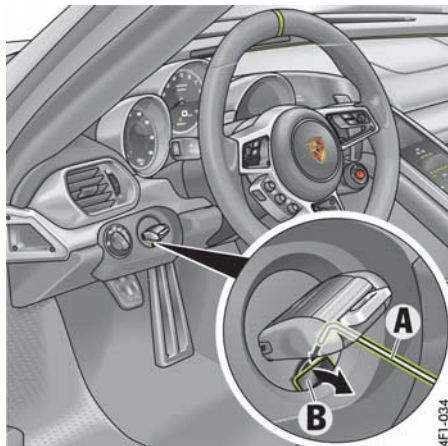


### 緊急操作 - イグニッション・キーの抜き取り

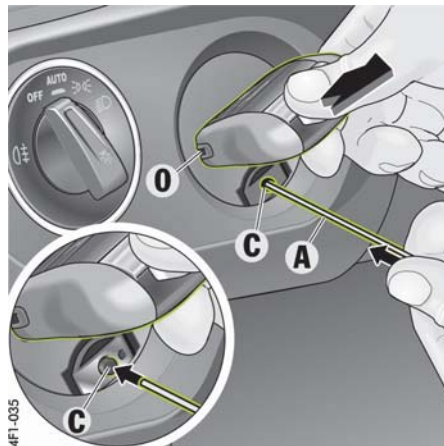
▷ 「緊急ロック (アンチロール・ロック) をかける」(146ページ)を参照してください。

バッテリーが上がった場合またはパーキング・ブレーキが故障した場合、イグニッション・キーを抜き取るために緊急操作を行う必要があります。

1. グローブ・ボックスの下のヒューズ・ボックスのカバーを引いて取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納があるメタル・フックAを取り外してください。



3. メタル・フックAを使用して、イグニッション・ロックからプラスチック・カバーBを取り外してください。取り外したプラスチック・カバーBは紛失しないように十分注意してください。



4. イグニッション・キーをロック位置O（初期位置）に回してください。
5. メタル・フックAを開口部Cに解除音が聞こえるまで押し込んでください。
6. 初期位置Oでイグニッション・キーを取り外してください。
7. プラスチック・カバーBを元の位置に取り付けてください。

## 車両をロックできない

この状態は、ハザード・ライトが点灯せず、ロック音が聞こえないことで判断できます。

リモート・コントロール・キーが、次のいずれかの状態にあることが考えられます。

- システムが故障している
- キーの電池が消耗している
- 車両近くの電磁波（携帯電話など）の影響によって正常に機能していない



ドア・ハンドルのドア・ロック（運転席側）

### セントラル・ロッキング・システムが故障した場合の運転席側ドアの緊急ロック

運転席ドアをロックできない場合：

1. エマージェンシー・キーを車両キーから取り外してください。  
「エマージェンシー・キー」（19ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアを開いてください。
3. エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し（**図を参照**）、90°時計回りに回してキーを再度抜き取ってください。  
ハザード・ライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。
4. ドアを閉じてください。  
運転席ドアがロックされます。



助手席ドアの緊急ロック

### セントラル・ロッキング・システムが故障した場合の助手席ドアの緊急ロック

助手席ドアをロックできない場合：

1. エマージェンシー・キーを車両キーから取り外してください。  
「エマージェンシー・キー」（19ページ）を参照してください。
2. 助手席ドアを開いてください。
3. 保護プラグを取り外してください。
4. エマージェンシー・キーを使用して、ロックを車両の外側方向に回してください（**図を参照**）。
5. ドアを閉じてください。  
助手席ドアがロックされます。

# キーおよびセントラル・ロック ング・システムの知識

## キー

この車両には2本のキーが付属しており、それぞれにエマージェンシー・キーを内蔵していません。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携帯してください。キーを車内に残さないでください。
- ▶ キーを紛失した、または盗難に遭遇したとき、スペア・キーを追加したり交換したりしたときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。
- ▶ 紛失または盗難に遭遇したキーの電子コードを無効にしても、キーをドア・ロックに差し込んで車両をロック/ロック解除することができます。

4F1-042



## エマージェンシー・キー

### エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押してください。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

### エマージェンシー・キーを収納する

- ▶ リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

## スペア・キー

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございますので、いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨します。キーは盗難の恐れがない安全な場所に保管し、車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを使用するには、そのキーの電子コードを車両のコントロール・ユニットに「登録」する必要があります。この登録作業はポルシェ正規販売店でのみ実施が可能です。また、登録作業を行うときは、現在登録しているすべてのキーを同時に再登録しなければなりません。再登録しなかったキーの電子コードは、コントロール・ユニットから抹消され、以後使用できなくなります。

最大で8本のキーを登録することができます。

## セントラル・ロックング

車両にはセントラル・ロックング・システムが装備されています。セントラル・ロックング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します。


- ドア
- グローブ・ボックス

車両をロック/ロック解除したときは、セントラル・ロックング・システムが自動的に作動します。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)で、ドアのロック/ロック解除の様々な方法を設定することができます。

- ▶ 「ロック」(102ページ)を参照してください。

なお、設定内容に関係なく、ドアを開くことができます。

- ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。

# シート、ミラー、ステアリング・ホイール

シート .....	21
シートベルト .....	22
エアバッグ・システム .....	24
チャイルド・シート .....	25
ドア・ミラー .....	25
ルーム・ミラー .....	27
ステアリング・ホイールの調節 .....	27
マルチファンクション・ステアリング・ ホイール .....	28
サンバイザー .....	29

# シート

## シート位置

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シートの位置を調節するときは、運転者の体格などに合わせて次の要領で実施することを推奨します。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節してください。ブレーキ・ペダルをいっばいに踏み込んだときに、脚が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。  
ステアリング・ホイールは、肘が少し曲がる位置に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を再調節してください。

## シートの調節



警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▷ 運転中はシート調節を行わないでください。

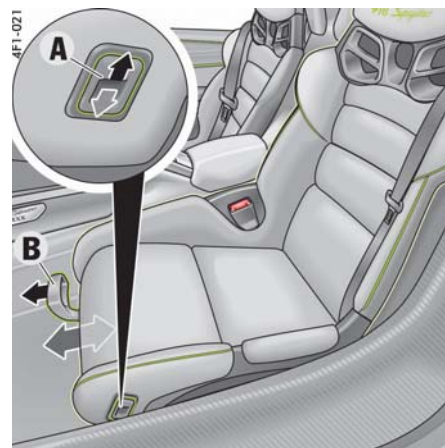


注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり、挟まれたりする恐れがあります。

- ▷ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。



## 軽量バケット・シート

軽量バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください。

### 1 高さ調節

- ▷ スイッチAを矢印の方向に押し、お好みのシート位置、または限界位置になるまで調節してください。

### 2 前後の調節

- ▷ ロック・レバーBを引き上げ、シートを希望の位置に移動させてからレバーを放してください。  
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

## シートベルト

### ⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ チャイルド・シートを装着することは許可されていません。  
チャイルド・シートを必要とするお子様は、この車両に乗車させないでください。
- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服はシートベルトが正しく着用できない上に、動作の自由を奪うこととなりますので、乗車時は必ず脱ぐようにしてください。
- ▶ 堅い物や壊れやすい物（メガネ、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にベルトがかからないようにしてください。  
衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトはねじれやたるみがないように着用してください。

### ⚠ 危険

損傷したシートベルトの使用

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

作動したシートベルト・プリテンショナー・システムは必ず交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうか点検してください。
  - ▶ 損傷したベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは、該当のシート用に認証されているベルトと早急に交換してください。同様に、作動したシートベルト・プリテンショナー・システムとフォース・リミッターも早急に交換してください。  
更に、アンカー部分についても点検してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐため、完全にリトラクターに巻き取らせてください。

### 知識

オプションの6点式シートベルトは、レース・サーキットを走行する方のために専用設計されています。一般道を走行するときは、3点式シートベルトを使用してください。  
6点式シートベルトに付属する取扱説明書の内容を遵守してください。

## 🚨 シートベルト警告灯および警告メッセージ

シートベルトの着用を促すため、運転席シートベルトのバックル・プレートがバックルに差し込まれるまで、次の機能が作動します。

- イグニッションをONにすると、「Power & Drive」ディスプレイの警告灯が点灯します。
- インstrument・パネルの「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージが表示されます。
- 速度が24km/hを超えると、警告音が鳴ります。

## シートベルト・プリテンショナー

シートベルト・プリテンショナーは、事故の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト・プリテンショナーの作動条件

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

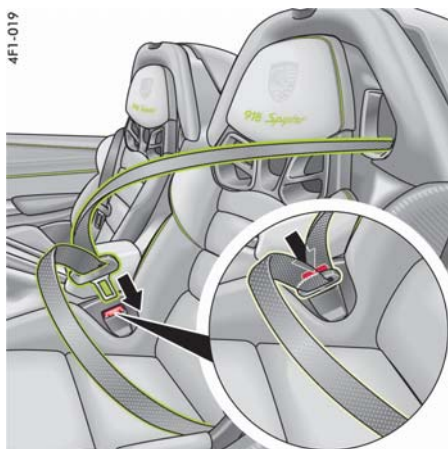
### i インフォメーション

シートベルト・プリテンショナー・システムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

シートベルト・プリテンショナー・システムに関連する作業は、必ずポルシェ正規販売店に依頼してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

シートベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。





## シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトのバックル・プレートを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

## i インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シートベルトを急に引いたときは、ベルトがロックされて引き出せないことがあります。

加速中や減速中、コーナリング中、または上り坂を走行しているときなどはシートベルトがロックされ、引き出すことができない場合があります。

3. シートベルトのバックル・プレートは、着座しているシートの側部にあるバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
4. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
5. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるようにしてください。プレートをバックルに差し込んで、肩ベルトを上を引っ張ってください。  
妊娠中の方は腰ベルトをできる限り低い位置まで下げ、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
6. 走行中も肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

## シートベルトを外す

1. シートベルトのバックル・プレートを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください。
3. シートベルトをリトラクターに巻き取らせてください。

## エアバッグ・システム

### 安全に関する注意事項

#### ⚠ 危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▷ **常にシートベルトを着用してください。**
- ▷ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▷ ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▷ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置にシート位置を調節してください。サイド・エアバッグ装備車では、ドア（エアバッグの展開部）にもたれかからないでください。
- ▷ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▷ 重い荷物を助手席の上や前方に置かないでください。
- ▷ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▷ 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
- ▷ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
- ▷ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

#### ⚠ 危険

エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする恐れがあります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▷ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▷ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けしないでください。
- ▷ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▷ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▷ エアバッグ構成部品（ステアリング・ホイール、シート、ドア・パネルなど）は取り外さないでください。

#### ⚠ 危険

作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

- ▷ 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。
- ▷ エアバッグ・システムに不具合が発生したときは、必ずポルシェ正規販売店に修理を依頼してください。

## 機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

**フロント・エアバッグ**は、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内、助手席側はダッシュボードの中に取り付けられています。

**サイド・エアバッグ**はバックレストの側面に取り付けられています。

**ヘッド・エアバッグ**はドア・パネルの下部に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度および衝撃の大きさに応じて作動します。

## エアバッグ警告灯

エアバッグ・システムが故障した場合、タコメーターの警告灯によって表示されます。

### 危険

エアバッグの故障または誤作動により重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▷ 次の場合は、直ちにポルシェ正規販売店で点検を受けてください：
  - イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない**または**
  - エンジン始動後も警告灯が消灯しない**または**
  - 走行中に警告灯が点灯する

## 廃棄

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、およびエアバッグ・ユニットなどは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

エアバッグ関連の部品を廃棄するときは、ポルシェ正規販売店にお任せください。処分に関する詳しい情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## チャイルド・シート

チャイルド・シートを装着することは許可されていません。

チャイルド・シートを必要とするお子様は、この車両に乗車させないでください。

## ドア・ミラー

後方視野を広くするため、助手席側ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

### 警告

ドア・ミラーに映る周囲の様子は実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

- ▷ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、凸面形ミラーの特性を念頭に置いてください。
- ▷ 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。



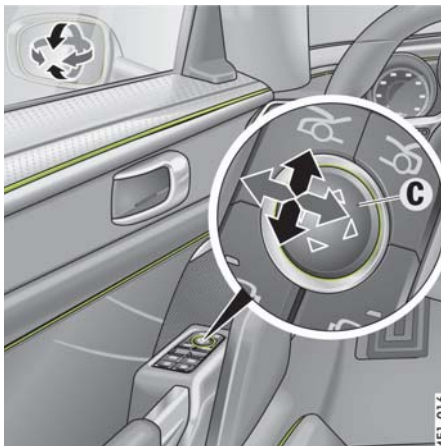
4FT-017

- A - ドア・ミラーの選択 - 運転席
- B - ドア・ミラーの選択 - 助手席側
- C - ドア・ミラーの調節

## ドア・ミラーの調節

電動調節式ドア・ミラーを操作するには：

- イグニッションがONのとき
- イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまで



4FT-016

1. 運転席側はボタンAを、助手席側はボタンBを押してください。  
選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 調節ボタンCを押してドア・ミラーを正しい位置に調節してください。

### 電動調節機能が故障した場合

- ▷ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

### ドア・ミラーの格納

- ▷ ミラーを手でいっぱいまで内側に倒してください。

### ドア・ミラーの復帰

- ▷ ミラーを手でいっぱいまで外側に展開してください。

## ドア・ミラー・ヒーター

エンジン作動中は、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)でドア・ミラー・ヒーターをONすることができます。

- ▷ 「ドア・ミラー・ヒーター」(102ページ)を参照してください。

外気温度によって、約5~20分後にヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

- ▷ スイッチを再度ONにすると、ヒーターは再び作動します。

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、最初にドア・ミラー・ヒーターの機能が制限され、その後OFFになります。



4F1-060

## ルーム・ミラー

ルーム・ミラーは平面鏡です。

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー **A** を前方に向けてください。

- ▷ 通常位置 - レバーを前方に向けてください。
- ▷ 防眩位置 - レバーを手前に引いてください。

## ステアリング・ホイールの調節

ステアリング・ホイールの前後位置は手で調節できます。

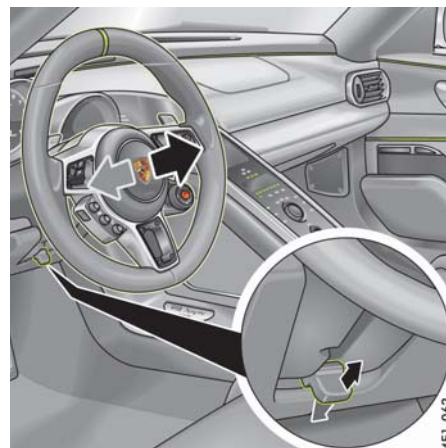


**警告**

運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にステアリング・ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

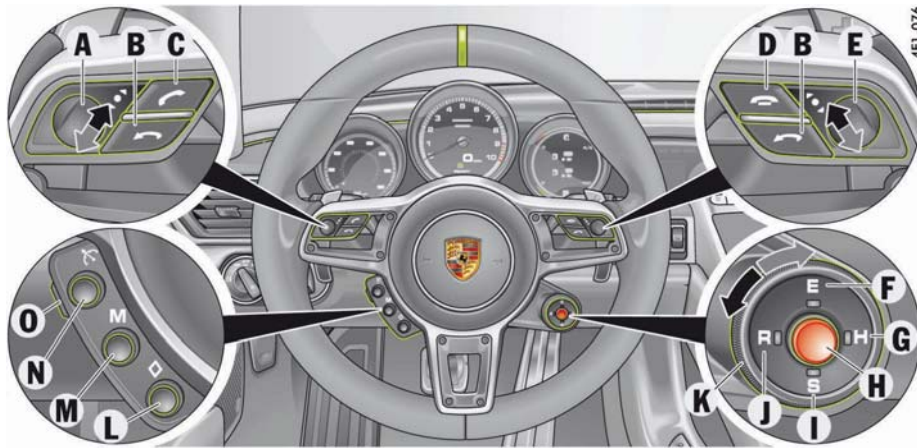
- ▷ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。



4F1-062

## ステアリング・ホイールの調節

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ロック・レバーを押し下げてください。
3. 着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを手で持って前後に動かし、好みの位置に調節してください。
4. ロック・レバーを元の位置に戻してください。ロック・レバーは動かなくなるまで完全に戻してください。



## マルチファンクション・ステアリング・ホイール



**警告**

走行中の設定と操作

運転中にインストルメント・パネル、ラジオ、ナビゲーション・システム\*、電話等の操作を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。(運転中のナビゲーション\*の操作、注視は道路交通法で禁止されています。)
- ▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停車してから行ってください。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンを使用して、次のポルシェ・コミュニケーション・システムの操作ができます。

- 電話
- PCM
- インストルメント・パネル

## マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作準備

- イグニッションがONのとき
- ▷ ファンクション・ボタンを操作する前に、ポルシェ・コミュニケーション・システムの説明をよく読み、機能を把握してください。

### i インフォメーション

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システムをON/OFFできません。

## マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンの機能

### i インフォメーション

ステアリング・ホイール上部の左右にあるロータリー・ノブは押して操作することもできます。

### A ロータリー・ノブを回す

「Speed & Assist」ディスプレイのメイン・メニューまたはメニュー項目を選択/ハイライトします。項目を選択/ハイライトするにはロータリー・ノブを上方向または下方向に回してください。

### ロータリー・ノブを押す

サブ・メニューに進む、または選択した機能が作動します。

### B バック・ボタンを押す

メニューに戻ります。

### C ハンドセット・ピックアップ・ボタンを押す

着信時に通話を開始します。

### D ハンドセット・ハンガアップ・ボタンを押す

通話を終了/拒否します。

### E ロータリー・ノブを回す

「Car & Info」ディスプレイのメイン・メニューまたはメニュー項目を選択/ハイライトします。項目を選択/ハイライトするには、ロータリー・ノブを上方向または下方向に回してください。

### ロータリー・ノブを押す

サブ・メニューに進む、または選択した機能が作動します。

### F 「E-Power (Eパワー)」モード

### G 「Hybrid (ハイブリッド)」モード

### H 「Hot Lap (ホット・ラップ)」モード

### I 「Sport Hybrid (スポーツ・ハイブリッド)」モード

### J 「Race Hybrid (レース・ハイブリッド)」モード

### K マップ・スイッチを回す

車両モードを選択します。

### L MFSボタンを押す

保存させた機能を呼び出します。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の任意の機能をボタンに割り当てることができます。

### M ボタンを押す

マニュアルPDKトランスミッション・モード

### N ボタンを押す

速度の設定

### O ボタンを押す

クルーズ・コントロールのON/OFFを切り替えます。



## サンバイザー

- ▷ サンバイザーを手で下げ、正面方向からの眩しさを遮ってください。

### 知識

サンバイザーを損傷する恐れがあります。

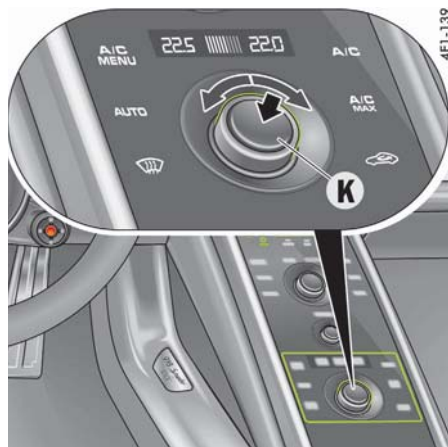
- ▷ サンバイザーを全開位置から無理に開かないでください。

\* 日本仕様に設定はありません。

# エアコン

2ゾーン・オート・エアコン .....	31
電気補助ヒーター .....	35
エア・ベント .....	35





4F1-139

## 2ゾーン・オート・エアコン

温度は、ロータリー・ノブKを操作して運転席側および助手席側でそれぞれ個別に設定できます。

オート・モードでは、様々な環境条件（日射量など）に応じて車内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。

エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。



4F1-096

### i インフォメーション

ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のボタン A/C MENU を操作して更にエアコン設定を行うことができます：

▷ 「エアコン」(127ページ)を参照してください。

## エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション

### エアコン・コンプレッサー

- 外気温度が約2°Cを下回るとコンプレッサーが自動的にOFFになり、このときは手動操作でもコンプレッサーをONにできません。
- ウィンドウを閉じるとエアコン・システムの作動効率が高まります。  
炎天下で長時間駐車したときは、まずウィンドウを開いて車内の空気を入れ替えてから、エアコンを使用すると効果的です。
- 外気温度や湿度によっては、除湿した水分が水滴となってエバポレーターから排出され、車両の下に水たまりができることがあります。  
これは正常な状態で、液漏れ等の故障ではありません。

### バッテリー電圧低下時の自動OFF

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、次のエアコン・システムまたはヒーター機能の一部が制限され、その後自動的にOFFになります：

- ドア・ミラー・ヒーター
- フレッシュ・エア・ブローア
- エアコン・コンプレッサー
- 電気補助ヒーター



## A/Cモード

オート・モードでは、エアコン・システムの作動状況に応じてコンプレッサーの出力が全自動で制御されます。外気温度が約2°Cを下回ると、コンプレッサーが自動的にOFFになります。

### **i** インフォメーション

「スポーツ・ハイブリッド」、「レース・ハイブリッド」、および「ホット・ラップ」モードでは、車両のエアコンの機能が制限される場合があります。

## A/CモードをONにする

外気温度よりも低い温度で車内を冷房したいときは、A/CモードをONにしてください。

- ▷ A/Cボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。エアコン・コンプレッサーがONになります。またはAUTOボタンを押してください。冷房機能が作動します。

## A/CモードをOFFにする

例えば燃費を優先した運転をしたいときなどにA/Cモードを手動でOFFにすることができます。

- ▷ A/Cボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。エアコン・コンプレッサーがOFFになります。冷房機能が解除されます。



## SYNCモード

SYNC（同期）モードでは、運転席側および助手席側の温度は同じ温度になり、ロータリー・ノブKで設定を行います。

SYNCモードはPCMで作動/停止を切り替えることもできます。

- ▷ 「運転席側の設定温度を助手席側に適用する」（128ページ）を参照してください。

## SYNCモードをONにする

1. A/C MENU ボタンを押してください。
2. AUTOボタンを、「SYNC」がタッチスクリーン・ディスプレイに緑色で表示されるまで押し続けてください（必要条件：PCMでA/Cメニューを有効にしている必要があります）。
3. ロータリー・ノブKで運転席側および助手席側の温度を調節してください。

## SYNCモードをOFFにする

1. A/C ボタンを押してください。  
MENU
2. AUTOボタンを、緑色で表示されている「SYNC」がタッチスクリーンから消えるまで押し続けてください（必要条件：PCMでA/Cメニューを有効にしている必要があります）。



## A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。

このとき車内温度は自動調節されません。

### A/C MAXモードをONにする


- ▷ A/C MAX ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

### A/C MAXモードをOFFにする


- ▷ A/C MAX ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。  
**または**  
AUTOボタンを押してください。



## フロント・ウィンドウ・デフロスター デフロスターを作動させる

- ▷  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。  
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウに向けて送風が吹き出します。  
フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。


### デフロスターを停止させる

- ▷  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。  
**または**  
AUTOボタンを押してください。




## 内気循環モード

### 内気循環モードをONにする

- ▷  ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。外気導入が遮断され、車内の空気を循環させます。

### 内気循環モードをOFFにする

- ▷  ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

## i インフォメーション

手動または自動でエアコン・コンプレッサーがOFFになると、内気循環モードが停止します。



## 温度の設定

このエアコン・システムでは、運転席および助手席側の室内温度を16.5～29°Cの範囲で個別に設定できます。推奨：22°C

選択した温度がエアコン・ディスプレイに表示されます。

### 温度を上げる/下げる

1. ロータリー・ノブKを運転席側は1回、助手席側は3回押してください。エアコン・ディスプレイに表示されている運転席側または助手席側の設定温度がハイライトされます。
2. ロータリー・ノブKを温度を上げるときは右に、下げるときは左に回してください。設定温度がエアコン・ディスプレイに表示されます。

## i インフォメーション

エアコン・システムは、設定温度を維持するために、常に最大能力で車内を冷房または暖房します。

このため、設定温度を一時的にお好みの温度より上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。

## 送風量の設定

エアコン・ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

### 送風量を多くする

1. ロータリー・ノブKを2回押してください。
2. 送風量を多くするときは、ロータリー・ノブを右に回してください。

### 送風量を少なくする

1. ロータリー・ノブKを2回押してください。
2. 送風量を少なくするときは、ロータリー・ノブを左に回してください。

AUTOボタンを押すと、オート・モードに切り替わります。

ボタンを押して送風量を最小にするとエアコン・ディスプレイに「OFF」と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・コンプレッサーがOFFになります。



**警告**

風量「OFF」による視界の妨げ

送風量を「OFF」にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▷ ロータリー・ノブKを操作して送風量を上げてください。

## 送風口を手動で切り替える

送風口の手動切り替えに関するインフォメーション：

▷ 「送風口」(127ページ)を参照してください。

## 電気補助ヒーター

オプションの補助ヒーターは、外気温が低いときの電動モーター走行時に室内の快適性を向上します。

電気補助ヒーターを取り付けていない場合、特に電動モーター走行時に車内の快適性が損なわれることがあります。フロント・ウィンドウが曇る恐れがあります。



## エア・ベント

ダッシュボードにはエア・ベントがあり、手動で開閉することができます。送風方向も調節可能です。

### ● 吹き出し口を開く

▷ エア・ベントのロータリー・ノブを上方向に回してください。

### ● 吹き出し口を閉じる

▷ エア・ベントのロータリー・ノブを下方向に回してください。

## 送風方向の調節

ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。



## 間接ベンチレーション・パネル

ダッシュボード上にある間接ベンチレーション・パネルは、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の A/C MENU ボタンで個別に作動/停止を切り替えることができます。車内へのエアの流れが和らぎます。エアコン・システムは、間接ベンチレーション・パネルからの送風量を自動調節します。

PCMでのエアコン設定機能に関するインフォメーション：

▷ 「間接ベンチレーション・パネルを設定する」(127ページ)を参照してください。

## ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)での更なるエアコン設定

エアコン・システムに関連する更なる設定をボルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)で適用および調節することができます。

PCMでのエアコン設定機能に関するインフォメーション：

▷ 「エアコン」(127ページ)を参照してください。

# ウィンドウ、ルーフ・パネル

パワー・ウィンドウ .....	38
着脱式ルーフ・パネル .....	39

## パワー・ウィンドウ



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▷ ウィンドウを開閉するときは乗員がケガをしないように十分注意してください。
- ▷ 車両から離れるときは必ずイグニッション・キーを抜いて携行してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▷ 危険が生じたときは、直ちに車両キーのボタンを放してください。
- ▷ お子様のみを車内に残さないでください。

### パワー・ウィンドウの作動条件

次の条件下で、パワー・ウィンドウを開閉することができます：

- イグニッションがONのとき
- イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまで



A - 運転席のパワー・ウィンドウ  
B - 助手席のパワー・ウィンドウ

### ウィンドウの開閉

#### ロッカー・スイッチによるウィンドウ開作動

- ▷ ウィンドウがお好みの位置になるまでウィンドウのロッカー・スイッチを押してください。

#### ロッカー・スイッチによるウィンドウ閉作動

- ▷ ウィンドウがお好みの位置になるまでウィンドウのロッカー・スイッチを引いてください。



### 車両キーによるウィンドウ開作動

- ▷ ウィンドウが希望の位置になるまで、車両キーのロック解除ボタンを押し続けてください。



## バッテリー接続後のウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. ロッカー・スイッチを引いて、**1回**ウィンドウを完全に閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、ロッカー・スイッチを再度短く**3回**引き上げてください。
3. ロッカー・スイッチを押して、**1回**ウィンドウを完全に開いてください。

## 着脱式ルーフ・パネル



警告

ルーフ・パネルを片側のみ装着しての走行

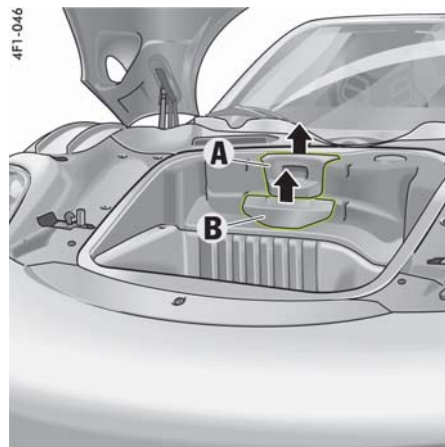
空力性能に影響するため、ルーフ・パネルを片側のみ装着した状態で走行しないでください。

- ▷ ルーフは必ず全開または全閉にして走行してください。

### 知識

ルーフ・パネルおよびドア・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▷ ルーフ・パネルの傷付きを防ぐため、トランク・ルームに収納する前に必ず清掃してください。
- ▷ ルーフ・パネルの取り外しおよび取り付けは、ドアまたはドア・ウィンドウが開いているときにのみ行ってください。
- ▷ ルーフ・パネルの取り外しおよび取り付けは必ず規定の順序で行ってください（損傷する恐れがあります）。

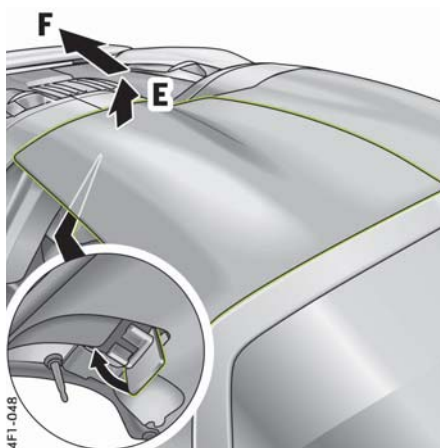


## ルーフ・パネルの取り外しとトランク・ルームへの収納

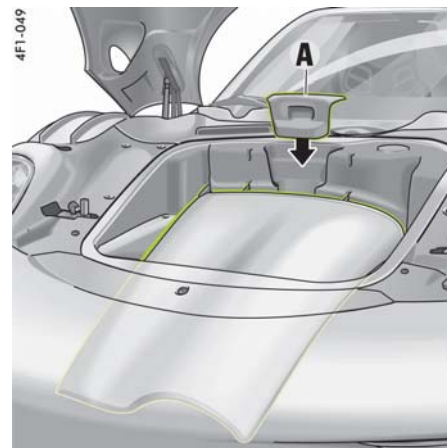
1. ドアまたはドア・ウィンドウを開いてください。
2. トランク・ルームからフォーム・パーツAを取り出してください。
3. トランク・ルームからエア・デфлекターBを取り出してください。



4. 助手席側のルーフ・パネル：  
リリース・ボタンC (PRESS) を押したまま、  
ロック・レバーDを下げてください (矢印)。

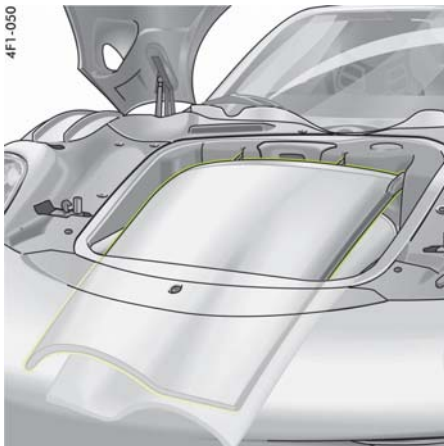


5. ルーフ・パネルの後部Eを持ち上げ、車両後  
方Fに引いてウィンドウ・フレームのガイド  
から取り外してください。  
6. ロック・レバーDを閉じてください。



7. ルーフ・パネルの前端部を車両後方に向け  
てトランク・ルームに収納してください。  
フォーム・パーツAをガイドに上から差し込  
んでください。

4F1-050

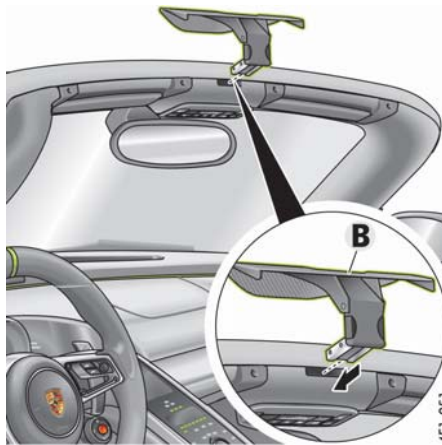


#### 8. 運転席側のルーフ・パネル：

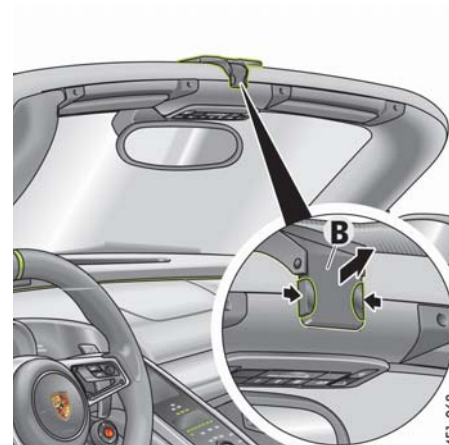
運転席側のルーフ・パネルを助手席側のルーフ・パネルと同様の手順で取り外してください。

ロック・レバー **D** を閉じてください。

9. ルーフ・パネルの前端部を車両後方に向けてトランク・ルーム内に慎重に収納してください。

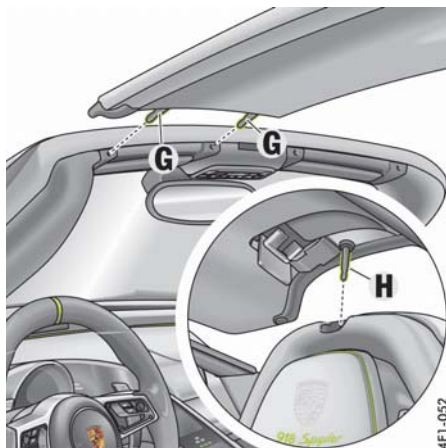


10. エア・デфлекター **B** をウィンドウ・フレームに挿入してはめ込んでください。



#### ルーフ・パネルの取り付け

1. ドアまたはドア・ウィンドウを開いてください。
2. エア・デфлекター **B** のボタンを両方同時に押し、ウィンドウ・フレームからエア・デфлекターを取り外してください。



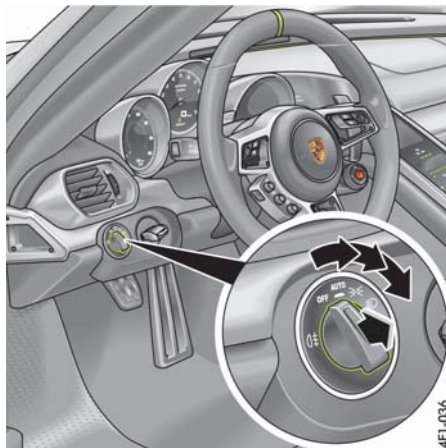
3. トランク・ルームから運転席側のルーフ・パネルを取り出してください。ロック・レバー **D** が開いていることを確認してください（損傷する恐れがあります）。ルーフ・パネルのガイド・ピン **G** をウィンドウ・フレームに差し込んでください。
4. ルーフ・パネルの後部を下げてください。センタリング・ピン **H** がガイドにしっかりはまっているか確認してください。



5. ルーフ・パネルを下方向に少し押し、ロック・レバー **D** を上げて確実に固定してください。
6. トランク・ルーム内のフォーム・パーツをガイドから引き出してください。
7. 助手席側のルーフ・パネルを運転席側のルーフ・パネルと同様の手順で取り付けてください。
8. エア・デフレクターおよびフォーム・パーツをトランク・ルーム内のガイドに差し込んでください。

# ライト、方向指示灯、フロント・ワイパー

ライト・スイッチ .....	44
方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・ レバー/パーキング・ライト・スイッチ .....	45
インストルメント・ライト .....	46
ハザード・ライト .....	46
インテリア・ライト/読書灯 .....	47
<b>概要</b> - フロント・ワイパー .....	49
フロント・ワイパー/ウォッシャー・ レバー .....	50



4F1-036

## ☼ ライト・スイッチ

### OFF ライトOFF

イグニッションがONのとき、デイトタイム・ドライビング・ライト\*が点灯します。

### AUTO オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント

### ☼ 車幅灯

ライセンス・ライト、インストルメント・ライト、デイトタイム・ドライビング・ライト\*を消灯します。

### ☼ ロー・ビーム/ドライビング・ライト

イグニッションがONのときのみ。スポーツおよびレース・モードでは光量が増します。

### ☼ リヤ・フォグ・ライト

ロー・ビーム位置でスイッチを引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

## i インフォメーション

灯火類が点灯した状態で車両キーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。

- 各国の法律等に準拠して、ライトの仕様が異なる場合があります。

気温と湿度により、車両のエクステリア・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

## ロー・ビーム/ドライビング・ライト

ライト・スイッチをAUTOの位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時

ロー・ビームの点灯時には、「Speed & Assist」ディスプレイのインジケーター・ライトが点灯します。

## i インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。

- ▷ 霧が発生したときは、手でドライビング・ライトを点灯させてください。

## デイトタイム・ドライビング・ライト\*

イグニッションがONの状態、ライト・スイッチをOFFの位置（ライトOFF）にすると、デイトタイム・ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

ライト・スイッチをAUTOの位置に設定した場合、イグニッションがONおよび周囲が明るい状態で、デイトタイム・ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

ライト・スイッチがD（ヘッドライト・ロー・ビーム/ドライビング・ライト）の位置にあるときは、デイトタイム・ドライビング・ライトは点灯しません。

## オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントは、デイトタイム・ドライビング・ライト\*、ロー・ビーム、およびオートマチック・カミングホーム・ライトの作動も制御します。

速度が約100km/h以下のときはLEDヘッドライトのロー・ビームはエコ・モードになります。スポーツ・ハイブリッド・モード、レース・モード、ホット・ラップ・モードが作動しているときに速度が約100km/hを超えると、レース・ライト・モードに切り替わり、ロー・ビームの光量が最大になります。

ライト・スイッチをAUTOの位置にすると、オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントが作動します。

なおドライビング・ライト・アシスタントを作動させていても、法律等を遵守し、ライト・スイッチの手動操作によってドライビング・ライトの点灯/消灯することは運転者の責務です。

ドライビング・ライト・アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング・ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

\* 日本仕様に設定はありません。



警告

無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行するとドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。

▷ オートマチック・ドライビング・ライトの作動状況を常に監視してください。

## 雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

その後、ワイパーを停止してから約4分が経過すると、ドライビング・ライトが消灯します。

## オートマチック・カミング・ホーム・ライト (ウェルカム・ホーム機能/ エントリー機能)

オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする

▷ ライト・スイッチを**AUTO**にしてください。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます。

- デイタイム・ドライビング・ライト\*
- リヤの車幅灯
- ライセンス・ライト

## ウェルカム・ホーム機能 (遅延消灯)

車両をロックすると、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の「CAR (車両)」メニューで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの消灯遅延時間設定に関するインフォメーション:

▷ 「エクステリア・ライトの設定」(103ページ)を参照してください。

## エントリー / イグジット機能

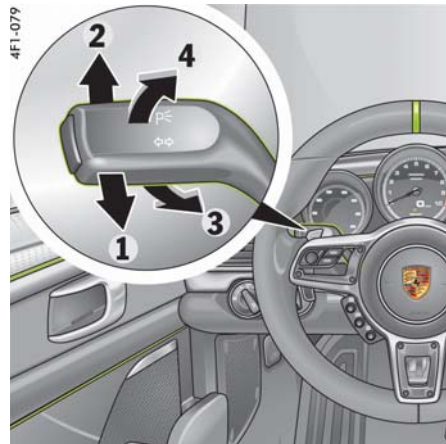
車両をロック解除すると、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の「CAR (車両)」メニューで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

イグニッションをONにするか、またはライト・スイッチを**AUTO**の位置以外に設定すると、ライトが消灯します。

エクステリア・ライトの消灯遅延時間設定に関するインフォメーション:

▷ 「インテリア・ライトの調節」(100ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。



## 方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・レバー/パーキング・ライト・スイッチ

方向指示灯、ロー・ビームおよびハイ・ビームは、イグニッションがONの状態で作動できます。

- 1 - 方向指示灯、左
- 2 - 方向指示灯、右
- 3 - ハイ・ビーム・ヘッドライト
- 4 - ヘッドライト・パッシング


操作レバー中央位置 - ロー・ビーム

## 方向指示灯


▷ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを下方向1または上方向2に動かしてください。方向指示灯が3回点滅します。

## ハイ・ビーム・ヘッドライト

### 点灯/消灯

- ▷ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に1回動かしてください。「Speed & Assist」ディスプレイのインジケーター・ライトが点灯します。
- ▷ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。

### ヘッドライト・パッシングを作動する

- ▷ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。「Speed & Assist」ディスプレイのインジケーター・ライトが短時間点灯します。

### パーキング・ライト

パーキング・ライトは、イグニッションがOFFのときのみ点灯します。

- ▷ 操作レバーを上方向**2**または下方向**1**に動かすと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。

操作レバーをパーキング・ライトの点灯位置にしてイグニッションをOFFにすると、インストルメント・パネルのディスプレイにメッセージ「Parking light on (パーキングライトが点灯しています)」が表示されます。

警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

## インストルメント・ライト

ライト・センサーにより、周囲の明るさによって、ライトが自動的に調整されます。更に、車両のライト・スイッチがONのときは、ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)でインストルメント・パネル、ディスプレイ、およびスイッチの照明を調節することができます。

- ▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調節」(99ページ)を参照してください。



### ハザード・ライト

ハザード・ライトはイグニッションの位置に関係なくONにできます。

#### ON/OFF

- ▷ センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。

すべての方向指示灯とボタンのインジケーター・ライトが同時に点滅します。

ハザード・ライトを長時間作動させた場合、ライトを保護するため、ライトの点灯時間が短くなります。



## 急制動時のハザード・ライトの自動点滅機能

約70km/h以上の速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキ・ライトが点滅し、車両が停車後にハザード・ライトが自動的に作動します。

- ▷ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

## 衝突時のハザード・ライトの自動点滅機能

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

- ▷ ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。



A - インテリア・ライト/読書灯用ボタン

## インテリア・ライト/読書灯

### インテリア・ライト/読書灯の点灯/消灯

- ▷ ボタンAを押してください。

### 減光（明るさを調節する）

- ▷ ボタンAを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

## インテリア・ライト/読書灯の自動点灯/消灯

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の「CAR (車両)」メニューでの設定：

- ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはイグニッション・キーをイグニッション・ロックから抜いたときに、インテリア・ライト/読書灯を点灯させるか、または消灯したままにするかを設定することができます。
- ▷ 「インテリア・ライトを点灯/消灯する」(101ページ)を参照してください。
- 両方のドアを閉じた際のインテリア・ライト/読書灯の遅延消灯時間を設定することができます。
- ▷ 「インテリア・ライト遅延消灯の設定」(100ページ)を参照してください。

## インテリア・ライト/読書灯の消灯によるバッテリーの保護

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから16分後にインテリア・ライトが消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動で点灯した後、1分が経過すると自動的に消灯します。

## オリエンテーション・ライト

オーバーヘッド・コンソール、インナー・ドア・ハンドル、小物入れのライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

### 減光（明るさを調節する）

オリエンテーション・ライトの明るさはポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の「**CAR (車両)**」メニューで調節できます。

▷ 「インテリア・ライトの調節」(100ページ)を参照してください。

## 概要 - フロント・ワイパー

この概要説明は後述の「フロント・ワイパー/ウォッシャー・レバー」に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。



フロント・ワイパー操作レバー



レイン・センサー作動感度のスイッチ(A)

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?
ワイパー・オート作動 (レイン・センサー作動)	操作レバーを1の位置にしてください。
レイン・センサーの作動感度の設定	操作レバー右部のスイッチAを上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 方向に動かして調節してください。
ワイパー	低速: 操作レバーを2の位置にしてください。 高速: 操作レバーを3の位置にしてください。 ワンタッチ: 操作レバーを4の位置に短く押ししてください (4の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。
フロント・ワイパー & ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向5に引いて、保持してください。

## フロント・ワイパー/ウォッシャー・レバー



注意

ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイプ作動を行います。

- ▷ (レイン・センサー機能により) 不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

### 知識

フロント・ウィンドウ、リヤ・ウィンドウ、およびワイパー・システムを損傷する恐れがあります。

- ▷ フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▷ 運転前にワイパーの凍結を溶かしてください。
- ▷ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。



## フロント・ワイパー/ウォッシャー・システム

### 0- フロント・ワイパー OFF

- 1- レイン・センサーの作動、フロント・ワイパー  
▷ ワイパー・レバーを1段目の位置まで上方に押してください。

### 2- フロント・ワイパー低速

- ▷ ワイパー・レバーを2段目の位置まで上方に押してください。

### 3- フロント・ワイパー高速

- ▷ ワイパー・レバーを3段目の位置まで上方に押してください。

### 4- フロント・ワイパーのワンタッチ作動

- ▷ ワイパー・レバーを下方向に押してください。フロント・ワイパーが1回作動します。

## 5- フロント・ワイパー/ウォッシャー・システム

- ▷ ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。レバーを手前に引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。レバーを放すとウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。

### i インフォメーション

- ▷ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- ▷ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:

- ▷ 「車両のお手入れ」(217ページ)を参照してください。

良好な視界を確保するには、ワイパー・ブレードを完全な状態に保つことが大切です。

- ▷ 「ワイパー・ブレード」(214ページ)を参照してください。

### ワイパー・ブレードの交換

- ▷ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向4に押してください。ワイパーが上方に約45°移動します。



### レイン・センサー感度の調節

#### レイン・センサーの作動

レイン・センサーが作動すると、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント・ワイパーをONにしているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。

速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

#### **i** インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、すでにワイパー・レバーが1の位置にある場合、速度が約4km/h以上になるとすぐにレイン・センサーが作動します。
- イグニッションをONにしたとき、すでにワイパー・レバーが2または3の位置にある場合、ワイパー・レバーを操作するまでレイン・センサーは作動しません。

#### **i** インフォメーション

トランク・リッドを開くとワイパーが停止します。  
トランク・リッドを閉じた後、ワイパー・レバーを操作してワイパーを再びONにしてください。

### レイン・センサー感度の調節

- ▷ スイッチAを上方向に動かしてください - センサー感度が高くなります。フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。
- ▷ スイッチAを下方向に動かしてください - センサー感度が低くなります。

# ドライバー・インフォメーション

ドライバー・インフォメーション - インス	
トルメント・パネル .....	53
インストルメント・パネル・ディスプレイ	
レイ .....	54
バッテリー / オルタネーター - 12V シス	
テム .....	56
チェック・エンジン (エミッション・	
コントロール) .....	56
警告音 .....	56
「Car & Info」ディスプレイの操作 .....	57
CAR (車両) メニュー .....	59
トリップ・メニュー .....	62
タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタ	
リング、TPM) .....	63
クロノ・メニュー (ストップウォッチ) .....	69
G-Forceメニュー .....	71
Rangeメニュー .....	71
Boostメニュー .....	71
「Speed & Assist」ディスプレイの操作 .....	72
制限速度表示 .....	73
クルーズ・コントロールの表示 .....	74
制限速度の表示* .....	74
リフト・システムの表示 .....	75
<b>警告と情報メッセージの概要</b> .....	<b>76</b>
ポルシェ・カー・コネクト* .....	84

\* 日本仕様に設定はありません。



## ドライバー・インフォメーション・インストルメント・パネル

- A 「Speed & Assist」 ディスプレイ
- B 「Power & Drive」 ディスプレイ
- C 「Car & Info」 ディスプレイ
- D オドメーター（積算距離計）
- E パワー・メーター

- F デジタル・スピードメーター
- G シフトアップ・インジケーター
- H セレクター・レバー・ポジション・インジケーター/ギヤ・ポジション・ディスプレイ
- I 燃料計
- J フィラー・フラップ位置の表示
- K バッテリー充電状態の表示
- L 充電ポート位置の表示

## 「Power & Drive」 ディスプレイの警告灯およびインジケーター・ライト

- エミッション・コントロール警告灯（チェック・エンジン）
- エアバッグ警告灯
- シートベルト警告灯
- 方向指示灯、左
- 方向指示灯、右
- エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯
- タイヤ空気圧警告灯

## 「Speed & Assist」 ディスプレイの警告灯およびインジケーター・ライト

- ブレーキ警告灯
- ハイ・ビーム・インジケーター・ライト
- PSM警告灯
- PSM OFF警告灯
- ABS警告灯
- リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト
- ロー・ビーム・インジケーター・ライト
- TC OFF警告灯

## インストルメント・パネル・ディスプレイ

### A - 「Speed & Assist」

デジタル・ディスプレイ付きアナログ・スピードメーターは、速度に関する情報、区間走行距離、総走行距離、制限速度、交通標識認識\*、コーナリング情報、クルーズ・コントロール、リフト・システムなどの情報を示します。

### B - 「Power & Drive」

アナログ・タコメーターの目盛りの赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

加速中に指針がレッド・ゾーンに達すると、エンジンを保護するために燃料供給が遮断されます。

### C - 「Car & Info」

「Car & Info」ディスプレイに関するインフォメーション：

- ▷ 「FCAR & INFO」ディスプレイの操作」（57ページ）を参照してください。

### D - オドメーター（積算距離計）

総走行距離計（オドメーター）および区間走行距離計（トリップ・メーター）は「Speed & Assist」ディスプレイのデジタル・ディスプレイ内にあります。

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。

トリップ・メーターの最大表示値は9,999kmで、それを超えると「0」に戻ります。

### E - パワー・メーター

パワー・メーターに関するインフォメーション：  
▷ 「インストルメント・パネルのハイブリッド・ディスプレイ」（186ページ）を参照してください。

### F - デジタル・スピードメーター

インストルメント・パネルの「Power & Drive」ディスプレイ内にデジタル表示のスピードメーター Fがあります。

### G - シフトアップ・インジケータ

「Power & Drive」ディスプレイ内のPDKセレクトター・レバー・ポジション・インジケータ右横にあるシフトアップ・インジケータは、経済的な運転を促すシフトアップのタイミングを知らせます。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▷ シフトアップ・インジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

### H - PDKセレクトター・レバー・ポジションのインジケータ

エンジン作動中は、セレクトター・レバー DまたはMのモードが表示されます。

### 警告メッセージ

#### トランスミッションに故障が発生した場合

- 重要度に応じて、「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージ「Gearbox failure Park vehicle safely (ギヤボックスの故障 車を安全な場所に停めて下さい)」または「Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (ギヤボックスの故障 リバース・ギヤ不可の場合あり 継続走行可能)」または「Drive temperature too high Reduce load (ギヤボックス異常高温 要負荷軽減)」が表示されます。



「Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (ギヤボックスの故障 リバース・ギヤ不可の場合あり 継続走行可能)」

- 影響：  
スムーズな変速ができなくなり、リバース・ギヤに入らないことがあります。
- 処置：  
ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。  
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

\* 日本仕様に設定はありません。





### 「Gearbox failure Park vehicle safely (ギヤボックスの故障 車を安全な場所に停めて下さい)」

- 影響：  
次に停車するまでは走行が可能です。
- 処置：  
そのまま運転を続行することができません。直ちに安全な場所に停車してください。ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。  
車両をけん引しなければならない場合は：「けん引」(249ページ)を参照してください。



### 「Drive temperature too high Reduce load (ギヤボックス異常高温 要負荷軽減)」

- 影響：  
車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。
- 処置：  
例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。警告が消えるまでセレクター・レバーをNの位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
- ▷ 「走行制限プログラム」(154ページ)を参照してください。

## ギヤ・ポジション・ディスプレイ

現在締結しているギヤが表示されます。

## I- 燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

燃料の品質および給油量に関するインフォメーション：

- ▷ 「充填容量」(257ページ)を参照してください。

燃料および給油に関するインフォメーション：

- ▷ 「燃料の給油」(215ページ)を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

### 燃料残量警告灯

タンク内の燃料残量が約10リットルを下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、「Car & Info」ディスプレイの警告灯が点灯します。

- ▷ 最寄りの給油所で給油してください。

### 知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▷ 警告灯が点灯した場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：

- ▷ 「エミッション・コントロール・システム」(214ページ)を参照してください。

## J- フィラー・フラップ位置の表示

燃料および給油に関するインフォメーション：

- ▷ 「燃料の給油」(215ページ)を参照してください。

## K- バッテリー充電状態の表示

イグニッションがONのとき、高電圧バッテリーの充電状態が表示されます。高電圧バッテリーの充電状態は、緑色の充電バーの本数により表示されます。高電圧バッテリーが完全に充電されると、すべての充電バーが緑色になります。

高電圧バッテリーの充電に関するインフォメーション：

- ▷ 「高電圧バッテリーの充電」(191ページ)を参照してください。

## L- 充電ポート位置の表示

高電圧バッテリーの充電に関するインフォメーション：

- ▷ 「高電圧バッテリーの充電」(191ページ)を参照してください。

## バッテリー/オルタネーター - 12Vシステム



### 警告メッセージ

車両電気リカル・システムの電圧が著しく低下すると、「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージ「Generator fault Park vehicle safely (故障ジェネレーター 停車して下さい)」が表示されます。

- ▷ 安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。

「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

### 考えられる原因

- バッテリー充電システムの故障

## チェック・エンジン (エミッション・コントロール)



### 警告灯

エミッション・コントロール・システムは、排気ガス中の有害物質が増加する原因となるような故障や、それに起因した損傷が引き起こされる前に、排気に関連するシステムの不具合を検出します。

不具合が検出されると、インストルメント・パネルの警告灯が点灯または点滅します。

また不具合の内容が、コントロール・ユニットのフォルト (故障) メモリーに保存されます。

警告灯は点灯し続けているが、追加の警告メッセージが表示されない場合は、最寄りのポルシェ正規販売店まで車両を走行させることができます。

インストルメント・パネルの警告灯は、イグニッションをONにするとチェックのために点灯し、エンジンが始動すると約1秒後に消灯します。

エミッション・コントロール・システムの部品が損傷する原因となるような作動状態(エンジンの失火など)が発生すると、警告灯が点滅します。

- ▷ 警告灯が点滅する場合は、直ちにアクセル・ペダルから足を放し、エンジンにかかる負荷を小さくしてください。

エンジンやエミッション・コントロール・システム (触媒コンバーターなど) の損傷を避けるために：

- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 知識

エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

アクセル・ペダルから足を放しても警告灯が点滅を続ける場合は、エミッション・コントロール・システムがオーバーヒートしている可能性があります。損傷する恐れがあります。

- ▷ 直ちに安全な場所に停車してください。高電圧バッテリーが十分に充電されている場合は、適切な駐車スペースまで電動モーターのみで走行できます。
- ▷ エンジンをOFFにしてください。
- ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

### 警告音

インストルメント・パネルには警告音を発するスピーカーが装備されています。

このスピーカーに不具合が生じると、「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージ「Fault sound output instrument cluster - ParkAssist (警告音故障 メーターパネル/パーキング・アシスタント)」が表示されます。

このときは、スピーカーが警告音を発することができません。

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

## 「Car & Info」ディスプレイの操作

「Car & Info」ディスプレイでは、内燃エンジン/電動モーターでの走行距離、内燃エンジンの平均燃費など様々な車両情報の確認、オイル・レベルやタイヤ空気圧の点検、サービス・インターバルの表示、ストップウォッチの使用などが行えます。

更に、PCMの「CAR (車両)」メニューでは車両の設定を変更することもできます。

この取扱説明書のみで、すべての機能を詳細に説明することはできません。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。



警告

運転中の「Car & Info」ディスプレイの操作

運転中に「Car & Info」ディスプレイの操作、設定の変更を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限り、運転中の操作を行ってください。
- ▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停車してから行ってください。

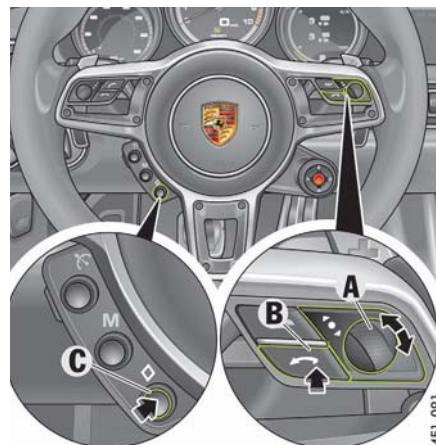
4FF\_724



「Car & Info」ディスプレイ

### i インフォメーション

「Car & Info」ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。また、タイヤ空気圧モニタリング・システムの設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。



4F1-091

## 基本操作

「Car & Info」ディスプレイは、ロータリー・ノブA、バック・ボタンB、MFSボタンCで操作してください。

- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」(101ページ)を参照してください。

## メニュー、機能、設定の選択

- ▷ ロータリー・ノブAを上方向または下方向に回してください。

## 選択の決定(Enter)

- ▷ ロータリー・ノブAを押してください。

## 1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▷ ボタンB(バック・ボタン)を押してください。

## MFSボタンのパーソナル設定

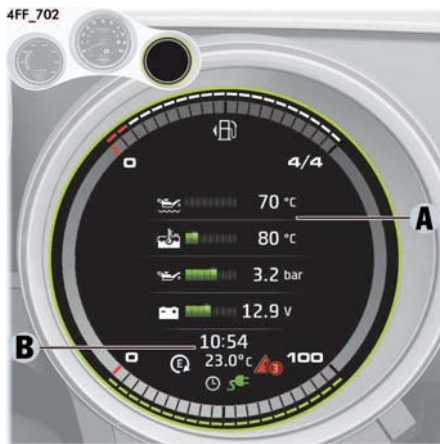
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)機能または「Car & Info」ディスプレイの機能をPCMの「CAR (車両)」メニューでMFSボタンに割り当てることができます。

MFSボタンのパーソナル設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」(101ページ)を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)に関するインフォメーション：

- ▷ 「インフォテイメント」(85ページ)を参照してください。



A - インフォメーション・エリア  
B - 下部ステータス・エリア

## 「Car & Info」ディスプレイの表示エリア インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリアAには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニューを選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

インフォメーション・エリアに表示する項目は個別に設定できます。

## 下部ステータス・エリア

下部ステータス・エリアBには、ハイブリッド情報、時刻、外気温度、現在の警告、車両メッセージなどの基本情報が常に表示されます。

「Car & Info」ディスプレイの変更に関するインフォメーション：

- ▷ 「インストール・パネルの設定」(100ページ)を参照してください。

## メイン・メニューからの機能の作動/ サブ・メニューの表示/設定メニューへのアクセス

ステアリング・ホイールのロータリー・ノブAを押すと、そのとき選択されているメイン・メニュー項目に応じて、サブ・メニュー、その他の機能、または設定オプションなどを表示できます。

1. メイン・メニューを選択し、決定してください。
2. 機能、サブ・メニュー、設定オプションを選択し、決定してください。

## CAR (車両) メニュー

メイン・メニュー「Car (車両)」には、様々な車両情報を表示することができます。

1. メイン・メニュー：「Car (車両)」  
を選択してください。

車両情報の表示は、個別に設定ができます。

車両メニューの設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「「CAR & INFO」ディスプレイの表示項目を変更する」(100ページ)を参照してください。

### 車両情報の表示

メイン・メニュー「Car (車両)」の下にあるサブ・メニュー「Info (情報)」では、未解決の警告メッセージ、近い将来のサービス・インターバル情報を呼び出すことができます。

1. メイン・メニュー：「Car (車両)」  
> 「Info (情報)」を選択し、  
決定してください。

### メッセージの表示

現在までに発生したすべての警告メッセージや車両メッセージ (最大9件のメッセージ) を「Car & Info」ディスプレイに表示できます。下部のステータス・エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

1. メイン・メニュー：「Car (車両)」  
> 「Info (情報)」
2. 「Messages (メッセージ)」を選択し、  
決定してください。

### サービス・インターバルの表示

走行距離カウンターが、次のメンテナンス・サービス (点検) の時期を表示します。

1. メイン・メニュー：「Car (車両)」  
> 「Info (情報)」
2. 「Service (メンテナンス)」  
を選択し、決定してください。
3. 任意のサービス・インターバルを選択し、  
決定してください。

選択できるサービス・インターバル：

- 「Service (メンテナンス)」
- 「Interm. service (中間メンテナンス)」
- 「Oil change (オイル交換)」

## エンジン・オイル・レベルの表示と測定

### 知識

潤滑が不十分な場合、またはエンジン作動中にエンジン・オイルを補充した場合、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▷ エンジン・オイルの補充は、必ずイグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▷ 毎回、給油する前にオイル・レベルを点検してください。
- ▷ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。



### オイル・レベルの警告



オイル・レベルが低くなると、「Car & Info」ディスプレイのオイル警告灯が知らせます。

- ▷ 直ちにエンジン・オイルを補充し、オイル・レベルを測定してください。
- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

### オイル・レベルの測定条件：

- 車両を平坦な場所に駐車してください。
- エンジンを作動温度に達した状態にしてください(エンジン油温70°C)。
- レース・サーキットなどでダイナミックな走行を行った後、または停車中にアクセル・ペダルを数回踏んだ場合は、平坦な場所でエンジンを数分間アイドリングさせてください。

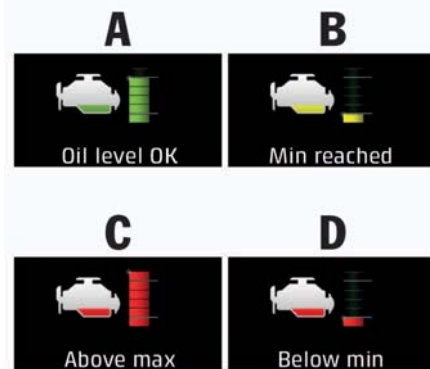
### オイル・レベルの測定

1. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
2. PDKセクター・レバーをNの位置にシフトしてください。
3. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
4. エンジン回転数が3,000rpmに達するまで、アクセル・ペダルを短く踏んでください。再びアクセル・ペダルから足を放してください。車両のアイドル回転数が1,500rpmまで上昇します。
5. オイル・レベルの測定が終わり、エンジン回転数が自動的に約950rpmに低下するまでお待ちください。
6. 「Car & Info」ディスプレイでオイル・レベルを確認してください。

### 「Car & Info」ディスプレイでオイル・レベル測定機能を選択する

1. メイン・メニュー：「Car (車両)」
  - > 「Oil measurement (オイル・レベル測定)」を選択し、決定してください。

4FF\_725



オイル・レベル表示例

- A - オイル・レベルOK
- B - 最低オイル・レベルに達している
- C - オイル・レベルが上限を超えている
- D - オイル・レベルが下限を下回っている

### オイル・レベルの測定結果

オイル測定メニューでは、測定したオイル・レベルがセグメント(階層)で表示されます。

セグメントが最上部まで緑色で表示されている場合(イラストA)は、オイル・レベルが上限(Max)まで達しています。

- ▷ セグメントが最上部まで表示されていない場合は、エンジン・オイルを補充してください。

最下部のセグメントが黄色で表示されている場合(イラストB)は、オイル・レベルが下限(Min)まで低下しています。

「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「Oil level minimum reached Refill oil (油量最低ラインオイル要充填)」が表示されます。

- ▷ 早急にエンジン・オイルを補充してください。

最下部のセグメントが赤色で表示されている場合(イラストD)は、オイル・レベルが下限(Min)を下回っています。

「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「Oil level below min. Refill oil at once Do not drive on (油量最低以下 要オイル充填 継続走行不可)」が表示されます。

▷ 早急にエンジン・オイルを補充してください。

### エンジン・オイルの補充量

オイル・レベル・セグメント表示の下限(Min)と上限(Max)の差は約1.2リットルです。

▷ 上限(Max)を超えてエンジン・オイルを補充しないでください。

▷ エンジン・オイルの補充は、必ずイグニッションをOFFにしてから行ってください。

セグメントが上限まで赤色で表示されている場合(イラストC)、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを意味します。オイル・レベルが上限を超えていると排気ガスが青白い色になり、過剰なオイルの量や外的要因によって、長期的には触媒コンバーターを損傷する原因になります。

オイルの補充量が多すぎたときは、「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「Oil level above maximum Possible to drive on (油量最高ライン超過 継続走行可能)」が表示されます。

▷ 次の機会にオイル量を適正に戻してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

\* 日本仕様に設定はありません。

### エンジン・オイル補充後、またはサービス・カバーを開いたときのオイル・レベルの測定

エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約1分間アイドリングした後測定可能になります。

エンジン冷間時にサービス・カバーを開くと(エンジン・オイルを補充するためなど)、オイル・レベルが一定時間表示されません。「Car & Info」ディスプレイに「Oil level meas. not ready. Driver's Manual (オイル・レベル測定の準備ができていない、取扱説明書を参照)」のメッセージが表示されます。

▷ エンジン・オイルを補充後、直ちにオイル・レベルを測定してください。

▷ オイル・フィルター・キャップが開いているときは、エンジンを始動しないでください。

▷ 「エンジン・オイルの補充」(212ページ)を参照してください。

### 故障

オイル・レベル・インジケーターが故障すると、「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「Failure Oil level measurement (故障オイル・レベル測定)」が表示されます。

### その他の車両情報の表示

メイン・メニュー「Car (車両)」の「Display (表示)」サブメニューには、追加車両情報を表示することができます。

1. メイン・メニュー: 「Car (車両)」  
> 「Display (表示)」を選択し、  
決定してください。

利用可能なディスプレイ:

- 「Main (メイン)」

エンジン油温、クーラント温度、油圧、および車両電気システム・システムの電圧に関する情報を提供します。

- 「E-Power (Eパワー)」

電動モーターおよび内燃エンジンの走行可能距離、高電圧バッテリーの充電状態、および現在の充電状態での充電時間に関する情報を提供します。

- 「Navi (ナビ)」\*

目的地への到着時刻、目的地までの走行時間、目的地までの距離、およびGPS標高に関する情報を提供します。

- 「Info (情報)」

現在時刻、日付、外気温度、および高電圧バッテリーの充電状態(%)に関する情報を提供します。

- 「Individual (個別)」

「Car (車両)」メニューでは、様々な車両情報の中から4種類を選び出し、ディスプレイの各エリアに個別に割り当てることができます。「CAR & INFO」ディスプレイの表示項目を変更する(100ページ)を参照してください。

### i インフォメーション

車両情報の1つの項目を複数のディスプレイ・エリアに同時に割り当ててはできません。



## トリップ・メニュー

メイン・メニュー「Trip (トリップ)」では、以下のドライビング・データの呼び出しとリセットができます。

- 走行時間
- 走行距離
- 平均燃費
- 平均車速

ハイブリッド・モードのドライビング・データを表示できます：

- ▷ 「電動モーター走行のデータを表示する」(187ページ)を参照してください。

1. メイン・メニュー：「Trip (トリップ)」を選択してください。

## ドライビング・データを表示する

以下のドライビング・データが利用できます。

1. メイン・メニュー：「Trip (トリップ)」
2. 「Since (最新)」または「Total (累積)」または「To destination (目的地まで)」\*または「E-Trip since (ハイブリッド・モードの走行データ)」を選択し、決定してください。

選択できるドライビング・データの種類：

- 「Since (最新)」  
現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
- 「Total (累積)」  
累積したドライビング・データです。手動でリセットするまでデータが蓄積されます。イグニッション・キーを抜いてもデータがリセットされません。
- 「To destination (目的地まで)」\*  
ナビゲーション目的地までのドライビング・データです。  
ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。
- 「E-trip since (ハイブリッド・モードの走行データ)」  
「電動モーター走行のデータを表示する」(187ページ)を参照してください。

## ドライビング・データをリセットする

選択したドライビング・データをリセットできます。

1. メイン・メニュー：「Trip (トリップ)」
2. 任意のドライビング・データを選択し、決定してください。
3. 「Reset (リセット)」を選択し、決定してください。

\* 日本仕様に設定はありません。



## タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）

タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)は4輪すべてのタイヤ空気圧とタイヤ温度を常時監視し、空気圧が異常に低下したときはインストルメント・パネルの表示により運転者に警告します。

ただし実際のタイヤ空気圧は、ホイールにて手動で調整しなければなりません。

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧 (20°C)」(255ページ)を参照してください。



警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。タイヤ空気圧モニタリング・システムには、様々な利点があります。しかしインストルメント・パネル・ディスプレイの設定を常に更新したり、タイヤ空気圧を適正に維持することは運転者の責務です。

▷ タイヤ空気圧が適正であることを確認してください。



警告

突発的なタイヤ損傷

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、空気圧低下の原因となる自然放散や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。その一方、突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。



警告

タイヤ空気圧の不足

タイヤ空気圧が不足すると車両の走行安全性が低下するのみでなく、タイヤやホイールを損傷する恐れがあります。

▷ 赤色のタイヤ空気圧警告が表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、タイヤの損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

▷ いかなる場合も、タイヤの不具合を放置したまま運転を続けしないでください。

▷ パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離移動のみに使用してください。

このときの最高許容速度は80km/hです。

▷ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。

▷ 不具合があるタイヤは、直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。

**いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。**

▷ タイヤ空気圧モニタリング・システムに不具合が発生した場合（ホイール・トランスミッターの故障など）、直ちにポルシェ正規販売店で修理を受けてください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムに不具合があると、空気圧を全く監視できない場合と、部分的に監視できる場合があります。

▷ 「Car & Info」ディスプレイへの入力情報が不足していると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

タイヤ空気圧を補正するときは、「TPM（タイヤ空気圧）」メイン・メニューの「Fill info（充填情報）」ディスプレイに表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用してください。

▷ パンク等の不具合が発生していなくとも、タイヤ空気圧は徐々に低下します（自然放散）。この場合も、インストルメント・パネルに黄色の空気圧警告が表示されます。次の機会に空気圧を点検してください。

## タイヤ空気圧モニタリング・システムの概要

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

- 停車中および走行中の現在のタイヤ空気圧を表示します。
- 空気圧の低下を2段階（黄色/赤色）で警告します。
- 「TPM（タイヤ空気圧）」メニューでは、停車時に「Fill info（充填情報）」（規定値との差（補充する空気圧）の表示）および「Performance（パフォーマンス）」の設定が行えます。



「Car & Info」ディスプレイのタイヤ空気圧表示

## 「Car & Info」ディスプレイでタイヤ空気圧機能を選択する

### 1. メイン・メニュー：「TPM (タイヤ空気圧)」

「Tyre pressure (タイヤ空気圧)」機能では、4輪すべてについて、温度により変化するタイヤ空気圧（現在の空気圧）を表示します。走行中の温度の上昇に伴うタイヤ空気圧の増加を読み取ることができます。

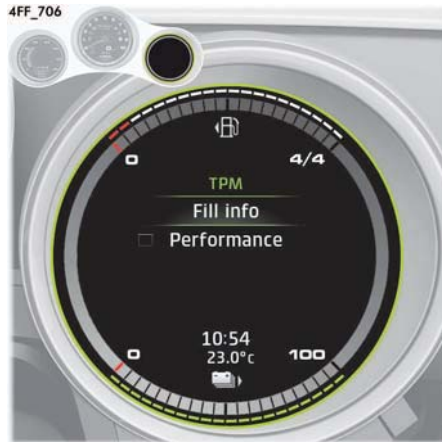
### i インフォメーション

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。

- ▷ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

### i インフォメーション

イグニッションをONにしてから、すべてのタイヤ空気圧が表示されるまでに約1分かかる場合があります。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-」を表示します。



## タイヤ空気圧メニューの現在の設定を見る（停車中のみ）

1. メイン・メニュー：「TPM (タイヤ空気圧)」
2. 「Fill info (充填情報)」を決定してください。



## タイヤ空気圧メニューの充填情報を見る

この表示で補正すべきタイヤ空気圧を読み取ることができます。

1. メイン・メニュー：「TPM (タイヤ空気圧)」
2. 「TPM (タイヤ空気圧)」を決定してください。
3. 「Fill info (充填情報)」を選択し、決定してください。

ディスプレイの各輪の位置に、補正すべきタイヤ空気圧（補充する空気圧）が表示されます。

例：右フロント・タイヤの位置に「-0.1bar」と表示された場合は、このタイヤに0.1barの空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▷ タイヤ空気圧を補正するときは、「TPM (タイヤ空気圧)」メイン・メニューの「Fill info (充填情報)」に表示される空気圧、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用してください。

タイヤをまだ「登録」していない場合、現在の空気圧差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの登録に関するインフォメーション：

- ▷ 「システムの登録」(66ページ)を参照してください。

## パフォーマンス/標準プレッシャーの選択

270km/hまでの車速では、走行性能を増すためにタイヤ空気圧を減圧することができます（最適な接地圧配分）。

「Performance (パフォーマンス)」を選択した場合、空気圧をモニターしているとき、TPMシステムは自動的に低いプレッシャー値を使用します。

「Performance (パフォーマンス)」を選択解除し、標準プレッシャーを選択している場合は、最高速度まで適切な標準規定空気圧が自動的にモニターされます。

1. メイン・メニュー：「TPM (タイヤ空気圧)」
2. 「TPM (タイヤ空気圧)」を決定してください。
3. 「Performance (パフォーマンス)」を選択してください。

パフォーマンス・プレッシャーについては、テクニカル・データを参照してください。

または

「Performance (パフォーマンス)」を選択している場合、「Fill info (充填情報)」を参照してください。



### パフォーマンス・プレッシャー車速警告

設定したパフォーマンス・プレッシャーの制限速度を超え、タイヤ空気圧が危険限界を下回ると、インストルメント・パネルに警告メッセージが表示されます。



**警告**

パフォーマンス・プレッシャーでの制限速度を超過して走行する

パフォーマンス・プレッシャーでの制限速度を超過して走行すると、タイヤに修復不可能な損傷を与えます。

- ▷ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- ▷ 高速走行するときは、必ずタイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

## システムの登録

タイヤ/ホイールまたはホイール・トランスミッターを交換すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。

タイヤ登録のプロセスは、車両が動いているとき（速度が25km/h以上のとき）のみ実行されます。

タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。このプロセスを実行中は、インストルメント・パネル・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧は表示されません。

- 「TPM (タイヤ空気圧)」機能のディスプレイに「-」が表示されます。
- 「TPM (タイヤ空気圧)」メイン・メニューの「Fill info (充填情報)」に、冷間時(20°C)のタイヤ空気圧が表示されます。

タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

- ▷ 「Fill info (充填情報)」ですべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- ▷ 必要に応じてタイヤ空気圧を規定空気圧（空気圧の差「0.0」）に調整してください。

## タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯および警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階（黄色/赤色）で異常を知らせます。

4FF\_709



#### 黄色の「Fill air（空気を充填）」警告

タイヤ空気圧が**0.3～0.5bar**不足しています。タイヤ空気圧警告は、空気圧が不足しているタイヤを特定し、補充すべき空気圧を表示します。

▷ 次の機会に空気を充填してください。

タイヤ空気圧警告灯は次のような状況で表示されます：

- 停車してイグニッションをOFFにしたときに約10秒間、**または**
- イグニッションを再度ONにしたとき

イグニッションをONにすると警告を確認できます。

タイヤ空気圧を補正した（空気圧の差「**0.0**」）場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

4FF\_710



#### 赤色の「Tyre pressure（タイヤ空気圧）」警告

速度が**160km/h以下**のときは：

- タイヤ空気圧が**規定空気圧より20%**または**少なくとも0.5bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。

速度が**160km/h以上**のときは：

- タイヤ空気圧が**少なくとも0.4bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。
- ▷ タイヤ空気圧警告が表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がない点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行い、タイヤ空気圧を適正値に調整してください。

このタイヤ空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。タイヤ空気圧を補正した（空気圧の差「**0.0**」）場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。



### 「Tyre pressure (タイヤ空気圧)」速度警告

速度が270km/h以上のときは：

- タイヤ空気圧が少なくとも0.3bar不足しています。走行安全性が低下して危険です。
- ▷ タイヤ空気圧警告が表示された場合は、この警告が消えるまで車速を270km/h以下に落としてください。  
高速で走行する場合、タイヤ空気圧を規定空気圧（空気圧の差「0.0」）まで補充してください。

パンク修理剤（シーラント）に関するインフォメーション：

- ▷ 「タイヤ・シーラントの充填」（236ページ）を参照してください。

### 警告灯

以下の場合インストルメント・パネルの警告灯が点灯します：

- 空気圧の低下を検出した場合（警告灯：点灯し続ける）
- タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障、または一時的な不具合が生じた場合（警告灯：60秒間点滅し、その後点灯し続ける）
- 新しく装着したホイール/ホイール・トランスミッターを学習している場合、またはホイールを認識できない場合（警告灯：60秒間点滅し、その後点灯し続ける）

インストルメント・パネルのディスプレイに警告メッセージも表示されます。

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」（76ページ）を参照してください。

不具合が解消した場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

### タイヤ/ホイールの交換

- ▷ 新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング・システムの無線式トランスミッターを取り付けなければなりません。  
タイヤ交換の前に、ホイール・トランスミッターのバッテリーの充電状態を点検してください。  
ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

### 温度が上昇することによる空気圧の上昇

物理原則に従い、空気圧は温度変化に応じて変動します。

タイヤ空気圧は10°Cの温度変化につき、約0.1bar増加、または減少します。

## 部分的なタイヤ空気圧の監視

1個または2個のホイール・トランスミッターが故障した場合、その他のホイールのみタイヤ空気圧の監視が行われます。

- タイヤ空気圧警告灯が点灯します。
- インstrument・パネル・ディスプレイにメッセージ「**Restricted monitoring (監視が制限されています)**」が表示されます。
- 故障したホイール・トランスミッターが取り付けられたホイールの空気圧はInstrument・パネル・ディスプレイに表示されません。

## タイヤ空気圧の監視が行えない場合

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

Instrument・パネルの警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

以下の場合、タイヤ空気圧の監視を行うことができません：

- タイヤ空気圧モニタリング・システムに故障がある場合、または2個以上のホイール・トランスミッターが故障している場合
  - タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
  - 登録プロセス中の場合
  - 4個以上のホイール・トランスミッターが検出された場合
  - ワイヤレス・ヘッドホンなどの外部からの電波干渉を受けている場合
  - タイヤの温度が高すぎる場合
- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

4FF\_712



## クロノ・メニュー (ストップウォッチ)

ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。測定したラップ・タイムを保存したり、評価することもできます。

すべてのストップウォッチ・ディスプレイは「Car & Info」ディスプレイの「**Chrono (クロノ)**」メニューから開始/停止できます。

「Car & Info」ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷ 「「CAR & INFO」ディスプレイの操作」(57ページ)を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**Chrono (クロノ)**」を選択し、決定してください。

## i インフォメーション

ストップウォッチ作動中に「**Chrono (クロノ)**」メニューから抜けても、計測は続きます。

ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。

ストップウォッチをゼロにリセットするには、「**Chrono (クロノ)**」メニューの「**Reset (リセット)**」を選択してください。

ストップウォッチのリセットに関するインフォメーション：

- ▷ 「ストップウォッチ・タイムのリセット」(70ページ)を参照してください。



- A - 周回したラップ数  
 B - 現在のストップウォッチ時間  
 C - サークル・ディスプレイ：現在のラップ・タイムと基準タイムとの比較

## 計時の開始

1. メイン・メニュー：「Chrono (クロノ)」
2. 「Start (開始)」を選択し、決定してください。

現在のストップウォッチ・タイムBは車両のすべてのストップウォッチ・ディスプレイに同時に表示されます。

## ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムをラップ・タイムとして保存できますが、ストップウォッチは停止しません。

1. メイン・メニュー：「Chrono (クロノ)」
2. 「Round (周回)」を選択し、決定してください。

ラップ・カウンターの値Aが1ずつ増えます。最速コンプリート・ラップのタイムが参照値として一時的に保存されます。ストップウォッチ・タイムBとサークル・ディスプレイCの色が変更されることによって、現在のラップ・タイムが参照値より速いか、遅いか、または同一かを表します。

## i インフォメーション

参照値がまだ保存されていない場合、参照タイムは表示されません。

1回のセッションで最高63ラップを保存することができます。

## 中間ラップの保存

中間タイムを保存できますが、ストップウォッチは停止しません。

1. メイン・メニュー：「Chrono (クロノ)」
2. 「Int. (中間)」を選択し、決定してください。

中間タイムは、「Car & Info」ディスプレイに短時間表示されます。保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

## 計時の停止

ストップウォッチはいつでも止めることができます。

1. メイン・メニュー：「Chrono (クロノ)」
2. 「Stop (停止)」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイムBが停止します。

## 計時の継続

ストップウォッチを停止後、再開することができます。

1. メイン・メニュー：「Chrono (クロノ)」  
> 「Stop (停止)」
2. 「Cont. (継続)」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイムBが継続します。

## ストップウォッチ・タイムのリセット

計時をゼロにリセットすることができます。

1. メイン・メニュー：「Chrono (クロノ)」  
> 「Stop (停止)」
2. 「Reset (リセット)」を選択し、決定してください。

すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。



4FF\_713



## G-Forceメニュー

「G-Force (Gフォース)」メイン・メニューに、現在の横および縦方向の加速度が円形の図によって表示されます。

最大の横および縦方向の加速度が「Maximum g-force (Gフォース最大)」サブメニューに表示されます。

この数値はメニュー項目「Reset (リセット)」を選択するとリセットできます。

1. メイン・メニュー:「G-Force (Gフォース)」
2. 「Maximum g-force (Gフォース最大)」を決定してください。
3. 「Reset (リセット)」を選択し、決定してください。

4FF\_714



## Rangeメニュー

「Range (走行可能距離)」メイン・メニューには、燃料残量での走行可能距離および燃費に関する重要な情報が表示されます:

- 内燃エンジン  
燃料残量での走行可能距離(km)および平均燃費(l/100km)
- モーター・ジェネレーター/高電圧バッテリー  
電動モーターによる走行可能距離(km)

## Boostメニュー

ブースト表示に関するインフォメーション:

- ▷ 「F - Eブースト」(187ページ)を参照してください。

## 「Speed & Assist」ディスプレイの操作

車両の装備仕様により、「Speed & Assist」ディスプレイに制限速度の表示、任意の制限速度の設定、リフト機能の表示などが行えます。更に、PCMの「CAR (車両)」メニューで「Speed & Assist」ディスプレイの設定を変更することもできます。

この取扱説明書のみで、すべての機能を詳細に説明することはできません。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

### ⚠ 警告

運転中の「Speed & Assist」ディスプレイの操作

運転中に「Speed & Assist」ディスプレイの操作や設定を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

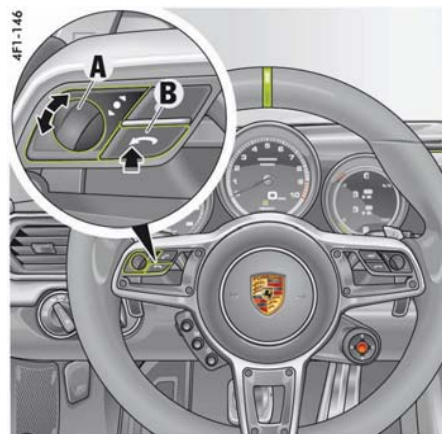
- ▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停車してから行ってください。



「Speed & Assist」ディスプレイ

### i インフォメーション

「Speed & Assist」ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。一部のメニューは停車中のみ利用できます。



## 基本操作

「Speed & Assist」ディスプレイは、ロータリー・ノブAおよびバック・ボタンBで操作してください。

- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」(101ページ)を参照してください。

### メニュー、機能、設定の選択

- ▷ ロータリー・ノブAを上方向または下方向に回してください。

### 選択の決定(Enter)

- ▷ ロータリー・ノブAを押してください。

### 1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▷ ボタンB (バック・ボタン) を押してください。

\* 日本仕様には設定はありません。

4FF\_726



A - インフォメーション・エリア  
B - 下部ステータス・エリア

## 「Speed & Assist」ディスプレイの表示エリア

### インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリアAに制限速度の交通標識\*が表示されます。車両の装備仕様により、クルーズ・コントロール、任意の制限速度、およびリフト機能の設定をこのエリアに割り当てることもできます。

### 下部ステータス・エリア

下部ステータス・エリアBには、総走行距離、区間走行距離、警告灯などの基本情報が常に表示されます。

「Speed & Assist」ディスプレイの設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「[SPEED & ASSIST] ディスプレイの表示項目を変更する」(100ページ)を参照してください。

## メイン・メニューからの機能の作動/ サブ・メニューの表示/設定メニューへのアクセス

ステアリング・ホイールのロータリー・ノブAを押すと、そのとき選択されているメイン・メニュー項目に応じて、サブ・メニュー、その他の機能、または設定オプションなどを表示できます。

1. メイン・メニューを選択し、決定してください。
2. 機能、サブ・メニュー、設定オプションを選択し、決定してください。

4FF\_715



## 制限速度表示

### 制限速度の設定

必要条件：

- PCM でこの機能が有効にされている必要があります。
- 「Speed & Assist」ディスプレイの設定に関するインフォメーション：  
「[SPEED & ASSIST] ディスプレイの表示項目を変更する」(100ページ)を参照してください。

制限速度を有効にしている場合、制限速度を超えると警告が表示されます。

例えば、法定最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. メイン・メニュー：「Vehicle (車両)」  
  - > 「Limits (制限)」を選択し、決定してください。

## 制限速度の設定

1. メイン・メニュー：「Vehicle (車両)」  
> 「Limits (制限)」
2. 「Limit (制限) 1：---」または  
「Limit (制限) 2：---」を選択し、  
決定してください。
3. 「Current speed (現在の速度)」  
または「-」  
を選択し、決定してください。

現在の速度、または任意の速度を制限速度として設定できます。

## 速度制限機能の作動/解除

1. メイン・メニュー：「Vehicle (車両)」  
> 「Limits (制限)」
2. 「Limit (制限) 1：---」または  
「Limit (制限) 2：---」を選択し、  
決定してください。
3. 「Active (有効)」を選択してください。
4. 選択を決定してください。

4FF\_716



## クルーズ・コントロールの表示

クルーズ・コントロールの機能および操作に関するインフォメーション：

- ▷ 「クルーズ・コントロール」(148ページ)を参照してください。

4F7\_729



## 制限速度の表示\*

ナビゲーション・システムの地図画面および車両の現在のGPS位置を利用して、インストルメント・パネルの「Speed & Assist」ディスプレイに制限速度を表示し、確認することができます。

制限速度表示の作動/解除に関するインフォメーション：

- ▷ 「[SPEED & ASSIST] ディスプレイの表示項目を変更する」(100ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

4FF\_717



## リフト・システムの表示

フロント・アクスル・リフト・システムの機能  
および操作に関するインフォメーション：

- ▷ 「フロント・アクスル・リフト・システム」  
(164ページ) を参照してください。

## 警告と情報メッセージの概要

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する説明を必ず読んでください。

すべての作動条件が満たされた場合のみ、警告メッセージが表示されます。

このため、すべてのフルード・レベルを定期的に点検してください。特にエンジン・オイル・レベルは、給油の前に毎回点検してください。

### 警告メッセージの分類

#### 赤色の警告：

システムの故障を知らせる警告

- ▷ 直ちにポルシェ正規販売店で点検を受けてください(\*)。

#### 黄色の警告：






作動の不具合、またはシステム故障を知らせる警告

- ▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(\*)。







#### 黄色の警告：

インフォメーション・メッセージを知らせる警告

- ▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(\*)。  
またはお客様ご自身で対処してください。


インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	Oil press. too low Park vehicle safely (油圧が低すぎます 停車して下さい)	直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。 「Car & Info」ディスプレイ上で「Oil measurement (オイル・レベル測定)」を選択します。必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 エンジン・オイルの補充は、必ずイグニッションをOFFにしてから行ってください。 オイル・レベルが適正でも警告灯が点灯するときは、運転を続けしないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Fault oil pressure measur. Possible to drive on (故障 油圧測定 継続走行可能)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Oil temp. too high Reduce strain (油温超過 要負荷軽減)	エンジンをOFFにして冷やしてください。オイル・レベルを点検し、必要に応じてオイルを補充してください。 エンジン・オイルの補充は、必ずイグニッションをOFFにしてから行ってください。
	Fault display oil temperature Possible to drive on (故障 表示油温 継続走行可能)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Fault oil level measur. service necessary (故障 オイル・レベル測定 修理が必要です)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*









インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」 および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	No inform. / oil level available now (現在オイル・レベルの情報信号は利用できません)	エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約1分間待った後測定可能になります。エンジン冷間時にサービス・カバーを開くと（エンジン・オイルを補充するためなど）、オイル・レベルが一定時間表示されません。
	Oil level minimum reached Refill oil (油量最低ライン オイル要充填)	早急にエンジン・オイルを補充してください。 エンジン・オイルの補充は、必ずイグニッションをOFFにしてから行ってください。
	Oil level below min. Refill oil at once Do not drive on (油量最低以下 要オイル充填 継続走行不可)	早急にエンジン・オイルを補充してください。 エンジン・オイルの補充は、必ずイグニッションをOFFにしてから行ってください。
	Oil level above maximum Possible to drive on (油量 最高ライン超過 継続走行可能)	次の機会にボルシェ正規販売店でオイル・レベルを適正値に調整してください。*
水温計の表示が最高マークまで動き、警告灯が点灯します。	 Engine too hot Park vehicle to cool down (エンジン温度超過 停車して冷まして下さい)	クーラント温度または油温が高すぎます。 エンジンをOFFにして冷やしてください。 クーラントまたはエンジン・オイルのレベルを点検してください。クーラントまたはエンジン・オイルを、必要に応じて補充してください。
	Refill coolant Observe engine temperature (冷却水要充填 エンジン温度 要監視)	クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
水温計の表示が最高マークまで動き、警告灯が点灯します。	 Refill coolant immediately Do not drive on (すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可)	エンジンをOFFにして冷やしてください。 クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
	Fault cooling system Visit garage (故障 冷却システム 要修理)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
水温計の警告灯が点滅します。	 Fault display Coolant temperature Possible to drive on (故障 表示 冷却水温度 継続走行可能)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Fault Generator Park vehicle safely (故障ジェネレーター 停車して下さい)	安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 運転を続けしないでください。 ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Reduced engine performance Possible to drive on (減少したエンジン出力 継続走行可能)	ボルシェ正規販売店にご相談ください。*

インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	 Fault of the engine control system (故障 エンジン制御)	早急にボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Fault engine control Possible to drive on (故障 エンジン制御 継続走行可能)	早急にボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Battery protection consumer switch off (バッテリー保護 消費装置オフ)	バッテリーの放電を防ぐため、様々なコンフォート機能への電源供給が停止されます。
	 Battery protection was active during parking (停車中にバッテリー保護が有効でした)	
	 Please start engine manually (エンジンを手動で始動して下さい)	イグニッションを使用して、手でエンジンを始動してください。
	 Press brake Start engine (ブレーキペダルを踏んでエンジン始動)	PDKトランスミッション： 始動時はブレーキを踏んでください。
セレクター・レバー位置表示が点滅	 Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (ギヤボックスの故障リバース・ギヤ不可の場合あり継続走行可能)	スムーズな変速ができなくなり、リバース・ギヤに入りません。 早急にボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
セレクター・レバー位置表示が点滅	 Gearbox failure Park vehicle safely (ギヤボックスの故障 車を安全な場所に停めて下さい)	インストルメント・パネルにセレクター・レバーの位置が表示されません。 次に停車するまでは走行が可能ですが、そのまま運転を続行することはできません。直ちに安全な場所に停車してください。取扱説明書の「けん引」のセクションをお読みください。ボルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。
	 Drive temperature too high Reduce load (ギヤボックス 異常高温 要負荷軽減)	車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。 エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。 警告が消えるまでセレクター・レバーをNの位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
	 Brake fluid level Park vehicle safely (ブレーキ液レベル 車を安全な場所に停めて下さい)	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けしないでください。 ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Brake force distr. Park vehicle safely (ブレーキ・バランス 車を安全な場所に停めて下さい)	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けしないでください。 ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ABS/PSM loss Possible to drive on (故障 ABS/PSM 継続走行可能)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Wear limit Change brake pads (摩耗限度 ブレーキパッド要交換)	直ちにボルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。 ボルシェ正規販売店にご相談ください。*













インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
 点滅	 Release parking brake (パーキングブレーキ解除)	エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除してください。
	Press brake pedal (ブレーキペダルを操作)	エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
	 Fault parking brake (故障 パーキング・ブレーキ)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅	 Emergency braking (緊急ブレーキ)	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動しています。
	 PSM loss Possible to drive on carefully (故障 PSM 慎重に走行して下さい)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 PSM off (PSM オフ)	ボルシェ・スタビリティ・マネージメントがOFFになっています。
	 PSM on (PSM オン)	ボルシェ・スタビリティ・マネージメントがONになっています。
	 Sport mode not available (スポーツモードは使用できません)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Spoiler loss Reduce speed (故障 スпойラー 要減速)	走行安定性が損なわれます。慎重な運転を心がけてください。 ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Front vehicle not lowered (フロント・アクスルが下がりません)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Lift not available (故障 リフト・システム)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
燃料計の警告灯が点灯	 Mind remaining distance (目的地までの距離に注意して下さい)	最寄りの給油所で給油してください。
	 Fault fuel system Visit garage (故障 燃料システム 要修理)	給油ができることを確認するために、フィルター・フラップのリリース・ボタンを再度押してください。ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Fault tank display service necessary (故障 燃料計表示 修理が必要です)	ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Close filler flap (フィルター・フラップを閉じて下さい)	フィルター・フラップを押し込み、確実に閉じます。
	 Fasten seat belt (安全ベルトを装着します)	車両に乗車したら、安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用してください。

インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	Fault Airbag system (故障 エアバッグシステム)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Loss of airbag Pilot lamp Service necessary (故障 エアバッグ表示灯 要修理)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Steering locked (ステアリングがロックされています)	ステアリング・ホイール・ロックが故障しています。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Relieve steering (ステアリングを解除します)	ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	Steering wheel locks with closure (完了するとハンドルがロックされます)	車両のロック
	Fault of the steering lock mechanism (故障 ステアリングロック)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Loss of steering support. Increased effort (故障 ステアリングサポート 操作力増大)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Steering support limited Possible to drive on (ステアリングサポート制限中 継続走行可能)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Breakdown rear-wheel steering Take care when driving (故障 リヤアクスルステアリング 慎重に走行して下さい)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Fault rear steering Possible to drive on (故障 リヤアクスルステアリング 継続走行可能)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Remove key from ignition (イグニッションキーを抜いて下さい)	
	Key in luggage space (トランクルーム内にキーがあります)	
	Fault Ignition lock (故障 イグニッションロック)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Ignition lock faulty (イグニッションロック故障)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Replace ignition key battery (車両キー内の電池を交換します)	キーの電池を交換してください。

インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」 および 「Speed & Assist」 ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	 Close doors to lock vehicle (車両をロックするためにドアを閉じて下さい)	車両をロックする前に、すべてのドアとリッドを閉じてください。
	 Chassis Normal selected (シャーシ 標準 選択中)	
	 Chassis Sport selected (シャーシ スポーツ 選択中)	
	 PASM fault Possible to drive on carefully (故障 PASM 慎重に走行して下さい)	ハンドリング性能に悪影響が出ます。状況に応じた速度で運転してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 4WD system loss PSM switched on Possible to drive on (故障 4輪駆動システム PSM作動 継続走行可能)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Fault differential lock Possible to drive on (故障 デフロック 継続走行可能)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Tyre pressure (タイヤ空気圧)	タイヤ空気圧モニタリング・システムが、160km/h以下で走行中の場合は少なくとも20%または0.5bar、160km/h以上で走行中の場合は少なくとも0.4bar、270km/h以上で走行中の場合は少なくとも0.3barの空気圧の低下を検出しました。安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。必要に応じてバンク修理剤で応急処置を行い、タイヤ空気圧を適正値に調整してください。
	 Tyre pressure Reduce speed (タイヤ空気圧 速度を低減します)	現在の空気圧に対して走行速度が高すぎます。タイヤ空気圧を規定空気圧まで充填してください。
	 Performance pressure Reduce speed (パフォーマンス・プレッシャー 速度を低減します)	設定したパフォーマンス・プレッシャーの最高速度を超過しています。
	 Fill air (空気を充填)	タイヤ空気圧モニタリング・システムが少なくとも0.3barの空気圧の低下を検出しました。次の機会にタイヤ空気圧を調整してください。
	 No monitoring System is learning (監視システムが学習されていません)	タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。このプロセスを実行中は、ディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。
	 System not active (システムが無効です)	タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Fault of the tyre pressure control (故障 タイヤ空気圧コントロール)	タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Restricted monitoring (監視が制限されています)	1個または2個のホイール・トランスミッターが故障しています。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	 System not active Temporary fault (システムが無効です 短時間の故障)	外部からの干渉 (別のホイール・トランスミッター、ワイヤレス・ヘッドホンなど) またはホイール・トランスミッターのオーバーヒートによるタイヤ空気圧モニタリング・システムの一時的な不具合が発生しています。タイヤ空気圧は監視されません。
	 Signal light switched on (ヘッドライト点灯)	ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しています。
	 Parking light on (パーキング・ライト点灯)	左または右のパーキング・ライトが点灯しています。
	 例: Check front left indicator (左前ウィンカーを点検します)	表示されたライトが点灯していません。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Auto driving light control defective (自動ヘッドライト制御故障)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	 Vehicle lighting fault (故障 車両ランプ)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Rain/light sensor defect Service necessary (雨/光センサー故障 修理が必要です)	ワイパーおよびライトは手動でONにしてください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Fault of the headlamps control system (故障 ヘッドライト制御)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅	 Wiper defect Visit garage (ワイパー故障 要修理)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
例	 Doors open (ドアが開いています)	表示されたドアまたはリッドを閉じてください。
	 Launch Control activated (ローンチコントロールが有効です)	ローンチ・コントロールが作動しています。
	 System fault (システム・エラー)	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 速度を落とし、注意して運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Fault sound output Instrument cluster/ParkAssist (警告音故障 メーターパネル/パーキング・アシスタント)	方向指示灯の音、警告音および距離信号 (パーキング・アシスタントなど) が作動していません。 駐車するときなどは注意してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 Fault sound output ParkAssist (故障サウンド出力 パーキング・アシスタント)	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号などが使用できません。 駐車するときなどは注意してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

インストルメント・パネルのライト	「Car & Info」および「Speed & Assist」ディスプレイの警告メッセージと情報	意味/対処法
	Limit 1 or 2 exceeded (制限1/制限2を越えました)	設定した速度制限1または2を超過しています。
水温計の警告灯が点滅します。	 Fault of the engine control system (故障 エンジン制御)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Outside temp. display defective (外気温度表示故障)	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	例： Service in 1,000 km (1,000 kmでのメンテナンス)	サービス・インジケーター 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、整備手帳に掲載されているサービス・インターバルを優先してください。
	Park vehicle safely (車を安全な場所に停めて下さい)	直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Fault Hybrid system Visit garage (故障 ハイブリッド・システム 要修理)	車両を充電しないでください。必要な場合は車両プラグを車両充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Remove vehicle plug to start (車両プラグを外して始動)	車両プラグを充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
	Driving still possible in E-operation after restart (再始動後に電動走行可能)	燃料タンクが空になると、内燃エンジンを駆動力として利用できません。車両を再始動（イグニッションOFF/ON）した後、バッテリーに充電された電気を使用して電動モーターのみで走行続行可能です。給油後、内燃エンジンが駆動力として再度利用可能になります。
	Only E-operation possible, refuel immediately (電動走行のみ可能、直ちに給油して下さい)	燃料タンクが空になると、内燃エンジンを駆動力として利用できません。バッテリーに充電された電気を使用して電動モーターのみで走行続行可能です。給油後、内燃エンジンが駆動力として再度利用可能になります。
	HV system is not de-energised (高電圧システムの電源が遮断されていません)	いかなる場合も、高電圧システムの作業を行わないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。


## ポルシェ・カー・コネクト\*

スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」を使用して、移動通信ネットワーク経由で車両と接続できます。ここでは、車両固有の情報をスマートフォンから直接呼び出すことができ、選択した設定をアプリによって直接車両で実施することができるようになります。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報は[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)またはポルシェ正規販売店から入手できます。

### プライバシー機能の作動/解除

PCMでお客様の車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信を作動/解除できます。

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」 を選択してください。
3. 「Porsche Car Connect (ポルシェ・カー・コネクト)」を選択してください。
4. 「Privacy (プライバシー)」機能を作動/解除してください。

「Privacy (プライバシー)」機能を作動すると、車両固有の情報がポルシェ・カー・コネクト・アプリに送信されません。そのため、アプリを利用して車両の設定を変更することはできません。

契約が有効でない場合、「Privacy (プライバシー)」機能は使用できません。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリに関するインフォメーション：

- ▷ 更に詳しい情報は[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)またはポルシェ正規販売店から入手できます。

### i インフォメーション

- 「Privacy (プライバシー)」機能を選択していても、故障時、緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどは車両位置に関する情報が送信されます。ポルシェ・カー・コネクト・アプリ機能に関する更に詳しい情報は[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- 車両を他の人に預ける場合は、「Privacy (プライバシー)」機能の作動が可能であることを説明してください。

### i インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。他人の不正なアクセスからデータを保護してください。



警告

走行中の設定と操作

運転中にアプリの操作や設定変更を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▷ 操作や設定は必ず車両を停車してから行ってください。



情報

ポルシェ・カー・コネクト・アプリを使用すると、データは移動通信システムにより送信されるため、モバイル・ネットワーク・プロバイダーから追加費用を請求される場合があります。

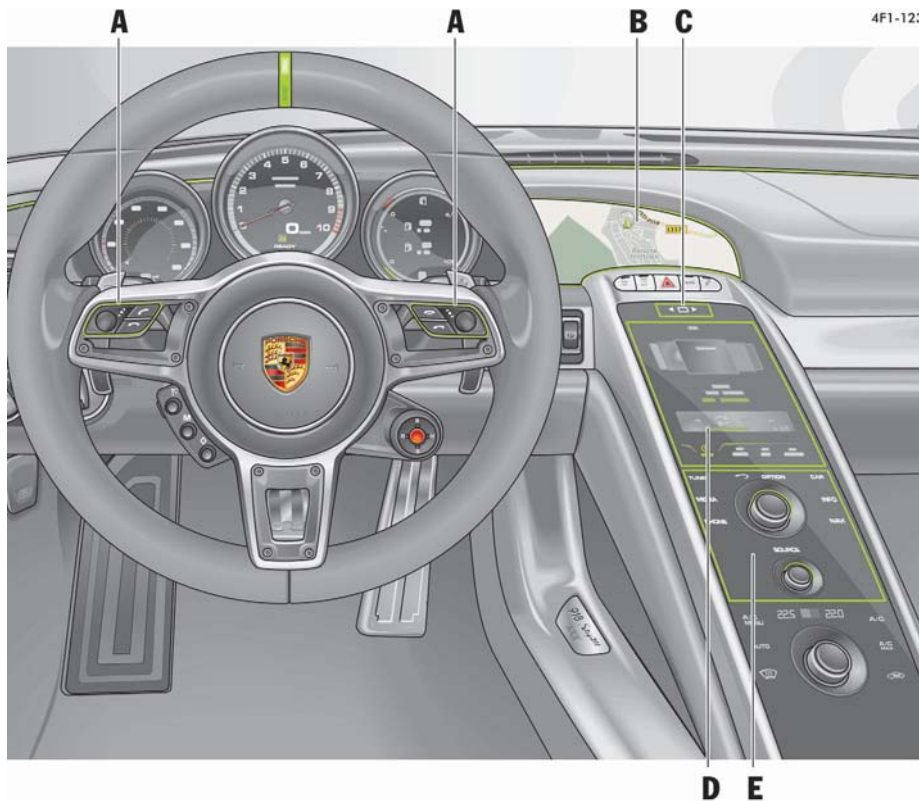
\* 日本仕様に設定はありません。

# インフォテイメント

インフォテイメントの概要 - ポルシェ・ コミュニケーション・マネージメント (PCM) .....	86
<b>PCMメニューの概要</b> .....	89
PCMの操作 .....	90
PCM操作の概要 .....	90
PCMの操作ボタンおよび機能 .....	91
オプション .....	92
地図設定* .....	95
<b>INFO</b> .....	96
ディスプレイ表示項目のカスタマイズ .....	96
システム・バージョン/ライセンス情報の 表示 .....	97
アプリケーション .....	98
<b>CAR (車両)</b> .....	99
Interior (インテリア) メニュー .....	99
Exterior (エクステリア) メニュー .....	102
Vision (視界) メニュー .....	103
Charge (充電) メニュー .....	104
<b>電話</b> .....	106
Bluetooth® .....	106
Bluetooth®ハンズフリー・ユニットの 操作 .....	106
携帯電話で接続を確立する .....	107
電話をかける、受ける .....	108
電話番号を入力する .....	109
電話帳 .....	109
発着信履歴 .....	110
メッセージ .....	112

チューナー .....	116
FMラジオ .....	116
DABラジオ* .....	119
<b>メディア</b> .....	121
メディア・ソース .....	121
メディアの再生 .....	123
<b>エアコン</b> .....	127
お気に入り .....	128
<b>NAVI*</b> .....	130
操作概要* .....	130
ナビゲーション音声案内* .....	130
目的地の入力* .....	130
交通情報(TMC)* .....	135
ルート案内のオプション変更* .....	135
お気に入り地点の登録* .....	138

\* 日本仕様に設定はありません。



## インフォテイメントの概要 - ポルシェ・コミュニケーション・ マネージメント(PCM)

### ステアリング・ホイール、ダッシュ ボード、センター・コンソール

- A 電話、「Speed & Assist」ディスプレイおよび「Car & Info」ディスプレイのコントローラー
- B インフォメーション・ディスプレイ
- C インフォメーション・ディスプレイのコントロール・パネル
- D タッチスクリーン・ディスプレイ
- E PCMコントロール・パネル

\* 日本仕様に設定はありません。





## PCMコントロール・パネルの機能

**A** タッチスクリーン・ディスプレイの各種機能を選択するためのロータリー・プッシュ・ボタン

**B** オーディオ音量、ミュート設定用ロータリー・プッシュ・ボタン

ファンクション・ボタン：

INFO	ディスプレイ、アプリのカスタマイズ
CAR	車両設定
PHONE	電話機能
TUNER	ラジオ(FM、DAB*)
MEDIA	メディア再生 (USB、iPod、携帯電話)
A/C MENU	エアコン設定
NAVI	ナビゲーション*
OPTION	機能別の設定
SOURCE	ソースの選択
	前のメニューに戻る



## タッチスクリーン・ディスプレイ

**A** ステータス・ライン

**B** インタラクティブ/インフォメーション・エリア

**C** メイン・ナビゲーション・エリア

**D** コントローラー



## インフォメーション・ディスプレイ

A 3つのメイン・ビューを含むインフォメーション・ディスプレイ：

「INFO（情報）」

「Map（地図）」\*

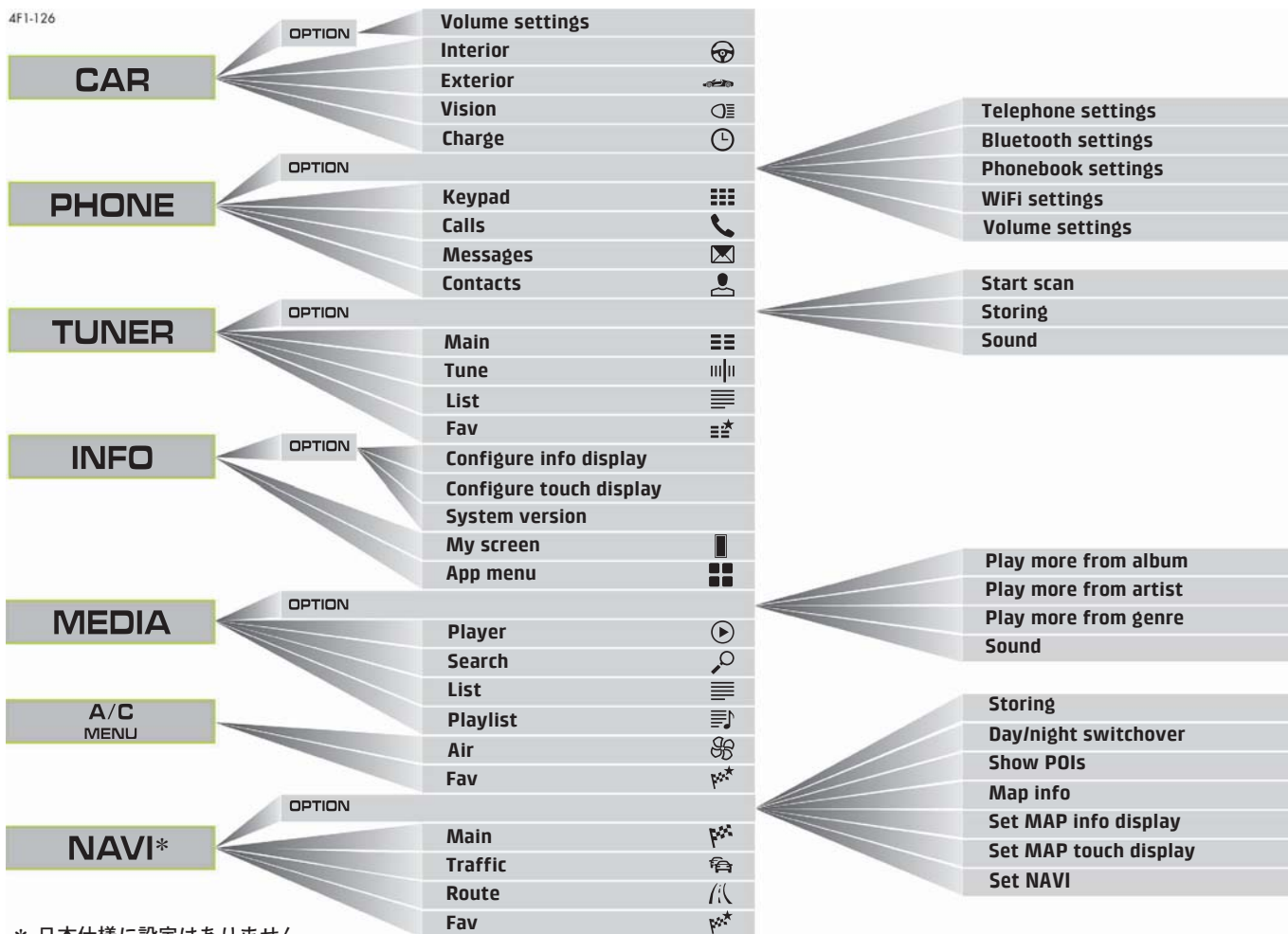
「CAR（車両）」

B インフォメーション・ディスプレイのコントロール・パネル

\* 日本仕様に設定はありません。

# PCMメニューの概要

4F1-126



\* 日本仕様に設定はありません。

## PCMの操作

### i インフォメーション

PCMは日本語表示に対応していません。

## 操作と走行安全性に関する重要なインフォメーション

PCM (ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント) は、ラジオ、サウンド設定、オンボード・コンピューター、ナビゲーション・システム\*、様々なメディアや電話を操作するためのセンター・コントロール・ユニットです。

PCMの操作時に運転者や乗員がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないように、常に以下の安全に関する指示を遵守してください：

### ⚠ 危険

事故を起こす恐れがあります

注意力が散漫となり、運転操作を誤る恐れがあります。

PCMの操作は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限り行ってください。安全を確保できない場合は、車両を安全な場所に停車してからPCMの操作を行ってください。

### ⚠ 危険

ケガをする恐れがあります

携帯電話を爆発性または引火性物質の付近(ガソリン・スタンドなど) で使用しないでください。

ガソリン・スタンドの付近など、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

▷ 常に関連する注意事項を遵守してください。

常に法律および各地域の規定を遵守してください。

### ⚠ 注意

事故を起こす恐れがあります

ナビゲーション・システム\*は、あくまでもドライバーに走行ルートを案内する運転支援システムです。

システムを使用しているときもドライバーには常に周囲の交通状況に注意し、交通規則やその他の関連法規に従って安全運転に努める義務があります。

運転中は様々な交通状況に従ってドライバー自身での判断を行ってください。車両を運転しているときの安全確保については、ドライバーにすべての責任があります。

▷ 常に周囲の交通状況に注意してください。

## PCM操作の概要

### PCMのON/OFF

▷ イグニッションをONにしてください。

PCMは常時作動します。

### Siriボイス・コントロール・システム

▷ マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンを押し続けてください。

### i インフォメーション

Siri音声認識機能は、Siri機能を有効にしたiPhoneを接続した場合にのみ利用できます。

▷ Siriは、米国およびその他の国で登録された米国アップル社の商標です。

## タッチ操作

- **タップ** - ディスプレイを指で触ってすぐに離してください。メニューを選択するとき、入力フィールドに数字や文字を入力するとき、チェックボックスを有効/無効にするときなどに使用します。
- **ホールド (長押し)** - ディスプレイを指で押したままにしてください。ラジオ・メニューで放送局を保存するときなどに使用します。
- **スクロール** - ディスプレイに触れた指を縦にスライドさせてください。リストを手動で上下にスクロールするときなどに使用します。
- **ファースト・スクロール** - 素早く縦にスライドする、またはロータリー・ブッシュ・ボタンを素早く回してください。電話帳など、アルファベット順に並べたリストを手動で上下にスクロールするときなどに使用します。
- **操作を補助するため、文字がオーバーレイ表示されます。**
- **スワイプ** - ディスプレイに触れた指を横にスライドしてください。メニューを切り替えるときに使用します。
- **ドラッグ&ドロップ** - オブジェクトに触れたまま、特定の位置までなぞって指を放してください。「INFO (情報)」メニューでディスプレイの内容 (ウィジェット) を設定するときなどに使用します。
- **ズーム (ピンチイン/ピンチアウト)** - 2本の指でディスプレイに触れたまま、つまむようにして指を狭めてください。地図\*を縮小的时候などに使用します。
- **または**  
2本の指でディスプレイに触れたまま指を広げてください。地図\*を拡大するときなどに使用します。
- **手書き文字認識** - 電話帳を検索するときなどにタッチスクリーン・ディスプレイに指で文字を書くとき認識されます。電話帳を検索するときなどに使用します。この機能が利用できる場合、入力フィールドに☞が表示されます。

## PCMの操作ボタンおよび機能

PCMは2つの画面で構成されています：

- タッチスクリーン・ディスプレイ
- インフォメーション・ディスプレイ



### タッチスクリーン・ディスプレイの要素

タッチスクリーン・ディスプレイは4つのエリアに分かれています。

- A ステータス・ライン**：現在のメニューを表示します。
- B インタラクティブまたはインフォメーション・エリア**：項目を表示します。
- C メイン・ナビゲーション・エリア**：使用可能なサブメニューを表示します。
- D コントローラー**：各ビューで最も重要な機能に直接アクセスできます。

### **i** インフォメーション

グレー表示になっているメニューは使用できません。

### タッチスクリーン・ディスプレイ

タッチスクリーン・ディスプレイはセンター・コンソールにあります。

タッチ操作で以下を操作できます：

- インストルメント・パネルの項目
- インフォメーション・ディスプレイの項目
- タッチスクリーン・ディスプレイの項目
- サウンドの設定

\* 日本仕様に設定はありません。



## インフォメーション・ディスプレイ

インフォメーション・ディスプレイはダッシュボードにあります。

3種類のビューを設定できます：

1. 「INFO (情報)」：3種類の画面のいずれかを選択できます。
  - ▷ 「ディスプレイ表示項目のカスタマイズ」(96ページ)を参照してください。
2. 「Map (地図)」\*：インフォメーション・ディスプレイで「Map (地図)」ビューを選択した場合、コントロール・パネルを使用して拡大することができます。コントロール・パネルFをダブルタップすることにより、タッチスクリーン・ディスプレイを介してインフォメーション・ディスプレイEを拡大することができます。

3. 「CAR (車両)」：5種類のビューを利用できます：

- 車両 ハイブリッド・エネルギー・フロー
- 車両 ハイブリッド・ゼロ・エミッション
- 車両 トリップ
- 車両 充電
- リバース・カメラ

### i インフォメーション

リバース・カメラは、「CAR (車両)」>「OPTION (オプション)」>「Vision (視界)」を有効にした場合にのみ利用できます。

### 画面およびメイン・ビューの移動と選択

- コントロール・パネルF上で左または右にスワイプしてください。この操作でメイン・ビューまたは画面を切り替えることができます。
- コントロール・パネルFをダブルタップしてください：表示可能な画面が呼び出されます。
- コントロール・パネルFを再度ダブルタップしてください：表示画面の選択画面で、表示したい画面を再度ダブルタップすると、その画面が選択されます。

## オプション

各画面の設定は、タッチスクリーン・ディスプレイのOPTIONボタンで変更できます。

## 音量設定

### 音量の調節

- ▷ ロータリー・プッシュ・ボタンBを回してください。音量を調節できます。

### ミュートの設定/解除

- ▷ ロータリー・プッシュ・ボタンBを押してください。

ミュートが設定/解除されます。

以下のメニューで音量を変更できます：

- 再生中のオーディオ・ソースの音量
- 通話中のハンズフリー・システムの音量

### 着信音の音量設定

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」>「Telephone settings (電話設定)」または>「Volume settings (音量設定)」を選択してください。
4. 「Ring tone volume (着信音の音量)」を選択してください。
5. 希望の音量に設定してください。

### 通話音量の調節

通話中に次の操作を行ってください。

- ▷ ロータリー・プッシュ・ボタンBを回してください。通話音量を調節できます。

\* 日本仕様に設定はありません。

## マイク感度の調節

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」  
> 「Telephone settings (電話設定)」  
または  
> 「Volume settings (音量設定)」を選択してください。
4. 「Micro volume (マイクの音量)」を選択してください。
5. 希望の感度に設定してください。

## 通知音の調節

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」  
> 「Telephone settings (電話設定)」  
> 「Message signal sound (通知音)」を選択してください。
4. 希望の音量に設定してください。

## 交通情報番組の音量調節\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set NAVI (ナビの設定)」  
> 「Volume settings (音量設定)」  
> 「Traffic programme (交通情報番組)」を選択してください。
4. 希望の音量に設定してください。

## ナビ音声案内の音量調節\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set NAVI (ナビの設定)」  
> 「Volume settings (音量設定)」  
> 「Navigation directions (ナビ案内)」を選択してください。
4. 希望の音量に設定してください。

## 車速感応式音量調節機能(SDV)の設定

SDV機能は、車両の速度に応じてオーディオ再生音量を自動調節します。

車両の速度に応じた音量調節のレベルを1（音量を少し上げる）～5（音量を大幅に上げる）段階で設定する、または調節機能をOFFにすることができます。

1. CAR ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Volume settings (音量設定)」  
> 「SDV (車速感応式音量調節機能)」を選択してください。
4. 希望の音量に設定してください。

## タッチスクリーン・ディスプレイのボタン操作音のON/OFF

1. CAR ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Volume settings (音量設定)」  
> 「Feedback Touch-Display (タッチディスプレイのフィードバック)」  
有効/無効

## サウンド設定

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Sound (サウンド)」を選択してください。

以下の設定を行うことができます：


- 「Treble (高音調節)」
- 「Bass (低音調節)」
- 「Balance (左右音量調節)」
- 「Loudness (ラウドネス)」

### インフォメーション

サウンド設定は、再生中の音楽ソースごとに適用できます。

音楽ソースはステータス・ラインに表示されます。

### インフォメーション

該当するメイン・ナビゲーション・エリアを選択すると、メニュー「Volume settings (音量設定)」◀および「Sound (サウンド)」を選択できるようになります。

\* 日本仕様に設定はありません。

## テザリング

テザリングとは、PCMと携帯電話とのデータ接続を確立するプロセスのことです。

以下を介して接続できます：

- Bluetooth®
- WiFi
- USB

### i インフォメーション

テザリングを利用すると、追加の携帯電話利用料金が発生する場合があります。

### Bluetooth®を介したテザリングのON/OFF

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」
  - > 「Bluetooth settings (Bluetooth設定)」
  - > 「Bluetooth Tethering (Bluetoothテザリング)」を有効/無効にしてください。

### i インフォメーション

Bluetooth®を介したテザリングには、Bluetooth®とPAN (パーソナル・エリア・ネットワーク) サービスに対応した携帯電話が必要になります。必要に応じて、PAN接続を有効にしてください。

### i インフォメーション

詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

### i インフォメーション

Bluetooth®を介したテザリングを有効にすると、INFOメニューでアプリが利用できます。

### WiFiを介したテザリングの設定

WiFiを介したテザリングには、パーソナル・ホットスポット機能が設定されたWiFi対応機器が必要になります。

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」
  - > 「WiFi settings (WiFi設定)」
  - > 「Internet/Hotspot (インターネット/ホットスポット)」を選択してください。システムが再起動します。これには約30秒かかることがあります。該当するメッセージが表示されます。
4. 「Search & connect to network (サーチ&ネットワーク接続)」を選択してください。利用可能なネットワークが表示されます。
5. 希望のネットワークを選択してください。
6. PCMにネットワーク・パスワードを入力してください。接続が確立されます。

### i インフォメーション

WiFiを介したテザリングを有効にすると、INFOメニューでアプリが利用できます。

### i インフォメーション

WiFiを介したテザリングを利用するには、「WiFi settings (WiFi設定)」でWiFi機能を有効にする必要があります。

### USBを介したテザリングの設定

USBを介したテザリングを行うには、USBケーブルで携帯電話とPCMを接続し、必要に応じて携帯電話のテザリング機能を有効にする必要があります。PCM側で追加設定を行う必要はありません。

### i インフォメーション

この機能は、Android OS搭載の一部の携帯電話にのみ対応しています。

▷ 詳しい情報はポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### i インフォメーション

技術は急速に進化しているため、適合性を常に保証することはできません。

### i インフォメーション

詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。



## 地図設定\*

インフォメーション・ディスプレイおよびタッチスクリーン・ディスプレイの地図ビューを調整できます。

ルート案内をしていないときは車両の現在地が表示されます。目的地までのルートも表示されます。

地図ビューでは、車両の現在地が三角の矢印で表示されます。

矢印の先端は進行方向を示します。

推奨ルート、道路、河川、鉄道、森林地帯や湖などが色付きのラインや領域で表示されます。細部の精度は、地図の縮尺設定によって異なります。

### 3Dビューの設定\*

3Dビューを有効にすると、インフォメーション・ディスプレイに3次元地図ビューが表示されます。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set MAP info display (地図情報ディスプレイの設定)」を選択してください。
4. 「3D (3D表示)」を有効/無効にします。

## オートズームの設定\*

オートズーム機能を有効にすると、インフォメーション・ディスプレイに現在のルート・セクション全体が表示されます。

現在のルート・セクションを通過するとすぐに、次のルート・セクションが地図上に表示されます。地図の縮尺は、次のルート・セクションの距離に応じて算出され動的に調整されます。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set MAP info display (地図情報ディスプレイの設定)」  
または  
「Set MAP touch display (地図タッチ・ディスプレイの設定)」を選択してください。
4. 「Autozoom (オートズーム)」を有効/無効にしてください。

## ノース・アップ\*

ノース・アップを有効にすると、地図の上方が北になります。3D機能を有効にしている場合、ノース・アップ機能は無効になります。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set MAP info display (地図情報ディスプレイの設定)」  
または  
「Set MAP touch display (地図タッチ・ディスプレイの設定)」を選択してください。
4. 「North up (ノース・アップ)」を有効/無効にしてください。

## 昼用と夜用のデザイン\*

昼用または夜用のデザインで地図を表示できます。または、車両のライトに応じて昼用デザインと夜用デザインを自動で切り替えることができます。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Day/night switchover (昼用と夜用の切り替え)」を選択してください。
4. 希望の設定を有効にしてください：
  - 「Automatic (自動)」
  - 「Day (昼用)」
  - 「Night (夜用)」

## POI (地点情報) の地図表示/非表示\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Show POIs (地点情報の表示)」を選択してください。
4. システムでPOI (地点情報) の表示を有効/無効にしてください。

## 地図への交通情報メッセージの表示/非表示\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set MAP info display (地図情報ディスプレイの設定)」  
> 「Layer (階層)」を選択してください。
4. 「Show traffic (交通情報の表示)」を設定/解除してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## INFO

INFO メニューから、インフォメーション・ディスプレイおよびタッチスクリーン・ディスプレイの表示項目のカスタマイズ、システム・バーションの表示、オンライン・アプリケーションの呼び出しができます。

### ディスプレイ表示項目のカスタマイズ

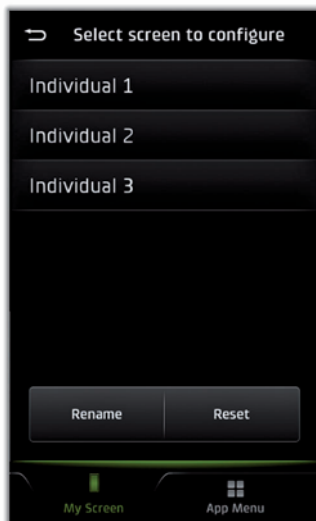
表示項目のカスタマイズ用に、サイズの異なるウィジェットが用意されています。

インフォメーション・ディスプレイをカスタマイズするためのウィジェット・カテゴリ：

- 「Trip widgets 1 (トリップ・ウィジェット1)」
- 「Trip widgets 2 (トリップ・ウィジェット2)」
- 「Environment widgets (環境ウィジェット)」
- 「Energy statistic widgets (エネルギー統計ウィジェット)」
- 「Energy Flow widgets (エネルギー・フロー・ウィジェット)」
- 「Media/tuner widgets 1 (メディア/チューナー・ウィジェット1)」
- 「Media/tuner widgets 2 (メディア/チューナー・ウィジェット2)」
- 「Compass (コンパス)」
- 「Navi widgets 1 (ナビウィジェット1)」\*
- 「Navi widgets 2 (ナビウィジェット2)」\*
- 「Navi widgets 3 (ナビウィジェット3)」\*
- 「Navi widgets 4 (ナビウィジェット4)」\*
- 「Weather widgets (ウェザー・ウィジェット)」(米国仕様車のみ)

タッチスクリーン・ディスプレイをカスタマイズするためのウィジェット・カテゴリ：

- 「Messaging widgets (メッセージ・ウィジェット)」
  - 「Calendar widgets (カレンダー・ウィジェット)」
  - 「Climate widgets (クライメート・ウィジェット)」
  - 「Media/tuner widgets (メディア/チューナー・ウィジェット)」
  - 「Navi widgets 1 (ナビウィジェット1)」\*
  - 「Navi widgets 2 (ナビウィジェット2)」\*
- ▷ カテゴリを切り替えるには、ウィジェット名を左右にスワイプしてください。



Info-01-20

### インフォメーション・ディスプレイのカスタマイズ

インフォメーション・ディスプレイの項目をカスタマイズするため、インフォメーション・ページが3ページ分用意されており、それぞれを個別に設定・選択できます。

#### 設定画面の表示

1. INFO ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Configure Info display (インフォメーション・ディスプレイの設定)」を選択してください。「Select Screen (表示設定の選択)」画面が開きます。
4. お好みのカスタマイズ設定を選択してください。

#### 設定画面の名前の変更

1. INFO ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Configure Info display (インフォメーション・ディスプレイの設定)」を選択してください。「Select Screen (表示設定の選択)」画面が開きます。
4. 「Rename (名前の変更)」を選択してください。
5. お好みのカスタマイズ設定を選択してください。
6. 入力欄に名前を入力し、決定してください。

#### 設定画面のリセット

1. INFO ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Configure Info display (インフォメーション・ディスプレイの設定)」を選択してください。「Select Screen (表示設定の選択)」画面が開きます。
4. 「Reset (リセット)」を選択してください。
5. リセットするカスタマイズ設定を選択し、リセット操作を確定してください。

#### 設定画面の設定

1. INFO ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Configure Info display (インフォメーション・ディスプレイの設定)」を選択してください。「Select Screen (表示設定の選択)」画面が開きます。
4. お好みのカスタマイズ設定を選択してください。
5. ウィジェットを選択してください。
6. ウィジェットをプレビュー画面にドラッグしてください。
7. 設定が完了したら、↩ を選択してください。

## 知識

選択したウィジェットを希望する移動先に配置したときに、ウィジェットの周囲が緑色になった場合、ウィジェットは希望する移動先に配置できます。

ウィジェットの周囲が赤くなった場合、選択したウィジェットは希望する移動先に配置できません。

## i インフォメーション

ウィジェットは、プレビュー画面の空白スペースにのみ移動できます。

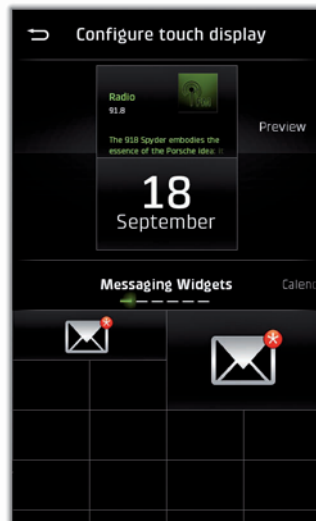
## i インフォメーション

ウィジェットを削除したいときは、ウィジェットを選択して画面の下側にドラッグしてください。

## i インフォメーション

ウィジェットを1度プレビュー画面に配置すると、インフォメーション・ディスプレイに選択したウィジェットが表示されます。

\* 日本仕様に設定はありません。



Info-02-20

## i インフォメーション

カスタマイズ中に、タッチスクリーン・ディスプレイに表示画面のイメージを表示できます。

▷ プレビュー・エリアの「Preview (プレビュー)」を選択してください。

## システム・バージョン/ライセンス情報の表示

1. INFO ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「System version (システム・バージョン)」を選択してください。  
システム・バージョンおよびライセンス情報が表示されます。

▷ 「規格との適合」(260ページ)を参照してください。

## タッチスクリーン・ディスプレイのカスタマイズ

1. INFO ボタンを押してください。
2. 「My screen (マイ・スクリーン)」を選択してください。
3. OPTION ボタンを押してください。
4. 「Configure Touch display (タッチ・ディスプレイの設定)」を選択してください。
5. お好みのウィジェットを選択してください。
6. ウィジェットをプレビュー画面の上部エリアにドラッグしてください。
7. 設定が完了したら、**⏪**を選択してください。


## アプリケーション

タッチスクリーン・ディスプレイでオンライン・アプリケーションを利用するためには、インターネット接続が可能な携帯電話をPCMにWiFi接続する必要があります。

- ▷ 「テザリング」(94 ページ) を参照してください。

### 知識

オンライン・アプリケーションを利用した場合、追加料金が発生する場合があります。

1. INFO ボタンを押してください。
2. 「App menu (アプリ・メニュー)」 を選択してください。
3. お好みのアプリを選択してください。
4. INFO ボタンを押し、PCMインターフェースに戻ってください。

### i インフォメーション

MirrorLink™アプリは、接続された携帯電話の操作画面をタッチスクリーン・ディスプレイに直接転送します。

この機能は、Android OS搭載の一部の携帯電話にのみ対応しています。

- ▷ 詳しい情報についてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。



Car-01:20

## CAR (車両)

### Interior (インテリア) メニュー 言語の変更

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Language (言語)」を選択してください。
4. 任意の言語を選択してください。  
言語が設定されます。

### 単位の設定

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Units (単位)」を選択してください。
4. 任意の値を選択してください。
5. 必要に応じて設定を変更してください。

### 画面の調整

#### インストルメント・ライトの明るさ調節

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Displays (ディスプレイ)」  
> 「Dimming instruments (インストルメント・ライトの調光)」を選択してください。
4. 任意の明るさを選択してください。

#### **i** インフォメーション

「Dimming instruments (インストルメント・ライトの調光)」機能は、インフォメーション・ディスプレイやタッチスクリーン・ディスプレイ、インストルメント・パネルのディスプレイ、およびバックライトに反映されます。

### ディスプレイの明るさ調節


1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Displays (ディスプレイ)」を選択してください。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください。
  - 「Offset instrument cluster (インストルメント・パネルの調光)」
  - 「Offset info display (インフォメーション・ディスプレイの調光)」
  - 「Offset touch display (タッチスクリーン・ディスプレイの調光)」
5. 任意の明るさを選択してください。

### インフォメーション・ディスプレイのON/OFF 切り替え

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Displays (ディスプレイ)」  
> 「Info display off (インフォメーション・ディスプレイOFF)」を選択し、ON/OFFを切り替えてください。


## インストルメント・パネルの設定

「Car & Info」ディスプレイの表示項目を変更する


1. CARボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Instrument cluster (インストルメント・クラスター)」  
> 「Car & Info」  
> 「Car individual (車両のパーソナル設定)」  
を選択してください。
4. 任意の値を選択してください。
5. 選択されたラインのリスト項目のいずれかを選択してください。
  - 「Empty (表示なし)」
  - 「Vehicle voltage (電圧)」
  - 「Oil pressure (オイル圧力)」
  - 「Oil temperature (オイル温度)」
  - 「Coolant temperature (冷却水温度)」
  - 「Remaining range (燃料残量で走行可能な距離)」
  - 「Altitude (標高)」
  - 「Date (日付)」
  - 「Time (時刻)」
  - 「Ambient temperature (外気温度)」
  - 「E-Range (電動モーターで走行可能な距離)」
  - 「Remaining charge time (残りの充電時間)」
  - 「State of charge (充電状態)」

## 「Car & Info」ディスプレイ上の機能


「Car & Info」ディスプレイに追加機能を表示することができます。  
機能の選択項目リストは個別に設定可能です。

1. CARボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Instrument cluster (インストルメント・クラスター)」  
> 「Car & Info」を選択してください。
4. 希望のリスト項目を作動/解除してください。
  - 「Trip (トリップ)」
  - 「G-Force (Gフォース)」
  - 「Tyre pressure (タイヤ空気圧)」
  - 「Chrono Light (クロノ・ライト)」
  - 「Range (走行可能距離)」
  - 「BOOST (ブースト)」

「Speed & Assist」ディスプレイの表示項目を変更する

1. CARボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Instrument cluster (インストルメント・クラスター)」  
> 「Speed & Assist」を選択してください。
4. 希望のリスト項目を作動/解除してください。
  - 「Pop-up manual limits (任意の制限速度のポップアップ)」
  - 「Pop-up speed limits (法定制限速度のポップアップ)」\*

「Power & Drive」ディスプレイの表示項目を変更する


1. CARボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Instrument panel (インストルメント・パネル)」を選択してください。
4. 希望のリスト項目を作動/解除してください。
  - 「Powermeter LED (パワー・メーターLED)」
  - 「Display drive mode (走行モードの表示)」

## インテリア・ライト

### インテリア・ライトの調節


車両のインテリア・ライトはルーフ・コンソールにあります。

インテリア・ライトの明るさは、10~100%まで10%刻みで調節できます。


1. CARボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Interior vehicle lights (車両インテリア・ライト)」  
> 「Interior light (インテリア・ライト)」  
を選択してください。

### インテリア・ライト遅延消灯の設定

インテリア・ライトの遅延消灯時間は、10~300秒まで10秒刻みで調節できます。


1. CARボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」を選択してください。
3. 「Interior vehicle lights (車両インテリア・ライト)」  
> 「Fade-out time (遅延消灯時間)」  
を選択してください。

## インテリア・ライトを点灯/消灯する

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」 を選択してください。
3. 「Interior vehicle lights (車両インテリア・ライト)」  
> 「Interior lights (インテリア・ライト)」  
を作動/解除してください。

## マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタン (◇ボタン) の割り当てを個別に変更できます。

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」 を選択してください。
3. 「Joker Key (MFSボタン)」を選択してください。
4. いずれかの項目を選択してください。

選択できるサウンド機能：

- 「SOURCE (ソース)」 - タッチスクリーン・ディスプレイにオーディオ・ソース変更ビューを表示
- 「Repeat guidance (音声案内繰り返し)」\*
- 「Skip back (前にスキップ)」
- 「Skip forward (次にスキップ)」

選択できるインフォメーション・ディスプレイのビュー：

- 「Show MAP (PCM) (地図(PCM)の表示)」\*
- 「Show INFO (PCM) (情報(PCM)の表示)」
- 「Show CAR (PCM) (車両(PCM)の表示)」
- 「Rearview camera (PCM) (リヤビュー・カメラ(PCM))」

\* 日本仕様に設定はありません。

選択できるインストルメント・パネルの機能：

- 「Show RANGE (走行可能距離の表示)」
- 「Show CAR (車両情報の表示)」
- 「Show Trip (トリップ情報の表示)」
- 「Show G-Force (G-Forceの表示)」
- 「Tire pressure control (タイヤ空気圧コントロール)」
- 「Show Sport Chrono (スポーツ・クロノの表示)」

### インフォメーション


MFSボタン◇を長押しすると、Siriボイス・コントロールが起動します。

### インフォメーション


中国市場仕様車は、MFSボタン◇に「チャイニーズ・ホーン」機能を割り当てることができません。MFSボタンに「チャイニーズ・ホーン」機能を割り当てた場合は、Siriを利用することはできません。

## ポルシェ・カー・コネクト(PCC)モードのON/OFF\*

▷ 「ポルシェ・カー・コネクト\*」(84ページ)を参照してください。

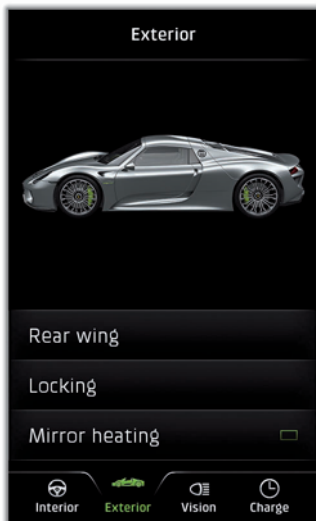
1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」 を選択してください。
3. 「Porsche Car Connect (ポルシェ・カー・コネクト)」を選択してください。
4. 「Privacy (プライバシー)」機能を作動/解除してください。

## パーソナル設定とドライビング・データのリセット

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Interior (インテリア)」 を選択してください。
3. 「Reset (リセット)」を選択し、決定してください。
4. いずれかの項目を選択し、決定してください。
  - 「Factory settings (工場出荷時の設定)」
  - 「Vehicle handover (車両引き渡し)」
  - 「Trip consecutive (トリップ累積)」
  - 「Trip since (トリップ最新)」
  - 「E-Trip since (Eトリップ最新)」
  - 「All trip data (全トリップ・データ)」

### インフォメーション

「Trip since (トリップ最新)」または「E-Trip since (Eトリップ最新)」をリセットすると、その他の該当項目にも反映されます。



## Exterior (エクステリア) メニュー リヤ・スポイラーの手動展開/格納

操作ボタンを押し続けると、リヤ・スポイラーを展開/格納できます。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・エアロダイナミクス(PAA)」(163ページ)を参照してください。

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Exterior (エクステリア)」 を選択してください。
3. 「Rear wing (リヤ・スポイラー)」を選択してください。
4. 「Rear wing (リヤ・スポイラー)」を押し、リヤ・スポイラーを格納/展開してください。

### 警告

リヤ・スポイラーの展開/格納

車両を停車させてリヤ・スポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているリヤ・スポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

▷ リヤ・スポイラーの稼働範囲に人や物がいないことを確認してください。

### 知識

リヤ・スポイラーを損傷する危険があります。

▷ リヤ・スポイラーを持って車両を動かさないでください。

## ロック

### リモコンによるドア・ロック解除の設定

リモート・コントロール操作でロックを解除するドアを設定することができます。

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Exterior (エクステリア)」 を選択してください。
3. 「Locking (ロック)」  
> 「Door unlock (ドアのロック解除)」を選択してください。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください。
  - 「All (すべて)」
  - 「Driver door (運転席ドア)」

## オートマチック・ドア・ロックの設定

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Exterior (エクステリア)」 を選択してください。
3. 「Locking (ロック)」  
> 「Door lock (ドアのロック)」を選択してください。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください。
  - 「Off (オフ)」
  - 「On with ignition (イグニッションONの後)」
  - 「After drive-off (発進後)」

## ドア・ミラー・ヒーター

▷ 「ドア・ミラー・ヒーター」(26ページ)を参照してください。

### ドア・ミラー・ヒーターのON/OFFを切り替える

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Exterior (エクステリア)」 を選択してください。
3. 「Mirror heating (ミラー・ヒーター)」を  
作動/解除してください。



## Vision (視界) メニュー

### リバース・カメラの調節

リバース・カメラは、駐車操作時に車両後方の確認を補助するシステムです。リバース・ギヤを選択すると、直ちにリバース・カメラの映像がインフォメーション・ディスプレイに表示されます。



警告

ケガをする恐れがあります

リバース・カメラはあくまでもドライバーを補助するシステムです。ドライバーはディスプレイの映像だけに頼らず、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。リバース・カメラに映し出される障害物は実際とは異なって見えます。

画面の映像は、車両後方エリア全体を映し出すことはできません。

常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。



インフォメーション

車両と障害物との距離は視覚や音で通知されません。



インフォメーション

リバース・カメラはいつもきれいな状態に維持し、氷や雪が付着したときは取り除いてください。カメラの視野が遮られ、映像が見えづらくなる場合があります。

### インフォメーション・ディスプレイのリバース・カメラ表示のON/OFF

この機能をONにすると、インフォメーション・ディスプレイの車両メニューでリバース・カメラ映像を表示することができます。

▶ 「インフォメーション・ディスプレイ」(92ページ)を参照してください。

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Vision (視界)」 を選択してください。
3. 「Rearview camera (リヤビュー・カメラ)」を選択し、  
> 「Reversing Camera (リバース・カメラ)」を作動/解除してください。

### 手動でリバース・カメラ表示をONにする

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Vision (視界)」 を選択してください。
3. 「Rearview camera (リヤビュー・カメラ)」> 「Show view (映像の表示)」を選択してください。  
インフォメーション・ディスプレイにリバース・カメラの映像が表示されます。

### リバース・カメラ映像の設定

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Vision (視界)」 を選択してください。
3. 「Rearview camera (リヤビュー・カメラ)」> 「picture parameter (画像パラメーター)」を選択してください。  
インフォメーション・ディスプレイにリバース・カメラ映像のプレビューが表示されます。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください。
  - 「Brightness (輝度)」
  - 「Contrast (コントラスト)」
  - 「Colour (カラー)」
5. 必要に応じて設定を調整してください。

### エクステリア・ライトの設定

#### エクステリア・ライト遅延消灯の設定

遅延消灯時間は、10~120秒まで10秒刻みで調節できます。

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Vision (視界)」 を選択してください。
3. 「Exterior lights (エクステリア・ライト)」> 「Fade-out time (遅延消灯時間)」を選択してください。
4. 任意の時間を設定してください。

## Charge (充電) メニュー

インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイで3通りの乗車タイマーをプログラムすることができます。


この機能を作動させると、プログラミングした時間までに十分な時間があり、車両プラグが挿入されている場合に、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに完全に充電されます。各乗車タイマーは1回（「Single date (シングル・タイマー)」）または定期的（「Repeat (反復タイマー)」）のいずれかに設定可能です。

### i インフォメーション


プログラムする乗車時間は、現在より未来の時刻になるようにしてください。

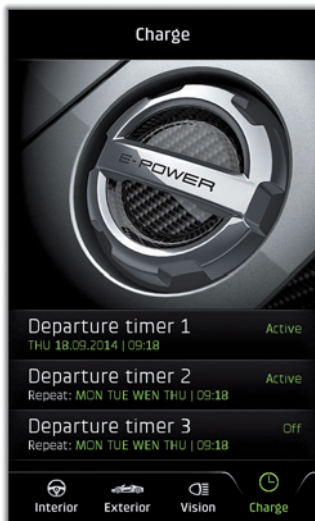
## 乗車タイマーの設定

### 乗車タイマーの時刻設定

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Charge (充電)」 を選択してください。
3. 3つの「Departure timers (乗車タイマー)」のいずれかを選択してください。
4. 「Time (時刻)」を選択してください。
5. 時刻を設定し、決定してください。

### シングル・タイマーの設定

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Charge (充電)」 を選択してください。
3. 3つの「Departure timers (乗車タイマー)」のいずれかを選択してください。
4. 「Type (タイプ)」を選択してください。
5. 「Single date (シングル・タイマー)」を選択してください。
6. 日付を設定し、決定してください。




Car-03/20

### i インフォメーション

乗車タイマーのステータスは、乗車タイマーの右横の概要に表示されます。

ドライバーが設定した乗車タイマーのいずれかに変更を加えると、ステータスは無効になります。

### 反復タイマーの設定

1. CAR ボタンを押してください。
2. 「Charge (充電)」 を選択してください。
3. 3つの「Departure timers (乗車タイマー)」のいずれかを選択してください。
4. 「Type (タイプ)」を選択してください。
5. 「Repeat (反復タイマー)」を選択してください。
6. 任意の曜日を選択し、決定してください。
7. 「Time (時刻)」を選択してください。
8. 時刻を設定し、決定してください。

## ハイブリッド・ディスプレイ

ハイブリッド・ディスプレイは、ハイブリッド・ドライブ・システムの各構成部品間のエネルギーの流れに関する情報と、電動モーターによる走行時間に関する記録情報を表示します。

### ハイブリッド・ディスプレイを表示する

- ▶ コントロール・パネルを左または右にスワイプし、インフォメーション・ディスプレイに任意のディスプレイを表示させてください。

### ハイブリッド・ディスプレイを切り替える

車両ディスプレイに表示されるハイブリッド・ディスプレイを切り替えるには、以下の操作を行ってください。

- ▶ コントロール・パネルをダブルタップし、スワイプしてください。

#### 警告

事故を起こす恐れがあります

ハイブリッド・ディスプレイを使用することにより、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- ▶ ハイブリッド・ディスプレイは、周囲の交通状況が安全を確保できる場合のみ使用してください。

利用可能なハイブリッド・ディスプレイ：

- CAR energy flow (車両 エネルギー・フロー)
- CAR Hybrid Zero Emission (車両 ハイブリッド・ゼロ・エミッション)



Car-04-10

### CAR energy flow (車両 エネルギー・フロー)

ハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイは、リアル・タイムのエネルギー・フローを矢印のアニメーションで表示します。このディスプレイには、内燃エンジン、高電圧バッテリー、フロントおよびリア・アクスルの電動モーターの状態が表示されます。バッテリーの充電状態は、緑色の充電バーの本数で表示されます。

エネルギー・フローは以下の要素で表示されます。

- グレーの三角形：  
内燃エンジンのエネルギー・フロー
- 緑の三角形：  
電気エネルギーのフロー

#### インフォメーション

関連のないコンポーネントのエネルギー・フローは透明で表示されています。



Car-05-20

### CAR Hybrid Zero Emission (車両 ハイブリッド・ゼロ・エミッション)

ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイは、走行状態に関する記録情報を表示します：

- 内燃エンジン停止時間のグラフ表示  
ここでは、内燃エンジンが停止した時間が5分間隔のパーセンテージで示されます。
- 内燃エンジン停止時間の合計 (分、秒)

#### インフォメーション

イグニッションをOFFにしてから約2時間以上駐車すると、ディスプレイは自動的にリセットされます。

## 電話

### i インフォメーション

PCMは日本語表示に対応していません。



危険

ケガをする恐れがあります

携帯電話を爆発性または引火性物質の付近(ガソリン・スタンドなど)で使用しないでください。

ガソリン・スタンドの付近など、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

- ▷ 常に関連する注意事項を遵守してください。
- ▷ 常に法律および各地域の規定を遵守してください。

## Bluetooth®

Bluetooth®は、約10mの範囲内にある電子機器をワイヤレスで接続する無線通信システムです。Bluetooth®により、PCMを介して携帯電話を使用することができます。電話を受ける、発信する、通話を終了することができます。車両のオーディオ・システムを介してハンズフリー操作を行い、電話帳にアクセスできます。

### i インフォメーション

電話帳へのアクセス可能な範囲は、携帯電話によって異なります。

ハンズフリー・プロファイルを介して接続されます。ハンズフリー・プロファイルを使用して接続すると、PCMは接続された携帯電話のBluetooth®ハンズフリー・ユニットとして使用できます。

## 携帯電話の必要条件

すべての携帯電話でPCMのBluetooth®インターフェースを介しての発信、着信機能を使用できるとは限りません：

- 携帯電話がBluetooth®に対応している必要があります。
- 携帯電話がハンズフリー・プロファイルに対応している必要があります。
- 携帯電話の電源をONにして、Bluetooth®を有効にしてください。
- 携帯電話を他の機器から「探索可能な状態」に設定してください。この設定に関する詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

### i インフォメーション

一部の携帯電話では、Bluetooth®機能に特殊な制限があったり、Bluetooth®に完全に対応していなかったりする場合があります。携帯電話の販売店にお問い合わせのうえ、必要に応じて最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

## ハンズフリーの通話品質

ハンズフリーの通話品質を損なう要因：

- ファンの作動、ウィンドウヤルーフの開操作
- 風切り音、走行音
- 携帯電話のネットワーク接続不良
- 高速走行

## 走行中に接続が途切れる

次のような場合には接続が途切れることがあります：

- 一部地域におけるネットワーク通信接続不良

- 音声回線が利用できない中継局への切り替え
- 利用可能なネットワークに適合していないSIMカードの使用
- 2枚のSIMカードを同時に使用したネットワーク接続

## Bluetooth®のON/OFF

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」> 「Bluetooth settings (Bluetooth設定)」を選択してください。
4. 「Activate Bluetooth (Bluetoothを有効にする)」を有効/無効にしてください。

## PCM探索可能状態のON/OFF

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」> 「Bluetooth settings (Bluetooth設定)」を選択してください。
4. 「PCM visible (PCM探索可能状態)」を有効/無効にしてください。

## Bluetooth®ハンズフリー・ユニットの操作

Bluetooth®ハンズフリー装置により、PCMをBluetooth®対応携帯電話のハンズフリー・ユニットとして使用できます。

## i インフォメーション

携帯電話でBluetooth®ハンズフリー・ユニットを使用するためには、携帯電話がBluetooth®ハンズフリー・プロファイルに対応している必要があります。

### 携帯電話を登録する

「Find telephone (電話の検出)」機能を使用すると、PCMで携帯電話の検出や登録ができます。PCMが携帯電話を検出できるように、携帯電話のBluetooth®機能がONになっている、および「探索可能状態」に設定されていることを確認してください。

この設定に関する詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

### セキュア・シンプル・ペアリングで携帯電話を登録する

セキュア・シンプル・ペアリングは、2つの機器間を安全かつ簡単に接続するためのプロセスです。

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Find new phone (新しい電話の検出)」を選択してください。
3. リストから携帯電話を選択し、決定してください。
4. PCMが6桁のBluetooth®コードを生成して表示します。
5. 携帯電話側でBluetooth®コードを入力、決定してください。  
機器の登録完了を示すメッセージがディスプレイに表示され、接続が確立されます。

## i インフォメーション

接続要求の確認が何度も行われる場合は、携帯電話の機器リストからPCMを認証してください。次回から自動的に接続が確立されます。この設定に関する詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

### レガシー・ペアリングで携帯電話を登録する

携帯電話がセキュア・シンプル・ペアリングに対応していない場合、レガシー・ペアリングで接続を行ってください。

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Find new phone (新しい電話の検出)」を選択してください。
3. リストから携帯電話を選択し、決定してください。
4. PCMが6桁のBluetooth®コードを生成して表示します。
5. 携帯電話側で、PCMに表示されたBluetooth®コードを入力し、決定してください。  
機器の登録完了を示すメッセージがディスプレイに表示され、接続が確立されます。

## 携帯電話で接続を確立する

PCMが携帯電話を検出することができない場合、またはPCM接続に失敗した場合は、携帯電話から認証プロセスを開始することもできます。

▷ 携帯電話の探索リストでPCMを選択し、接続を確立してください。

## i インフォメーション

PCM側でBluetooth®探索機能がONになっていることを確認してください。

▷ 「PCM探索可能状態のON/OFF」(106ページ)を参照してください。

## セキュア・シンプル・ペアリングで接続を確立する

1. PCM画面に要求事項が表示されます。
2. 要求事項を決定してください。  
PCMが6桁のBluetooth®コードを生成して表示します。
3. 携帯電話側で、PCMに表示されたBluetooth®コードを決定してください。  
機器の登録完了を示すメッセージがディスプレイに表示され、接続が確立されます。

## レガシー・ペアリングで接続を確立する

1. PCM画面に要求事項が表示されます。
2. 要求事項を決定してください。
3. PCMに表示されるキーパッドで4桁のBluetooth®コードを入力し、決定してください。
4. 同じBluetooth®コードを携帯電話に再度入力し、決定してください。

### i インフォメーション

一部の携帯電話では、携帯電話を介した認証によってPCMへの接続を確立する必要があります。この設定に関する詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

## 携帯電話が検出されない場合

別の機器が接続されていないか確認してください。

処置：

1. 別の機器の接続を切断してください。
2. 再度接続を確立してください。
3. 携帯電話から認証要求を送ってください。

### i インフォメーション

携帯電話の取扱説明書を参照してください。

## 電話をかける、受ける

車両のステアリング・コラム・トリム・パネルにハンズフリー・マイクが内蔵されています。ハンズフリー・マイクにより、携帯電話を手にとることなく電話をかけたり、受けたりすることができます。音量はロータリー・プッシュ・ボタンBで調節できます。

## ハンズフリー・マイクを一時的にミュートにする


通話中にマイクをミュートに設定したり、再び作動させたりすることができます。

- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイのコントローラーで  を選択してください。

## 着信を受ける

着信があると、相手の名前と電話番号がタッチスクリーン・ディスプレイに表示されます。


着信時の操作

- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイの  を選択してください。

または


- ▷ 携帯電話の応答ボタンを押してください。

または

- ▷ マルチファンクション・ステアリング・ホイールの  を押してください。

## 通話を終了する


通話中の操作

- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイの  を押してください。

または


- ▷ 携帯電話の通話終了ボタンを押してください。

または

- ▷ マルチファンクション・ステアリング・ホイールの  を押してください。

## 着信を拒否する


着信時の操作

- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイの  を押してください。



または

- ▷ 携帯電話の通話終了ボタンを押してください。

または

- ▷ マルチファンクション・ステアリング・ホイールの  を押してください。

## 電話番号を入力する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Keypad (キーパッド)」を選択してください。
3. 任意の電話番号を入力してください。
4. を押し、発信してください。  
電話の呼び出しが開始します。

### インフォメーション

常に市街局番を含む電話番号を入力してください。

## 電話帳

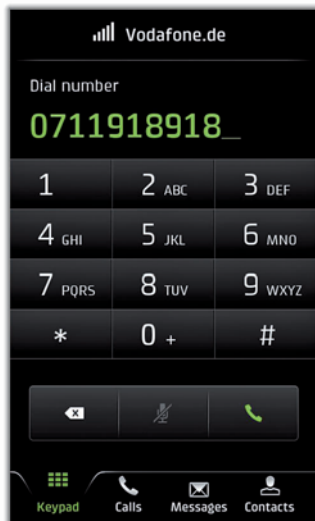
PCMと携帯電話のBluetooth®接続が確立されると、PCMは携帯電話から電話帳データを転送します。「Auto update (自動更新)」機能を無効にすると、電話帳の自動転送を行わないようにすることができます。

### 電話帳の自動転送を有効/無効にする

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」  
> 「Phonebook settings (電話帳の設定)」  
を選択してください。
4. 「Auto update (自動更新)」を有効/無効にしてください。

### インフォメーション

PCMから電話帳のデータを削除することはできません。



Phone-01:20


### 知識

例えば+44 (0) 711918918といった形式で保存された電話番号は、電話帳で無効になります。

有効な形式の例：

- +49 711918918
- 0049 911918918
- 0711918918

## 電話帳を表示する



1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Contacts (連絡先)」を選択してください。

## 電話帳の項目を並べ替える

電話帳の項目を姓や名で並べ替えることができます。

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Contacts (連絡先)」を選択してください。
3. OPTION ボタンを押してください。
4. 「Set PHONE (電話の設定)」  
> 「Phonebook settings (電話帳の設定)」  
> 「Sorting (並べ替え)」を選択してください。
5. 「Last name (姓)」または「First name (名)」を選択してください。


## 電話帳から電話する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Contacts (連絡先)」 を選択してください。
3. 電話帳の任意の項目を選択してください。詳細が表示されます。
4. 任意の番号を選択してください。番号がダイヤル・モードに表示されます。
5.  を押してください。

### i インフォメーション

1つの連絡先に複数の電話番号が保存されている場合は、詳細画面に表示されます。

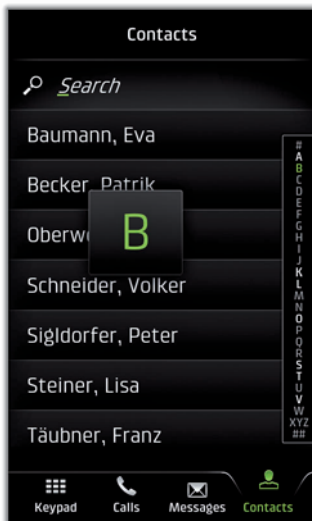
### 知識

詳細画面から直接電話番号を入力するには、電話をかけた番号の右にある  マークを押してください。

## 電話帳の項目を検索する

次の方法で電話帳の項目を検索できます。

- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイの手書き文字認識機能を利用する  
「タッチ操作」(90ページ)を参照してください。
- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイをスクロールする
- ▷ ロータリー・プッシュ・ボタンを押す
- ▷ キーパッドを使用して検索フィールドにデータを入力する  
文字を選択すると、電話帳から項目の候補が表示されます。
- ▷ タッチスクリーン・ディスプレイ右側の頭文字バーを利用する




Phone02-20

### i インフォメーション

PCMから電話帳の電話番号を削除することはできません。

## 発着信履歴を表示する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Calls (電話)」 を選択してください。
3. スワイプして発着信履歴の表示を切り替えることができます：
  - 「All (すべて)」
  - 「Incoming (着信)」
  - 「Outgoing (発信)」
  - 「Missed (不在着信)」

## 発着信履歴から情報を表示する

▷ 項目を選択してください。

詳細画面に次の情報が表示されます：

- 相手の名前 (登録されている場合)
- 発着信日
- 発着信時刻
- 電話番号

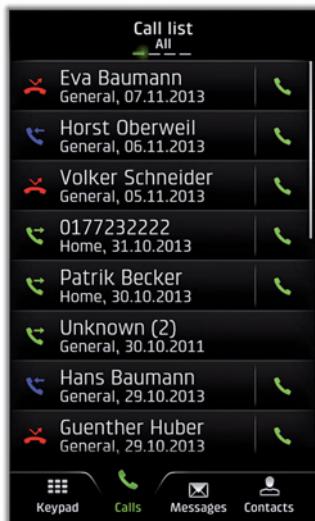
## 発着信履歴

携帯電話をPCMにBluetooth®接続した場合、接続が確立されると携帯電話の発着信履歴が転送および表示されます。最近の発信履歴、不在着信、着信履歴が各リストの最上部に表示されます。過去に使用したすべての電話番号の一覧が時系列で表示されます。

### i インフォメーション

電話帳および発着信履歴の転送機能は、すべての携帯電話で利用できるわけではありません。





Phone-0320

## i インフォメーション

1つの連絡先に複数の電話番号が保存されている場合は、詳細画面に表示されます。

## 知識

詳細画面から直接電話番号を入力するには、電話をかけたい番号の右にある マークを押してください。

## 別の相手と通話を開始する

通話中に、別の相手と通話を開始できます。

## i インフォメーション

別の相手との通話または別の着信に应答する機能は、一部の携帯電話では利用できません。

1. 通話中に を押してください。
2. 次の方法で電話したい番号を追加してください：
  - 番号入力
  - ▷ ダイアル・フィールドに新しい番号を入力してください。
  - ▷ 「電話番号を入力する」(109ページ)を参照してください。
  - または
  - 発着信履歴
  - ▷ 発着信履歴から番号を追加してください。
  - ▷ 「発着信履歴から番号をダイヤルする」(111ページ)を参照してください。
  - または
  - 連絡先
  - ▷ 電話帳にある連絡先を追加してください。
  - ▷ 「電話帳から電話する」(110ページ)を参照してください。
  - ▷ を押し、発信してください。

## 別の着信に应答する

通話中に別の着信に应答する場合、次の方法があります：

- ▷ を押し、着信を拒否する。  
最初の相手との通話を続けられます。
- ▷ を押し、着信に应答する。  
最初の相手との通話は保留状態になります。

## 2つの通話を切り替える

2つの電話を切り替え、一方と通話し、もう一方を保留状態にすることができます(スワップ)。

- ▷ **II** を選択してください。  
通話が保留になります。
- ▷ **▶** を選択してください。  
通話を開始できます。

## i インフォメーション

2つの電話を同時に受けているときに を押すと、現在の相手との通話を終了し、保留していた相手との通話を開始することができます。

## 会議通話

両方の相手と同時に通話し、三者で会議することができます。

### 会議通話を開始する

- ▷ を選択してください。  
電話が相互に接続されます。

### 会議通話を保留にする

- ▷ 保留したい通話を選択してください。
- ▷ **II** を選択してください。  
通話が保留状態になります。

## 発着信履歴から番号をダイヤルする

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Calls (電話)」 を選択してください。
3. 任意の履歴リストを選択してください。  
▷ 「発着信履歴を表示する」(110ページ)を参照してください。
4. 電話番号または名前を押してください。  
詳細が表示されます。
5. 任意の番号を選択してください。  
番号がダイヤル・モードに表示されます。
6. を押してください。

## 会議通話を終了する

- ▷ **⏏** を選択してください。  
並行して行われていた通話は続けられます。
- ▷ 「2つの通話を切り替える」(111ページ)を参照してください。

### 知識

会議通話の機能は、携帯電話および通信業者に左右されます。

## メッセージ

「Messages (メッセージ)」☒機能により、文字メッセージ(SMS)やEメールの受信、音声によるメッセージの読み上げ、文字メッセージに含まれる電話番号を他の機能で使うことができます。

### i インフォメーション

この機能は、携帯電話がメッセージ・アクセス・プロフィールに対応している場合のみ利用できます。

この設定に関する詳しい情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

## 文字メッセージのリストを開く

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」☒を選択してください。
3. スワイプして、左のメニュー「SMS (ショート・メッセージ・サービス)」に移動してください。  
メッセージ・リストが表示されます。

## Eメールのリストを開く

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」☒を選択してください。
3. スワイプして、右のメニュー「E-mail (Eメール)」に移動してください。
4. Eメール・アカウントを選択してください。
5. 「Inbox (受信トレイ)」を選択してください。  
メッセージ・リストが表示されます。

### 知識

Eメール・メニューの構成は携帯電話によって異なります。

## 文字メッセージを読む

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」☒を選択してください。
3. スワイプして、左のメニュー「SMS (ショート・メッセージ・サービス)」に移動してください。  
メッセージ・リストが表示されます。
4. 希望のメッセージを選択してください。  
内容が表示されます。
5. 希望のメッセージを選択してください。  
メッセージが表示されます。




## Eメールを読む

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」☒を選択してください。
3. スワイプして、右のメニュー「E-mail (Eメール)」に移動してください。
4. Eメール・アカウントを選択してください。
5. 「Inbox (受信トレイ)」を選択してください。  
メッセージ・リストが表示されます。
6. 希望のメッセージを選択してください。  
メッセージが表示されます。

## 音声でメッセージを読み上げる

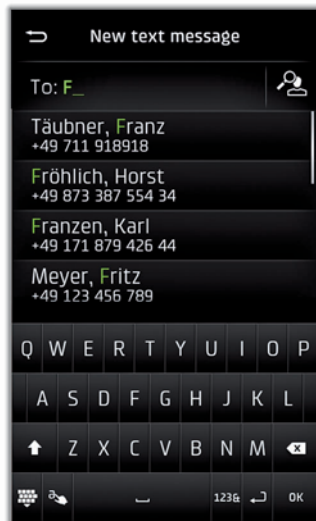
1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」☒を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。  
▷ 「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. ▶を選択してください。  
メッセージが再生されます。  
||を選択してください。  
メッセージが一時停止します。

## 新しい文字メッセージを書く



1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. スワイプして、左のメニュー「SMS (ショート・メッセージ・サービス)」に移動してください。
4. 「New SMS (新しいショート・メッセージ・サービス)」を選択してください。
5. 受信者を追加してください。  
次の操作で行うことができます：
  - 入力フィールドに受信者の名前を入力してください。
  - 入力フィールドで123&を選択して番号を入力してください。
  - 「Contacts (連絡先)」を使用して、電話帳から連絡先を選択してください。
6. テキストボックスに入力してください。
7. 入力フィールドに文字を入力し、決定してください。
8. OK を選択してください。
9. を選択してください。  
メッセージが送信されます。

## 複数の受信者に文字メッセージを送信する

- ▷ 「新しい文字メッセージを書く」(113ページ)を参照してください。
- ▷ 手順5を繰り返して、複数の受信者を追加してください。



Phone-04-20

7. 受信者を追加してください。  
次の操作で行うことができます：
  - 入力フィールドに受信者の名前を入力してください。
  - 入力フィールドで123&を選択した後、番号を入力してください。
  - 「Contacts (連絡先)」を使用して、電話帳から連絡先を選択してください。
8. テキストボックスに入力してください。
9. 入力フィールドに文字を入力してください。
10. OK を選択してください。
11. を選択してください。  
メッセージが送信されます。


## 複数の受信者にEメールを送信する

- ▷ 「新しいEメールを作成する」(113ページ)を参照してください。
- ▷ 手順7を繰り返して、複数の受信者を追加してください。

## 複数の受信者にCCでEメールを送信する



- ▷ 「新しいEメールを作成する」(113ページ)を参照してください。
- ▷ 「CC」の行で、手順7を繰り返してください。

## 新しいEメールを作成する



1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. スワイプして、右のメニュー「E-mail (Eメール)」に移動してください。
4. Eメール・アカウントを選択してください。
5. 「Inbox (受信トレイ)」を選択してください。
6. 「New e-mail (新しいEメール)」を選択してください。

## メッセージの返信






### 差出人に返信する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。  
選択ウィンドウが表示されます。
5. 「Reply (返信)」を選択してください。  
▷ メッセージの作成と送信: 「新しい文字メッセージを書く」(113ページ)を参照してください。または「新しいEメールを作成する」(113ページ)を参照してください。



### 全員に返信する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。  
選択ウィンドウが表示されます。
5. 「Reply all (全員に返信)」を選択してください。  
▷ メッセージの作成と送信: 「新しい文字メッセージを書く」(113ページ)を参照してください。または「新しいEメールを作成する」(113ページ)を参照してください。

### ボイス・メールでEメールを返信する



1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。  
選択ウィンドウが表示されます。
5. 「Reply (返信)」を選択してください。  
入力ウィンドウが表示されます。
6. 入力フィールドで  を選択してください。  
録音画面が表示されます。
7.  を押して録音を開始してください。
8.  を押して録音を終了してください。
9. コントローラーの  を選択してください。  
入力フィールドと入力ウィンドウが表示されます。  
録音された音声は添付ファイルとして表示されます。

### メッセージを転送する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。  
選択ウィンドウが表示されます。

5. 「Forward (転送)」を選択してください。  
▷ メッセージの作成と送信: 「新しい文字メッセージを書く」(113ページ)を参照してください。または「新しいEメールを作成する」(113ページ)を参照してください。

### メッセージを削除する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。

### インフォメーション

メッセージに電話番号が含まれている場合は、番号を通話やメッセージに利用することができます。



## 差出人に電話する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを選択してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。  
選択ウィンドウが表示されます。
5. 「Call sender (差出人に電話する)」を選択してください。



### インフォメーション

- 連絡先に電話番号が保存されていない場合は、「Call sender (差出人に電話する)」がグレーで表示されます。
- 電話番号が連絡先に保存されている場合、番号を選択すると自動的にダイヤルされます。
- 1つの連絡先に複数の電話番号が保存されている場合は、選択可能な電話番号が含まれた選択ウィンドウが表示されます。番号を選択すると同時に、自動的にダイヤルされます。

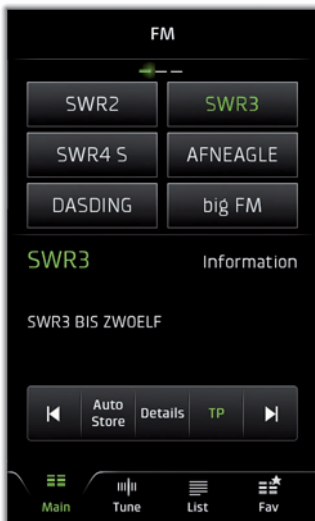
## メッセージに含まれる電話番号から電話をかける

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. 希望のメッセージを開いてください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. メッセージに含まれる電話番号を押してください。  
番号がダイヤル・モードに表示されます。
5. を押してください。

## 新しいメッセージに情報を挿入する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. 「Messages (メッセージ)」を選択してください。
3. メッセージを新規作成してください。  
▷ 「文字メッセージを読む」(112ページ)を参照してください。または「Eメールを読む」(112ページ)を参照してください。
4. を選択してください。  
次の情報を新しいメッセージに挿入できます：
  - 「Template (テンプレート)」(文字メッセージの場合のみ)
  - 「Phone number (電話番号)」
  - 「Current position (現在地点)」\*
  - 「Destination (目的地)」\*
  - 「Arrival time (到着時刻)」\*

\* 日本仕様に設定はありません。



Tuner-01\_Radio

放送局があらかじめ放送局ボタンに登録されている場合は、その放送局の名称または周波数が表示されます。

受信中の放送局がRDS信号（RDS: ラジオ・データ・システム）を配信している場合は、この信号に含まれる情報（放送局名、番組のジャンル、ラジオ・テキストなど）が放送局ボタンの下に表示されます。

### 放送局情報を表示する

- ▷ Details を押してください。  
情報を表示または非表示にできます。

### 放送局を選局する


以下の選局方法があります：

- 手動選局する
- 放送局ボタンで選局する
- 放送局リストから選局する
- スキャン機能で選局する
- 放送局サーチで選局する
- お気に入りから選局する

DABソースに放送局を設定するには\*：

- ▷ 「放送局を選局する」（119ページ）を参照してください。

### 手動で選局する

「Tune（選局）」 エリアで、周波数バンドをスワイプして手動で選局できます。

### 放送局ボタンで選局する

放送局ボタンで選局するには、放送局があらかじめ放送局ボタンに登録されている必要があります。

- ▷ 「ラジオ局ボタンへの放送局の登録」（117ページ）を参照してください。

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 放送局ボタンを押してください。  
放送局ボタンに登録された局の放送が開始されます。


## チューナー

### i インフォメーション

PCMは日本語表示に対応していません。

## FMラジオ

### FMソースのメイン・メニューを表示する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Main（メイン）」 を選択してください。

放送局ボタンを含むFMソースのメイン・メニューが表示されます。3つのメモリー階層にそれぞれ6つの放送局ボタンがあります。


### メモリー階層を切り替える

- ▷ 右または左にスワイプしてください。

\* 日本仕様に設定はありません。


## 放送局リストから選局する

放送局リストには、現在受信可能なすべての放送局が含まれます。

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「List (リスト)」 を選択してください。放送局リストが表示されます。放送局名と周波数に加えて、各番組のジャンルも表示されます。
3. 放送局を選択してください。選択した局の放送が開始されます。

## スキャン機能で選局する

スキャン機能は周波数バンドにあるすべての放送局をスキャンし、短時間で選局します。

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. OPTION ボタンを押してください。
4. 「Start scan (スキャン開始)」を選択してください。スキャンを停止するには  $\text{STOP}_{\text{SCAN}}$  を選択してください。スキャン中に放送局を受信しながら検索します。

## 放送局サーチで選局する

放送局サーチを使用すると、現在受信している放送局の周波数から最も近い放送局を探することができます。

- ▷ 現在選択されている周波数より高い周波数の放送局をサーチするには、▶ を短く押ししてください。

### または


- ▷ 現在選択されている周波数より低い周波数の放送局をサーチするには、◀ を短く押ししてください。

放送局サーチが開始し、PCMが放送局を探すとすぐにサーチを停止します。

## お気に入りから選局する

お気に入りから選局するには、放送局があらかじめ放送局ボタンに登録されている必要があります。

- ▷ 「お気に入り放送局ボタンに放送局を登録する」(118ページ)を参照してください。

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
3. 放送局ボタンを押してください。放送局ボタンに登録された局の放送が開始されます。



## ラジオ局ボタンへの放送局の登録

3つのメモリー階層でそれぞれ6つの放送局を利用できます。


### メモリー階層を切り替える

- ▷ 右または左にスワイプしてください。




## 放送局リストにある放送局をラジオの放送局ボタンに登録する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「List (リスト)」 を選択してください。
3. 放送局を選択してください。
4.  $\downarrow$  を押ししてください。「Main (メイン)」 が表示されます。
5. 任意の放送局ボタンを押してください。放送局が放送局ボタンに登録されます。

## スキャンされた放送局をラジオの放送局ボタンに登録する



1. TUNER ボタンを押してください。
2. 放送局を選択してください。
  - ▷ 「スキャン機能で選局する」(117ページ)を参照してください。
3.  $\downarrow$  を押ししてください。「Main (メイン)」 が表示されます。
4. 任意の放送局ボタンを押してください。放送局が放送局ボタンに登録されます。

## 放送局サーチで探した放送局をラジオの放送局ボタンに登録する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Tune (選局)」 を選択してください。
3. 周波数バンドを使用し、選局してください。  
▷ 「放送局サーチで選局する」(117 ページ)を参照してください。
4.  を押してください。  
「Main (メイン)」 が表示されます。
5. 任意の放送局ボタンを押してください。  
放送局が放送局ボタンに登録されます。

## オートストアで放送局を登録する


受信電波の最も強い放送局を第1メモリー階層の放送局ボタンに割り当てることができます。

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3.  を押してください。





## お気に入り放送局ボタンに放送局を登録する

3つのメモリー階層でそれぞれ6つの放送局を利用できます。





### インフォメーション

すべての機能から放送局を「Fav (お気に入り)」 の放送局ボタンに割り当てることができます。


## 放送局リストにある放送局をお気に入り放送局ボタンに登録する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「List (リスト)」 を選択してください。
3. 放送局を選択してください。
4.  を押してください。  
「Main (メイン)」 が表示されます。
5. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
6. 任意の放送局ボタンを押してください。  
放送局が放送局ボタンに登録されます。

## 放送局サーチで放送局をお気に入り放送局ボタンに登録する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Tune (選局)」 を選択してください。
3. 放送局を選択してください。  
▷ 「放送局サーチで選局する」(117ページ)を参照してください。
4.  を押してください。  
「Main (メイン)」 が表示されます。
5. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
6. 任意の放送局ボタンを押してください。  
放送局が放送局ボタンに登録されます。

## 周波数バンドから放送局をお気に入り放送局ボタンに登録する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. 「Tune (選局)」 を選択してください。
3. 周波数バンドを使用し、選局してください。  
▷ 「手動で選局する」(116ページ)を参照してください。
4. 放送局ボタンを押してください。  
放送局が放送局ボタンに登録されます。

## 交通情報番組(TP) \*

各種のFMラジオ局は、ラジオ番組の他に交通情報メッセージを放送しています。

交通情報メッセージの品質についてはラジオ局が責任を持ちます。そのため、情報の完全性および正確性に対して、ポルシェ社は責任を負いかねます。交通情報メッセージはRDS信号を利用しているため、どこでも受信できるわけではありません。

## 交通情報番組をONにする

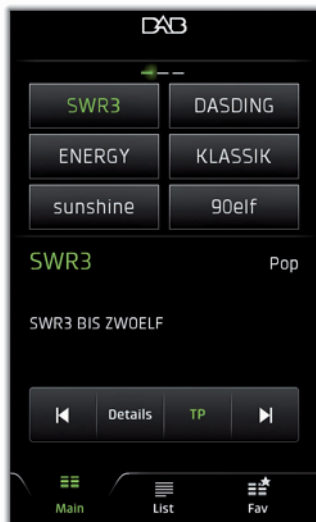
1. TUNER ボタンを押してください。
2. TP を押して有効にしてください。  
有効にすると、緑の文字が表示されます。  
無効にするには、TP を押してください。  
無効にすると、白い文字が表示されます。

## 交通情報番組の音量を設定する

- ▷ 「交通情報番組の音量調節\*」(93ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。





Tuner-02.R0W

## DABラジオ\*

Digital Audio Broadcast(DAB)は、固定およびモバイル受信機用のデジタル・ラジオです。

## DABソースのメイン・メニューを表示する\*

1. TUNER ボタンを押してください。
2. SOURCEボタンを押してください。
3. 「DAB」を選択してください。

放送局ボタンを含むDABソースのメイン・メニューが表示されます。3つのメモリー階層にそれぞれ6つの放送局ボタンがあります。

## メモリー階層を切り替える

▷ 右または左にスワイプしてください。

放送局があらかじめ放送局ボタンに登録されている場合は、その放送局の名称または周波数が表示されます。



受信中の放送局がRDS信号(RDS:ラジオ・データ・システム)を配信している場合は、この信号に含まれる情報(放送局名、番組のジャンル、ラジオ・テキストなど)が放送局ボタンの下に表示されます。

## 放送局情報を表示する

▷ Detailsを押してください。

情報を表示または非表示にできます。

## インフォメーション

DABソースには周波数バンドはありません。「Tune (選局)」メニューや機能がDABソースにはありません。

DABラジオの特徴は「アンサンブル」です。アンサンブルは、複数のラジオ番組やデータ・サービスから構成されるパッケージで、1つのチャンネルで放送されます。

各アンサンブルには個々の放送局および放送局のグループ(サービス)が含まれます。

- アンサンブル・リストには、受信可能なすべてのアンサンブルが表示されます。
- 放送局リストには、現在受信できるすべてのアンサンブルで受信可能なすべての放送局が含まれます。

## 放送局を選局する


DABソース\*の場合、次の選局方法があります:

- 手動選局する
- 放送局ボタンで選局する
- 放送局リストから選局する
- アンサンブル・リストから選局する
- スキャン機能で選局する
- 放送局サーチで選局する
- お気に入りから選局する

FMソースに放送局を設定する:

▷ 「放送局を選局する」(116ページ)を参照してください。

## アンサンブル・リストにある放送局を検索する\*

1. TUNER ボタンを押してください。
2. SOURCEボタンを押してください。
3. 「DAB (デジタル・オーディオ・ブロードキャスティング)」を選択してください。
4. 「List (リスト)」を選択してください。
5. スワイプして、左のメニュー「Ensembles (アンサンブル)」に移動してください。

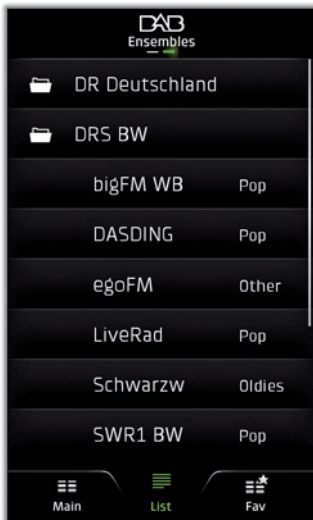
## ラジオ局ボタンに放送局を登録する

3つのメモリー階層でそれぞれ6つの放送局を利用できます。

## ラジオ局ボタンに放送局を登録するには:

▷ 「ラジオ局ボタンへの放送局の登録」(117ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。




Tuner-03rdW

### お気に入り放送局ボタンに放送局を登録する

3つのメモリー階層でそれぞれ6つの放送局を利用できます。

#### **i** インフォメーション

すべての機能から放送局を「Fav(お気に入り)」  
の放送局ボタンに割り当てることができます。

### お気に入り放送局ボタンに放送局を登録するには：

- ▷ 「放送局リストにある放送局をお気に入り放送局ボタンに登録する」(118ページ)を参照してください。

## メディア

### i インフォメーション

PCMは日本語表示に対応していません。

PCMのBluetooth®またはWiFiインターフェースを介して、USBメモリー、iPod、携帯電話内のメディアを再生できます。

### 知識

対応オーディオ・ファイル形式：

- MP3
- WMA
- AAC

対応ビデオ・ファイル形式：

- H.264/MPEG-4

### i インフォメーション

車内は過酷な状態（気温の変化、振動、湿度）になることがあるため、USBメモリー、iPodなどを長時間車内に放置しないでください。

## メディア・ソース

### 選択可能なソースを表示する

- ▷ MEDIA ボタンを2回押してください。  
MEDIA メニューから選択可能なソースが表示されます。
- ▷ SOURCE ボタンを押してください。  
選択可能なすべてのソースが表示されます。



## USBメディア・ソース

オーディオ/ビデオ・ファイルを収録したUSBメモリーを、センター・コンソールの小物入れにあるPCMのUSBポートに接続することができます。

### i インフォメーション

車内は過酷な条件（気温の変化、湿度）になることがあるため、iPod®、USBメモリー、または外部オーディオ・ソースを長時間車内に放置しないでください。

### i インフォメーション

専用ドライバを必要とするUSBメモリーは使用できません。

### i インフォメーション

USBハブは使用できません。

### i インフォメーション

USBメモリーの技術は急速に進化しているため、適合性は必ずしも保証できません。

### i インフォメーション

消費電力の大きいUSB記憶装置（外付けハード・ドライブなど）はUSBポートに接続しても作動しないことがあります。

## 対応メディアに関するインフォメーション

USBメモリー再生時の問題を防ぐため、以下のインフォメーションをお読みください：

- 対応データ記憶装置：  
USB大容量記憶装置
- 対応ファイル・システム：  
ファイル・システムFAT16またはFAT32のUSBメモリーに対応しています。
- 対応USB規格：  
USB 2.0およびUSB 3.0規格に準拠するUSBメモリーに対応しています。
- 対応ファイル構造：  
最大10,000曲を収録したUSBメモリーに対応しています。

## iPod\*

iPodや関連モデルをセンター・コンソールにあるPCMのUSBポートを経由して、PCMに接続することができます。

適切なiPod対応USBケーブルを使用して接続してください。

\*iPodは米国アップル社の商標です。

### i インフォメーション

問題が生じた場合、iPodのファームウェアのアップデートが必要となることがあります。

### i インフォメーション

接続したiPodは走行中に充電されます。

## 外部Bluetooth®オーディオ・ソース

外部Bluetooth®メディア・ソースもBluetooth®で接続できます。



危険

事故を起こす恐れがあります

前方不注意となり、運転操作が妨げられる恐れがあります。

外部Bluetooth®メディア・ソースの操作は、周囲の交通状況から安全を確保できる場合に限って行ってください。

運転操作が妨げられる恐れがある場合は、車両を安全な場所に停車してから外部Bluetooth®メディア・ソースの操作を行ってください。

### i インフォメーション

PCMは、外部Bluetooth®メディア・ソースの接続や操作を可能にするA2DP/AVRCPプロファイルに対応しています。

PCMを使用した外部Bluetooth®オーディオ・ソースの作動範囲は、外部Bluetooth®メディア・ソースがサポートする機能に左右されます。そのため、場合によってはPCMから外部Bluetooth®オーディオ・ソースの一部の限られた機能しか使用できないことがあります。

また、PCMを使用してオーディオ・ソースを操作できない場合もあります。その場合は、接続機器側でオーディオ・ソースを作動させてください。この設定に関する詳しい情報は、外部Bluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。

### i インフォメーション

機器によっては、機器側の音量調節が必要になる場合もあります。

推奨：

- ▷ 外部Bluetooth®メディア・ソース側で音量を設定してください。
- ▷ 次に、PCM側で希望の音量に設定してください。

## 外部Bluetooth®メディア・ソースを作動させる

外部Bluetooth®メディア・ソースを使用する前に、Bluetooth®機能をONにし、AVRCP/A2DP対応機器をBluetooth®接続する必要があります。

- ▷ 「BLUETOOTH®」(106ページ)を参照してください。

1. SOURCEボタンを押してください。
  - ▷ Bluetooth®機能がOFFになっている場合、選択可能ソースのリストにBluetooth®は表示されません。
2. 「BT Audio (BTオーディオ)」を選択してください。

## 外部WiFiメディア・ソース

DLNAサーバーをインストールした機器を使用してください。DLNAサーバーはPCMにWiFiで接続されます。DLNAサーバーを介してPCMに接続された機器からメディアを再生できます。

## 外部WiFiメディア・ソースを使用する

1. WiFi機能をONにしてください。
2. 機器をWiFiで接続してください。

## PCM WiFiのON/OFFを切り替える

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」  
> 「WiFi settings (WiFi設定)」  
> 「Audio & Video streaming (オーディオ & ビデオ・ストリーミング)」を選択してください。
4. 携帯電話側で918 Spyderを探し、選択してください。
5. パスワードを入力し、決定してください。  
▷ 「PCM WiFiパスワードを設定する」  
(123ページ)を参照してください。

## PCM WiFiパスワードを設定する

1. PHONE ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set PHONE (電話の設定)」  
> 「WiFi settings (WiFi設定)」  
> 「Security (セキュリティ)」を選択してください。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください。
  - 「WPA2」
  - 「WPA」
  - 「WEP」
5. PCMからパスワードが提示されます。  
入力フィールドに必要なに応じてパスワードを入力し、決定してください。

### インフォメーション

セキュリティ確保のため、WPA2の使用を推奨します。

## 外部WiFiメディア・ソースを作動させる

1. SOURCEボタンを押してください。
2. 「WLAN」を選択してください。
  - 利用できるサーバーがない場合は、それを知らせるメッセージが表示されます。
  - 選択可能なサーバーが複数ある場合は、リストから希望のサーバーを選択してください。
  - 選択可能なサーバーが1つの場合、メディア・ソースが自動的に再生を開始します。

## メディアの再生

### ソースを選択する

- ▷ SOURCE ボタンを押してください。
- ▷ リストからソースを選択してください。  
プレーヤーが再生を始めます。

### プレーヤー

#### 再生/一時停止

- ▷ ソースを選択すると、メディア上でアルバム順に並べられたアルバムの先頭トラックの自動再生が始まります。
- ▷ iPodを使用している場合は、前回再生したトラックの再生が始まります。

一時停止するには、ロータリー・プッシュ・ボタンBを押してください。

## 前/次のトラックにスキップ

現在のトラックを再生し始めて10秒以内の場合：

- ▷ ◀ を短く押してください。  
前のトラックの先頭に戻ります。

現在のトラックを再生し始めて10秒以上経過している場合：

- ▷ ◀ を短く押してください。  
現在のトラックの先頭に戻ります。

## 次のトラックにスキップ

再生中：

- ▷ ▶ を短く押してください。  
次のトラックに進みます。

## 早送り/早戻し

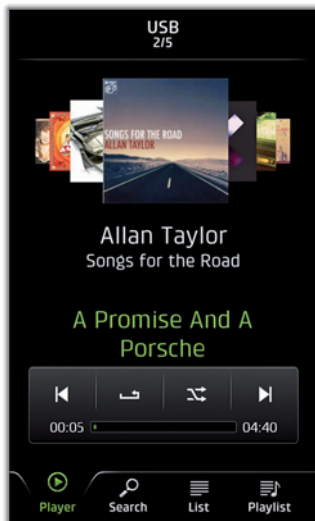
再生中：

- ▷ 希望の位置になるまで、◀ または ▶ を押し続けてください。

または

再生中：

- ▷ コントロール・バーを希望の位置までスライドさせてください。



### ランダム再生機能をON/OFFにする

再生中にランダム再生機能をONにすると、現在のトラックは最後まで再生されます。その後、現在選択している音楽データの全トラックをランダムな順序で再生します。

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Player (プレーヤー)」▶を選択してください。
3. ◀を選択してください。  
機能が緑色で表示されている場合は、有効になっています。

Media0120

### 全トラックのリPEAT再生

現在選択している音楽データの全トラックをリPEAT再生するには：

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Player (プレーヤー)」▶を選択してください。
3. ◀を選択してください。  
機能が緑色で表示されている場合は、有効になっています。

### トラックのリPEAT再生

現在のトラックをリPEAT再生するには：

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Player (プレーヤー)」▶を選択してください。
3. ▶がONになるまで、◀を押してください。

### カバーフロー

- ▶ カバーフローをスワイプし、アルバムをスクロールしてください。
- ▶ トラックを再生するには、コントローラーの▶を選択してください。
- ▶ ◀を選択し、再生モードに戻ります。

### 同じアルバムからトラックを再生する

1つのアルバムに複数のトラックが保存されている場合は、カバーを選択するとリストに表示されます。トラックを選択すると、プレーヤーがこのトラックを再生します。

### ビデオ・ファイルを再生する

WiFiおよびUSBソースでは、PCに接続した任意のソースから、インフォメーション・ディスプレイでビデオ・ファイルを再生することができます。

### 知識

以下の条件が満たされた場合のみ、ビデオ・ファイルが再生されます。

- 停車中(0km/h)
- パーキング・ブレーキが作動している

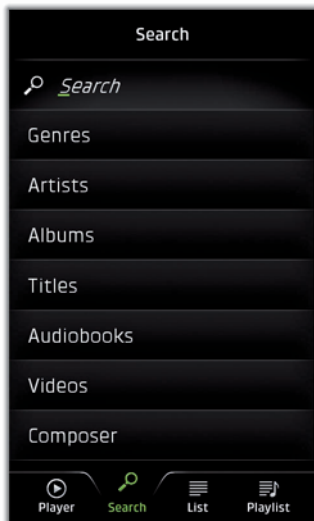
1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Player (プレーヤー)」▶を選択してください。
3. ▶ Play Video を選択してください。

### i インフォメーション

ビデオ再生の条件が満たされない場合は、Play Video がグレーで表示され、選択できない状態になります。

### i インフォメーション

ビデオ再生中に再生するための条件が満たされなくなった場合、インフォメーション・ディスプレイで再生中のビデオは中断されます。ビデオの音声は引き続き聴くことができます。再び条件が満たされると、ビデオの再生が再開されます。



Media02020

## 検索

検索基準を指定して、選択したソースを検索することができます。


### 知識

この機能は、Bluetooth®では使用できません。

### i インフォメーション

検索結果を選択して再生する場合は、使用した検索フィルターがステータス・ラインに表示されます。

## 全文検索

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Search (検索)」を選択してください。
3. 「Find (探す)」を選択してください。入力フィールドが表示されます。
4. キーワードを入力し、希望の項目を表示させます。
5. 希望の項目を選択してください。プレーヤーがトラックの再生を始めます。

### i インフォメーション

アルファベット順に並べられた検索結果がリストに表示されます。


## カテゴリー検索

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Search (検索)」を選択してください。
3. 以下のリストからカテゴリーを選択してください。
  - 「Genres (ジャンル)」
  - 「Artists (アーティスト)」
  - 「Albums (アルバム)」
  - 「Track (トラック)」
  - 「Audiobooks (オーディオブック)」
  - 「Videos (ビデオ)」(USBおよびWiFiのみ)
  - 「Composer (作曲家)」(USBおよびWiFiのみ)
  - 「Podcasts (ポッドキャスト)」(iPodのみ)

### i インフォメーション

該当項目のないカテゴリーはグレー表示されます。

## リスト

「List (リスト)」メニューには選択したソースから再生可能な全トラックが含まれます。

- リスト機能は、AVRCP 1.4.プロファイルに対応しているBluetooth®で利用できます。
- 現在のプレイリストはUSB および WiFi でも選択できます。

## フォルダー階層内を移動する

iPod を除く外部メディアでソースをフォルダー階層に保存している場合

上位階層に移動するには：

- ▷ を選択してください。

下位階層に移動するには：

- ▷ を選択してください。

または

- ▷  ボタンを押してください。


リストを切り替えるには：

- ▷ 右または左にスワイプしてください。

### 知識

iPodでは、現在のプレイリストのみ表示されます。

## プレイリスト

「Playlist (プレイリスト)」には外部メディア・ソースに保存されたプレイリストが表示されます。

### i インフォメーション


「Playlist (プレイリスト)」メニューは、USB、iPod、およびWiFiで表示されます。

---

### 知識

- USBの場合、プレイリストはソースからコピーされ、追加メニュー「Last played (最近聴いた曲)」および「Most played (よく聴く曲)」が表示されます。
  - iPodおよびWiFiでは、プレイリストはメディア・ソースから選択されます。
- 

### プレイリストからトラックを再生する

1. MEDIA ボタンを押してください。
2. 「Playlist (プレイリスト)」を選択してください。
3. 希望のプレイリストを選択してください。
4. 希望のトラックを選択してください。



## エアコン

エアコン・メニューから追加のエアコン設定を行うことができます。  
イグニッションがONのときのみ、設定内容を適用および変更できます。

オートマッチック・エアコン・システムに関するインフォメーション：

▷ 「2ゾーン・オート・エアコン」(31ページ)を参照してください。


### i インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、エアコン・メニューは使用できなくなります。

### i インフォメーション

エアコン・メニューの設定中にイグニッションをOFFにした場合、前回使用したオーディオ・ソースのメニューに切り替わります。


### i インフォメーション


エアコン設定は、A/C MAX および  ボタンを押した後しばらくは使用できません。


## 送風口


### 送風口を手動で切り替える

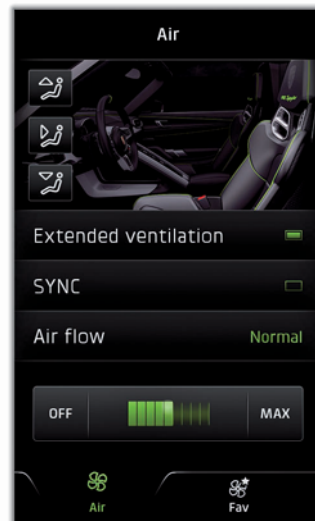
送風口は、運転席側および助手席側でそれぞれ個別に設定できます。

1. A/C MENU ボタンを押してください。
2. 「Air (送風)」  を選択してください。
3. 以下から希望の設定を選択してください：


 フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。

 サイド・ベントからの送風を開始します。  
エア・ベントの吹き出し口を開いてください。

 足元への送風を開始します。



### 間接ベンチレーション・パネルを設定する

1. A/C MENU ボタンを押してください。
2. 「Air (送風)」  を選択してください。
3. 「Ext. ventilation (間接ベンチレーション・パネル)」を作動/解除してください。

## 温度の設定

温度は、運転席側および助手席側でそれぞれ個別に設定できます。

### 運転席側の温度を設定する

1. 下部ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。
2. 希望の設定温度になるまで、下部ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。

### 助手席側の温度を設定する

1. 下部ロータリー・プッシュ・ボタンを3回押してください。
2. 希望の設定温度になるまで、下部ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。

### 運転席側の設定温度を助手席側に適用する

運転席側の設定温度を助手席側に適用することができます。

1. AUTOボタンを押し続けてください。

### または

1. A/C MENU ボタンを押してください。
2. 「Air (送風)」🌀を選択してください。
3. 「SYNC (同期)」を作動/解除してください。

## 送風量を設定する

1. 下部ロータリー・プッシュ・ボタンを2回押してください。
2. 希望の送風量に設定されるまで、下部ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。

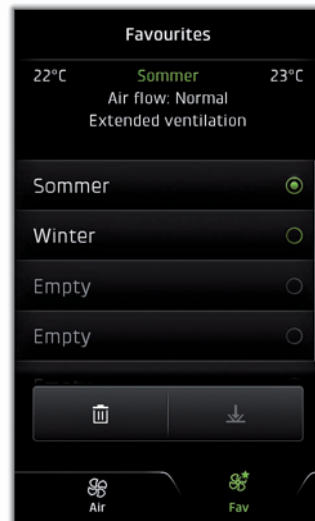
### または

1. A/C MENU ボタンを押してください。
2. 「Air (送風)」🌀を選択してください。
3. コントローラーで送風量を設定してください。

## 風量を調節する

送風の強さを調節できます。

1. A/C MENU ボタンを押してください。
2. 「Air (送風)」🌀を選択してください。
3. 「Air flow (風量)」を選択してください。
4. 以下から希望の設定を選択してください：  
「Soft (弱)」  
エア・ベントからの送風が和らぎます。  
空気の流れに敏感な乗員に適しています。  
「Normal (標準)」  
標準の設定です。  
「Strong (強)」  
室内への送風が強くなります。  
風の流れをはっきりと感じられるようになります。




## お気に入り

パーソナルな空調スタイルを個別に設定し、お気に入りとして登録することができます。


### お気に入りを追加する

1. A/C MENU ボタンを押してください。  
必要に応じて設定を調整してください。
2. 「Fav (お気に入り)」🌟を選択してください。
3. ↓を選択してください。
4. お気に入りに名前を入力し、決定してください。


## お気に入りを設定する

1. A/C  
MENU ボタンを押してください。  
必要に応じて設定を調整してください。
2. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
3. お気に入りを選択してください。  
カスタマイズされた設定が有効になります。



## お気に入りを変更する

1. お気に入りを選択してください。
2. 必要に応じて設定を調整してください。
3.  を選択してください。



## お気に入りの名前を変更する

1. A/C  
MENU ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
3. OPTION ボタンを押してください。
4. 「Rename (名前の変更)」を選択してください。

## お気に入りを削除する

1. A/C  
MENU ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
3. お気に入りを選択してください。
4.  を選択し、決定してください。

## すべてのお気に入りを削除する

1. A/C  
MENU ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
3. お気に入りを選択してください。
4. OPTION ボタンを押してください。
5. 「Delete all (すべて削除)」を選択してください。
6.  を選択し、決定してください。

## NAVI\*

PCMナビゲーション・システムは、目的地までの最適ドライビング・プランを映像と音声で案内し、ドライバーを支援します。自車位置の測位は、ナビゲーション・モジュール内のGPSアンテナと受信機によって行われます。

GPS信号で割り出された自車位置は、ナビゲーション・コンピューター内で他の車両信号(車速など)を交えて評価・処理し、補正されます。PCMには、デジタル・マップ・データを保存したメモリー領域が搭載されています。このメモリー領域が損傷または破損すると、PCMはこの領域に保存されたデータを呼び出すことができなくなります。



### 警告

事故を起こす恐れがあります

ボルシェ・ナビゲーション・システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルート案内し、ドライバーを補助します。案内されたルートが実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。運転中、ドライバーには実際の交通状況に合わせて安全を確保する責任があります。

## 操作概要\*

PCMナビゲーション・システムの機能を最大限に引き出すため、以下のポイントをお守りください。

- 森林の中や高層ビルが密集する市街地などでは、GPS衛星の電波が遮られ受信できないことがあります。
- 立体駐車場やトンネル内などでは、GPS衛星の電波を受信できません。
- 拡張ベンチレーション・パネル下部に取り付けられているGPSアンテナを金属や電波を遮るもので覆わないでください。

- 車両エレクトロニカル・システムへの電圧供給が遮断された場合(車両バッテリーの交換時など)、受信状況によってはGPSの再初期化に15分以上かかることがあります。
- フェリーなどで車両を運搬した後は、ナビゲーション・システムをONにしてからGPSによる現在の測位が完了するまでに数分間かかることがあります。
- GPS衛星からの電波を受信できない場合、システムは他の車載センサーを活用して現在地を割り出します。これにより、GPS衛星からの電波の受信状況が良好でない場合でも、システムは機能し続けることができます。
- 雪道などでタイヤがスリップした場合、一時的に現在地表示が不正確になる場合があります。
- ナビゲーション・システムを始めて起動するときは、精密な補正を行うためにしばらく時間がかかることがあります。
- タイヤ交換(サマー/ウインター・タイヤ)をした後は、精密な補正に通常より時間がかかることがあります。
- 精密な補正プロセスが完了するまでは、十分な測位精度が得られないことがあります。

## ナビゲーション音声案内\*

音量などのナビゲーション音声案内の設定を変更することができます。

▷ 「音量設定」(92ページ)を参照してください。

## 目的地の入力\*

目的地を入力するときは、以下のポイントに注意してください。

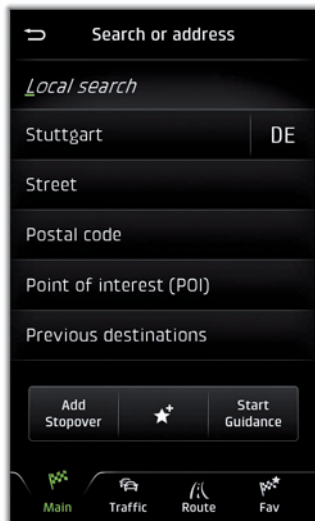
- 住所入力は、SDカードに保存されたデータを使用している場合にのみ行うことができます。

道路名、道路番号、都心部、施設情報などの検索は制限されることがあります。特に、目的地がまだデータ化されていない地域にある場合に制限されます(このような地域の地図データは不正確または不完全なことがあります)。

地図データの収集と更新のために、継続的な取り組みが続けられています。

最新のソフトウェアに関する情報については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

\* 日本仕様に設定はありません。



Nav01:20

## 周辺検索\*

Local search (周辺検索) 機能により、周辺地域の道路、市町村、施設などの目的地を検索し、選択することができます。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所)」を選択してください。
4. 「Local search (周辺検索)」を選択してください。
5. 入力フィールドに任意のデータを入力するか、リストから選択してください。入力した目的地が住所概要欄に表示されます。
6. ルート案内を開始するには、 を選択してください。

▷ POI (施設情報) のみを検索する場合：  
「現在地周辺の施設を探す」(131ページ) を参照してください。

## powered by Google オンライン検索\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Online search (オンライン検索)」を選択してください。
5. 入力欄に検索ワードを入力してください。
6. 「OK」を選択してください。
7. リストから項目を選択してください。

## i インフォメーション

powered by Google オンライン検索を利用するためには、テザリングによる接続が必要となります。

▷ 「テザリング」(94ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

powered by Google オンライン検索は、テザリングによる接続が有効な場合のみ利用できます。

## i インフォメーション

powered by Google オンライン検索機能は、中国では利用できません。

## Points of interest (施設情報(POI)) \*

施設情報には、ガソリン・スタンド、駐車場、レストラン、ホテル、病院などの情報が含まれます。

以下の項目から施設を検索できます：

- 現在地周辺
- 市内
- 目的地付近
- ルート沿い
- ジャンルから探す
- 地図を使用する

### 現在地周辺の施設を探す

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Point of interest (POI) (施設情報(POI))」を選択してください。
5. 「Local search (周辺検索)」を選択してください。
6. 入力フィールドに任意のデータを入力するか、リストから施設名を選択してください。

## 住所入力\*


1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 希望の項目を選択してください。
5. 入力フィールドに任意のデータを入力するか、リストから選択してください。入力した情報は住所概要欄に表示されます。

## i インフォメーション

市町村は、名前または郵便番号で入力することができます。

\* 日本仕様に設定はありません。


## 市内の施設を探す

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Point of interest (POI) (施設情報(POI))」を選択してください。
5. 「Search in [City] ([市町村]内を検索)」を選択してください。
6. 入力フィールドに任意の市町村名を入力するか、リストから選択してください。
7. 入力フィールドに施設名を入力するか、リストから施設名を選択してください。

### または

1. ステップ1~6の操作を行ってください。
2. ジャンルを選択してください。
3. ジャンルから施設を選択してください。

## 目的地周辺の施設を探す


1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Point of interest (POI) (施設情報(POI))」を選択してください。
5. 「POI search at Destination (目的地の施設検索)」を選択してください。
6. 入力欄に施設名を入力するか、リストから施設名を選択してください。

### または

1. ステップ1~5の操作を行ってください。
2. ジャンルを選択してください。
3. ジャンルから施設を選択してください。

## ルート沿いの施設を探す


ルート案内中にルート沿いの施設を検索することができます。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Point of interest (POI) (施設情報(POI))」を選択してください。
5. 「POI search along route (ルート沿いの施設検索)」を選択してください。
6. 入力欄に施設名を入力するか、リストから施設名を選択してください。

### または

1. ステップ1~5の操作を行ってください。
2. ジャンルを選択してください。
3. ジャンルから施設を選択してください。


## ジャンルから施設を探す

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Point of interest (POI) (施設情報(POI))」を選択してください。
5. ジャンルを選択してください。
6. リストから施設を選択してください。

## 地図で施設を探す

地図画面に施設が表示されている場合、地図上で施設を選択し、ルート案内を開始できます。

▷ 「POI (地点情報) の地図表示/非表示\*」(95ページ) を参照してください。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 施設を選択してください。  
施設情報の詳細が表示されます。

### 知識

複数の施設情報が地図上に重なり合って表示されることがあります。  
グループを選択すると、すべての施設情報が呼び出され、連続して表示されます。  
表示施設を切り替えるには、◀または▶にタッチしてください。

### インフォメーション


施設情報をタップすると、選択した施設が地図上に表示されます。

## 以前設定したことがある目的地\*


以前ルート案内したことがある目的地は自動的に登録されます。

以前設定したことがある目的地を再び選択し、ルート案内することができます。

### 以前設定したことがある目的地を表示する

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. 「Search or address (検索または住所入力)」を選択してください。
4. 「Previous destinations (以前設定したことがある目的地)」を選択してください。以前設定したことがある目的地のリストが表示されます。

### または

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」 を選択してください。
3. スワイプして、左メニュー「Previous destinations (以前設定したことがある目的地)」に移動してください。以前設定したことがある目的地のリストが表示されます。

## アドレス帳から目的地を選択する\*

PHONEメニューのアドレス帳に連絡先の住所が保存されている場合、その住所を目的地として設定できます。


1. アドレス帳から連絡先を選択してください。詳細情報が表示されます。
  - ▷ 更に詳しい情報については、「Contacts (連絡先)」を参照してください。
2. 住所を選択してください。詳細情報が表示されます。不足している情報があれば、追加できます。
  - ▷ 「住所入力\*」(131ページ)を参照してください。

## ルート案内の開始/中止\*

ルート案内を開始すると、分岐点での進行方向を示す矢印と分岐点までの距離などの走行ガイドがインフォメーション・ディスプレイに表示されます。

### ルート案内の開始

ルート案内を開始するには、少なくとも国名と市町村名を入力する必要があります。

- ▷ 住所データを入力したら、コントローラーの  を選択し、ルート案内を開始してください。

### ルート案内の停止


- ▷ ルート案内を中止するには、ルート案内中に「Main (メイン)」メニュー  を開きコントローラーの  を選択してください。

## 他のルート\*

### ルート案内の他のルートの設定

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Set NAVI (ナビ設定)」を選択してください。
4. 「Alternative routes (他のルート)」を設定/解除してください。



### 他のルートを選択してルート案内を開始する

「Alternative routes (他のルート)」機能を有効にした場合、ルート案内開始後に  を選択すると3種類の別ルートが地図上に表示されます。

- ▷ 他のルートを選択してください。ルート案内が始まります。


## 経由地 (ツアー) \*

ルート案内中に経由地を入力し、任意に立ち寄る順番を設定することができます。ルートが再計算され、設定された順番で経由地を巡って目的地に向かうルート (ツアー) をドライバーに案内します。


車両が設定した経由地に到着すると、直ちにその経由地は以前設定したことがある目的地のリストに表示されます。ツアー中のすべての目的地は目的地リストとして表示され、次の行き先がリストの先頭に表示されます。ツアー中の経由地は  マークで表示されます。ツアーの最終目的地は  マークが付いてリストの最後に表示されます。

\* 日本仕様に設定はありません。

## ルート案内の経由地の入力



1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. <sup>Add</sup> Stopover を選択してください。
4. 経由地を入力してください。  
▷ 「住所入力\*」(131ページ)を参照してください。
5. Continue を選択してください。
6. ルート案内を開始するには、<sup>Start</sup> Guidance を選択してください。

## リストを使用して経由地を入力する




1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」 を選択してください。
3. 「Stopover (経由地)」  
> 「Add stopover (経由地を追加)」を選択してください。
4. 経由地を入力してください。  
▷ 「住所入力\*」(131ページ)を参照してください。
5. Continue を選択してください。
6. ルート案内を開始するには、<sup>Start</sup> Guidance を選択してください。

## 経由地の順番を並べ替える

リストの項目を移動することで経由地の順番を変更することができます。ルート案内を開始すると、ルートが更新されます。


1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」 を選択してください。
3. 「Stopover (経由地)」  
> Sort を選択してください。  
▷ 必要に応じて、タッチスクリーン・ディスプレイの をドラッグして、経由地の順番を並べ替えてください。
4. ルート案内を開始するには、<sup>Start</sup> Guidance を選択してください。

## 経由地を削除する

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」 を選択してください。
3. 「Stopover (経由地)」  
>  を選択してください。
4. 削除したい経由地を選択してください。  
- 複数の項目を選択することもできます。
5.  を選択してください。


## 経由地の表示\*

ルート案内の途中で、経由地を地図上に表示することができます。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Main (メイン)」 を選択してください。
3. <sup>Show</sup> Destination を選択してください。

## 現在地の表示

現在地表示に戻るには：

- ▷ 地図上の を選択してください。

\* 日本仕様に設定はありません。



## 交通情報(TMC) \*

各FMラジオ局では、ラジオ番組に加えて交通情報 (TMCメッセージ: 交通メッセージ・チャンネル) を配信しています。PCMは国や地域によって、Free TMC、TMC Pro、Pay TMCなどを受信します。

詳しい情報はポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ナビゲーション・システムは、ルート案内中に交通情報を考慮に入れます。

- ▷ 「ダイナミック・ルート・プランニング(TCM)のON/OFF\*」(137ページ)を参照してください。

### i インフォメーション

交通情報の信憑性についてはラジオ局に責任があります。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

## 最新の交通情報 \*

リストに最新の交通情報を表示させることができます。

### i インフォメーション

ナビゲーション・システムのルート案内機能が有効になっている場合、「Traffic (交通)」メニューに現在のルートの交通情報が表示されます。

## 最新の交通情報のアルファベット順表示

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Traffic (交通)」メニューを選択してください。
3. スワイプして、右のメニューに移動してください。

## 現在地からの距離に応じた最新の交通情報の表示

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Traffic (交通)」メニューを選択してください。
3. スワイプして、左メニューに移動してください。

## 最新交通情報の詳細表示

最新交通情報の詳細を表示させることができます。

- ▷ 希望の最新交通情報リストを選択してください。
- ▷ 希望の最新交通情報を選択してください。詳細画面が表示されます。地図画面の上部に交通情報が表示されます。画面下部に交通情報の詳細が表示されます。
- ▷ 地図画面全体に交通情報を表示するには、タッチスクリーン・ディスプレイの地図にタッチしてください。
- ▷ 詳細画面を表示するには、つを選択するかステータス・ラインにタッチしてください。

## すべての交通情報を表示する

走行ルートの交通情報を表示させ、「Traffic all (全交通情報)」メニューを選択してください。

- ▷ 「最新の交通情報のアルファベット順表示」(135ページ)を参照してください。
- ▷ 「現在地からの距離に応じた最新の交通情報の表示」(135ページ)を参照してください。

## 交通情報の地図上での表示

- ▷ 「地図への交通情報メッセージの表示/非表示\*」(95ページ)を参照してください。

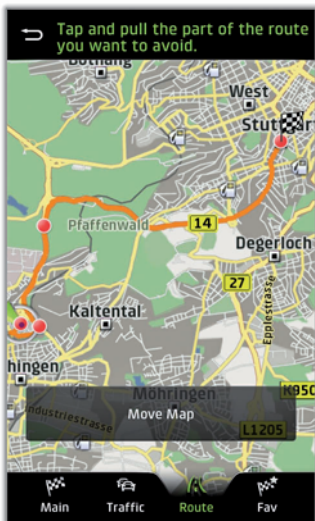
## ルート案内のオプション変更 \*

### 迂回ルート \*

設定可能な迂回ルート:

- 自由に選択可能な迂回ルート
- 最新交通情報に基づく迂回ルート
- ルート区間周辺の迂回ルート

\* 日本仕様に設定はありません。



Nav1.02.0

## i インフォメーション

コントローラーでMove MapとDrag Routeを切り替えることができます。

例：コントローラーにDrag Routeが表示されている場合、これを選択するとDrag Route機能が有効になります。

### 現在のルートの交通情報に基づく迂回ルート

ルート案内中、最新の交通情報に応じて迂回ルートを探索することができます。

1. 交通情報を表示してください。
2. 希望の交通情報を選択してください。  
詳細情報が表示されます。
3. コントローラーのDetourを選択してください。  
新しいルートが計算され、迂回ルートが設定されます。

## i インフォメーション

「Dynamic reroute (ダイナミック・リルート)」機能をONにしている場合、TMCメッセージに応じて迂回ルートが動的に設定されます。

▷ 「ダイナミック・ルート・プランニング(TCM)のON/OFF\*」(137ページ)を参照してください。

### 自由に選択できる迂回ルートの設定

ルート案内中、自由に選択可能な迂回ルートを設定できます。

1. NAVIボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」/(\)を選択してください。
3. 「Detour (迂回路)」を選択してください。  
現在のルートが表示されます。
4. タッチスクリーン・ディスプレイのルートを変更したい地点でルートを動かしてください。  
迂回ルートが設定されます。

### ルート区間周辺の迂回ルート

「Route list (ルート・リスト)」では、ルート案内中に計算されたルートの各区間が表示されます。リストを呼び出した時点で走行中の区間がリストの最上部に表示されます。

1. NAVIボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」/(\)を選択してください。
3. 「Route list (ルート・リスト)」を選択してください。
4. 避けたいルート区間を選択してください。  
そのルート区間が地図画面上に表示されません。
5. <sup>Block</sup>Segmentを押してください。  
新しいルートが計算され、迂回ルートが設定されます。

### 前に設定した迂回ルートを消去する

1. NAVIボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」/(\)を選択してください。
3. 「Remove blockings (迂回路の消去)」を選択してください。  
これまでに設定したすべての迂回ルートが取り消されます。  
新しいルートが再計算されます。

## ルート・オプションの設定\*

ルート・オプションは、システムによるルート算出に影響を与え、ルート案内の開始前やルート案内中に設定・変更することができます。

選択できるルート・オプション：

- 「Short Route (最短ルート)」
- 「Fast route (最速ルート)」
- 「Economic route (経済的ルート)」

1. NAVIボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」/(\ を選択してください。
3. 「Route options (ルート・オプション)」  
> 「Route types (ルート・タイプ)」を選択してください。  
すべてのルート・オプション用の地図表示に作動中のルート案内で使用したルートが表示されます。  
選択したルート・オプションはハイライトされます。
4. ルート・オプションを切り替えるには、  
◀または▶を選択してください。

## 避けたい道路の設定\*

「Avoid (回避)」を選択すると、ルート計画時に制約条件を設定することができます。

制約条件を有効にすると、PCMは該当する道路を避けてルートを探します。

設定した制約条件ではルート・プランが立てられない場合、そのことを知らせるメッセージが表示されます。

1. NAVIボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」/(\ を選択してください。
3. 「Route options (ルート・オプション)」  
> 「Avoid (回避)」を選択してください。
4. リストから避けたい道路を選択してください。
  - 「Toll (有料道路)」
  - 「Motorway (高速道路)」
  - 「Ferry (フェリー)」
  - 「Tunnel (トンネル)」
  - 「Mountain passes (山道)」新しいルートが算出され、表示されます。

## ダイナミック・ルート・プランニング (TCM)のON/OFF\*

ダイナミック・ルート・プランニングをONにすると、ルート算出時に交通情報(TMC)が考慮されます。

1. NAVIボタンを押してください。
2. 「Route (ルート)」/(\ を選択してください。
3. 「Route options (ルート・オプション)」を選択してください。
4. 「Dynamic reroute (ダイナミック・リルート)」をON/OFFにしてください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## お気に入り地点の登録\*

目的地をお気に入り登録できます。

### お気に入り地点を追加する\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」★を選択してください。
3. スワイプして、右メニュー「Stored destinations (登録済目的地)」に移動してください。
4. 「Add favourite (お気に入りを追加)」を選択してください。
5. 新しいお気に入り地点を入力してください。  
▷ 「住所入力\*」(131ページ)を参照してください。  
入力した情報は住所概要欄に表示されます。
6. ★を選択してください。
7. PCMが新しいお気に入り地点に名前を付けるよう指示します。  
必要に応じて入力フィールドで名前を変更し、確定してください。  
新しいお気に入り地点が、「Stored destinations (登録済目的地)」のお気に入りリストに表示されます。

### i インフォメーション

よく行く施設、立寄地、以前設定したことのあ  
る目的地などをお気に入り地点として追加す  
ることもできます。

### i インフォメーション



「Stored destinations (登録済目的地)」のお気に入りリストは、アルファベット順に表示されます。

### お気に入りの登録\*


表示される情報は、ルート案内中であるか、経  
由地を設定しているかなどの条件によって異  
なります。

1. NAVI ボタンを押してください。
2. OPTION ボタンを押してください。
3. 「Save (登録)」を選択してください。
4. リストから登録したい情報を選択してください。
  - 「Store destination (目的地を登録)」
  - 「Store current stopover (現在の経由地を登録)」
  - 「Store tour (ツアーを登録)」
  - 「Store position (現在地を登録)」

### お気に入りの呼び出しとルート案内の開始\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」★を選択してください。
3. スワイプして、右メニュー「Stored destinations (登録済目的地)」に移動してください。
4. お気に入りを選択してください。  
詳細画面が表示されます。
5. ルート案内を開始するには、 Start Guidance を選択してください。

### お気に入りを削除する\*

1. NAVI ボタンを押してください。
2. 「Fav (お気に入り)」★を選択してください。
3. スワイプして、右メニュー「Stored destinations (登録済目的地)」に移動してください。
4. お気に入りを選択してください。  
詳細画面が表示されます。
5. OPTION ボタンを押してください。
6. 「Delete (削除)」を選択してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

お出かけの前に .....	140
慣らし運転の知識 .....	140
車両の技術的な仕様変更 .....	140
運転中の装備の設定および操作 .....	141
スポーツ・タイヤ .....	141
地上高 .....	142
サーキット走行（スポーツ・ドライビング・ スクール、クラブ・スポーツ・イベント など） .....	142
国外での走行 .....	142
テール・パイプ .....	142
故障診断用ソケット .....	143
イグニッション・ロック、ステアリング・ ロック .....	143
エレクトリック・パーキング・ブレーキ ...	145
フット・ブレーキ .....	147
ボルシェ・セラミック・コンポジット・ ブレーキ(PCCB) .....	148
クルーズ・コントロール .....	148
Porsche Doppelkupplung(PDK) .....	149
セレクター・レバー・ポジション .....	151
走行制限プログラム .....	154
トランスミッションおよびシャーシ・ コントロール・システム .....	155
エレクトリック・ボルシェ・トラクション・ マネージメント(ePTM) .....	156
ボルシェ・スタビリティ・ マネージメント(PSM) .....	156
ボルシェ・アクティブ・サスペンション・ マネージメント(PASM) .....	161
ボルシェ・トルク・ベクトリング・ プラス (PTVプラス) .....	162

ボルシェ・アクティブ・エアロダイナミ クス(PAA) .....	163
フロント・アクスル・リフト・システム ...	164
リヤ・アクスル・ステアリング .....	165

## お出かけの前に

- ▷ すべてのタイヤの空気圧、トレッドおよびその他の状態に異常はありませんか？
- ▷ ヘッドライト・レンズ、リヤ・ライト、方向指示灯、ウィンドウ、リバース・カメラ・レンズが汚れていませんか？
- ▷ イグニッションをONにしたとき、ヘッドライト、ブレーキ・ライト、方向指示灯が正常に作動しますか？
- ▷ イグニッションON（エンジンOFF）状態で、各種警告灯/インジケーター・ライトが正常に作動しますか？
- ▷ 燃料が不足していませんか？
- ▷ ルーム・ミラーおよびドア・ミラーは、後方がきちんと確認できる位置にありますか？
- ▷ ドライバーおよび乗員は、シートベルトを着用していますか？
- ▷ 各種オイル/フルード・レベルは、指定された点検時期以外でも定期的に点検してください。

## 慣らし運転の知識

車両の性能を最良の状態で維持するために、新車時は慣らし運転を行うことをお勧め致します。

最新鋭の精密な製造技術を採用入れても、可動部分が馴染む過程で初期摩耗することを完全には防げません。この初期摩耗は、主に新車時から3,000kmまでの期間に生じます。

### i インフォメーション

走行距離が3,000kmに達するまでは、次の事項を遵守してください。

- ▷ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨します。
- ▷ 冷間始動と近距離運転の繰り返しは、できる限り避けてください。
- ▷ クラブ・スポーツ・イベント、スポーツ・ドライビング・スクール等に参加しないでください。
- ▷ エンジンを高回転域まで回さないでください。特に、エンジンの暖機が完了するまでは、高回転を避けてください。

### オイル消費量/燃費

慣らし運転中は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

オイルと燃料の消費量については「テクニカル・データ」の章を参照してください：

- ▷ 「動力ユニット・データ（メーカー発表値）」（254ページ）を参照してください。
- ▷ 「燃費、電力消費量および排出ガス（メーカー発表値）」（254ページ）を参照してください。

### 新しいブレーキ・パッドの慣らし運転

新品のブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。

通常よりも、わずかながらブレーキの効きが弱くなるため、強めにペダルを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

### 新しいタイヤの慣らし運転

- ▷ 注意してください：新しいタイヤは、そのグリップ性能を十分に発揮できません。新品のタイヤを装着してから最初の100～200kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

## 車両の技術的な仕様変更

- ▷ 車両の技術的な仕様変更はポルシェ正規販売店で実施してください。これにより、お客様のポルシェの信頼性と走行安全性を維持することができ、改造に起因する不具合を回避できます。ポルシェ正規販売店では、お客様のご要望に応じた適切なアドバイスをいたします。

### 知識

- ▷ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。ポルシェ純正部品は、ポルシェ正規販売店で入手することができます。安全性に関係するアクセサリーを取り付けるときは、ポルシェ・テクニカル製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。アクセサリーについてご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお気軽にご相談ください。ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が承認した以外の部品やアクセサリーの使用は、車両に悪影響を及ぼす可能性があります。この結果として生じた損害、損傷に対してポルシェ社は責任を負いかねます。

ポルシェ純正部品や承認部品、アクセサリを供給しているメーカーの製品でも、特定の部品を使用することで車両の安全性に悪影響を与える可能性があります。

マーケットには膨大な数の部品、アクセサリが流通しているため、ポルシェ社はそれらのすべてについて評価と承認を行うことができません。

- ▷ また、ポルシェ純正部品または承認部品以外の部品を使用した場合、保証期間内であってもメーカー保証を適用できなくなる可能性がありますのでご注意ください。

### ▲ 警告

空気に影響する部品の損傷または欠損

スポイラーやアンダー・パネルなど、空気に影響する部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす危険性があります。

- ▷ 不具合の兆候などがないか、日頃から定期的な点検を実施してください。
- ▷ これらの不具合が発生したときは、直ちに修理してください。

## 運転中の装備の設定および操作

### ▲ 警告

運転中のインストールメント・パネル・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム\*、電話などの操作および設定

運転中にドライバー・インフォメーション・システム、ラジオ、ナビゲーション・システム\*、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

\* 日本仕様には設定はありません。

- ▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。（\*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています。）
- ▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停車してから行ってください。

## スポーツ・タイヤ

車両には特別なスポーツ・タイヤ（ウルトラ・ハイ・パフォーマンス・タイヤ）が装備されています。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法的要件および安全基準に適合しています。

このタイヤはレース・サーキット（安全運転トレーニング・コース、スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベント）での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。

主な特長は、特殊なトレッド・パターンおよびカーカス、そしてトレッドの溝が浅くなっていることです。

これらのスポーツ・タイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来の夏用タイヤに比べて、以下のような影響があります：

- スポーツ・タイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビング・スタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロプレーニング現象が発生しやすい状況（冠水路、水たまり、轍など）に注意し、状況に合わせて車速を適切に調節してください。（一般的なタイヤの摩耗した場合と同様です。）

- 高いパフォーマンスの限界域で使用する場合、タイヤの使用限界を超えると負う危険性も増大するため、十分注意を払ってください。
- サマー・タイヤの走行性能は、外気温度が7°C以下になると低下し、快適性も損なわれます。サマー・タイヤの使用を続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。更に外気温度が極端に低くなると（-15°C以下）、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。
- ▷ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

### ▲ 警告

タイヤ・トレッドの摩耗によるハイドロプレーニング現象を起こす危険性の増大

タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロプレーニング現象を起こす危険性が增大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▷ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

### ▲ 警告

タイヤのトレッドの摩耗

スポーツ・タイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

- ▷ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

## 地上高

### 知識

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

この車両は車高（地上高）が低いため、車体が路面と接触する恐れがあります。

- ▷ 「フロント・アクスル・リフト・システム」（164ページ）を参照してください。
- ▷ 立体駐車場入口のスロープ、縁石、不整路、作業リフトなどへの乗り入れでは、ゆっくりと慎重に走行してください。
- ▷ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▷ 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引されるときは十分に注意してください。

## サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）

### ブレーキ・フルード、ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。ブレーキ液が水分を含むと沸点が下がり、サーキット走行時（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）の高温、高負荷時においてブレーキ性能に悪影響を及ぼします。

このため、使用開始から1年以上経過したブレーキ液は、サーキット走行時（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベント）に使用しないでください。

- ▷ 「整備手帳」のインフォメーションも参照してください。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、運転の仕方やメンテナンスによって大きく左右されます。サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）によって高温、高負荷がかかるとブレーキ構成部品は激しく摩耗します。

- ▷ そのため、サーキット走行の前後に、必ずブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないかポルシェ正規販売店で点検を受けてください。

### レース用タイヤ

スポーツ・イベントなどでレース用タイヤ（スリックタイヤなど）を装着することはポルシェ社では承認されていません。

レース用タイヤを装着すると非常に高い速度でのコーナリングが可能になります。その結果、非常に大きなコーナリング・フォースが発生し、エンジン・オイルの供給不足が生じて潤滑不良が起こり、エンジンを損傷する恐れがあります。

このような不具合は保証の対象になりません。また、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。

## 国外での走行

すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規代理店で修理作業が行えないことがあります。

- ▷ 国外への旅行前に確認しておくこと
  - 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
  - 車両の技術的な調整は必要ではありませんか？
  - 車両の高電圧バッテリーの充電に適した電源電圧の電気ソケット/アダプターは入手可能ですか？
  - 条件を満たす品質の燃料は入手可能ですか？

燃料の品質に関するインフォメーション：

- ▷ 「燃料の給油」（215ページ）を参照してください。

## テール・パイプ



警告

高温のテール・パイプ

エンジン作動中や、エンジンを停止してからしばらくの間はテール・パイプおよび周辺部が熱くなっています。

- ▷ テール・パイプとの接触を避け、近くに物を置かないでください。
- ▷ お子様はテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。



## 故障診断用ソケット



警告

車両電気リカル・システムへの不当な介入

外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

- ▷ 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。



警告

運転席足元の装置のゆるみ/ケーブルが垂れ下がり

運転席足元で装置がゆるんでいたりケーブルが垂れ下がっている場合、減速時やコーナリング時にペダル周辺のスペースを遮ったり、ペダル間に絡まる恐れがあります。

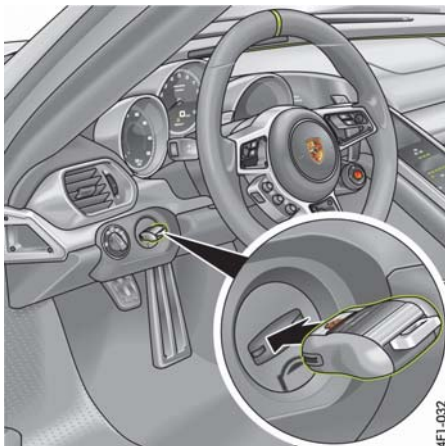
- ▷ 運転席足元に装置やケーブルを置かないでください。

知識

故障診断用ソケットはポルシェ正規販売店で診断装置を接続するためのものです。

イグニッションOFFの状態では故障診断用ソケットを使用して外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を作動させると、バッテリーが上がる恐れがあります。車両を長期にわたって駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

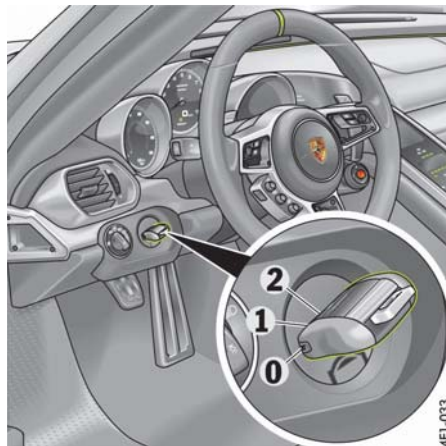
- ▷ 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。



## イグニッション・ロック、ステアリング・ロック

イグニッション・キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。

イグニッション・ロックには3つのスイッチ位置があります。



キーの設定

- 0 - 初期位置
- 1 - イグニッションON
- 2 - 作動準備

## i インフォメーション

イグニッション・キーを差し込んだままにする、またはイグニッションをONにしたまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、イグニッション・キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます。

- ▷ 「緊急操作 - イグニッション・キーの抜き取り」(16ページ)を参照してください。

## イグニッション・ロック位置0 - イグニッションOFF (初期位置)

イグニッション・ロックが位置0のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。イグニッション・キーはこの位置で抜き取ることができます。

## イグニッション・ロック位置1 - イグニッションON

▷ イグニッション・キーを1の位置に回してください。

すべての電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。イグニッション・キーをロック位置0 (初期位置) に回してください。

イグニッションをONにするか、またはエンジンを始動すると、イグニッション・キーが抜き取れなくなります。

イグニッション・キーを抜き取るには：

- ▷ 停車してください。
- ▷ PDKセレクター・レバーをNの位置にしてください。
- ▷ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▷ イグニッションをOFFにしてください。
- ▷ イグニッション・キーを抜き取ってください。

## イグニッション・ロック位置2 - 作動準備

▷ イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置2に回してください。

作動準備状態になると、イグニッション・キーが位置2から1に自動的に戻ります。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、作動準備状態になります。

▷ 「イモビライザー」(208ページ)を参照してください。



危険

有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

▷ 換気の悪い場所でエンジンを始動したり、アイドリングをしないでください。



警告

高温の排気ガスやエキゾースト・システムによる火傷や火災の恐れがあります

エンジン作動中のエキゾースト・システムは排気ガスにより非常に熱くなります。

▷ 可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温の排気システムに接触するような場所に駐車したり、走行しないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：

▷ 「エミッション・コントロール・システム」(214ページ)を参照してください。

## ハイブリッド車の始動

ハイブリッド車の始動に関するインフォメーション：

▷ 「ハイブリッド車の始動」(182ページ)を参照してください。

## 停止

▷ イグニッション・キーを抜く前に、必ず車両を停車させてください。

▷ エンジン/ハイブリッド・システムをOFFにすると、パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動も停止するため、車両が停止状態にあるときのみイグニッションをOFFにしてください。

▷ 降車時は、必ずイグニッション・キーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。

## ステアリング・コラム・ロック

イグニッション・キーをイグニッション・ロックから抜き取ると、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。イグニッション・キーをイグニッション・ロックに差し込むと、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。



## エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、駐車中に車両が動き出さないように固定します。

### パーキング・ブレーキを作動させる

- ▷ (P)ボタンを押してください。  
「Speed & Assist」ディスプレイのブレーキ警告灯が点灯します。

インストルメント・パネルのインジケーター・ライトおよび警告灯に関するインフォメーション：

- ▷ 「ドライバー・インフォメーション・インストルメント・パネル」(53ページ)を参照してください。

### パーキング・ブレーキを解除する

エレクトリック・パーキング・ブレーキは、イグニッションがONのときのみ解除できます。

1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. (P)ボタンを押してください。  
「Speed & Assist」ディスプレイのブレーキ警告灯が消灯します。

### ドライバーの発進操作検出時のエレクトリック・パーキング・ブレーキ自動解除

エンジンが作動中で運転席ドアが閉じており、運転席シートベルト(3点式シートベルト)を着用している場合、パーキング・ブレーキをかけたままでも発進することができます。エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。警告灯が消灯します。

運転席ドアが閉じていない、または運転席シートベルトを着用していない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキは自動解除されません。

このとき、インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「Release parking brake (パーキングブレーキ解除)」のメッセージが表示されます。「Speed & Assist」ディスプレイのブレーキ警告灯と、(P)ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

インストルメント・パネルに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

### エレクトリック・パーキング・ブレーキの自動ロック



警告

車両が不意に動き出す恐れがあります

セレクター・レバーがNの位置にある場合、運転席ドアを開いたときにエレクトリック・パーキング・ブレーキは自動的にロックされません。

- ▷ 運転席ドアを開く前に、手動でエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。

PDKセレクター・レバーがDまたはRの位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキがロックされます。「Speed & Assist」ディスプレイのブレーキ警告灯と、(P)ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インストルメント・パネルに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

### 緊急ブレーキ機能

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▷ (P)ボタンを押し続けてください。  
「Speed & Assist」ディスプレイのブレーキ警告灯と、(P)ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。  
緊急ブレーキ機能はボタンから手を放すと解除されます。



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げる恐れがあります。

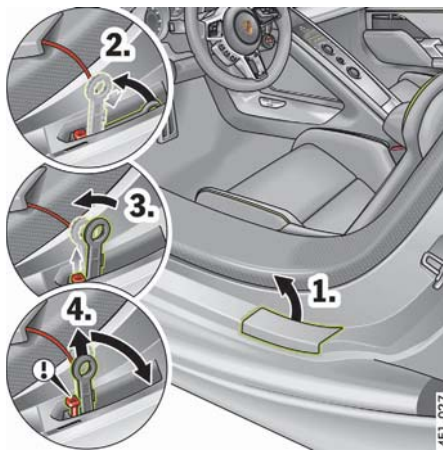
- ▷ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- ▷ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

## ❶ 警告灯

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキが確実にかからない場合、「Speed & Assist」ディスプレイのブレーキ警告灯 (❶) が点滅します。

インストルメント・パネルに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。



## エレクトリック・パーキング・ブレーキの故障

エレクトリック・パーキング・ブレーキが故障した場合は、緊急ロック（アンチロール・ロック）を使用して車両が動き出すのを防止する必要があります。

イグニッションをOFFにすると、「Car & Info」ディスプレイに次の警告メッセージが表示されます。「Activate manual anti-roll lock (手動アンチロール・ロックを作動させてください)」

### 緊急ロック（アンチロール・ロック）をかける

1. ドア・シルのカバーを取り外し、安全な状態で車内に置いてください。

知識

操作レバーおよび運転席ドアを損傷する恐れがあります。

操作レバーを押し上げているときに、運転席ドアを閉じないでください。

- ▷ 運転席ドアが内側に閉じていない、または全閉していないことを確認してください。

2. 操作レバーのリング・アイレットを握り、前方に起こして締結させてください。

3. 締結した操作レバーを、前方の矢印方向に完全に止まるまで押してください。赤いマーク「P」が上がります。

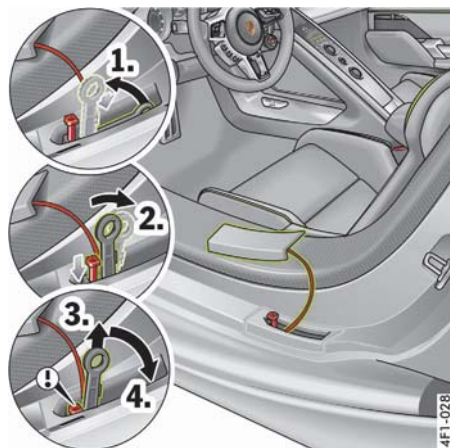
これで車両は動き出さないように固定されたため、緊急操作によりイグニッション・キーを解除し抜き取ることができます。

「緊急操作 - イグニッション・キーの抜き取り」(16ページ)を参照してください。

4. 操作レバーを引き上げ、元の位置まで戻してください。

この位置では、車両は動き出さないように固定されていますが、運転席ドアを閉じることはできません。

この位置ではカバーをドア・シルにはめ込むことはできません。



### 緊急ロックを解除する

1. 操作レバーのリング・アイレットを握り、前方に起こして締結させてください。

#### 警告

車両が不意に動き出す恐れがあります

次の手順の後、車両が再び動き出す恐れがあります。

- ▷ フットブレーキをかけ、タイヤの下に輪止めを置いて車両を固定してください。
2. 締結した操作レバーを、後方の矢印方向に完全に止まるまで押してください。  
赤いマーク「P」が下がります。  
車両を再び動かし、走行させることができます。
3. 操作レバーを引き上げ、元の位置まで戻してください。
4. カバーをドア・シルにはめ込んでください。

## フット・ブレーキ

#### 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▷ フロア・マットなどでブレーキ・ペダルの動きを妨げないようにしてください。  
正しいサイズのすべり止め加工がされたフロア・マットが、ボルシェ正規販売店で入手できます。

#### 警告

ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▷ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

#### 警告

制動力の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

- ▷ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。  
ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。  
急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果だけでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液の点検に関するインフォメーション：

- ▷ 「ブレーキ・フルード」（226ページ）を参照してください。

## ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク



#### 警告メッセージ

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

▷ 直ちにボルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

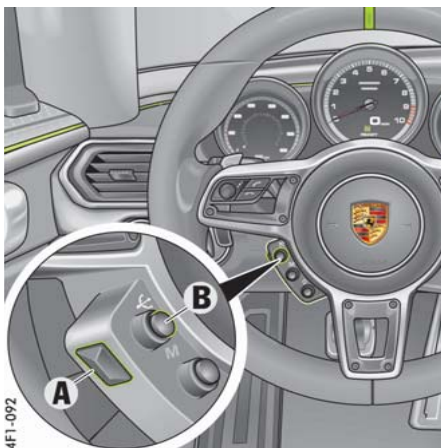
この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適の制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生することがあります。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。



4F1-092

A - クルーズ・コントロールのON/OFF

B - 速度の設定

## クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30~240km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。クルーズ・コントロールは、ステアリング・ホイールにあるボタンAおよびBで操作します。



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合にクルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす恐れがあります。

▷ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合(冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など)でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

4FF\_718



## クルーズ・コントロールON (スタンバイ)

▷ ステアリング・ホイールのボタンAを押してください。



### クルーズ・コントロールON

クルーズ・コントロールがスタンバイ状態になると、スピードメーター上に灰色のシンボル・マークCが表示されます。

- 灰色：スタンバイ状態
- 緑色：作動中

## 速度の設定(維持)

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・ホイールのボタンBを押してください。

設定速度は、「Car & Info」ディスプレイに短時間表示されます。

そのときの走行速度が保存され、自動的に維持されます。設定速度はスピードメーター上の矢印Dで表示されます。

## 加速（追い越しなど）

- ▷ 通常走行と同じようにアクセル・ペダルを踏むと加速します。アクセル・ペダルから足を放すと、設定速度に戻ります。

## クルーズ・コントロールの中断

- ▷ ステアリング・ホイールのボタンAを押してください。  
または  
ブレーキ・ペダルを踏み、PDKセクター・レバーをNの位置に動かしてください。

Porsche Doppelkupplung(PDK)に関する追加インフォメーション：

- ▷ 「PORSCHE DOPPELKUPPLUNG(PDK)」(149ページ)を参照してください。

## クルーズ・コントロールの自動中断：

- 設定速度より約25km/h以上速い速度で、20秒以上走行した場合
- ボルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)が0.5秒以上作動した場合

## Porsche Doppelkupplung(PDK)

Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。

オートマチック・モード（セクター・レバーがDの位置）では、変速が自動的に行われます。

ステアリング・ホイールのシフト・パドルで一時的にオートマチック・モードから**マニュアル・モード**に切り替えることができます。シフト・パドルを操作してギヤ・チェンジを行います。

- ▷ 「ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト」(152ページ)を参照してください。

シフト・パドルまたは**Mボタン**を操作すると、**内燃エンジンが始動します**。完全な電動モーター走行は、マニュアル・ギヤ・チェンジを行わないオートマチック・モードでのみ可能です。

ステアリング・ホイールの**Mボタン**を1回押すことにより、常にオートマチック・モードから**マニュアル・モード**に切り替えることができます。シフト・パドルを操作してギヤ・チェンジを行います。

ステアリング・ホイールのボタン**M**を再度押すと、オートマチック・モードに戻ります。

選択モード**D**と**M**は、走行中でも随時切り替えることができます。

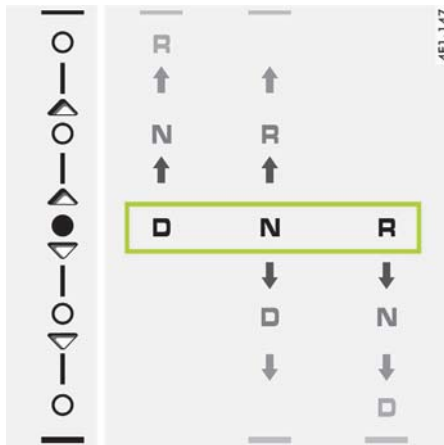
- ▷ ステアリング・ホイールのシフト・パドルを誤って操作しないよう注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。



## セクター・レバーの操作

車両が「走行可能」な状態である（「Power & Drive」ディスプレイに「Ready（走行可能）」が表示される）と同時に、フットブレーキを踏んでいるときのみ、セクター・レバーの操作でギヤ・チェンジを行うことができます。

作動後、セクター・レバーは元のセンター位置に戻り、選択したギヤが「Power & Drive」ディスプレイ上およびセクター・レバーの左側に表示されます。



4F1-147



シフト・パターン

#### NからDにシフトする：

- フット・ブレーキを踏んでください。
- セレクター・レバーをDの位置に押しください。

#### DからRにシフトする：

- セレクター・レバーを2回Rの位置に押しください。

#### RからDにシフトする：

- セレクター・レバーを2回Dの位置に押しください。

### 始動と停止

始動および停止に関するインフォメーション：

- ▷ 「走行中のハイブリッド機能と作動モード」(180ページ)を参照してください。

A - セレクター・レバー・ポジション・インジケーター  
およびギヤ・ポジション・インジケーター

### セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

Eパワー・モードのとき、または内燃エンジンの作動中は、選択したギヤがタコメーター・ディスプレイに表示されます。現在のセレクター・レバー位置はディスプレイに表示されるとともに、セレクター・レバーの左側のR、N、またはDの点灯により表示されます。

- ▷ 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びNから希望のギヤに入れてください。

### セレクター・レバー位置RまたはDが短時間点灯する

容認されないセレクター・レバー位置にシフトすると、「Power & Drive」ディスプレイ上およびセレクター・レバー部のセレクター・レバー・ポジション・インジケーターが1回点灯し、Nに入ります。駆動力が伝達されません。

#### 原因：

- 高すぎる速度で、セレクター・レバーをRまたはDにシフトした

安全のため、2秒後にエンジンからトランスミッションへの動力伝達が遮断されます。

#### 処置：

- ▷ ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びNから希望のギヤに入れてください。
- ▷ 速度を落とし、停車してから再び希望のギヤに入れてください。
- ▷ シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じた状態で操作してください。
- ▷ 「シフトアップ・インジケーター：M-マニュアル・モード」(153ページ)を参照してください。

### セレクター・レバー・ポジション・インジケーターの故障

- ▷ 「走行制限プログラム」(154ページ)を参照してください。



## セレクター・レバー・ポジション

### R-リバース・ギヤ

- ▷ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

### N-ニュートラル

けん引時などは、セレクター・レバーをNの位置にしてください。

### D-オートマチック・モード

「通常」の走行時には、セレクター・レバーのDの位置を使用してください。

車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

電動モーター走行中（Eパワーまたはハイブリッド）は、最大限に効率を高めるため（パワーと性能）に最適なシフト・ポイントが常に選択されます。

内燃エンジンをONにして走行しているときは、ドライビング・スタイル（エコ走行、快適走行、またはスポーティーな走行）や車両に作用する負荷（坂道など）に応じて、ギヤが切り替わるタイミングがエンジン低回転域から高回転域まで変化します。

また、アクセル・ペダルの踏み込み方、ブレーキ・ペダルの操作、車速、エンジン回転数、縦方向/横方向の加速度および地形に応じて変速プログラムが変化します。

コーナー手前などで素早くアクセル・ペダルを戻すと、不必要なシフトアップを回避できます。

コーナリング中は横方向の加速度に応じて、エンジン回転数がレブリミットに達するまでシフトアップは行われません。

ブレーキを踏むと、減速の程度に応じてPDKトランスミッションが早めにシフトダウンします。

コーナー手前でブレーキをかけると、最適なギヤが選択されます。適切なギヤでコーナリングすると、コーナーを曲がりきってアクセルを踏むときにシフトダウンする必要はありません。

最高速度には6速ギヤで達します。したがって、トランスミッションは最高速度で7速ギヤを選択しません。

ただし、必要に応じて7速ギヤを手動で選択することもできます。

PSMが作動しているとき、シフトアップおよびシフトダウンはできるだけ回避されます。PSMがOFFのときにホイールが高速で空転した場合、空転が検出されなくなるまでシフトアップは行われません。

### 惰性走行モードで走行する

- ▷ 「惰性走行（駆動力なしでの走行）」（181ページ）を参照してください。

### 「スポーツ・ハイブリッド」モードを選択した場合

PDKトランスミッションがスポーティーな変速特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。

ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。

エンジン高回転域でブレーキを操作すると、シフトダウンされます。

- ▷ 「走行モード」（183ページ）を参照してください。

### 「レース・ハイブリッド」モードを選択した場合

「レース・ハイブリッド」モードでは、PDKトランスミッションがサーキット走行に適したシフト特性に切り替わります。

「スポーツ・ハイブリッド」モードに比べて、ギヤチェンジ性能が更に格段に向上します。シフト・ポイントは、サーキットでの走行性能を最大限に高めるよう設定されます。

- ▷ 「走行モード」（183ページ）を参照してください。

### 「ホットラップ」モードを選択した場合

「ホットラップ」モードでは、Porsche Doppelkupplung(PDK)は「レース・ハイブリッド」モードと同様に作動します。また、サーキットの直線コース（横加速度なし）でのシフトアップ時はエンジンの介入を抑制し、ベスト・ラップの達成を図ります。エンジンは変速時にも最高出力で作動し、更にダイナミックなトルク向上を実現します。

## ローンチ・コントロールを使用した発進

ローンチ・コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。



警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に速く加速します。そのため、車両のコントロールが失われたり、他のドライバーに危険が及ぶ恐れがあります。

- ▷ ローンチ・コントロールはサーキットでの使用をお勧めします。
- ▷ 路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合に限って、ローンチ・コントロールを使用してください。
- ▷ 他の通行者を危険にさらしたり、他人の迷惑になるような状況ではローンチ・コントロールを使用しないでください。

## i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

作動条件：

- ローンチ・コントロールは、必ず内燃エンジンが作動温度に達してから使用してください。
- トラクション・コントロール(TC)をONにする必要があります(TCオフ・スイッチのインジケータ・ライトが点灯していない状態にしてください)。

1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル・ペダルをいっばいに踏み込んで、内燃エンジンの回転数に達するまで保持してください。  
「Power & Drive」ディスプレイに「Launch Control (ローンチ・コントロール)」の文字が表示されます。
3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

ローンチ・コントロールの状態で長時間停車しているとトランスミッションに過負荷がかかります。

トランスミッションの損傷を防ぐため、エンジン出力が制限されてローンチ・コントロールのプロセスがキャンセルされます。

**発進するには、最初にアクセル・ペダルを完全に放してください。**

## ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト

ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モードDからマニュアル・モードMに切り替えることができます。

例：

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
- 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
- 急加速時にシフトダウンしたいとき

次の場合は、マニュアル・モードが維持されます：

- オーバーラン・モードのとき
- 車両が交差点などで停車した場合

次の場合は、オートマチック・モードに戻ります：

- 約6秒後に自動的に解除（オーバーラン時以外）
- 発進後



## M-マニュアル・モード

現在のギヤは、DからMにシフトしてもそのまま維持されます。

MからDにシフトした場合は、現在のドライビング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

セレクター・レバーおよびステアリング・ホイール・スポーク背面のシフト・パドルの操作により、快適で正確に7速前進ギヤを選択することができます。

マニュアル・モードMの選択時は、エンジンが許容最高回転数に達しても自動的にシフトアップされません。

- ▷ 上り坂ではエンジン・パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン・ブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。



## 右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

- ▷ ステアリング・ホイール背面の右シフト・パドルを手前に引いてください。

## 左「-」シフト・パドルでのシフトダウン

- ▷ ステアリング・ホイール背面の左シフト・パドルを手前に引いてください。

## シフト・パドルの連続操作による素早いギヤシフト

シフト・パドルを素早く連続操作した数と同じ数のギヤ段をシフトアップまたはダウンできます。

変速したときにエンジンの許容回転数(最高回転数または最低回転数)を超える場合、コントロール・ユニットによって変速が実行されません。



シフトアップ・インジケータ：M-マニュアル・モード

## 低燃費走行のためのシフトアップ・インジケータ

「Power & Drive」ディスプレイに燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケータ Aがあり、ドライバーが省燃費運転できるよう支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▷ シフトアップ・インジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

## 走行制限プログラム

「Power & Drive」ディスプレイのセレクター・レバー・インジケーターの故障



### 「Gearbox failure (ギヤボックスの故障)」

「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージ「Gearbox failure Park vehicle safely (ギヤボックスの故障 車を安全な場所に停めて下さい)」が表示されます。

処置：

- 直ちに安全な場所に停車してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。車両をけん引しなければならない場合は：「けん引」(249ページ)を参照してください。

### トランスミッションに故障が発生した場合

- 「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージ「Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (ギヤボックスの故障 リバース・ギヤ不可の場合あり 継続走行可能)」または「Drive temperature too high Reduce load (ギヤボックス 異常高温 要負荷軽減)」が表示されます。



「Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (ギヤボックスの故障 リバース・ギヤ不可の場合あり 継続走行可能)」：

影響：

- スムーズな変速ができなくなり、リバース・ギヤに入らないことがあります。

処置：

- ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



「Drive temperature too high Reduce load (ギヤボックス 異常高温 要負荷軽減)」：

影響：

- 車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。

処置：

- 例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。警告が消えるまでセレクター・レバーをNの位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。車両が動き出さないようにブレーキを踏んでください。

## エレクトリック・パーキング・ブレーキの故障

エレクトリック・パーキング・ブレーキが故障した場合は、「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージ「Engage manual anti-roll lock (手動アンチロール・ロックを作動させてください)」が表示されます。緊急ロック(アンチロール・ロック)を使用して車両が動き出すのを防止する必要があります。

- ▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキの故障」(146ページ)を参照してください。

## トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

車両にはパワー・トランスミッションおよびシャーシに作用するすべてのコントロール・システムによって構築された、複合一体型システムが搭載されています。

この連携作動により、走行安全性を最大限に高めつつ優れたドライビング・パフォーマンスを実現します。

車両の装備仕様により、次のコントロール・システムが搭載されています：

システム/名称	適用
<b>ePTM</b> エレクトリック・ボルシェ・トラクション・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"><li>- アクティブ4WDシステム</li></ul>
<b>PSM</b> ボルシェ・スタビリティ・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"><li>- アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)</li><li>- ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト：HBA）</li><li>- ブレーキ・フォース・ディストリビューション（エレクトロニック・ブレーキ・フォース・ディストリビューション：EBD）</li><li>- オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)</li><li>- トラクション・コントロール(TC)</li><li>- ラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール：ESC）</li><li>- エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(DTC)、フロントおよびリヤ・アクスル個別制御</li><li>- 停止制御（ヒル・ホールド・コントロール：HHC）</li></ul>
<b>PASM</b> ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"><li>- 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム</li></ul>
<b>PTVプラス</b> ボルシェ・トルク・ベクトリング・プラス	<ul style="list-style-type: none"><li>- より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御</li><li>- 可変電子制御式リヤ・ディファレンシャル・ロック</li></ul>

## エレクトリック・ポルシェ・トラクション・マネージメント(ePTM)

ポルシェ・トラクション・マネージメントは、車体前後方向および横方向のドライビング・ダイナミクスを高めるアクティブ4輪コントロール・システムです。

車両のスポーツ特性を向上させるために常にリヤ・アクスルを駆動させています。走行状態に合わせて、モーター・ジェネレーターによりフロント・アクスルへの駆動力配分を制御します。

PSMと連動して、ePTMシステムはあらゆる走行状態で4輪の駆動力を最適に配分します。このシステムにより、トラクションと走行安定性が向上し、俊敏でダイナミックなレスポンスを実現します。



警告

車両コントロールの喪失

ePTMと4WDを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ePTMまたは4WDを装備していても、車両の物理的限界を超えてコントロールすることはできません。

ePTMまたは4WDは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

## ePTMの利点

- 車両のトラクション、走行安定性、ステアリング性能が大幅に向上します。
- 性能限界域で走行しているときのコントロール性が高まります。
- 直進安定性が向上します。
- 4WDの利点をフルに活用すれば、よりスポーティーな車両設定が可能です。
- TC、ABDおよびPTVプラスにより更に4輪のトラクションが向上します。

TCおよびABDに関するインフォメーション：

- ▷ 「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」(156ページ)を参照してください。

## ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)

「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨します。特に濡れた路面ではシステムを作動させてください。

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。

PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)およびエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム(MSR)の機能と同様に、オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)とトラクション・コントロール(TC)の両方を利用します。



警告

車両コントロールの喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

## PSMの利点

- 様々な路面状況、運転状況で最適なトラクション性能と直進安定性を確保します。
- コーナリング中、ドライバーがアクセル・ペダルやブレーキ・ペダルから足を放したときの安定性の損失を補正します。この補正は、対横G限界に達するまで持続します。

- PSM は、車線変更や連続したカーブでの急なステアリング操作を行ったときなどに積極的に走行安定性を維持します。
- コーナリング中や変化に富んだ路面状況下でブレーキをかけたときの走行安定性を確保します。
- 急ブレーキをかけたときの制動力を高め、制動距離を短くします。

### 作動条件

PSM は、エンジンを始動すると自動的にONになります。

### 機能

ホイール、ブレーキ、ステアリング・システム、およびエンジンのセンサーが常に車両の状態をモニターしています：

- 走行速度
- 作動方向（ステアリング角）
- 横方向加速度
- 縦方向加速度
- 上下軸の回転率

PSMはこれらの数値を利用して、ドライバーの望む進行方向を検出します。

PSMは、ステアリングの切れ角と実際の進行方向の偏差を検出し、その偏差を補正するため、必要に応じて個々のホイールにブレーキをかけます。更に必要であれば、エンジン出力やPorsche Doppelkupplung(PDK)の変速作動を制御して、走行安定性を高めます。

次の状況ではPSMがドライバーに危険を知らせ、路面状況や走行状態に応じた運転を促します：

- インstrument・パネルのPSM警告灯が点滅します。
  - 油圧作動音が聞こえます。
  - PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
  - エンジン出力が低下します。
  - ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。
- このような場合は最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルを踏む力を弱めず、更に強く踏み込んでください。

### PSMの作動例

- コーナリング中、「フロント・ホイールの横滑り」をセンサーが検出すると、エンジン出力を抑えます。更に、必要に応じてコーナー内側のリヤ・ホイールにブレーキをかけます。
- コーナリング中、リヤ・ホイールの横滑りをセンサーが検出すると、コーナー外側のフロント・ホイールにブレーキをかけ、軌道を修正します。
- ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト）：  
急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏む力が弱いと、ブレーキ・ブースターが4輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。

### PSMおよびPTVプラスの運動作動

車両の安定性を最大限に確保するため、PSMの介入が発生した場合、リヤ・ディファレンシャル・ロックが調節されます。

### オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)

いずれかのリヤ・ホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけ、反対側のリヤ・ホイールの駆動力を確保します。

ABDは走行状況を検出し、適切な制御方法で作動します。水平な砂利道で発進する場合など、トラクションがほとんどかからない状況では、エンジン低回転域からトラクション・コントロールが作動します。上り坂での発進や急加速時など、大きな推進力が必要な場合、その状況に応じてABDシステムが作動します。

### トラクション・コントロール(TC)

トラクション・コントロールは、エンジン出力を制御することでホイールの空転を防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

### エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

## PSMをOFFにする

PSMは、以下の2段階でOFFにできます：

- ステージ1 **ESC OFF**：  
エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)をOFFにします。
- ステージ2 **ESC+TC OFF**：  
トラクション・コントロール(TC)もOFFにします。



警告

PSMアシストの停止

いずれかのステージでPSMをOFFにすると、(ブレーキを使用しても) 車両を安定化させるブレーキ制御は行われなくなります。

- ▷ 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨します。特に濡れた路面ではシステムを作動させてください。



## エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)を再度ONにする

- ▷ **ESC OFF** ボタンを押してください。  
エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)が直ちに復帰します。  
ボタンのインジケター・ライトと「Speed & Assist」ディスプレイのPSM OFF警告灯が消灯します。  
インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「ESP switched on (ESPオン)」のメッセージが4秒間表示されます。

## エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)をOFFにする

**作動条件**：ESC+TC OFF ボタンのインジケター・ライトが消灯している

- ▷ **ESC OFF** ボタンを押してください。  
エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)が少し遅れてOFFになります。  
システムをOFFにすると、ボタンのインジケター・ライトと「Speed & Assist」ディスプレイのPSM OFF警告灯が点灯します。  
インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「ESP switched off (ESPオフ)」のメッセージが4秒間表示されます。  
警告音も鳴ります。

## i インフォメーション

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)をOFFにすると、よりスポーティーなトラクション・コントロール(TC)が作動します。
- ブレーキ介入は解除されます。
- ABSは作動したままになります。





### エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)およびトラクション・コントロール(TC)をOFFにする

- ▷ ESC +TC OFF ボタンを押してください。エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)とトラクション・コントロール(TC)が少し遅れて完全にOFFになります。システムをOFFにすると、ボタンのインジケータ・ライト、「Speed & Assist」ディスプレイのESC OFFおよびTC OFF警告灯が点灯します。インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「ESP + TC switched off (ESP + TC オフ)」のメッセージが4秒間表示されます。警告音も鳴ります。

#### i インフォメーション

- PSMのすべての機能が解除されます。
- ABSは作動したままになります。
- ESC+TC OFFボタンを使用して直接PSMを解除した場合は、ESCボタンのインジケータ・ライトも点灯します。

### PSMをONにする

#### エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)およびトラクション・コントロール(TC)を再度ONにする

- ▷ ESC +TC OFF ボタンを押してください。直ちにPSMが復帰します。ボタンのインジケータ・ライトおよび「Speed & Assist」ディスプレイのESC OFF、TC OFF警告灯が消灯します。インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「ESC+TC switched on (ESC+TC オン)」のメッセージが4秒間表示されます。

#### i インフォメーション

PSMをOFFにしたとき、トラクション・コントロール(TC)を個別にONにすることができます。

- ▷ ESC OFF ボタンを押してください。トラクション・コントロール(TC)が直ちに復帰します。
- ▷ ESC +TC OFF ボタンのインジケータ・ライトおよび「Speed & Assist」ディスプレイのTC OFF警告灯が消灯します。エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)はOFFのままです。

#### 🚗 PSM 警告灯

- イグニッションをONにすると、ライト作動点検のためにインストルメント・パネルのPSM警告灯が点灯します。
  - この警告灯は、PSM が作動していることを示します。片方の駆動輪がスピンしてブレーキ制御した場合は点灯します。
  - 警告灯および「Car & Info」ディスプレイの警告が不具合が発生したことを表示します。インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「ESC + TC loss Possible to drive on (故障ESC + TC 継続走行可能)」の警告メッセージも表示されます。
- 「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。
  - ▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。
  - ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヒル・ホールド・コントロール(HHC)

ヒル・ホールド・コントロールは、上り坂での停車時や発進時にドライバーの運転操作を支援します。

ドライバーがブレーキ・ペダルから足を放してアクセル・ペダルに踏み替えるまでの間（最大2秒間）、車両の後退を防ぎます。

ブレーキ・ペダルから足を放しても、車両が後退しないよう停車状態を維持します。

### i インフォメーション

- 車両が電気リック・パーキング・ブレーキで坂道に停車している場合は、運転席シートベルトを着用していれば通常の方法で発進できます。電気リック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。
- ヒル・ホールド・コントロール機能の作動中にドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、電気リック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。

電気リック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：

- ▷ 「電気リック・パーキング・ブレーキ」（145ページ）を参照してください。

## ヒル・ホールド・コントロール機能の例外

次のような状況では、ヒル・ホールド・コントロール機能は利用できません。

- PDKセクター・レバーがN位置にあるとき
- ヒル・ホールド・コントロール機能の作動中にPDKセクター・レバーを動かすと、ヒル・ホールド・コントロール機能は解除されます。
- 車両が停止していない
- 作動条件が成立していないとき
- 坂道の勾配率が5%以下

### ⚠ 警告

ブレーキ・ペダルの  
感触の変化

ヒル・ホールド・コントロール機能の作動中は、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

### ⚠ 警告

車両コントロールの  
喪失

ヒル・ホールド・コントロール機能が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。上り坂での停車時や発進時は、ヒル・ホールド・コントロールを過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。ヒル・ホールド・コントロールによる支援機能は、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▷ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

ヒル・ホールド・コントロールが機能しないときは、坂道発進時にドライバーの運転操作を支援することができません。

- ▷ フット・ブレーキをかけて停車してください。

## ABSブレーキ・システム（アンチロック・ブレーキ・システム）



警告

車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

### ABSの特徴

#### － ステアリングの操作性の確保

安定したステアリング・コントロール性能を維持します。

#### － 優れた走行安定性

ホイール・ロックによるスリップを回避します。

#### － 制動距離の短縮

ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。

#### － ホイール・ロックの回避

ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット・スポットを回避できます。

### 機能

ABSが最も効果を発揮するのは、緊急回避が必要な状況でブレーキをかけたときです。このような状況下でABSは走行安定性を確保し、安定したステアリング・コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までスリップ（ホイール・ロック）を回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたとき（急ブレーキ時）にABSは作動し始めます。このときドライバーは、ABSのコントロール状況（大変小刻みなポンピング・ブレーキをかけるような状態）をブレーキ・ペダルの脈動とノイズから感じ取ることができます。

この脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

- ▷ 急ブレーキ操作が必要な場面では、安全な速度になるまでしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ABSが作動してブレーキ・ペダルが振動しても、ペダルを踏み力をゆるめなないでください。

### 警告灯

エンジン作動中もインストルメント・パネルにABS警告灯が点灯する場合、何らかの不具合によりABSの作動がOFFになっていることを示します。インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに「ABS/PSM loss Possible to drive on (故障ABS/PSM 継続走行可能)」の警告メッセージが表示されます。

「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

この場合、ブレーキ・システムは**ロックを回避できない状態**、つまりABSを装備していない車両と同じ作動になります。

- ▷ 制動性能の変化に合わせて慎重に運転してください。

更に思わぬ悪影響を及ぼすような不具合の発生を防止するため、ボルシェ正規販売店でABSの点検を受けてください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ABSコントロール・ユニットは、ボルシェ社が認可した正規サイズのタイヤに合わせてプログラム調整されています。

不正なタイヤを使用した場合、プログラムと異なったホイール回転速度が検出され、ABSがOFFになることがあります。

## ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM)

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます：

- － 「シャーシ 標準」
- － 「シャーシ スポーツ」

標準モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。

スポーツ・モードでは、ショック・アブソーバーの調整が非常にスポーティーなものになります（例：サーキット走行などに最適な設定）。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。



## i インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。


## 警告メッセージ

このシステムはPASMの不具合を自動的に検出し、「Car & Info」ディスプレイに表示します。

「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。
- ▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。
- ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## PASMモードの選択

1. イグニッションをONにしてください。
2.  ボタンを（繰り返し）押してください。

ボタンのインジケーター：

- 「Chassis Normal selected (シャーシ 標準選択中)」(初期設定)を選択した場合、インジケーター・ライトは点灯しません。
- 「Chassis Sport selected (シャーシ スポーツ選択中)」を選択した場合、インジケーター・ライトが点灯します。

更に、選択したシャーシ設定が「Car & Info」ディスプレイに約4秒間表示されます。

## ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス (PTVプラス)

### 機能説明



警告

車両コントロールの喪失

PTVプラスを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PTVが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PTVは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

PTVプラスは、ドライビング・ダイナミクスに応じてリヤ・アクスルへの可変トルク配分を可能にするコントロール・システムおよび電子制御リヤ・ディファレンシャル・ロックで構成されています。

PTVプラスは、コーナー内側のリヤ・ホイールへの穏やかなブレーキ制御によってステアリングのレスポンスおよび精度を向上させます。このブレーキ制御はドライバーには感じられません。車両はフロント・ホイールの舵角に正確に従います。限界域でのアンダーステアはほぼ完全に回避されます。これにより、耐横G性能が向上し、コーナリング・スピードが向上します。

電子制御式リヤ・ディファレンシャル・ロックは車両の走行状況を常時モニターし、最適な駆動トルクをリヤ・アクスルに配分します。

以下の利点があります：

- トラクションの向上
- 高速コーナリング時の揺り返しの低減
- 高速走行時の走行安定性の向上

## ポルシェ・アクティブ・エアロ ダイナミクス(PAA)

### 格納式リヤ・スポイラーおよび調整式 フロント・ディフューザー

格納式リヤ・スポイラーおよび調整式フロント・ディフューザーは、高速走行時の走行安定性を向上させます。

#### 知識

リヤ・スポイラーを手動で展開した場合、またはレース・ハイブリッド・モードを選択している場合は、停車時にスポイラーが格納されません。

### オートマチック・モード

リヤ・スポイラーの自動展開/格納は、車速、走行モード、ルーフ・パネルの脱着などの条件に左右されます：

- リヤ・スポイラーは、Eパワーおよびハイブリッド・モードでは車速が約130km/h以上、スポーツ・ハイブリッド・モードでは車速が約80km/h以上になると自動的に展開します。
- リヤ・スポイラーは、Eパワーおよびハイブリッド・モードでは車速が約80km/h以下、スポーツ・ハイブリッド・モードでは車速が約50km/h以下になると再び格納します。

オート・コントロール・システムに不具合があると、「Car & Info」ディスプレイに警告灯メッセージ「System fault Active aerodynamics (システム故障 アクティブ・エアロダイナミクス)」または「Failure active aerodynamics (故障 アクティブ・エアロダイナミクス)」が表示されます。

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

#### 警告

アクティブ・エアロダイナミクスの故障

警告メッセージ「System fault Active aerodynamics (システム故障 アクティブ・エアロダイナミクス)」または「Failure active aerodynamics (故障 アクティブ・エアロダイナミクス)」が表示された場合、格納式リヤ・スポイラーまたはフロント・ディフューザーが故障したことを示します。リヤ・アクスルが浮き気味になるなど、高速時の走行安定性が損なわれる恐れがあります。

- ▷ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### 警告

リヤ・スポイラーの展開/格納

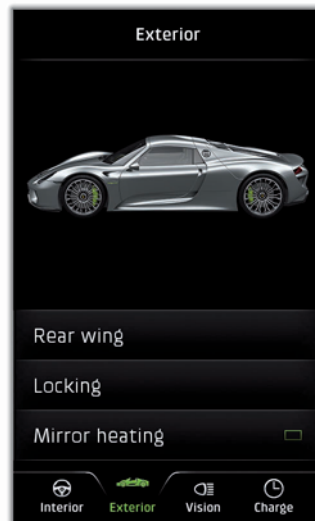
車両を停車させてリヤ・スポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているリヤ・スポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▷ リヤ・スポイラーが稼動する範囲に人や物が挟まらないことを確認してください。

#### 知識

リヤ・スポイラーを損傷する危険があります。

- ▷ リヤ・スポイラーを持って車両を動かさないでください。



Car-02-20

### マニュアル・モード

イグニッションがONのとき、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作によりリヤ・スポイラーおよびフロント・ディフューザーを手動で展開/格納することができます。

PCMでのリヤ・スポイラーの格納/展開に関するインフォメーション：

- ▷ 「リヤ・スポイラーの手動展開/格納」(102ページ)を参照してください。

リヤ・スポイラーがマニュアル・モードの場合、またはレース・ハイブリッド・モードの選択により展開した場合は、ステータス・ディスプレイが点灯します。

## i インフォメーション

「Car & Info」ディスプレイに表示されるすべての追加情報をお読みください。

### 速度が0~15km/hのときに手動で展開/格納する：

- ▷ リヤ・スポイラーを展開するには、ボタンを短く押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
- ▷ リヤ・スポイラーを格納するには、ボタンを押し続けてください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。  
リヤ・スポイラーが完全に格納されると、インジケーター・ライトが消灯します。

### 速度が15km/h以上のときに手動で展開/格納する：

- ▷ リヤ・スポイラーを格納/展開するには、ボタンを短く押してください。  
インジケーター・ライトが直ちに格納または展開ポジションに切り替わります。
- ▷ モードも直ちにマニュアルまたはオートマチック・モードに切り替わります。

### レース・モードとの連動

レース・ハイブリッド・モードを選択すると、アクティブ・エアロダイナミクスはマニュアル・モードに切り替わります。リヤ・スポイラーは展開し、自動的に格納されません。

レース・モードを解除した場合、車両が15km/hを超える速度で走行しているときにリヤ・スポイラーが再び格納されます。



リフト・システム作動時：青色のスピード・ディスプレイ

## フロント・アクスル・リフト・システム

フロント・アクスル・リフト・システムは、車体の前部を電動空気圧制御により約30mm上昇させます（フロント・スポイラーの前端部）。これにより、地下駐車場への乗り入れや減速帯を乗り越えるときなどに起こるボディの損傷を防ぐことができます。


### 作動条件

フロント・アクスル・リフト・システムは、エンジンが作動している状態で停車しているとき、または車速が約50km/h以下の場合に作動します。

車速が約50km/hを超えると、車両は自動的に元の車高まで下がります。



## フロント・アクスルの上昇

- ▷  ボタンを押してください。  
約3秒以内に、フロント・アクスルが上昇します。  
ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。  
フロント・アクスルが完全に上昇すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。  
スピード・ディスプレイが青色になります。


## 知識

エンジン停止時にフロント・アクスルが思わぬタイミングで下降して損傷する恐れがあります。

この特殊なシステムは、プレッシャー・アキュムレーターの補充やエンジンの作動が行われないと、一定時間以上、上昇させた位置を維持することができません。

▷ 必ず、下降させた状態で駐車してください。

## フロント・アクスルの下降

▷  ボタンを押してください。

車両は元の車高まで下降します。

ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

フロント・アクスルが完全に下降すると、ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。スピード・ディスプレイが緑色になります。

## 知識

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

▷ 障害物の上などで車両を下降させないでください。

## i インフォメーション

- 車両を上昇させた場合、フロント・アクスルのダンピング特性が変化し、ステアリングを操作した際にフロント・アクスル・コイル・スプリング周辺部からノイズが発生することがあります。
- フロント・アクスルを下降するときは、すべてのドアを閉じてください。
- システム内で空気が抜ける際にシューというノイズが発生する場合があります。リフト・システムのコンプレッサーはリフト・ボタンの操作に関係なく作動します。これはリフト・システムの不具合を示すものではありません。
- 車両を長期間にわたり使用しなかったときは、プレッシャー・アキュムレーター内の空気が完全に空になる場合があります。この場合、最初にアクスルを上昇させると、車両が上方位置に到達して「**Front vehicle raised (フロントエンド上昇)**」のメッセージが表示されるまでに最大2分かかることがあります。

## 警告メッセージ

フロント・アクスル・リフト・システムに故障が発生すると、「Car & Info」ディスプレイに警告が表示されます。

考えられる原因：

- 自動オーバーロード・プロテクション（過負荷時の保護機能）が作動しています。短時間冷却すると、システムを再度使用できるようになります。外気温が非常に高い場合は、冷却時間が長くなります。
- 車速限界値50km/hを超えています。車速を限界値以下に落とすと、システムを再度使用できるようになります。

- 急加速して車速が約50km/hを超えたことにより自動下降が作動した場合、必要な下降時間中に「**Front vehicle not lowered (フロントエンド下降不可)**」のメッセージが表示されることがあります。このメッセージは、フロント・アクスルが完全に下降するとすぐに消えます。

「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

## リヤ・アクスル・ステアリング

リヤ・アクスル・ステアリングは、車両安定性を確保しつつ操作性と俊敏性を向上させ、リヤ・アクスル・ステアリング非装備車と比較して回転直径を約0.6m縮小します。車速に応じて、以下の機能が使用されます：

- **車速が約50km/h以下：**  
「逆方向のステアリング作動」によって俊敏性が向上（ホイールベースの仮想縮小）します。
- **車速が約80km/h以上：**  
「同方向のステアリング作動」によって安定性が向上（ホイールベースの仮想延長）します。

# 収納スペースおよびラゲッジ・セット

収納 .....	167
ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー ...	168
トランク・ルーム .....	169
ラゲッジ・セット .....	170



## 収納



警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▷ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▷ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▷ 走行中は必ず小物入れのカバーを閉じてください。

### 収納オプション

車両の装備仕様により、様々な収納オプションが用意されています：

- グローブ・ボックス
- ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー
- センター・コンソール
- ドア・ポケット
- ラゲッジ・セット



### グローブ・ボックス

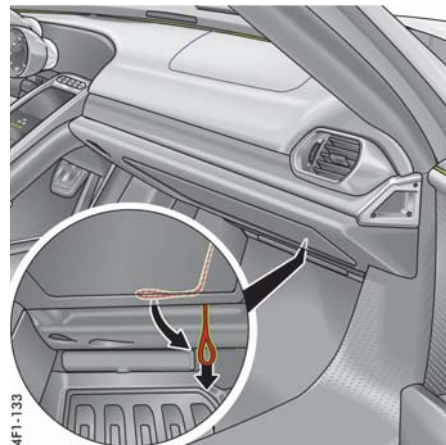
開く

- ▷ ボタン（矢印）を押してください。リッドがロック解除され、開きます。

閉じる

- ▷ リッドを確実に閉じてください。

盗難防止のため、このボタンは車両をロックすると操作できなくなります。



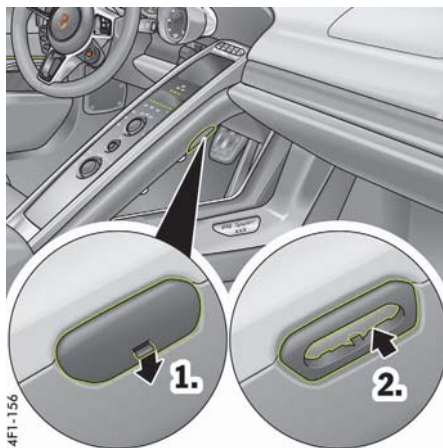
### 緊急時の操作：グローブ・ボックスを開く

1. グローブ・ボックスと足元のトリム・パネルの間に手を入れてください。
2. ループ紐を引き出し、下方向に引っ張ってください。グローブ・ボックスが開きます。



### シート間の小物入れ 開く

- ▷ アームレスト前側のボタン（矢印）を押してください。  
リッドが自動的に開きます。
- ▷ 小物入れの中にはUSBポートが2個あります。



### ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー

カップ・ホルダーに飲み物を置くことができます。



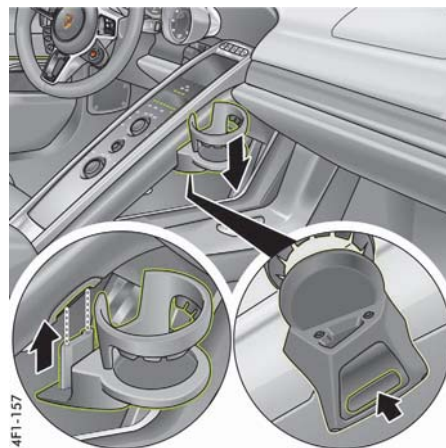
**注意** 熱い飲み物がこぼれる

- 熱い飲み物がこぼれて火傷をする場合があります。
- ▷ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
  - ▷ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。
  - ▷ 熱い飲み物を置かないでください。

#### 知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▷ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▷ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。



### カップ・ホルダーを差し込む

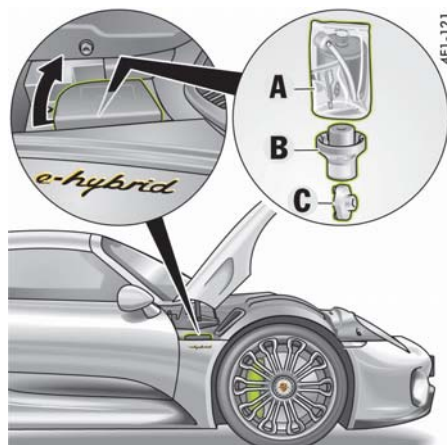
1. センター・コンソールの下のカバー（図を参照）を外してください。
2. カップ・ホルダーをブラケットに差し込んでください（図を参照）。
3. カップ・ホルダーを押し上げ、固定してください。

### カップ・ホルダーを取り外す

1. カップ・ホルダー下側のリリース・ボタンを押し続けてください（図を参照）。
2. カップ・ホルダーをブラケットから引き出してください。

## トランク・ルーム

- ▷ 「トランク・リッドおよびサービス・フラップの開閉」(14ページ)を参照してください。

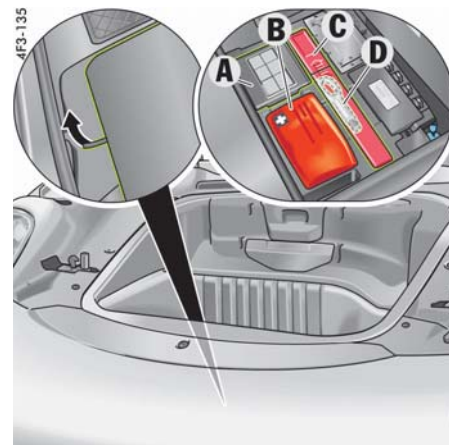


- A - タイヤ・シーラント
- B - 脱着ツール
- C - ピン・レンチ

### タイヤ・シーラント、センター・ナット用脱着ツール、セーフティー・キャップ用ピン・レンチ

これらの工具は、トランク・ルーム内のプラスチック・ボックスに収納されています。

- ▷ トランク・リッドを開き、プラスチック・カバーを引き上げ、タイヤ・シーラントと工具を取り出してください。



- A - タイヤ充填コンプレッサー
- B - 応急処置セット\*
- C - 停止表示板\*
- D - けん引フック

### 停止表示板\*、応急処置セット\*、タイヤ充填コンプレッサー、けん引フック

これらのアイテムは、トランク・ルーム・フロアの下に収納されています。

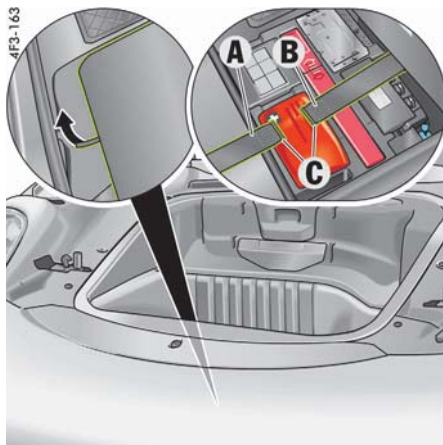
- ▷ タブを持ってトランク・ルーム・フロアを引き上げてください。
- ▷ 応急処置セット\*から取り出した備品や古くなった備品は直ちに交換してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## ラゲッジ・セット

オプションのラゲッジ・セットはこの車両の有効スペースに合わせて特別に設計されています：

- キャリー・バッグ（トランク・ルーム）
- トラベル・ケース（センター・コンソール下部）
- 収納ボックス（グローブ・ボックス）
- ガーメント・バッグ2個（運転席および助手席シート後方）

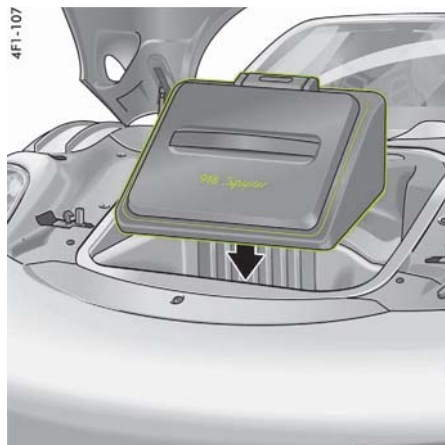


A-フロント・アダプター  
B-リヤ・アダプター  
C-アイレット

### キャリー・バッグ固定用ストラップの取り付け

固定ストラップ取り付け用のアダプターは、トランク・ルーム・フロアの下に収納されています（図を参照）。

1. タブを持ってトランク・ルーム・フロアを引き上げてください。
2. アダプターを収納部から取り出してください。
3. 固定ストラップをフロントおよびリヤ・アダプターのアイレットに通し、きつく引き締めてください。  
固定ストラップのベルクロ・テープが上向きになっていることを確認してください。
4. トランク・ルーム・フロアを下げてください。



### キャリー・バッグをトランク・ルームに収納する

#### 知識

キャリー・バッグを損傷する恐れがあります。

- ▷ キャリー・バッグは伸縮式ハンドルではなく、持ち手ハンドルを持って運んでください。
- ▷ ルーフを開き、ルーフ・パネルをトランク・ルームに収納して走行するときは、キャリー・バッグを所定の位置に固定ストラップで確実に固定してください。

## 知識

キャリア・バッグが正しく収納されていない場合、ルーフ・パネルを損傷する恐れがあります。

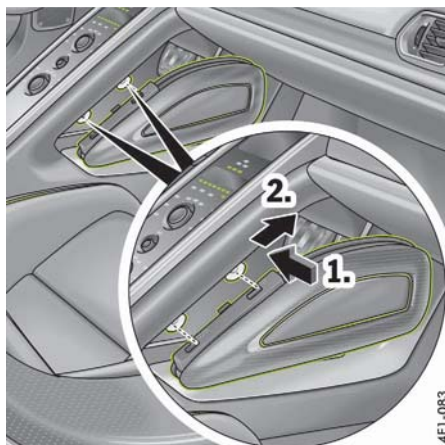
- ▶ キャリア・バッグの低い側を車両前方に向けてトランク・ルームに収納し、固定ストラップで固定してください。キャリア・バッグが開じていることを確認してください。
- ▶ ルーフ・パネルを正しく収納するには：「ルーフ・パネルの取り外しとトランク・ルームへの収納」(39ページ)を参照してください。

1. トランク・リッドを開いてください。
2. トランク・ルームに入っている荷物とルーフ・パネルを必要に応じて取り出してください。
3. キャリア・バッグの低い側を車両前方に向けてトランク・ルームに収納してください(図を参照)。
4. 固定ストラップをキャリア・バッグの中央にかけて、ベルクロ・ファスナーで固定してください。

## 知識

キャリア・バッグを損傷する恐れがあります。

- ▶ 固定ストラップのベルクロ・ファスナーが上向きになっていることを確認してください。ベルクロ・ファスナーによりキャリア・バッグの表面に傷が付く恐れがあります。
5. 必要に応じてルーフ・パネルを再び収納してください。
  6. トランク・リッドを閉じてください。



4F1-083

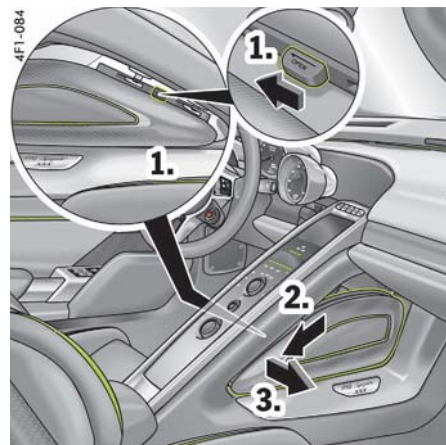
## トラベル・ケースをセンター・コンソールに固定する/取り外す

### トラベル・ケースを固定する

#### i インフォメーション

トラベル・ケースをセンター・コンソールの下に固定するために、2本の固定用ボルトを取り付ける必要があります。固定用ボルトの取り付けにはスペシャル・ツールが必要です。固定用ボルトの取り付けについて、詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

1. トラベル・ケースを助手席側から固定用ボルトに押し込んでください(図を参照)。2本の固定用ボルトがトラベル・ケースのブラケットの穴位置と合っているか確認してください。
2. トラベル・ケースを、カチッと音がして固定されるまで前方に押し込んでください。
3. 運転席側からトラベル・ケースを押し、確実に固定されているか確認してください。



### トラベル・ケースを取り外す

1. ブラケット(運転席側)のリリース・ボタン(図を参照)を左手で前方に押し、ラッチを外してください。
2. 同時に、右手でトラベル・ケースを後方に押し、助手席側に引っ張ってトラベル・ケースを取り外してください。



## ガーメント・バッグ

### ガーメント・バッグを取り付ける



警告

6点式シートベルト装着車へのガーメント・バッグの取り付け

6点式シートベルトが装着されている場合は、ガーメント・バッグ用フックを使用できません。

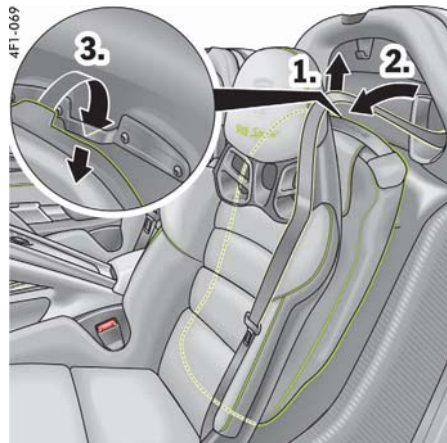
- ▷ ガーメント・バッグ用フックを取り付ける場合は、6点式シートベルトを取り外してください。

### 知識

ガーメント・バッグ用フックの取扱説明書をお読みください。

フックを取り付けるには：

- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



### 収納ボックスをグローブ・ボックスから取り外す

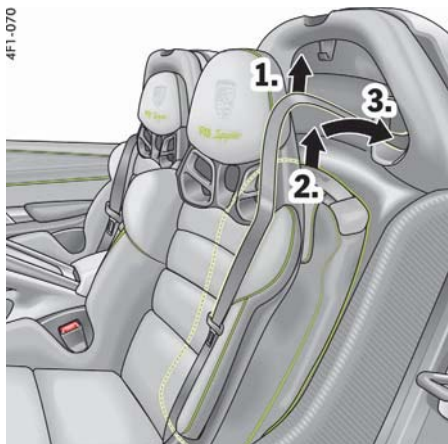
1. グローブ・ボックスを開いてください。  
グローブ・ボックスを開くには：  
「グローブ・ボックス」(167ページ)を参照してください。
2. キャリー・ストラップを持って収納ボックスを少し持ち上げ、手前に引いてグローブ・ボックスから取り出してください。
3. グローブ・ボックスを閉じてください。

### i インフォメーション

収納ボックスの下面はグローブ・ボックス・リッドに合わせた形状になっています。

- ▷ 収納ボックスの短い辺を前方に向けてグローブ・ボックス・リッドに置いてください。

1. シートを前方に移動してください。
2. 3点式シートベルトを引き出し、少し引き上げてください。
3. ガーメント・バッグをリヤ・ウォールのフックにはめ込んでください。  
ガーメント・バッグが折れずに取り付けられ、シートの後方にその他の物が置かれていないことを確認してください。
4. シートを希望の位置に戻してください。



#### ガーメント・バッグを取り外す

1. シートを前方に移動してください。
2. 3点式シートベルトを引き出し、少し引き上げてください。
3. キャリー・ストラップを持って、ガーメント・バッグをリヤ・ウォールのフックから取り外してください。  
シートの後方に物が置かれていないことを確認してください。
4. シートを希望の位置に戻してください。

# プラグイン・ハイブリッド・システム

安全に関する知識 .....	175
概要 .....	175
ハイブリッド構成部品の概要 .....	176
<b>概要説明</b> – ハイブリッド自動車による燃費 効率の良い運転 .....	177
<b>概要説明</b> – 運転上のアドバイス .....	178
<b>概要説明</b> – 様々な状況での燃費効率の 良い運転 .....	179
ハイブリッド・システムの作動条件 .....	180
走行中のハイブリッド機能と作動モード ...	180
ハイブリッド車の始動 .....	182
ボルシェ・カー・コネクト* .....	183
走行モード .....	183
インストルメント・パネルのハイブリッド・ ディスプレイ .....	186
「Car & Info」ディスプレイの設定 .....	187
乗車タイマーのプログラミング .....	188
ボルシェ・コミュニケーション・マネー ジメント(PCM)のハイブリッド・ディスプ レイ .....	189
連続した電動モーター走行 – Eパワー・ モード .....	189
充電装置の概要 .....	191
高電圧バッテリーの充電 .....	191
ボルシェ急速充電ステーション(DC)* .....	198

\* 日本仕様に設定はありません。



## 安全に関する知識



危険

高電圧による感電

高電圧車両電気システムおよび高電圧バッテリーの高電圧は大変危険です。損傷した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリーまたはパワー・エレクトロニクスに触れると、感電により致命傷を負う恐れがあります。

ハイブリッド・システムのすべての構成部品には警告ラベルが貼付されています。高電圧ケーブルはオレンジに着色されています。

- ▶ 高電圧車両電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクス、またはA/Cコンプレッサーへの作業は行わないでください。
- ▶ 高電圧車両電気システムの高電圧ケーブル（オレンジ色）を損傷させたり、取り外しや切り離しは絶対に行わないでください。
- ▶ 事故の後などで損傷したハイブリッド・システムの部品には触らないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーは絶対に取り外さないでください。



警告

他の通行者に車両が気付かれにくい恐れがあります

電気システムを使用して走行している場合、車両の走行音はエンジン作動時よりもかなり小さくなります。

\* 日本仕様に設定はありません。

交通静穏化の施された場所では後退時や駐車時など、特定の状況で通行者に車両が接近していることに気付かれにくい場合があります。

▶ 十分に注意して走行してください。

### 警告ラベル

ハイブリッド・システムの構成部品には、高電圧を警告する警告ラベルが貼付されています。



- ▶ ハイブリッド・システム構成部品の警告ラベルが貼付されたカバーは、どのような場合であっても取り外さないでください。

エンジン・ルーム内、オプションのポルシェ急速充電ステーション(DC)\*および高電圧バッテリーには警告ラベルが貼付されており、ハイブリッド・システム構成部品に触れないよう警告しています。



- ▶ どのような場合も、警告ラベルや警告表示の表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

マークの意味：



不適切な使用により感電する恐れがあります。



高電圧による感電の危険があります。



危険！



取付説明書および取扱説明書に記載されている、ハイブリッド・システムの構成部品、充電ステーションなどに関する警告に従ってください。

### 概要

#### パラレル・プラグイン・ハイブリッド・ドライブ

918 Spyderは、電動モーターのみ、または従来の内燃エンジンにより駆動することができるパラレル・プラグイン・ハイブリッド車です。

パラレル・プラグイン・ハイブリッド・ドライブ搭載車は、次の3つの作動モードで走行することができます：

- 内燃エンジンを切り離し、モーター・ジェネレーターのみによる走行
- 内燃エンジンとモーター・ジェネレーターによる走行（最高出力：Eブースト機能）
- 内燃エンジンのみによる走行

モーター・ジェネレーターは、走行中に車両の駆動に使用されないときはオルタネーターとして作動し、高電圧バッテリーの充電や補助システムへ供給する電気エネルギーを発生します。モーター・ジェネレーターはスターターとオルタネーターの機能を備えています。

## ハイブリッド構成部品の概要

### A 内燃エンジン

4.6リッター高回転型V8エンジン

### B オンボード充電器

充電装置からの交流電流(AC)を高電圧バッテリーの充電に必要な直流電流(DC)に変換します。

### C 高電圧バッテリー

完全一体型メンテナンス・フリー高性能リチウム・イオン・バッテリー

▷ (200ページ) を参照してください。

### D パワー・エレクトロニクス

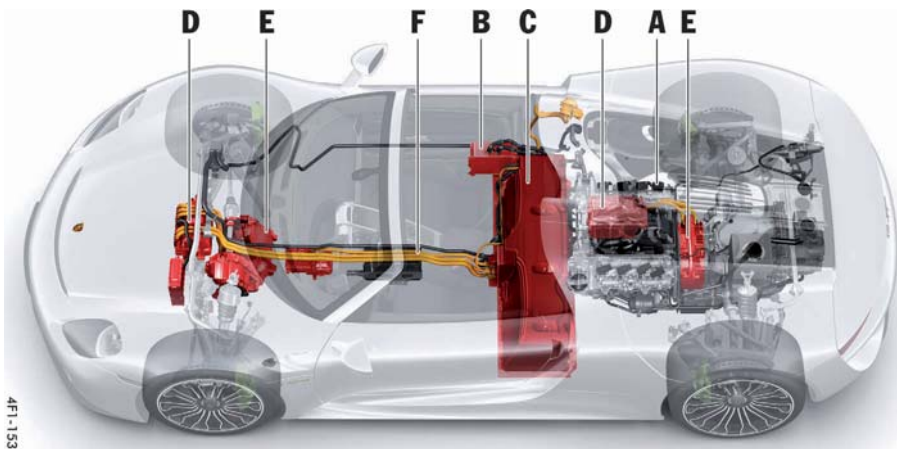
車両の12V電気的・システムに電源供給するトランス、および高電圧バッテリーの直流電圧をモーター・ジェネレーター作動用の交流電圧に変換するパルス制御インバーター

### E モーター・ジェネレーターとセパレート・クラッチで構成されるハイブリッド・モジュール

電動モーター駆動とエネルギー回収のためオルタネーターおよびスターターの機能を併せ持つ3相同期ユニット  
エンジンの接続と接続解除のため、内燃エンジンとモーター・ジェネレーター間に配置されたセパレート・クラッチ

### F 高電圧ケーブル (オレンジ色)

ハイブリッド構成部品に電源を供給するヒューズ付きケーブル



4F1-153

## 概要説明 - ハイブリッド自動車による燃費効率の良い運転

この概要説明は本書の各章に記載された詳細説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

その操作方法は？	その結果は？
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ フロント・ウィンドウ・デフロスターなどは節度をもって使用してください。</li><li>▷ エアコン・システムの使用を控えめにしてください（例 A/CモードをOFFにします）。</li></ul>	内燃エンジンで駆動しているときは、補助電気装備類の負荷を削減すると燃料節約につながります。 電気による駆動中は高電圧バッテリーのエネルギーが節約され、電動モーターでの走行距離が増加します。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ 車両を夜間駐車するときなど、車両充電ポートから高電圧バッテリーを充電してください。</li></ul>	高電圧バッテリーのエネルギーを電動モーター走行に使用することができます。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ 意図的にアクセル・ペダルから足を放し、惰性走行状態を長くしてください。</li></ul>	余分な速度を活用し、車両をエネルギー消費なしで惰性走行させます。内燃エンジンが自動的にOFFになります。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ 約150km/h以下の速度域では惰性走行が利用可能です。</li></ul>	内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の効率的な惰性走行は、Eパワー (E)またはハイブリッド(H)・モードでは約150km/hまでの速度で利用可能です。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ ペダルの動きを最小限にし、ゆっくり均一な制動を行ってください。</li></ul>	オルタネーターとしても働くモーター・ジェネレーターにより、車両はほぼ完全に制動されます。同時に、電気エネルギーが発生し、高電圧バッテリーの充電に使用されます。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ 高速道路または幹線道路の走行時には、ハイブリッド(H)・モードを使用してください。</li></ul>	高速道路や幹線道路の走行時など、高い出力が必要な場合、通常内燃エンジンが使用されます。その結果、モーター・ジェネレーターはオルタネーターとして機能し、高電圧バッテリーへのトリクル（細流）充電を行います。高電圧バッテリーに蓄えられたエネルギーは、市街地走行などにおいてエミッション・フリーの電気走行に利用できます。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ スポーツ・ハイブリッド(S)およびレース・ハイブリッド(R)・モードは控えめに使用してください。</li></ul>	スポーツ・ハイブリッドまたはレース・ハイブリッド・モードを使用したスポーティーな走行は、燃費を悪化させます。これらのモードでは、内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の効率的な惰性走行はできません。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ スポーツ・ハイブリッド・モードは高電圧バッテリーを充電するために使用してください。</li></ul>	スポーツ・ハイブリッド・モードを使用して高電圧バッテリーを充電することができます。高電圧バッテリーに蓄えられたエネルギーは、市街地走行などにおいてエミッション・フリーの電気走行に利用できます。
<ul style="list-style-type: none"><li>▷ フル・スロットルでの加速は避けてください。</li></ul>	内燃エンジンはゆるやかな加速状態のときが最も効率が高く、燃費も向上します。また、純粋に電動モーターのみで走行する確率も高くなります。

## 概要説明 – 運転上のアドバイス

この概要説明は本書の各章に記載された詳細説明に代わるものではありません。  
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
電動モーターによる走行	<ul style="list-style-type: none"><li>▷ PDKセレクター・レバーをDの位置にしてください。</li><li>▷ ブレーキ・ペダルを放してください。</li><li>▷ アクセル・ペダルを踏み込んでください。</li></ul>	ハイブリッド・システムの作動条件が満たされている場合、車両は電動モーターで発進します。内燃エンジンは速度が上がってから、またはより大きな加速力が必要な場合にONになります。 Eパワー (E) ・モードの作動中、プレッシャー・ポイント (アクセル・ペダルの動きに抵抗を感じる箇所) があり、電気駆動力の調節の補助として役立ちます。
フル・スロットル/ブースト	<ul style="list-style-type: none"><li>▷ アクセル・ペダルを踏み込んでください。</li></ul> スポーツ・ハイブリッド、レース・ハイブリッド、またはホット・ラップ・モードを選択： <ul style="list-style-type: none"><li>▷ アクセル・ペダルを踏み込んでください。</li></ul>	加速中にモーター・ジェネレーターが内燃エンジンを補助します。加速時にモーター・ジェネレーターと内燃エンジンの出力を複合した最大限の駆動力が利用されます。
一定速度で走行し、惰性走行する (駆動力なし)	<ul style="list-style-type: none"><li>▷ Eパワー (E) またはハイブリッド (H) ・モードを選択してください。</li><li>▷ 注意深く運転してください。</li><li>▷ 控えめに加速してください。</li><li>▷ 加速はできるだけ早めに終わらせてください。</li><li>▷ アクセル・ペダルから足を完全に放し、惰性走行をさせてください。</li></ul>	車両の運動エネルギーが走行のために最適に利用されます。過度な加減速によってエネルギーが無駄に使用されるのを防ぎます。 アクセル・ペダルから足を放した瞬間に内燃エンジンが自動的にOFFになり、切り離されます。車両は駆動力なしで惰性走行します。
制動エネルギーを回収/回生する	<ul style="list-style-type: none"><li>▷ ペダルの動きを最小限にした早めで均一な制動を行ってください。</li></ul>	車両は、オルタネーター・モードのモーター・ジェネレーターによって制動されます。このプロセスの間、運動エネルギーのほとんどが回収され、高電圧バッテリーに電気エネルギーとして蓄えられます。

## 概要説明 – 様々な状況での燃費効率の良い運転

この概要説明は本書の各章に記載された詳細説明に代わるものではありません。


操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
市街地を走行する	▷ 注意深く運転し、加速は控えめに、ブレーキは早めに、またペダルの動きを最小限にしてスムーズに走行してください。	車両の運動エネルギーが走行のために最適に利用されます。過度な加減速によってエネルギーが無駄に使用されるのを防ぎます。
	▷ Eパワー・モードの使用を推奨します。	エミッションフリーの電動モーター走行の利点は、一般的に低速での頻繁な加速と減速を伴うストップ・アンド・ゴー走行を含む市街地走行時に特に効率的に使用することができます。
	▷ スポーツ・ハイブリッド(S)およびレース・ハイブリッド(R)・モードは控えめに使用してください。	スポーツ・ハイブリッドまたはレース・ハイブリッド・モードを使用したスポーティーな走行は、燃費を悪化させます。
高速道路や田舎道などを走行する	▷ Eパワー(E)またはハイブリッド(H)・モードを選択してください。	アクセル・ペダルから足を放した瞬間に内燃エンジンが自動的にOFFになり、切り離されます。車両は駆動力なしで惰性走行します。
	▷ 意図的にアクセル・ペダルから足を放し、惰性走行状態を長くしてください。	惰性走行が可能です。余分な速度が制動時よりも効率的に利用されます。
	▷ 速度をアクセル操作によって下げないようにし、ブレーキは控えめに使用してください。	約150km/hまでの速度で効率的な惰性走行が可能です。
	▷ 速度が約150km/hを超えないようにしてください。	
冬季の運転	▷ 停車したままエンジンを暖機しないでください。	停車状態では燃料は供給されません。
	▷ 夜間は車両をガレージ内に駐車してください。	高電圧バッテリーの急激な冷却は避けてください。高電圧バッテリーは、運転を開始した方がより速く理想的な温度範囲に到達します。

## ハイブリッド・システムの作動条件

モーター・ジェネレーターは、次の条件が満たされた場合に、補助的な動力または車両の駆動力として利用できます：

- 高電圧バッテリーが十分に充電されている場合
- エンジン油温が約0°C以上である場合
- 高電圧バッテリーの温度が異常に低下または上昇していない場合
- モーター・ジェネレーターの温度が高すぎない場合
- サービス・フラップが閉じている場合

フル電動モーター走行の必要条件が満たされていない場合、「E-POWER MODE not available (Eパワー・モードは使用できません)」のメッセージがインストルメント・パネルのディスプレイに表示され、 シンボルが灰色になります。すべての前提条件が満たされるとすぐにEパワー・モードに戻ります。

### i インフォメーション

新車から最初の1,000kmは、車両が始動後すぐに電動モーターのみで走行するには、エンジン油温が約15°C以上である必要があります。

## 警告メッセージ

ハイブリッド・システムまたは電動ステアリングに不具合や故障が発生すると、「Car & Info」ディスプレイに黄色または赤色の警告が表示されます。

警告シンボルマークと警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

## 走行中のハイブリッド機能と作動モード

下記で説明する機能と作動モードは、車両の作動状態に応じて車両コントロール・システムのハイブリッド・マネージャーにより自動的に設定されます。これにより、車両が常に最良の作動モードになるよう制御されます。

運転者が特別な走行モードを選択しなければならない状況では例外となります。

各走行モードに関するインフォメーション：

- ▷ 「走行モード」(183ページ)を参照してください。

連続電気走行に関するインフォメーション：

- ▷ 「連続した電動モーター走行-Eパワー・モード」(189ページ)を参照してください。

走行中の高電圧バッテリーへの充電に関するインフォメーション：

- ▷ 「充電装置の概要」(191ページ)を参照してください。

## ハイブリッド車の発進

停止状態からの通常加速時、および約150km/hまでの走行時には、高電圧バッテリーが十分に充電されているなど、ハイブリッド・システムが作動可能状態であることを条件に、Eパワー・モードのモーター・ジェネレーターで車両を駆動することができます。内燃エンジンはOFFのままになります。

より大きな駆動力が必要な場合、内燃エンジンが自動的にONになります。

### 坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

- ▷ 「ヒル・ホールド・コントロール(HHC)」(160ページ)を参照してください。

### 加速/ブースト

フル・スロットルの加速時には、内燃エンジンをモーター・ジェネレーターが補助し、両方の力で車両を駆動します。この作動モードは非常にエネルギー集約的であることからブースティングと呼び、高電圧バッテリーの充電状態に応じて一時的にしか利用できません。

ブースティング・モードの起動方法：

- スポーツおよびレース・ハイブリッド、またはホット・ラップ・モードでアクセル・ペダルをいっぱいまで踏み込んでください。
- ▷ 「F-Eブースト」(187ページ)を参照してください。

## 一定速度の走行

### 電動モーター走行

高電圧バッテリーの充電状態に応じ、約150km/hまでEパワー・モードの電動モーターのみによる走行ができます。内燃エンジンはOFFになります。より大きな加速力が必要な場合や、高電圧バッテリーの充電レベルが低い場合、内燃エンジンが自動的にONになります。運転者の加速スタイルと高電圧バッテリーの充電状態によっては、再び電動モーターで走行することができます。

### 内燃エンジンによる走行

車両は必要に応じて内燃エンジンにより効率的に駆動されます。リヤ・モーター・ジェネレーターはオルタネーターとして作動し、走行中に高電圧バッテリーを充電します。高電圧バッテリーを充電することにより、内燃エンジンがより高い負荷範囲で作動し、効率が最大限に高まり、燃費が更に向上します。この作動モードは、負荷ポイント・シフトと呼ばれます。

### i インフォメーション

ブレーキ・システムの油圧回路やステアリング・システムおよびエアコン・システムなど、主な車両システムは内燃エンジンをOFFにしても使用可能です。

## 惰性走行（駆動力なしでの走行）

内燃エンジンの駆動力が必要ない場合（例えば高速道路で速度に余裕があるときなど）、内燃エンジンは駆動系から切り離され、自動的にOFFになります。

「惰性走行」は、Eパワー (E) またはハイブリッド (H) ・モードでは約150km/hまでの速度でのみ可能です。

追い越し時など、より大きな駆動力が必要な場合、内燃エンジンが自動的にONになります。

### i インフォメーション

スポーツ走行時や素早くアクセル・ペダルを戻した場合は、エンジン・ブレーキを使用できるようにエンジン停止ならびに惰性走行モードは抑制されます。急な上り坂では、傾斜の影響で惰性走行距離が短くなり、十分な燃料の節約ができません。そのため、「惰性走行」が行われない場合があります。急な下り坂などでは、エンジン・オーバーラン・トルクがかかっても減速せず、オーバーラン・カットオフにより燃料が消費されないため、惰性走行モードの作動は抑制されます。

## 制動/回生

車両の制動時には、モーター・ジェネレーターはオルタネーターとして機能し、電気エネルギーを発生して高電圧バッテリーを充電します。内燃エンジンが作動状態の惰性走行時や下り坂を走行するときにも同様に作動します。

## ハイブリッド車の停車

通常車両が停車すると、内燃エンジンは自動的にOFFになります（スポーツまたはレース・ハイブリッド・モード選択時を除く）。高電圧バッテリーの充電レベルが下がっている場合、またはヒーターやエアコンに大きな電力が必要な場合など、特別な場面では内燃エンジンをアイドリングさせる必要が生じることがあります。

- ▷ 内燃エンジンが自動的にOFFになっても、必ずフット・ブレーキを踏んで車両を静止させてください。
- ▷ 車両から離れる前に必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキをかけてください。

### 車両停止状態で降車

エンジンの自動停止後（ドアが開き、ブレーキを解除している場合）に、ガレージ・ドアを開くためなどの理由で車両から降車すると、エンジンは自動的に始動**しません**。

運転者が30秒以内に車両に戻った場合（運転席ドアが開かれ、ブレーキを踏み込んでいる場合）、システム（モーター・ジェネレーターおよび内燃エンジン）は待機状態を維持します。

上記の条件が満たされなかった場合、エンジンは手動操作で始動する必要があります。「Car & Info」ディスプレイメッセージ「Please start engine manually（エンジンを手動で始動して下さい）」が表示されます。

## i インフォメーション

停車中で運転席ドアが開いているときにセレクター・レバーを**D**または**R**にいった場合、またはステアリング・ホイールで**M**を選択した場合は、エレクトリック・パーキング・ブレーキがロックされます。インストルメント・パネルのブレーキ警告灯と、スイッチのインジケーター・ライト(P)が点灯します。

## i インフォメーション

内燃エンジンが作動した状態(運転席ドアが開いた状態でブレーキを解除している場合)で降車した場合、内燃エンジンは作動したままになります。運転者が車両に戻った場合(運転席ドアが閉じられ、ブレーキを踏み込まれた状態)、エンジンを再度停止できます。

## ハイブリッド車の始動

車両は、イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置**2**に回すと始動します。

1. 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていないことを確認してください。必要な場合は車両プラグを車両充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
3. PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。
4. イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置**2**に回してください。

「Power & Drive」ディスプレイに現在の走行モードが表示され、信号音が鳴ります。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

## i インフォメーション

車両始動時(イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置**2**に回したとき)に車両プラグが車両充電ポートに挿入されている場合は、「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「**Remove vehicle plug to start (車両プラグを外して始動)**」または「**Remove vehicle plug to release parking brake (車両プラグを外してパーキング・ブレーキを解除)**」が表示されます。

- ▷ 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから取り外してください。充電プロセスが開始していた場合、中断されます。
- ▷ 車両充電ケーブルを安全な場所に収納し、エンジンを始動してください。

## 作動準備

「Power & Drive」ディスプレイのメッセージ「**READY**」は、車両始動時にシステム(モーター・ジェネレーターおよび内燃エンジン)の作動準備が整ったことを示します。

ハイブリッド・システムの作動準備状態に応じて、車両始動後は次の2つの作動準備モードに切り替わります：

### 内燃エンジン非作動状態での作動準備

高電圧バッテリーが適切に充電された状態では、車両は自動的にEパワー・モードで始動します。充電レベルが低い場合などでEパワー・モードが停止すると、車両はハイブリッド・モードになります。

ハイブリッド・モードでは、高電圧バッテリーの充電済みエネルギーを可能な限り節約し、電動モーター走行距離を延ばします。

### 内燃エンジン作動状態での作動準備

電動モーター走行の作動条件が満たされていない場合、車両を始動したときに内燃エンジンが始動します。タコメーターにはアイドル回転数が表示されます。

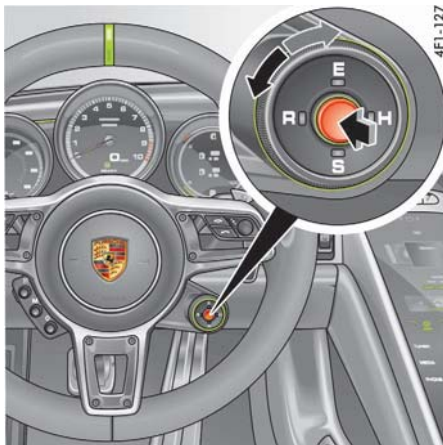


## ポルシェ・カー・コネクト\*

スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」を使用して、移動通信ネットワーク経由で車両と接続できます。ここでは、車両固有の情報をスマートフォンから直接呼び出すことができ、選択した設定をアプリを使用して直接車両で実施することができるようになります。

▷ 「ポルシェ・カー・コネクト\*」(84ページ)を参照してください。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報は[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)またはポルシェ正規販売店から入手できます。



## 走行モード

918 Spyderは、ステアリング・ホイールのマップ・スイッチで選択可能な合計5つの走行モードを備えています(図を参照)。選択したモードは、マップ・スイッチのLEDの点灯で表示されます。また、インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイおよび「Power & Drive」ディスプレイに、選択したモードに関するポップアップが表示されます。

走行モードは2つのグループに分けられます。

- 燃費重視：  
Eパワーおよびハイブリッド・モード
- 性能重視：  
スポーツ・ハイブリッド、レース・ハイブリッドおよびホット・ラップ・モード

「Car & Info」ディスプレイの走行モードのポップアップ  
駆動力の種類を表すシンボル

- ← 内燃エンジン
- ← 電動モーター
- ← Eブースト

\* 日本仕様には設定はありません。



4F1-100

ンスミッションによって解除されます。このことは、急加速（追い越し時など）を行う状況で特に重要になります。Eパワーはバックグラウンドで作動し続け、内燃エンジンは低速走行時やゆるやかな加速時に再び停止します。

バッテリーの充電状態が最低レベルを下回ると、自動的にハイブリッド・モードに切り替わります。ロービームはエコ・ライト・モードになります。

「Eパワー」モードに関するインフォメーション：

- ▷ 「連続した電動モーター走行 - Eパワー・モード」（189ページ）を参照してください。



## 「Eパワー」モード(E)

代表的な走行状況：

車両始動後の走行開始時、住宅地域での静粛なエミッション・フリー走行時など

バッテリーの充電状態が十分であれば、初期設定では車両始動後はEパワー・モードが作動します（「E」マークの赤いLEDが点灯します）。

電動モーターのみでの走行時は、モーター・ジェネレーターにより車両が駆動されます。電動モーター駆動力の調節を補助するために、アクセル・ペダルのプレッシャー・ポイントが作動します。

Eパワー・モードでは、このプレッシャー・ポイントが電動モーターでの走行可能距離を制限する役割を果たします。これにより、内燃エンジンが不意に作動することを防止します。このプレッシャー・ポイントを超えた場合は、モーター・ジェネレーターに加えて内燃エンジンが作動し始めます。必要に応じて、PDKトラ



4F1-101



## 「ハイブリッド」モード(H)

代表的な走行状況：

通常の交通状況での燃費重視の穏やかな走行

モーター・ジェネレーターと内燃エンジンを組み合わせて車両を駆動します。異なる動力源からのパワー・インプットは、交通状況およびパフォーマンスに依存します。

ハイブリッド・モードを手動で選択した場合は、バッテリーの充電状態が一定範囲に維持されず、充電状態は電動モーター駆動により低下し、回生によって増加します。そのため、充電レベルはこの値から一定範囲で変動します。PDKトランスミッションのギヤが切り替わるタイミングは、走行状況（上り坂/下り坂走行）や運転スタイル（エコ・ドライブ/スポーティー）に応じてエンジン低回転域から高回転域まで変化します。

ロービームはエコ・ライト・モードになります。



4F1-102



### 「スポーツ・ハイブリッド」モード(S)

代表的な走行状況：

公道でのダイナミックなスポーティー走行

このモードでは、内燃エンジンが常時作動し主要な動力源になります。モーター・ジェネレーターは、ドライバーがパワー向上を要求するとEブーストにより補助的にサポートします。

運転スタイルが許せば、このモードでは高電圧バッテリーが約90%まで充電されます。

スポーツ・ハイブリッド・モードでは、PDKトランスミッションはスポーティーな変速プログラムに切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。

ロービームはレース・ライト・モードになります。



4F1-103



### 「レース・ハイブリッド」モード(R)

代表的な走行状況：

サーキットで極めてダイナミックな走行特性を発揮する、純粋に性能重視の走行

このモードでは、内燃エンジンが常時作動し主要な動力源になります。内燃エンジンは、更にバッテリーを追加充電します。モーター・ジェネレーターは最大限の出力性能を活用し、Eブースト・パワーを更に増加させます。

レース・ハイブリッド・モードでは、PDKトランスミッションがサーキット走行に適したシフト特性に切り替わります。スポーツ・ハイブリッド・モードに比べて、ギヤチェンジ性能が更に格段に向上します。

ロービームはレース・ライト・モードになります。



4F1-104



### 「ホット・ラップ」モード (R+ 赤色ボタン)

ホット・ラップ・モードは、マップ・スイッチの中央にある赤色のボタンで選択できます。

必要条件：

- エンジンが作動温度に達している
- レース・ハイブリッド・モードが作動している

このモードでは、高性能バッテリーの最大限のエネルギー供給能力を更に活用し、サーキットでの最速ラップ達成を可能にします。このモードでは、高負荷時に初期設定でV8エンジンが作動し、Eブーストはプレッシャー・ポイントにより制御され、オーバーテイク時のEブーストの使用と追加パワーを最適に調節します。ホット・ラップ・モードでは、PDKトランスミッションがサーキットで走行に適した変速プログラムに切り替わります。

ロービームはレース・ライト・モードになります。



## インストルメント・パネルのハイブリッド・ディスプレイ

- A パワー・メーター
- B 走行モード
- C バッテリー充電状態
- D 充電ポート位置の表示
- E ステータス・エリア
- F Eブースト



**警告**

ハイブリッド・ディスプレイの使用

ハイブリッド・ディスプレイを使用することにより、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- ▷ ハイブリッド・ディスプレイは、周囲の交通状況が安全を確保できる場合のみ使用してください。

## i インフォメーション

高電圧バッテリーに蓄えられている現在のエネルギーおよび走行スタイルを考慮し、ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) およびポルシェ・カー・コネクト・アプリ\*はインストルメント・パネルに電動モーターによって走行可能な距離を表示します。電動モーターによる走行可能な距離を計算する際、冷暖房出力要求を予測してエアコン・システムの設定および外気温度も考慮にいれられます。その結果、例えばエアコン・システムのA/CモードをOFFにすると、表示される残りの電気走行距離が長くなる場合があります。

## A - パワー・メーター

パワー・メーターは、あらゆる走行状況における内燃エンジンおよび電動モーター走行の現在の相対的な出力を表示します。

- 白色のLEDは内燃エンジンの相対出力を示します（現在使用している出力をそれぞれの運転状況における最大可能出力と比較して表示します）。
- 緑色のLEDは電動モーター走行の相対出力（両方のモーター・ジェネレーターを組み合わせた出力）を示します。このLEDが右側の「充電」レンジで点灯する場合は、最大可能回生能力のうち実際に回生が行われている割合を示します。左側の「ゼロ・エミッション」レンジには、電動モーターのみでの走行またはEブーストに利用されるモーター・ジェネレーターの相対出力が表示されます。

## B - 走行モード

走行モードに関するインフォメーション：

- ▷ 「走行モード」(183ページ)を参照してください。

## C - バッテリー充電状態

イグニッションがONのとき、高電圧バッテリーの充電状態が表示されます。高電圧バッテリーの充電状態は、緑色のLEDの点灯する数により表示されます。高電圧バッテリーが完全に充電されると、すべてのLEDが緑色で点灯します。

## D - 充電ポート位置の表示

\* 日本仕様には設定はありません。

## E-ステータス・ディスプレイ

「Car & Info」ディスプレイのステータス・エリアは、ACまたはDC\*充電器の接続状態、および高電圧バッテリーの充電状態に関する情報を提供します。

▷ 「下部ステータス・エリア」(188ページ)を参照してください。

## F-Eブースト

ブースティングに利用可能な駆動バッテリーのエネルギーが白いサークルでここに表示されます。ブースト作動時はこのサークルが緑色になり、Eブーストに利用可能なエネルギーが小さくなるにつれて減少します。

Eパワーまたはホット・ラップ・モードの選択時は、走行要求に応じてアクセル・ペダルのプレッシャー・ポイントが作動し、ブースト・パワーまたは電動モーターの駆動力の調節を補助します。Eパワー・モードでは、このプレッシャー・ポイントが電動モーターでの走行可能距離を制限する役割を果たします。ホット・ラップ・モードでは、Eブーストに必要な2つのモーター・ジェネレーターが作動がこのプレッシャー・ポイントによって制御されます。

Eブーストは「Car & Info」ディスプレイに表示できます。

1. 「Boost (ブースト)」メイン・メニューを選択してください。

▷ 「加速/ブースト」(180ページ)を参照してください。



## 「Car & Info」ディスプレイの設定

内燃エンジンに関連するトリップ情報に加えて、ハイブリッド・モードの走行データも「Car & Info」ディスプレイに表示することができます。

「Car & Info」ディスプレイの「トリップ」メニューに関するインフォメーション：

▷ 「トリップ・メニュー」(62ページ)を参照してください。

## 電動モーター走行のデータを表示する

「Trip (トリップ)」メイン・メニューで、ハイブリッド・モードの走行データの呼び出しとリセットができます。

1. メイン・メニュー：「Trip (トリップ)」を選択してください。

ハイブリッド・モードの走行データを表示する走行データ表示「Since (最新)」、「Total (累積)」および「To destination (目的地まで)」\*に加えて、ハイブリッド・モードの走行データも表示することができます。

1. メイン・メニュー：「Trip (トリップ)」を選択してください。
2. 「E-Trip since (ハイブリッド・モードの走行データ)」を選択し、決定してください。

このオプションは現在運転中の走行データです。

選択できる表示項目の種類：

- 「Zero Emiss. (ゼロ・エミッション)」- 電動モーターのみで走行した距離
- 「Range (走行可能距離)」- 燃料残量で走行可能な距離 (燃料タンク・レベル)
- 「E-range (電動走行可能距離)」- 電動モーターにより走行可能な距離 (バッテリー充電レベル)

イグニッションをOFFにして2時間以上駐車すると、停止前の走行データは自動的にリセットされます。

## 走行データをリセットする

選択した走行データをリセットできます。



1. メイン・メニュー：「Trip (トリップ)」を選択してください。
2. 任意の走行データを選択し、決定してください。
3. 「Reset (リセット)」を選択し、決定してください。

\* 日本仕様に設定はありません。





## 下部ステータス・エリア


高電圧バッテリーの充電状態によって、「Car & Info」ディスプレイの下部ステータス・エリアに以下の情報が表示されます。

-  車両プラグが挿入されていない場合、電動モーターによる走行可能な距離が表示されます。
-  車両プラグが挿入されていて、乗車タイマーがプログラムされている場合、タイマーのシンボルが表示されます。

車両プラグの状態および高電圧バッテリーの充電プロセスが以下のシンボルにより表示されます。

-  車両プラグが挿入され、ロックされています。高電圧バッテリーが充電されている、もしくは充電が終了しています。

 車両プラグが挿入されているが、ロックされていません。車両が電源に接続されていません。高電圧バッテリーが充電されていません。

 高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

高電圧バッテリーが完全に充電されるまでの残り時間が車両プラグ・シンボルの後に表示されます。

## i インフォメーション

車両充電ポートの充電および接続表示に関するインフォメーション：

- ▷ 「車両充電ポートの充電および接続表示」(195ページ)を参照してください。

## 乗車タイマーのプログラミング

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)で3つの乗車タイマーをプログラムすることができます。

この機能が作動すると、プログラミングした時間までに十分な時間があり、車両プラグが挿入されている場合、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに完全に充電されます。各乗車タイマーは1回または定期的のいずれかに設定可能です。

乗車タイマーのプログラミングに関するインフォメーション：

- ▷ 「乗車タイマーの設定」(104ページ)を参照してください。

## ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ディスプレイ

ハイブリッド・ディスプレイは、ハイブリッド・ドライブ・システムの各構成部品間のエネルギーの流れに関する情報と、内燃エンジンが自動的にOFFになった状態の走行時間に関する記録情報を表示します。

ハイブリッド・ディスプレイに関するインフォメーション：

- ▷ 「ハイブリッド・ディスプレイ」(105ページ)を参照してください。

## 連続した電動モーター走行 - Eパワー・モード

初期設定で作動したEパワー・モードは、約150km/hまでの速度で電動モーター走行が可能です。

ハイブリッド・システムの状態が対応可能であれば、約16km~31kmの距離を電動モーターのみで走行できます。

### i インフォメーション

走行スタイル、エアコン使用状況およびエネルギーを大量に必要とする機器の使用の程度によって、電動モーターによる走行可能距離は大きく左右されます。環境に配慮した運転およびエアコン・システムなどのエネルギーを大量に必要とする機器の使用を控えることは、電動モーターによる走行可能距離を延ばすための重要なポイントです。

### Eパワー・モードの必要条件

Eパワー・モードを作動させるには、次の前提条件を満たさなければなりません：

- 高電圧バッテリーが十分に充電されている
- PDKがマニュアル・モードMではない

Eパワー・モードが使用可能かどうかは「Car & Info」ディスプレイの下部ステータス・エリアの(E)シンボルにより表示されます。

「Car & Info」ディスプレイのEパワー・モードのステータス表示に関するインフォメーション：

- ▷ 「「CAR & INFO」ディスプレイのEパワー・モードのステータス表示」(190ページ)を参照してください。



### Eパワー・モードの作動/停止

- ▷ マップ・スイッチを「E」の位置に回してください。

Eパワー・モードが作動すると、「E」マークのLEDが点灯します。


「Car & Info」ディスプレイに「E-POWER MODE (Eパワー・モード)」のポップアップが短時間表示され、「Power & Assist」ディスプレイに「E-POWER (Eパワー)」が表示されます。

Eパワー・モードの作動条件が成立していない場合は、Eパワー機能をONにすると「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「E-Power mode not available (Eパワー・モードは使用できません)」が表示されます。Eパワー・モードの停止時、車両はハイブリッド・モードになります。このモードでは、車両コントロール・システムのハイブリッド・マネージャーが自動的に走行モード(モーター・ジェネレーターまたは内燃エンジンによる駆動、またはモーター・ジェネレーターと内燃エンジン両方による駆動)を切り替えます。




## 電動モーター駆動力の調節

電動モーター駆動力の調節を補助するために、Eパワー・モードの作動中、アクセル・ペダルの追加のプレッシャー・ポイントが作動します。このプレッシャー・ポイントを越えると、内燃エンジンがONになります。

## 「Car & Info」ディスプレイのEパワー・モードのステータス表示

選択したメニューに関係なく、Eパワー・モードが使用可能かどうかはインストルメント・パネル内「Car & Info」ディスプレイの下部ステータス・エリアにある  シンボルにより表示されます。

以下が表示される可能性があります：

-  Eパワー・モード作動中（アクセル・ペダルの追加プレッシャー・ポイントが使用可能になります）。
-  Eパワー・モードが使用可能で、マップ・スイッチでONにすることができます。
-  Eパワー・モードは作動中ですが、システムによって時折使用できなくなります（内燃エンジンの自動点検中など）。

表示なし 高電圧バッテリーが十分に充電されていないため、Eパワー・モードが中断される、または自動的に停止します。

## Eパワー・モードの自動中断

次のいずれかの条件が成立すると、内燃エンジンが開始しEパワー・モードは**中断**されます：

- 運転者による過度の加速  
車両が約150km/h以上の速度で走行していて、アクセル・ペダルのプレッシャー・ポイントを超えた場合
- 高電圧バッテリーの温度が高すぎる / 低すぎる場合
- モーター・ジェネレーターの温度が高すぎる場合
- エンジン温度が0°C以下の場合

「Power & Assist」ディスプレイの「E-POWER (Eパワー)」の表示が灰色になります。

電動モーター走行の条件が再度満たされると、Eパワー・モードが自動的に再開します。「E-POWER (Eパワー)」の表示が再び白色になります。

## Eパワー・モードの自動停止

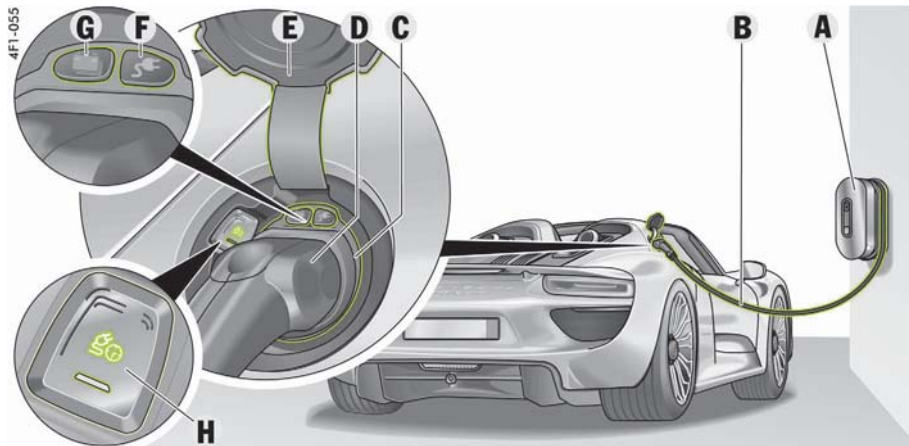
次のいずれかの条件が成立すると、Eパワー・モードは**停止**します：

- ハイブリッド・モードが作動した場合
- スポーツ・ハイブリッド、レース・ハイブリッド、またはホット・ラップ・モードが選択された場合
- 高電圧バッテリーの充電が不足した場合

「Car & Info」ディスプレイの下部ステータス・エリアの  シンボルが非表示になります。

この機能を再起動するには、マップ・スイッチを「E」の位置に回してください。





## 高電圧バッテリーの充電

できるだけ多くの電動モーター走行をするために、車両を一晩駐車するときなどは高電圧バッテリーを充電することを推奨します。

高電圧バッテリーの充電プロセスは充電タイマー機能により任意的に制御されます。この機能が作動すると、プログラミングした時間までに十分な時間がある場合、プログラミングされた時間までに高電圧バッテリーの完全充電が終了するように充電が実施されます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態がPCMの「Car & Info」ディスプレイの「Charge (充電)」メニューに、バッテリー充電状態インジケータ C およびステータス・ディスプレイ E によって表示されます。

▷ 「インストルメント・パネルのハイブリッド・ディスプレイ」(186ページ)を参照してください。

**危険**

感電、短絡、火災、  
爆発、火傷

間違った充電プロセス、一般に適用される安全上の注意事項を遵守しない、不適切または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いにより、感電、短絡、爆発、火災、または火傷を生じる恐れがあります。

- ▷ 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは必ず専門家が行ってください。
- ▷ 損傷した、または汚れた電気ソケットに車両充電ケーブルを接続しないでください。
- ▷ 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。

## 充電装置の概要

下記の装置が充電プロセスに必要です：

- A** ポルシェ充電ドック  
(ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC)の収納用)
- B** ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC)  
(車両充電ケーブル、コントロール・ユニットを含む)  
ポルシェ充電ドックの取扱説明書 (別冊) およびポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC)用取扱説明書を参照してください。  
**オプション：**  
ポルシェ急速充電ステーション(DC)\*  
「ポルシェ急速充電ステーション(DC)\*」  
(198ページ)を参照してください。

- C** 車両充電ポート
- D** 車両プラグ
- E** 充電ポート・リッド (右側、従来のフィルター・フラップと反対側)
- F** 車両プラグ接続状態表示  
(195ページ)を参照してください。
- G** 高電圧バッテリー充電状態表示  
(195ページ)を参照してください。
- H** 充電タイマー機能  
(196ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

- ▷ 延長ケーブル、ケーブル・リール、電源タップ、またはトラベル・アダプターを使用しないでください。
  - ▷ 高電圧バッテリー充電時には、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電プロセスが終了してから、車両充電ケーブルを電気ソケットから外してください。
  - ▷ 電気ソケットおよびプラグ接続は水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
  - ▷ 電気部品を改造または修理しないでください。
  - ▷ プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検され承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) とポルシェ充電ドックの併用を推奨します。
- ▷ 充電ドックおよびポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) の取扱説明書に記載された安全に関する指示およびポルシェ急速充電ステーション(DC)\*の章を参照してください。
  - ▷ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。
  - ▷ 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート・リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- 



警告

固定されていない充電装置

車両充電ケーブルを固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置に置いていると、ブレーキ/ステアリング操作中や事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▷ 車両充電ケーブルは、車内で固定していない状態で運搬しないでください。常にトランク・ルームの充電バッグ内に収納してください。
  - ▷ 車両充電ケーブルは常にトランク・ルーム内に収納し、決して乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。
- 



警告

ラジエーター・ファンまたはエンジン周りの他の可動部品

充電プロセス中など、高電圧バッテリーやオンボード充電器の過熱を回避するために、エンジン停止時であってもエンジン・ルームのラジエーター・ファンが回転する可能性があります。

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などが可動部品に絡まる恐れがあります。

- ▷ エンジンとラジエーター・ファンの近くで作業するときは十分注意してください。ラジエーターおよびラジエーター・ファンは、車両の前側にあります。
  - ▷ 身体の一部、衣服、アクセサリなどがラジエーター・ファン、その他の可動部品に巻き込まれないように十分注意してください。
- 

知識

電源の過電圧による充電装置およびオンボード充電器の損傷の恐れ

- ▷ 雷雨のときは車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- 

## i インフォメーション

回路の過負荷により電気回路のヒューズが切れる恐れがあります。高電圧バッテリーの充電プロセスは、ヒューズを交換した後のみ再開できます。

---

\* 日本仕様に設定はありません。

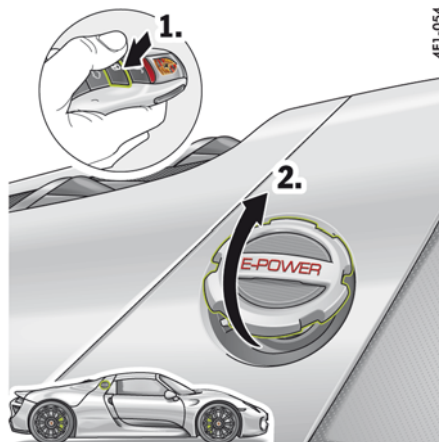
## 高電圧バッテリーの充電に関する指示

- 車両停止時、車両充電ポートから 100V ~ 240V の定格電圧範囲で高電圧バッテリーを充電することができます。
- プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの車両充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2 (タイプ2) または SAE J1772 に準拠して標準化された車両プラグおよび IEC 61851-1 または SAE J1772 (モード2 および 3) に従った充電プロセス)。また、法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) とポルシェ充電ドックの併用、またはオプションのポルシェ急速充電ステーション (DC)\* の使用を推奨します。

ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) の取扱説明書 (別冊) および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。

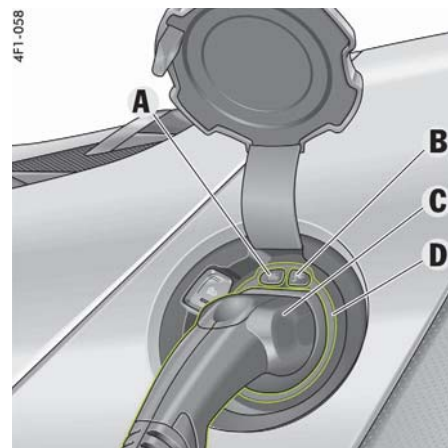
「ポルシェ急速充電ステーション (DC)\*」 (198 ページ) を参照してください。

- 保護機能の付いていない車両充電ケーブル (IEC 61851-1 または SAE J1772 (モード1) に準拠して標準化) には対応していません。
- 長時間車両を駐車する場合は必ず車両を電源に接続してください。
- 充電プロセス中の車両の温度は約  $-25^{\circ}\text{C}$  ~  $+35^{\circ}\text{C}$  でなければなりません。
- 高電圧バッテリーの充電は、内燃エンジンではなく充電器を使用することを推奨します。



4F1-054

4F1-058



## 車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

必要条件:

- ▶ エンジンを停止して、イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ (P) ボタンを操作してパーキング・ブレーキをかけてください。
- 1. 車両キーの (P) ボタンを押してください。充電ポート・リッドがロック解除されます (図を参照)。
- 2. 充電ポート・リッドを引き上げてください (矢印)。


3. 必要の場合は車両充電ケーブルを電気ソケットに接続してください。ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) の取扱説明書 (別冊) および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
4. 車両プラグ C を充電ポート D に完全に挿入してください。車両プラグは自動的にロックされ、充電プロセスが始まります。LED A は高電圧バッテリーの充電状態を表示し、LED B は車両プラグの接続状態を表示します。
  - ▶ 「車両充電ポートの充電および接続表示」 (195 ページ) を参照してください。

\* 日本仕様には設定はありません。


## i インフォメーション

- 車両をロックしたときに車両プラグが挿入されていた場合、車両プラグはロックされたままになります。
- イグニッションをOFFにして再度ONした後、イグニッションがONの状態（イグニッション・ロック位置1）で充電プロセスを開始することが可能です。
- 充電プロセス中にイグニッション・キーをイグニッション・ロック位置2に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを外さなかった場合、充電プロセスは約20秒後に再開します。
- 充電タイマー機能が作動すると、充電タイマーが充電プロセスの開始をコントロールします。車両プラグを挿入してロックした後すぐに充電プロセスは開始されません。充電タイマー機能に関するインフォメーション：
  - ▷ 「充電タイマー機能の作動/解除」（196ページ）を参照してください。

## 充電プロセスの終了および車両プラグの車両充電ポートからの取り外し

1. 車両キーの  ボタンを押してください。車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合、中断されます。
2. 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから取り外してください。約20秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。
3. 必要な場合は車両充電ケーブルを電気ソケットから切り離し、安全な場所に収納してください。  
ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) の取扱説明書（別冊）および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
4. 充電ポート・リッドを閉じてください。

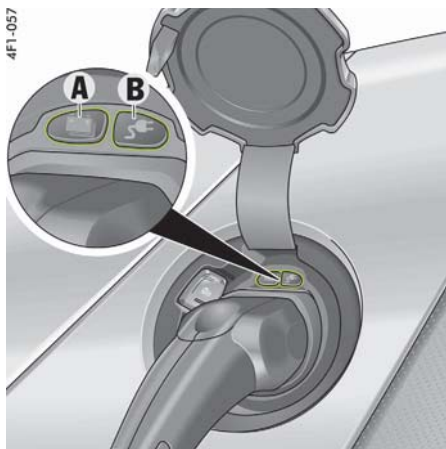
## i インフォメーション

- 車両キーの  ボタンを使用して20秒以内に車両をロックした場合、または車両プラグのロックを解除中に車両をロックした場合、車両プラグは再度ロックされます。充電プロセスが再開します。
- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。
  - ▷ 充電プロセスが終了してから、車両充電ケーブルを電気ソケットから外してください。
  - ▷ 高電圧バッテリーの充電の安全に関する指示を読んでください。

## i インフォメーション

車両始動時、車両プラグが車両充電ポートに挿入されていると（イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置2に回した場合）、メッセージ「Remove vehicle plug to start（車両プラグを外して始動）」または「Remove veh. plug to release parking brake（車両プラグを外してパーキング・ブレーキを解除）」がインストールメント・パネルのディスプレイに表示されます。

- ▷ 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから取り外してください。充電プロセスが開始していた場合、中断されます。
- ▷ 車両充電ケーブルを安全な場所に収納し、エンジンを始動してください。



**A** 高電圧バッテリー充電状態  
**B** 車両プラグ接続状態

### 車両充電ポートの充電および接続表示

LED **A**は高電圧バッテリーの充電状態を表示し、  
 LED **B**は車両プラグの接続状態を表示します。

LED A	LED B	意味
		車両プラグが挿入されているが、ロックされていません。
		車両プラグが挿入され、ロックされています。車両は電源に接続されていません。
		車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスはまだ始まっていません。
		車両プラグが挿入され、ロックされています。高電圧バッテリーは充電されています。 点滅の長さは、バッテリーの充電状態を示します。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>- LED <b>A</b>が短時間点灯し、長時間消灯する：バッテリーの充電レベル50%以下</li> <li>- LED <b>A</b>が長時間点灯し、短時間のみ消灯する：バッテリーの充電レベル50%以上</li> </ul>
		車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスは終了しています。

		車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスは終了しています。車両は電源に接続されていません。
		高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

充電プロセスを開始できなかった場合は以下を確認してください。

- ▷ 車両プラグが正しく挿入されているか確認してください。
- ▷ 充電装置が作動可能状態であるか確認し、車両充電ケーブルのコントロール・ユニットの表示を点検してください。  
ポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)の取扱説明書(別冊)および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- ▷ 必要であれば車両プラグを切り離れた後に再び接続して充電プロセスを再開してください。

### **i** インフォメーション

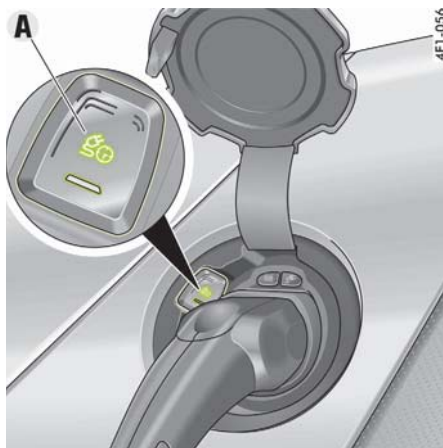
車両充電ポートへの車両充電ケーブルの接続状態が「Car & Info」ディスプレイのステータス・エリアに表示されます。

下部ステータス・エリアに関するインフォメーション:

- ▷ 「E-ステータス・ディスプレイ」(187ページ)を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイに関するインフォメーション:

- ▷ 「ハイブリッド・ディスプレイ」(105ページ)を参照してください。



### 充電タイマー機能の作動/解除

高電圧バッテリーの充電プロセスは充電タイマー機能により任意的に制御されます。

この機能が作動すると、プログラミングした時間までに十分な時間があり、車両プラグが挿入されている場合、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに完全に充電されます。充電タイマーは充電プロセスが開始された後制御します。この機能を停止すると、充電プロセスがすぐに始動します。

ボタンAを使用して充電タイマー機能を作動および停止するためには、車両のロックを解除する必要があります。

### 充電タイマー機能の作動

- ▷ PCMで乗車タイマーをプログラミングしてください。  
PCMでの乗車タイマーのプログラミングに関するインフォメーション:  
「乗車タイマーの設定」(104ページ)を参照してください。
- ▷ 車両プラグを差し込んでください。  
車両プラグの車両充電ポートへの挿入に関するインフォメーション:  
「車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する」(193ページ)を参照してください。  
ボタンAのインジケーター・ライトが点灯します。  
充電タイマーは充電プロセスが開始された後制御します。プログラミングした時間までに十分な時間がある場合は、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに充電されます。

### **i** インフォメーション

充電タイマー機能を作動したときにPCMで乗車タイマーがプログラミングされていない場合は、Aボタンのインジケーター・ライトが3回点滅して、消灯します。

## 充電タイマー機能の停止

以下の前提条件を満たさなければなりません：

- 車両プラグが差し込まれている
- 充電タイマー機能が作動している
- ▷ 車両充電ポートのAボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。高電圧バッテリーの充電プロセスがすぐに開始します・タイマー機能は解除されます。高電圧バッテリーが完全に充電されるまでの残りの充電時間が「Car & Info」ディスプレイの下部ステータス・エリアに表示されます。

下部ステータス・エリアに関するインフォメーション：

- ▷ 「E-ステータス・ディスプレイ」(187ページ)を参照してください。

充電時間に関するインフォメーション：

- ▷ 「充電時間」(197ページ)を参照してください。

### i インフォメーション

- ドア・ロックを解除した後、ドアまたはトランク・リッドを開かなかつた場合、30秒後に自動的にロックされます。充電タイマー機能のAボタンも作動解除されます。開閉操作とロックに関する更に詳しいインフォメーション：
  - ▷ 「車外からのドアの開閉操作とロック」(11ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 充電時間

ボルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)を使用した充電プロセスに必要な時間は、以下の要素により変動する場合があります：

- 使用した電気ソケット(家庭用電気ソケットまたは工業用電気ソケット)
- 国別の主要電圧および電流
- ボルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)のコントロール・ユニットおよび使用した車両充電ケーブルのコントロール・ユニットの電流設定
- 主要電圧の変動
- 車両周りの外気温度
- 高電圧バッテリーの温度

### 放電したバッテリーの充電時間

ボルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)：

接続	充電時間
家庭用電気ソケット (100 V、10 A)	約7.5時間
工業用電気ソケット (200 V、16 A)	約1.7時間

ボルシェ急速充電ステーション(DC)\*：

接続	充電時間
EU三相電源 (400V、32A)	約25分

### ⚠ 注意

ボルシェ・プラグインハイブリッド車両の充電には、専用のコンセントの設置が必要です。既存の工業用・家庭用コンセントは使用できません。詳細はボルシェ正規販売店へお問い合わせください。

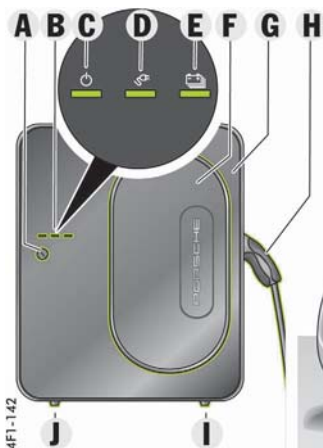
### i インフォメーション

外気温度が極端に高い、または低い場合、充電時間が長くなる可能性があります。

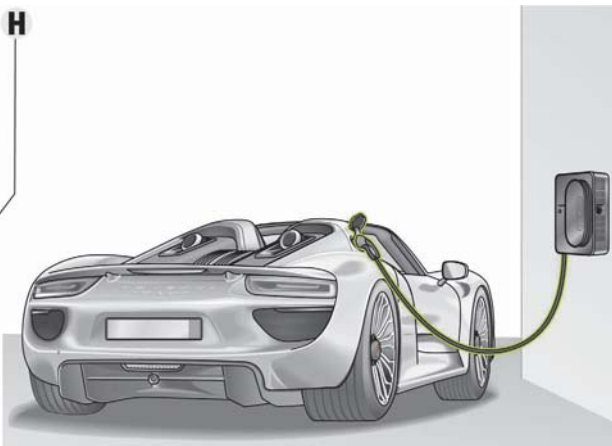
## 公共充電

車両は、IEC 62196-2(またはSAE J1772)基準に従った充電ポート装備の、またIEC 61851-1(またはSAE J1772)基準に従った充電プロセスに対応した公共充電ステーションで充電可能です。公共の充電ステーションがこれらの要件を満たしていない場合は、充電プロセスを開始できません。ご不明な点は、ボルシェ正規販売店にお気軽にご相談ください。公共の充電ステーションが充電ソケットのみを備えており、充電ケーブルを備えていない場合は、別途車両充電ケーブルが充電用に必要です(IEC 61851-1、モード3：日本仕様には、該当しない場合があります)。

- ▷ 充電ステーションに備え付けの充電プロセスのための取扱説明書を参照するか、係員にお問い合わせください。認証および作動に関する情報、および充電プロセスに関する情報は関連の充電ステーション係員から入手できます。



4F1-14Z



## ポルシェ急速充電ステーション (DC) \*

- A ON/OFFボタン
- B ステータス・インジケータ
- C 電源ステータス
- D 接続ステータス
- E 充電ステータス
- F ケーブル・リール
- G ハウジング
- H 車両プラグ
- I AC電源入力
- J 充電ケーブル・アウトレット

ここでは、オプションのDCポルシェ急速充電ステーション(Wallbox)を使用したポルシェ 918 Spyderの充電について説明します。Wallboxは、20分以内に容量80%までポルシェ 918 Spyderのバッテリーを充電することができます。



**危険**

感電、短絡、火災、  
爆発、重度の火傷

本取扱説明書の内容をよく読み、指示に従ってください。

- ▷ Wallboxに貼付されている警告ラベルに従ってください。  
「安全に関する知識」(175ページ)を参照してください。
- ▷ Wallboxは高電圧で作動します。
- ▷ Wallbox、ケーブルまたはコネクタが損傷している場合は、Wallboxを使用しないでください。
- ▷ Wallboxの3個のインジケータ・ライトが点灯した場合は、危険な故障が発生していることを示します。Wallboxに触れないでください。車両にも触れないでください。直ちにポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▷ 充電プロセス中はWallboxの表面が熱くなることがあります。
- ▷ コネクタの電気接点に触れないようにしてください。
- ▷ コネクタに物を詰めないでください。

- ▷ コネクタに物が詰まっている場合、または接点が腐食している場合は、Wallboxを使用しないでください。
- ▷ 車両で充電ケーブルまたはコネクタの上を乗り越えないようにしてください。
- ▷ 使用後は充電ケーブルを巻き取ってください。
- ▷ 充電ケーブルを持って引っ張らないでください。
- ▷ Wallboxを分解または改造しないでください。
- ▷ Wallboxの取り付け、移動、修理または分解は、必ず有資格技術者が行ってください。
- ▷ 濡れた手でWallboxを操作しないでください。
- ▷ Wallboxは屋内でのみ使用してください。Wallboxを雨やほこり、直射日光から保護してください。
- ▷ Wallboxおよびコネクタを湿気から避けてください。
- ▷ 雷雨のときは車両を充電しないでください。
- ▷ 延長ケーブルを使用しないでください。
- ▷ Wallboxの接続中は車両の作業を行わないでください。
- ▷ Wallboxの接続時は洗車しないでください。
- ▷ 清掃する前にWallboxをOFFにしてください。
- ▷ 換気口の前には何も置かないでください。
- ▷ お子様は大人の監視の下でのみWallboxを使用できます。
- ▷ Wallboxは、ポルシェ 918 Spyderの充電専用設計されています。他の車両の充電に使用しないでください。
- ▷ ケーブルが車両に触れないようにしてください。塗装面を損傷する恐れがあります。



**危険**

- ▷ ポルシェが認定した受託業者のみが、ポルシェ急速充電ステーション(DC)の取り付け作業を行うことができます。

\* 日本仕様に設定はありません。



## i インフォメーション

取り付けに関する情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店は認定受託業者のリストを用意しています。

## ポルシェ急速充電ステーション(DC)を使用してポルシェ 918 Spyderを充電する\*

### i インフォメーション

車両の温度は-25°C~+35°Cの範囲内である必要があります。

外気温度は-10°C~+40°Cの範囲内である必要があります。

車両温度および外気温度が20°Cの状態、最も速く充電を行うことができます。これより温度が高くなるか低くなると、充電時間が長くなります。

1. 停車し、パーキング・ブレーキをかけてください。
2. イグニッションをOFFにしてください。
3. 充電ポート・リッドを開いてください。「車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する」(193ページ)を参照してください。
4. ボタンAを押し、Wallboxの電源をONにしてください。インジケーター・ライトCが緑色で点滅した後、緑色で点灯し続けます。インジケーター・ライトDが緑色で点滅し始めます。
5. 車両プラグHをWallboxから取り外してください。
6. 車両プラグを918 Spyderの充電ポートに挿入してください。インジケーター・ライトDが緑色で点灯します。車両プラグがロックされます。
7. 約30~50秒後に自動的に充電が開始します。インジケーター・ライトEが緑色で点滅します。

\* 日本仕様に設定はありません。

### 8. 充電を停止する：

- 車両が完全に充電されると、充電プロセスが自動的に停止します。インジケーター・ライトDが緑色で点灯します。充電プロセスが停止します。
  - 車両が完全に充電される前に充電を停止させるには：車両キーのⓂ ボタンを押し、20秒以内に車両プラグHを車両から取り外してください。
9. 車両プラグをロック解除するには、車両キーのⓂ ボタンを押ししてください。
  10. 車両プラグHを車両から取り外してください。20秒以内に車両プラグを取り外さなかった場合は、再びロックされます。
  11. 充電ケーブルをケーブル・リールFに巻き取ってください。
  12. 車両プラグHをWallboxに収納してください。

### i インフォメーション

- 充電プロセスを中断した場合は、20秒待った後で再開することができます。車両キーのⓂ ボタンを押し、車両プラグを再び充電ポートに挿入してください。
- 車両プラグを車両から取り外した後、Wallboxは2分後に自動的にOFFになるカスタンバイ・モードになり、電力消費を低減します。
- 電力消費の低減のため、Wallboxを手動でOFFにすることもできます。そのためには、ボタンAを4秒間押し続けてください。

## i インフォメーション

取り付けタイプや取り付け位置などについて特別なアドバイスが必要な場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店では、ポルシェ急速充電ステーション(DC)をご家庭の電源に接続する作業を支援する受託業者のリストをご用意しています。

## お手入れ\*

ポルシェ急速充電ステーション(DC)の表面を定期的に清掃すると、装置の価値を保持するのに効果的です。

### 知識

- ▷ Wallbox内に水分が入らないようにしてください。
- ▷ エアゾール・スプレー、溶剤、または研磨剤を使用しないでください。Wallboxを損傷する恐れがあります。
- ▷ Wallboxに直接液体を噴霧しないでください。

1. WallboxがONの場合：ボタンAを4秒間押し続けてください。すべてのインジケーター・ライトが消灯します。
2. 湿らせた柔らかい毛羽の立たない布を使用して、Wallbox外側を清掃してください。

## 故障診断\*

ステータス・ディスプレイのライトBが赤色または黄色で点灯し、Wallboxが充電プロセスを開始しない場合は、以下の説明および処置方法を参照してください。

すべてのインジケーター・ライトが消灯している場合：

- ▷ ボタンAを押し、Wallboxの電源をONにしてください。  
インジケーター・ライトCが緑色で点灯します。これでWallboxは作動可能な状態になります。

それでもすべてのインジケーター・ライトが消灯している場合：

1. Wallboxに電源が供給されていることを確認してください。ヒューズ・ボックスの点検に援助が必要な場合は、地域の電気技師にご相談ください。
2. 次に、ボタンAを押し、Wallboxの電源をONにしてください。  
インジケーター・ライトCが緑色で点灯します。これでWallboxは作動可能な状態になっています。

1個または複数のインジケーター・ライトが黄色または赤色で点灯する場合：

- インジケーター・ライトC、DおよびEがすべて赤色で点灯する場合。

### 危険 感電

- ▷ Wallboxに触れないでください。
  - ▷ 車両にも触れないでください。
- 
- ▷ 直ちにポルシェ正規販売店にご相談ください。
  - インジケーター・ライトC、DまたはEのいずれかが赤色で点灯する場合。  
不具合が発生しています。
  - ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  - インジケーター・ライトEが黄色で点灯する場合。  
周囲の温度が高すぎます。
  - ▷ 温度が40°C以下に下がるまで待ってください。

- インジケーター・ライトAが緑色で点灯し、インジケーター・ライトDが赤色で点灯する場合。  
接続不良が生じています。
- ▷ 注意して車両プラグを車両に挿入し直してください。
- その他の場合：
  - ▷ ボタンAを4秒間押し続けてください。  
WallboxがOFFになります。
  - ▷ ボタンAを1回押し、再びWallboxの電源をONにしてください。

## インフォメーション

上記の処置を行っても問題が解消しない場合、または問題の性質について疑問がある場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## 高電圧バッテリー

高電圧バッテリーはシートと内燃エンジンの間に取り付けられています。高電圧バッテリーのユーザーによるお手入れは必要ありません。

- ▷ 「安全に関する知識」(175ページ)を参照してください。
- ▷ 「車両の長期保管」(222ページ)を参照してください。

### お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフ・サイクル中にバッテリー容量が減少し、使用可能な最大電気量も減少します。

以下の対策により、ライフ・サイクル中に減少するバッテリー容量にプラスの効果を与えることができます：

- ▷ 充電タイマー機能による高電圧バッテリーの充電
- ▷ 長時間車両を駐車する場合は、放電した高電圧バッテリーを放置せず、電源に接続してください。  
「車両の長期保管」(222ページ)を参照してください。
- ▷ できる限り、高電圧バッテリーを完全に充電した状態で車両を高温になる場所に駐車しないでください。

\* 日本仕様に設定はありません。

リバース・カメラ .....	202
ガレージ・ドア・オープナー (ホームリンク®) * .....	202

\* 日本仕様に設定はありません。



4F1-089

## リバース・カメラ

リバース・カメラはディフューザーに取り付けられています(図を参照)。

- ▷ 「リバース・カメラの調節」(103ページ)を参照してください。
- ▷ リバース・カメラはいつもきれいな状態を維持し、氷や雪が付着したときは取り除いてください。カメラの視界が遮られます。

車両のお手入れについて：

- ▷ 「車両のお手入れ」(217ページ)を参照してください。



4F1-078

## ガレージ・ドア・オープナー (ホームリンク®) \*

ホームリンク®システムは、様々なリモート・コントロール装置(ガレージ・ドア、自宅の門や警報システム、家のライトなど)を車内から作動させることができます。

ホームリンク®には最大3種類のリモート・コントロールを登録することができます。オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの3つのメモリー・ボタンI、II、IIIにリモート・コントロール信号を割り当てることができます。プログラミングしたメモリー・ボタンを使用して、各装置を作動させることができます。

信号の送信はボタンIIのインジケーター・ライトに表示されます。

### i インフォメーション

- ▷ 各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよくお読みください。
- ▷ ホームリンク®システムと各装置のリモート・コントロールの互換性に関する情報は、ポルシェ正規販売店、ホームリンク®のウェブサイト(www.homelink.com)、ホームリンク®のフリーコール(0800 0466 35465)から確認することができます。

### ⚠ 警告

操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫

ガレージ・ドア・オープナーの使用時またはプログラミング時に、ガレージ・ドア・オープナーで操作する装置の可動範囲に人や動物がいたり、物があったりすると、事故につながる恐れがあります。

- ▷ ホームリンク®システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいないか、物がいないか確認してください。
- ▷ 装置のリモート・コントロール取扱説明書の注意事項を遵守してください。

### i インフォメーション

- ▷ ボタンを押すと、トランスミッター・ユニットが車両の正面前方に向けて信号を送ります。必ず装置の受信機の方向に車両を向けてください。これを怠ると、信号の送信エリアから外れることがあります。
- ▷ 車両を売却するときは、ガレージ・ドア・オープナーのプログラム信号をキーパッドから消去してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

- ▶ プログラミング作業を初めて実施した後、装置が作動しない場合は、装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよく読み、装置のリモート・コントロールが固定コード式か、可変コード式かを確認してください。

## ガレージ・ドア・オープナー\*の操作

イグニッションをONにしてください。

- ▶ オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの該当するホームリンク®ボタンを押し続けてください。  
信号送信中にインジケータ・ライトAが点灯します。

## ガレージ・ドア・オープナー\*のプログラミング：登録した信号の消去

ホームリンク®システムは、オーバーヘッド・コンソールとラジエーター・グリル付近でプログラミングします。

### 作動条件

プログラミングした信号を消去するときや、ガレージ・ドア・オープナー信号を登録するときは：

- イグニッションをONにしてください。
- 方向指示灯の作動をOFFにしてください。  
**および**
- エンジンをOFFにしてください。

ガレージ・ドア・オープナーを使用するときには、信号の送信エリア内に装置の受信機がなければなりません。



## プログラミングした信号をキーから消去する

この操作では、ホームリンク®のすべてのプログラミングを消去します。プログラミングしたボタンを個別に消去することはできません。ボタンに信号を追加登録するときは、この操作を行わないでください。

- ▶ オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンIIのインジケータ・ライトAが素早く点滅するまで、2つの外側ボタンIおよびIIIを約20秒間押し続けてください。
- ▶ ボタンを放してください。

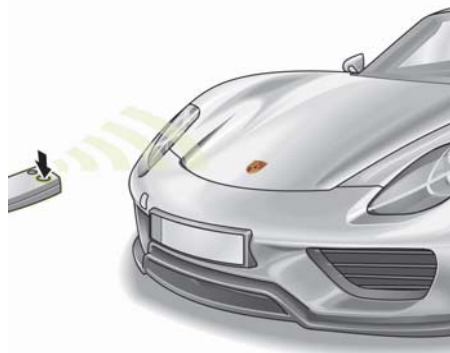
ホームリンク®ボタンは消去され、再プログラミングすることができます。

## 固定コード式システムのガレージ・ドア・オープナー信号をキーに登録する

### オーバーヘッド・コンソール：

1. イグニッションをONにしてください。
2. プログラミング作業を初めて実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。
3. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンIIのインジケータ・ライトAがゆっくりと点滅し始めるまで、好みのボタンを押し続けてください。  
ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
4. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

\* 日本仕様に設定はありません。



#### 車両の前方：

5. 右側（進行方向）ヘッドライトから約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。

6. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順3～5を繰り返してください。
7. 上記の手順3～5を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

#### 可変コード式システムのガレージ・ドア・オープナー\*信号をボタンに登録する

システムによっては、可変式コードもホームリンク®システムにプログラミングする必要があります。作業を2人で行うと、プログラミングが容易になります。

#### 可変式コードの識別

- ▷ 以前プログラミングしたホームリンク®ボタンを押し続けてください。

オーバーヘッド・コンソールのボタンIIのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始め、約2秒後に常時点灯する場合、装置は可変式コード・システムです。

- ▷ 同期に関するインフォメーションは、プログラミングするシステムの取扱説明書にも記載されています。

#### ガレージ・ドア・オープナー\*信号のキーへの登録

- ▷ リモート・コントロールされる装置の範囲内に車両を停車してください。

#### オーバーヘッド・コンソール：

1. イグニッションをONにしてください。
2. プログラミング作業を初めて実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

新車出荷時に設定されているコードの消去に関するインフォメーション：

- ▷ 「ガレージ・ドア・オープナー\*のプログラミング：登録した信号の消去」（203ページ）を参照してください。
3. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンIIのインジケーター・ライトAがゆっくりと点滅し始めるまで、お好みのボタンを押し続けてください。ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
4. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

#### 車両の前方：

5. 受信部（図を参照）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。

\* 日本仕様に設定はありません。

- 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順3~5を繰り返してください。
- 上記の手順3~5を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。
- ガレージ・ドア・オープナーのモーター・ユニットなどプログラミングする装置の受信機のプログラミング・ボタンの位置を特定してください。

#### システムを同期する

- モーター・ユニットを作動させる：**  
ガレージ・ドア・オープナー受信機のプログラミング・ボタンを押してください。  
その後、約30秒以内に次の手順10に進んでください（通常、モーター・ユニットの設定インジケータが作動します）。
- オーバーヘッド・コンソールのプログラミング：**  
手順3で選んだオーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンを3回押してください。（装置によっては、登録を完了するまでにキーパッドのボタンを数回押さなければならぬ場合があります。）
- 上記の手順3~10を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。
- オーバーヘッド・コンソールのプログラミングが完了した後、イグニッションをONにしてメモリー・ボタンを押すと、速やかにホームリンク®信号を認識して起動することを確認してください。

#### キーパッドの各ボタンへの再プログラミング

ホームリンク®ボタンは、残りのボタンの登録を消去せずに個別に再プログラミングすることができます。

#### オーバーヘッド・コンソール：

- イグニッションをONにしてください。
- オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンIIのインジケータ・ライトAがゆっくりと点滅するまで、プログラミングするボタンを（約20秒間）押し続けてください。  
ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
- プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

#### 車両の前方：

- 受信部（図を参照）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケータ・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。  
新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケータ・ライトAが素早く点滅します。  
車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。  
システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケータ・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。

- 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順1~4を繰り返してください。
- 上記の手順1~4を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

#### i インフォメーション

- 本書の手順、および各装置のリモート・コントロール取扱説明書の記述に従って慎重に登録作業を行ってもボタンに信号を登録できない場合、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にはガレージ・ドア・オープナー信号に関する情報が取り揃えてあります。
- ガレージ・ドア・オープナーのリモート・コントロールに新品の電池が入っていることを確認してください。電池が弱っていると、信号の送信不良が生じることがあります。その結果、ガレージ・ドア・オープン機能が正しく認識できない誤ったコードが登録されます。

## 警報システムおよび盗難防止

警報システム .....	207
イモビライザー .....	208
ステアリング・コラム・ロック .....	208
盗難を防止するために .....	208



## 警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、トランク・リッド、およびサービス・フラップの警報接点
- 室内モニタリング・システム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 傾斜センサー\*（国別の装備仕様による）：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）
- 警報システム・エレクトロニクス不正な操作

これらの警報接点のいずれか1つでも不正な動きを検出すると、アラーム・サイレンが約30秒間鳴り、ハザード・ライトが点滅します。それから5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します。

### ONにする

- ▷ 車両をロックすると、警報システムが作動します。

### OFFにする

- ▷ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

### i インフォメーション

ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから10秒以内に（国別の装備仕様により異なります）イグニッションをON（イグニッション・ロック位置1）にしなければなりません。

### i インフォメーション

リモート・コントロールを使用してロックを解除し、いずれのドア/トランク・リッドも開かなかった場合、車両は30秒後に再ロックされます。車両が自動的に再ロックされた場合、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー\*は作動しません。

### 作動した警報システムをOFFにする

- ▷ ドアをロック解除またはイグニッションをONにしてください。

### 室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー\*をOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*を一時的にOFFにする必要があります。

- ▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。
- ▷ リモート・コントロールのⓂボタンを2秒以内に2回押してください。ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、車内側から開くことができます。

## 機能表示

車両のロック状態は、セントラル・ロッキング・ボタンのインジケータ・ライトの点滅速度で示されます。

車両をロック解除すると、インジケータ・ライトが消灯します。

### 警報システムを起動させたとき

- 車両をロックしたときにインジケータ・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

### 警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*がOFFのとき）

- 車両をロックしたときにインジケータ・ライトが素早く点滅した後、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

### セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケータ・ライトが10秒間点灯した後、通常の倍の速さで20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

### 警報システムの誤作動を回避するために

- ▷ 車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*を一時的にOFFにする必要があります。
- ▷ 必ずルーフ・パネルを装着し、すべてのドア・ウィンドウを閉じてください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションをONにする前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動できます。

## ステアリング・コラム・ロック

### ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ▷ キーのリモート・コントロールによって車両をロック解除してください。

#### または

キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

### ステアリング・コラムを自動的にロックする

- ▷ イグニッション・キーを抜き取ってください。

## 盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

- ▷ ウィンドウを閉じてください。
- ▷ ルーフ・パネルを装着してください。
- ▷ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▷ イグニッション・キーを抜き取ってください。
- ▷ グローブ・ボックスを閉じてください。
- ▷ すべての小物入れを閉じてください。
- ▷ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。
- ▷ トランク・リッドを閉じてください。
- ▷ サービス・フラップを閉じてください。
- ▷ ドアをロックしてください。

## 車両のお手入れ

メンテナンスの諸注意 .....	210
エンジン・オイル・レベルの点検 .....	212
エンジン・オイルの補充 .....	212
ウォッシャー液 .....	213
ワイパー・ブレード .....	214
エミッション・コントロール・システム .....	214
予備燃料タンク .....	215
燃料の給油 .....	215
車両のお手入れ .....	217
リサイクル .....	222

## メンテナンスの諸注意

ボルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ボルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束致します。

お客様ご自身でメンテナンスされる場合につきましても、細心の注意を払って作業していただくようお願い致します。本書に掲載された注意事項を守った場合にのみ、信頼できる走行性能が保証されます。

不適切なメンテナンスを行うと、保証期間中でも保証が適用されないことがあります。

### テスト・スタンドでの点検

#### ブレーキ・テスト

ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。

ローラー・タイプ・テスト・スタンドを使用する場合、次の条件を守ってください：

- 測定速度：7.5km/h以下
- 測定時間：20秒以内

### エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキをテストするときは、イグニッションをONにし、PDKセクター・レバーをNの位置にしなければなりません。

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。

このとき、インストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「**Electric parking brake in service mode (エレクトリック・パーキング・ブレーキがサービス・モードです)**」が表示されます。

### オン・ザ・カー・ホイール・バランス

車両にタイヤを装着した状態でホイール・バランスを計測するときは、車両全体をリフト・アップし、ホイールが自由に回転できる状態にしなければなりません。



警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす危険があります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▷ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。



危険

車両の油脂類、燃料蒸発ガスへの引火、爆発性ガスの爆発の危険

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する恐れがあります。

- ▷ バッテリーや燃料系統の近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。



警告

有害な補充液

エンジン・オイル、ブレーキ液、クーラントなどは人体に有害（毒性、刺激性、腐食性）です。

- ▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- ▷ これらの油脂類は、お子様の手が届かない所に保管し、廃棄する場合は定められた処理方法を遵守してください。



警告

高温のエンジン部品や  
クーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▷ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▷ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分冷やしてください。
- ▷ エンジンが熱いときにクーラント・リザーブ・タンクのキャップを開く場合は、細心の注意を払ってください。



警告

ラジエーター・ファン  
またはエンジン周りの  
他の可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などが可動部品に絡まる恐れがあります。

車両前側のラジエーター・ファンは、エンジン作動中に作動し続けたり、不意に作動し始めたりすることがあります。

- ▷ これらの近くで作業を行うときは、エンジンをOFFにしてください。
- ▷ 身体の一部、衣服、アクセサリなどがラジエーター・ファン、その他の可動部品に巻き込まれないように十分注意してください。



警告

イグニッション・システムによる感電

イグニッションおよび高電圧システムがONのときは、イグニッション・システムのすべてのケーブルと配線に高電圧が作用しています。

- ▷ イグニッションおよび高電圧システムの作業：ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、リフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。

- ▷ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。更に、PDKセレクター・レバーをPの位置にしてください。
- ▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず安定したサポート・スタンドで車両を支えてください。
- ▷ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▷ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両がサポートから落下する恐れがあります。

## エンジン・オイル・レベルの点検

- ▷ オイル・レベルは、給油の前に定期的に「Car & Info」ディスプレイで点検してください。
- ▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」(60ページ)を参照してください。

## エンジン・オイルの補充

Porsche recommends **Mobil 1**

適合オイル：

ポルシェ社認証オイル <sup>1)</sup>	粘度等級 <sup>2)</sup>
Porsche A40	SAE 0W - 40

1) 一般に、メーカーが推奨するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。最新の承認オイルについてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

2) 粘度等級 - 例：SAE 0W - 40  
粘度0W = 低温時の粘度（冬）  
粘度40 = 高温時の粘度

下記の点を必ず守ってください：

- ポルシェ社が認証したエンジン・オイルのみを使用してください。これは、車両の信頼性を高め、故障を回避するための前提条件です。
- 定期的なエンジン・オイルの交換はメンテナンスの一部です。「整備手帳」に記載された規定のサービス・インターバルで定期的なサービス（特にオイル交換サイクル）を行うことが重要です。
- ポルシェ車のエンジンはオイル添加剤を必要としません。
- エンジン・ルームには、この車両に適したオイルの情報を記したステッカーが貼り付けてあります。

詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### 警告 高温のエンジン部品

エンジン作動中は、エンジン、テールパイプ、周辺部品などが非常に熱くなっています。

- ▷ エンジン・ルーム内で作業するときは十分注意してください。
- ▷ エンジン・オイルの補充は、必ずエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

### i インフォメーション

オイル・フィラー・キャップを開いたままエンジンを始動すると、チェック・エンジン警告灯が点灯することがあります。

### 警告 エンジン・オイルの発火

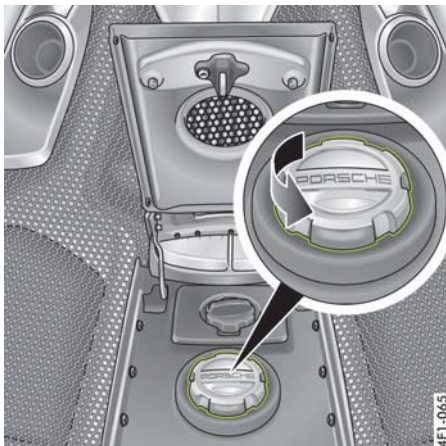
エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。

- ▷ エンジン・オイルの補充は、必ずエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▷ 「メンテナンスの諸注意」(210ページ)を参照してください。

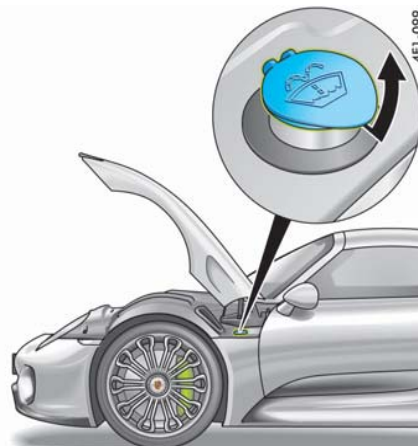
### 警告 エンジン作動中のエンジン・オイルの補充

エンジン作動中にエンジン・オイルを補充すると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▷ エンジン・オイルの補充は、必ずエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。



1. サービス・カバーを開く前に、「Car & Info」ディスプレイでエンジン・オイル・レベルを確認してください。
- ▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」(60ページ)を参照してください。
2. 車両を平坦な場所に駐車してください。
3. 作動温度に達している状態でエンジンをOFFにしてください。
4. サービス・フラップを開いてください。
5. オイル・フィルター・キャップ(図を参照)を取り外してください。
6. エンジンを停止した状態で、「Car & Info」ディスプレイの表示に従ってエンジン・オイルを補充してください。
7. オイル・フィルター・キャップを慎重に取り付けてください。オイル・フィルター・キャップが開いているときは、エンジンを始動しないでください。



## ウォッシャー液

下記の点を必ず守ってください：

- ▷ 季節に合わせて、水と適切な溶剤(ウィンドウ・クリーナーの濃縮液、凍結防止剤)を正しい比率で混ぜ合わせてください。

**夏季**は水とウィンドウ・クリーナーの濃縮液をウィンドウ・クリーナーの容器に記載されている混合比率に従って混ぜてください。

**冬季**は水とウィンドウ・クリーナーの濃縮液に、凍結防止剤を容器に記載されている混合比率に従って加えてください。

ウィンドウ・クリーナーや凍結防止剤の容器に記載されている注意事項を遵守してください。

- ▷ 次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナーのみを使用してください：
  - 濃度1:100
  - 無リン
  - プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウィンドウ・クリーナー濃縮液の使用を推奨します。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

フロント・ウィンドウのウォッシャー液タンクは、トランク・ルーム内の左側(進行方向に対して)にあります(図を参照)。

最大容量は約2.5リットルです。

### ウォッシャー液の補充

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください(図を参照)。
2. ウォッシャー液を補充してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

## ワイパー・ブレード

### メンテナンスの諸注意

#### 知識

ワイパー・ブレードのお手入れが適切でない場合、損傷する恐れがあります。

ワイパー・ブレードのグラファイト・コーティングが損傷する恐れがあります。

- ▷ 布やスポンジでワイパー・ブレードを拭き取らないでください。きれいな水で洗い流すのみにしてください。

#### 知識

ワイパー・アームが不意にフロント・ウィンドウに倒れたり、ワイパー・ブレードが凍結したりすることにより損傷の恐れがあります。

- ▷ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。
- ▷ フロント・ウィンドウから剥がす前にワイパー・ブレードの凍結を溶かしてください。

ワイパー・ブレードを完全な状態に保つことで、良好な視界を確保できます。

- ▷ ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。
- ▷ ウィンドウ・クリーナーを使用して、フロント・ウィンドウを定期的に清掃してください。ポルシェ・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨します。  
ワイパー・ブレードの汚れが激しいとき（昆虫の死骸が付着しているときなど）は、スポンジまたは布で拭き取ってください。

ワイパー・ブレードのびびりや異音が発生するときは、次の原因が考えられます：

- 洗車することにより、フロント・ウィンドウにワックス成分が付着することがあります。このワックスはウィンドウ・クリーナーの濃縮液を使用しないと除去できません。
- ▷ 「ウォッシュャー液」（213ページ）を参照してください。
- ワイパー・ブレードが損傷または摩耗しています。
- ▷ 損傷したワイパー・ブレードは、速やかに交換してください。

### ワイパー・ブレードの交換

- ▷ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向4に押ししてください。ワイパーが上方に約45°移動します。
- ▷ ワイパー・ブレードの取り付けは、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。
- ▷ ワイパー・ブレードの交換作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

#### 知識

ワイパー・ブレードの取り付け不良により損傷する恐れがあります。

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードがきちんと取り付けられていないと、走行中に脱落する恐れがあります。

- ▷ ワイパー・ブレードが正しく取り付けられているか点検してください。ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。

## エミッション・コントロール・システム

エミッション・コントロール・システムの効率を維持するために、

- 定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。
- 必ず**無鉛ガソリンのみ**を使用してください。

#### i インフォメーション

エンジンの空燃比制御システムに不具合が発生すると、触媒コンバーターが過熱して損傷する恐れがあります。

#### 警告

エキゾースト・システム付近の可燃物

エンジン作動中のエキゾースト・システムは非常に熱くなっています。エキゾースト・システムの近くに燃えやすい物があると、引火する恐れがあります。

- ▷ エキゾースト・マニホールド、テールパイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールドなど、エキゾースト・システムの近くに燃えやすい物を置かないでください。



## 知識

エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▷ 走行中にミス・ファイヤーが発生したとき（エンジンの回転が安定しないときや、エンジン出力が低下したとき）は、直ちにポルシェ正規販売店で修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ 燃料残量警告灯が点灯した場合は高速でコーナリングしないでください。
- ▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▷ PDKトランスミッション車は、トランスミッションの重大な損傷を避けるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動ができません。

## 予備燃料タンク



警告

予備燃料タンクの携行

事故などで予備燃料タンクが損傷した場合、燃料が漏れて火災が起こる恐れがあります。予備燃料タンクが爆発する恐れがあります。

- ▷ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。
- ▷ 関連する法規制を遵守してください。



警告

燃料蒸発ガスの吸引

燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▷ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

## 燃料の給油

イグニッションをONにすると、「Car & Info」ディスプレイに燃料の残量が表示されます。

- ▷ 「I-燃料計」(55ページ)を参照してください。



警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する恐れがあります。

- ▷ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしったりしないでください。



警告

燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▷ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▷ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

触媒コンバーターおよびO2センサーの故障を避けるため、**金属系添加剤を含まない無鉛ガソリンのみ**を使用してください。

この車両のエンジンは、**EN228に基づき、オクタン価が98RON/88MONの金属系添加剤を含まない、無鉛プレミアム・ガソリン**を使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。

この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

オクタン価が95RON/85MON以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合、エンジンのノッキング・コントロール・システムが自動的に点火時期を調整します。

この場合、エンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

▷ このような燃料を使用した場合はアクセル・ペダルを全開にしないでください。

ポルシェ社では、オクタン価が95RON/85MON以下の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンの使用を承認していません。

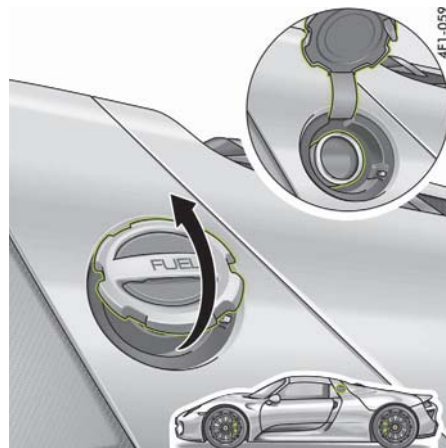
## i インフォメーション

通常、燃料の品質（オクタン価など）に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。

表示されていない場合などはガソリン・スタンドのスタッフにお問い合わせください。

地域によっては、市販の燃料がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。適切な対応策について、詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

「整備手帳」に記されているインターバルでの定期的なメンテナンスが重要です。特にオイル交換時期を遵守してください。



## 給油

1. エンジンを停止して、イグニッションをOFFにしてください。
2. フィラー・フラップのリリース・ボタンを押してください（図を参照）。  
「Car & Info」ディスプレイに以下のメッセージが表示されます：「Tank readiness being established（燃料タンクの準備を行っています）」
3. フィラー・フラップがロック解除されるまでお待ちください（最大90秒かかります）。  
「Car & Info」ディスプレイに以下のメッセージが表示されます：「Tank readiness established（燃料タンクの準備ができました）」
4. ドアとウィンドウを閉じてください。
5. フィラー・フラップを開いてください。

6. 給油口の奥まで給油ノズルを差し込んでください。このとき、給油ノズルのハンドルが下向きでなければなりません。  
燃料タンクの容量：  
約70リットル（予備用の約10リットルを含む）
7. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。  
給油ノズルが自動的にOFFになったら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
8. 給油後は直ちにフィラー・フラップをロック音と手ごたえを感じるまで閉じてください。

## 知識

デコラティブ・フィルムを損傷する恐れがあります。  
デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▷ デコラティブ・フィルムに燃料がこぼれたときは、直ちに拭き取ってください。

## フィルター・フラップが開かないとき

「Car & Info」ディスプレイにメッセージ「Fuel system fault, Workshop (故障 燃料システム 要修理)」または「Fuel tank not ready (燃料タンクの準備ができません)」が表示された場合は、燃料システムに故障が発生しています。車両を給油可能な状態するには：

- ▷ メッセージ表示中にフィルター・フラップのリリース・ボタンを再び押してください。この場合、給油時に給油ノズルが早めにOFFになります。給油ノズルが差し込まれると、フィルター・ネックから燃料蒸発ガスが放出されることがあります。

### ▲ 警告

燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▷ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▷ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

### ▲ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する恐れがあります。

- ▷ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

## 車両のお手入れ

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるのみでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。

ポルシェ正規販売店は、車両に相応しいカー・ケア用品を各種取り揃えており、用途に応じて単品またはセットで販売しています。

- ▷ カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▷ これらの製品は、お様の手が届かない安全な場所に保管してください。
- ▷ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態がしっかりと点検されているか、保証を受けるための条件が満たされているかを調査するため、すべてのポルシェ正規販売店ではお手入れの状態や整備状況を記録しています。このため、ポルシェ正規販売店ではコンディション・リポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

## 高圧洗浄機、スチーム・クリーナー

### ▲ 警告

不適切な清掃

高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用すると、以下のコンポーネントを損傷する恐れがあります：

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム
- 塗装面およびフィルム面
- エンジン・ルーム内の電装部品とコネクタ
- リバース・カメラ
- エキゾースト・システム
- ▷ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▷ フラット・ジェット・ノズルやダート・ブラスターなどで洗車するときは、50cm以上離れた距離で使用してください。
- ▷ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせ使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせ使用すると、車両を損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
- ▷ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。

## デコラティブ・フィルム

### 知識

高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用すると、車両のラッピングやデコラティブ・フィルムが剥がれて損傷する恐れがあります。

- ▷ デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。

## ドア・ロックの保護

- ▷ 外気温度が低いときに洗車する場合は、ドア・ロックの凍結を防止するために、接着テープなどでロック・シリンダーにカバーをしてください。

万一、ドア・ロックが凍結した場合は、市販の解凍剤を使用できます。多くの場合は、温めたキーを差し込むのも効果的です。

- ▷ ロック・シリンダーを無理に操作するなど、過大な力をかけないでください。

## 洗車

### 知識

車両の各部品やホイールを損傷する恐れがあります。

- ▷ 自動洗車機で洗車しないでください。

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。

解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- ▷ 車両下部は汚れが激しいので、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▷ グリース、オイル、金属粉などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。

- ▷ 濃色車は塗料の組成上、傷が付きやすい性質があります。淡色車に比べてこまめにお手入れしてください。また濃色車の塗装は、小さな引っかき傷でも淡色車に比べて傷が目立ちやすい特性があります。
- ▷ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▷ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェ・カー・シャンプーの使用を推奨します。
- ▷ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▷ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

### 警告

ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▷ 洗車後は、ブレーキとステアリングの作動を点検してください。
- ▷ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

## 塗装の保護

車両の塗装を機械的、化学的なダメージから保護するためには以下の作業が必要です：

- 定期的にお手入れをしてください。
- 必要に応じて磨いてください。
- 染みや汚れを取り除いてください
- 塗装の損傷箇所は、速やかに補修してください。

### i インフォメーション

- ▷ ほこりの粒子で塗装面を傷めることがあるため、乾いた布で車両のほこりを払わないでください。
- ▷ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を塗布すると、艶消し効果がなくなります。

## 保護

塗装面は、経年変化で徐々に艶が失われます。

- ▷ 定期的にワックスをかけて保護してください。
- ▷ 洗車後は塗装保護剤を塗布し、塗装面を保護するために丁寧に磨いてください。

この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

## つや出し（ポリッシュ）

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。

ポルシェ・ペイント・ポリッシュの使用を推奨します。

## 汚れ、染みの除去

- ▷ タール、グリース、昆虫の死骸などは色褪せの原因になるため、ポルシェ社が推奨するタール除去剤か、インセクト・リムーバーで速やかに取り除いてください。
- ▷ 除去処理を行った後は、直ちに水で洗い流してください。

## 小さな傷の補修

- ▷ カーボン・ファイバー・テクノロジーの特性により、シャーシおよびボディの試験および損傷分析（事故後など）は専用のテスト手順に従って実施しなければなりません。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、直ちに修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ペイント・データは車両のデータ・バンクに表示されています。

- ▷ 「車台番号」(253ページ)を参照してください。

## ウィンドウの清掃

- ▷ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨します。
- ▷ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- ▷ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。

## i インフォメーション

サイド・ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。

このコーティングは経年変化で徐々に効果が弱まります。また新たにコーティングすることもできます。

- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ワイパー・ブレードのお手入れ

ワイパー・ブレードを完全な状態に保つことで、良好な視界を確保できます。

- ▷ 「ワイパー・ブレード」(214ページ)を参照してください。

## 車両下周り

走行中に車両の下周りが損傷することは避けられません。

- ▷ ポルシェ正規販売店で定期的に点検、補修を受けてください。

## 警告

エキゾースト・システム付近の可燃物

アンダーコーティングなどが走行中に過熱し発火する恐れがあります。

- ▷ 車両に追加のアンダーコーティングなどを施さないでください。

## クーリング・エア・フラップ、クーリング・ルーバー、およびディフューザー・チャンネル

- ▷ フロント・エプロン・エア・インレットにあるクーリング・エア・フラップやクーリング・ルーバー、およびすべてのディフューザー・チャンネルに異物がないか定期的に点検してください。

## ヘッドライト、ライト類、内外装のプラスチック部品、接着フィルム、およびリパース・カメラの清掃

下記の点を必ず守ってください：

- ▷ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品およびパーツの表面を清掃するときは、きれいな水と少量の中性洗剤、またはインテリア・ウィンドウ・クリーナーのみを使用してください。柔らかいスポンジや不織布を使用してください。
- ▷ 内装のプラスチック部品に直接水やインテリア・ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。最初はスポンジまたは布にスプレーしてください。洗剤がコントロールローラーやスイッチなどに浸入し、損傷させる恐れがあります。

## i インフォメーション

プラスチック表面の清掃には、インテリア・ウィンドウ・クリーナーを使用することもできます。クリーナーの容器に記載されている注意事項を遵守してください。

ポルシェ・インテリア・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨します。

- ▷ 力をかけずに優しく表面を拭いてください。
- ▷ 表面が乾いた状態で清掃しないでください。
- ▷ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。
- ▷ 清掃した部分を、きれいな水で洗い流してください。

## ホイール

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。

金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

## i インフォメーション

保護塗装の酸化被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▷ **ポルシェ指定軽合金製ホイール・クリーナー（pH値9.5）をご使用ください。pH値が不適切な洗剤を使用すると、ホイール表面の保護層を傷めます。**  
ポルシェ軽合金製ホイール・クリーナーの使用を推奨します。
- ▷ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

- ▷ 3ヶ月に1回、ホイールを洗浄した後にワックスまたは腐食性がないグリース（例：ワセリン）を塗布してください。

柔らかい布でホイール表面にグリースをすり込んでください。

## ▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどが付着したままにすると、ブレーキ・ディスクに膜ができて、ブレーキ性能を損なう恐れがあります。

- ▷ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▷ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▷ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

## ステンレス・テール・パイプ

ステンレス製テール・パイプやエンジン・カバーは、ほこり、高温の熱、排気ガスの残留物で変色することがあります。

適切なカー・ケア用品については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

### 知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▷ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▷ 防錆剤を使用しないでください。

- ▷ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹼水で定期的に洗浄してください。
- ▷ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

## 革製品のお手入れ

本革の表面に見られる天然のしわや傷、虫が刺したような跡、模様の違いや色合いの微妙な変化が、高品質本革の天然素材としての魅力を一層引き立てます。

下記の点に注意して、お手入れを行ってください：

### 知識

不適切なクリーナー、洗剤、保護剤などを使用すると、本革を傷める原因になります。

- ▷ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- ▷ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▷ 革製品上の水滴は直ちに取り除いてください。

- ▷ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かな汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▷ 汚れがひどいときは、レザー・クリーナーを使用してください（水染み/湿気による染み以外）。容器の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- ▷ ポルシェ・レザー・ケア・リキッドの使用を推奨します。
- ▷ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。
- ▷ ポルシェ・レザー・ケア・リキッドの使用を推奨します。

### カーペットの清掃

- ▷ 掃除機または柔らかいブラシを使用して清掃してください。
- ▷ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。
- ▷ ポルシェ・ステイン・リムーバーの使用を推奨します。

### フロア・マットの清掃

- フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリとして用意しています（Weissachパッケージには用意されていません）。
- ▷ フロア・マットは必ずぬるま湯で洗浄してください。



警告

ペダル操作の妨げ

- 不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作の妨げになる可能性があります。
- ▷ フロア・マットなどでブレーキ・ペダルの動きを妨げないようにしてください。
  - ▷ フロア・カーペットの上に敷くのみはマットを使用しないでください。

### エアバッグ・カバーの清掃



危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切な方法で清掃すると、エアバッグ・システムが故障する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない恐れがあります。

- ▷ ステアリング・ホイールのパッド、インストルメント・パネル、フロント・シート、ドア・パネルなどの部品を改造しないでください。
- ▷ これらの部品を清掃するときは、ポルシェ正規販売店にお任せください。

### 内張りの清掃

- ▷ ファブリック・ライニング、ヘッドライナー、サンバイザーなどは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

### アルカンターラのお手入れ

アルカンターラの清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。

日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。

研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、アルカンターラの表面が傷むので注意してください。

### 軽度の汚れの清掃

- ▷ 柔らかい布を水または中性の石鹼水で濡らして、汚れを拭き取ってください。

### 頑固な汚れの清掃

- ▷ 柔らかい布を、ぬるま湯または薄めたクリーニング用溶剤で濡らして、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

### シートベルトの清掃

- ▷ シートベルトは、刺激性の少ない洗剤で清掃してください。
  - ▷ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
  - ▷ 適切な洗剤のみを使用してください。
  - ▷ シートベルトを染色および脱色しないでください。
- シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

## 車両の長期保管

車両を長期間保管する場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。スタッフが、腐食防止対策、特別なお手入れとメンテナンス、保管方法などについてアドバイス致します。

- ▷ 高電圧バッテリーおよびスターター・バッテリーをトリクル充電する場合（ショールーム・モード）、車両をAC電源またはDC Wallbox\*に接続してください。
- ▷ 「12Vバッテリー」（244ページ）を参照してください。

バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

- ▷ 「車両をロックできない」（18ページ）を参照してください。

## リサイクル

使用済み自動車のリサイクルは、日本国内の法律により定められています。

ポルシェ社の車両はリサイクル性を考慮して開発されています。

- ▷ 法に定められた適切なりサイクル処理を行うため、廃車の際はポルシェ正規販売店にご相談ください。

\* 日本仕様に設定はありません。



軽修理について .....	224
クーラント・レベルの点検と補充 .....	225
ブレーキ・フルード .....	226
パワー・ステアリング .....	226
エア・クリーナーの交換 .....	226
室内防塵用フィルターの交換 .....	226
タイヤとホイール .....	227
センター・ロック付きホイール .....	231
センター・ナット .....	232
ホイールの交換 .....	232
リム・クリーナー .....	236
パンクしたとき .....	236
電気系統 .....	239
12Vバッテリー .....	244
車両キー（リモート・コントロール） 用電池の交換 .....	246
ライトの交換 .....	247
ヘッドライト .....	247
けん引、車両の救援 .....	248
消火器* .....	251

\* 日本仕様に設定はありません。

## 軽修理について

ポルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束致します。

お客様ご自身でメンテナンスされる場合につきましても、細心の注意を払って作業していただくようお願い致します。本書に掲載された注意事項を守った場合にのみ、信頼できる走行性能が保証されます。

不適切なメンテナンスを行うと、保証期間中でも保証が適用されないことがあります。

### i インフォメーション

国別の法規によっては、工具セットやスペア・パーツの携行が義務付けられている場合があります。運転前には必ず確認をしてください。

### i インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具（トルク・レンチ、ジャッキなど）は車両に標準装備されておりません。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### ⚠ 警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす危険があります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▷ エンジンを作動させた状態で作業するとき、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

### ⚠ 危険

車両の油脂類、燃料蒸発ガスへの引火、爆発性ガスの爆発の危険

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する恐れがあります。

- ▷ 燃料系統の近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▷ メンテナンス作業は屋外か、屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

### ⚠ 警告

有害な補充液

エンジン・オイル、ブレーキ液、クーラントなどは人体に有害（毒性、刺激性、腐食性）です。

- ▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- ▷ これらの油脂類は、お子様の手が届かない所に保管し、廃棄する場合は定められた処理方法を遵守してください。



警告

高温のエンジン部品や  
クーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▷ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▷ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▷ エンジンが熱いときにクーラント・リザーブ・タンクのキャップを開く場合は、細心の注意を払ってください。



警告

ラジエーター・ファン  
またはエンジン周りの  
他の可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などが可動部品に絡まる恐れがあります。

車両前側のラジエーター・ファンは、エンジンがONのときに作動し続けたり、不意に作動し始めることがあります。

- ▷ これらの近くで作業を行うときは、エンジンをOFFにしてください。
- ▷ 身体の一部、衣服、アクセサリなどがラジエーター・ファン、その他の可動部品に巻き込まれないように十分注意してください。



警告

イグニッション・システムによる感電

イグニッションがONのときは、イグニッション・システムのすべてのケーブルと配線に高電圧が作用しています。

- ▷ イグニッション・システムに関わる作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかりと固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、リフト装置から落下したりする恐れがあります。

- ▷ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▷ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▷ 車両をリフト・アップする前に、ジャッキアップ・ポイントのカバーを取り外してください。カバーを取り外した後、リフト・アップ専用のサポート・アダプターを車両に取り付ける必要があります。これらのアダプターはボルシェ正規販売店から入手できます。
- ▷ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両がサポートから落下する恐れがあります。

## クーラント・レベルの点検と補充

エンジン・クーラントには、年間を通じた腐食防止と、 $-35^{\circ}\text{C}$ （寒冷地では $-40^{\circ}\text{C}$ ）までの凍結防止の働きがあります。

クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。クーラント・レベルは、「Car & Info」ディスプレイに警告メッセージが表示されたときのみ点検する必要があります。

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。
- ▷ ボルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ブレーキ・フルード

ブレーキ・フルードを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

### ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。ブレーキ液が水分を含むと沸点が下がり、ブレーキ性能に悪影響を及ぼします。

- ▷ 「整備手帳」に記載された規定の使用期間に従って、定期的にブレーキ・フルードを交換することが重要です。

### ❗ 警告灯および警告メッセージ

ブレーキ液量が許容範囲を下回ったときや、ブレーキ回路に不具合が発生してペダルの踏み代が過大になると、「Speed & Assist」ディスプレイの警告灯、および「Car & Info」ディスプレイの警告メッセージによって異常を知らせます。

### i インフォメーション

走行中に警告灯および警告メッセージが表示されたときは：

- ▷ 直ちに適切な場所に停車してください。
- ▷ 運転を続けしないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

「Car & Info」ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」(76ページ)を参照してください。

## パワー・ステアリング

### ⚠ 警告

パワー・ステアリング・アシスト機能の不具合によるステアリング操作力の増大

故障が発生する(けん引時など)と、操舵力がアシストされません。

ステアリング操作に大きな力が必要になります。

- ▷ パワー・ステアリング・アシスト機能に不具合のある車両をけん引するときは十分注意してください。
- ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エア・クリーナーの交換

定期的なフィルター・エレメントの交換は、メンテナンスの一部です。

- ▷ ほこりの多い場所では、より頻繁に清掃し、必要に応じて交換してください。
- ▷ 「メンテナンスの諸注意」(210ページ)を参照してください。

## 室内防塵用フィルターの交換

定期的なフィルターの交換は、メンテナンスの一部です。

フィルターが汚れると、空気の流入量が減り、ウィンドウが曇るなどの現象が起こります。

- ▷ ポルシェ正規販売店でフィルターを交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### i インフォメーション

室内防塵用フィルターは、車内に取り込む外気から、ほこりや花粉などを取り除きます。

- ▷ 外気が排気ガスなどで汚れている場所では、内気循環に切り替えてください。

## タイヤとホイール

タイヤの寿命は、空気圧やホイール・アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤのトレッド面の摩耗を早める原因です。エンジンと同様、タイヤも正常な状態で使用しなければなりません。タイヤを正しく取り扱いすることで、長期にわたって安全な走行が可能になります。

いつまでも安全に車両をお使いいただくために、以下のタイヤの取り扱い方法を遵守してください。

### 荷重と速度

▷ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。

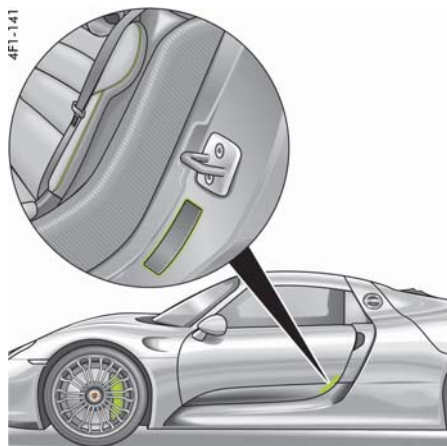
下記のような状況での使用は大変危険です：

- 過積載
- タイヤの空気圧不足
- スピードの出し過ぎ
- 高い外気温度（真夏の暑い日のドライブなど）

### i インフォメーション

サマー・タイヤの走行性能は、外気温度が7°C以下になると低下し、快適性も損なわれます。サマー・タイヤの使用を続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。

更に外気温度が極端に低くなると（-15°C以下）、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。



### タイヤ空気圧

規定の空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧の規定値は、以下で確認ができます：

- 運転席ドア開口部にあるタイヤ空気圧プレート、または本書の「テクニカル・データ」の章に掲載されています：
- ▷ 「冷間時のタイヤ空気圧（20°C）」（255ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき（20°C）を基準にしています。

- ▷ 少なくとも2週間に1回はタイヤ空気圧を点検してください。必ずタイヤが冷えているときに点検してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（63ページ）を参照してください。

タイヤの温度が上昇すると、空気圧も高まります。

▷ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない（空気を抜かない）でください。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

タイヤのバルブ・キャップは、バルブ部分へのほこりや汚れの侵入を防ぎ、空気漏れを防ぎます。

- ▷ 必ずキャップをしっかりと締め付けてください。
- ▷ 紛失した場合は、直ちに新しいキャップを取り付けてください。

タイヤ空気圧が不足しているとタイヤが過熱して、目に見えない損傷が発生します。このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。

### タイヤの損傷

高圧洗浄機を使用すると、タイヤを傷付けることがあります。

- ▷ 「高圧洗浄機、スチーム・クリーナー」（217ページ）を参照してください。

**▲ 警告** 目に見えないタイヤの損傷

高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▷ 定期的にタイヤの状態（側面も含めて）を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなければ確認してください。
- ▷ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。段差が大きい縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。
- ▷ ホイール・リムを損傷した可能性があるとき（特に内側）は、専門家による点検を受けてください。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき

## i インフォメーション

いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。

パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

## 縁石

段差が大きな縁石や尖った物（石など）を急な角度で乗り越えようと、その衝撃で目に見えない損傷が生じ、しばらくしてから不具合が現れることがあります。また、衝撃が大きいときは、ホイール・リム・フランジを損傷することもあります。

## タイヤの保管

- ▷ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▷ 外気温度が-15℃以下になるような場所にサマー・タイヤを保管したり、サマー・タイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▷ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

製造から4年以上が経過したタイヤを使用しないでください。

「タイヤは、保管して古くなった方が摩耗しにくい」という説がありますが、これは完全な誤りです。

年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。

タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。

コードの下4桁が製造年と週を示しており、例えば「1013」というコードであれば2013年の第10週に製造されたタイヤということになります。

## トレッド（接地面の溝）

トレッドが摩耗して溝が浅くなると、ハイドロプレーニング現象が発生する危険性が高まります。

- ▷ 安全のため、トレッドの溝にスリップ・サイン（深さ1.6mm）が現れる前にタイヤを交換してください。
- ▷ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

## ホイール・バランス

- ▷ 安全で快適なドライブを楽しむために、春にホイール・バランスの調整を受けてください。

タイヤ・バランスは、必ず適切なバランス・ウエイトを使用して行ってください。

接着式のバランス・ウエイトに洗剤が付着しないように注意してください。付着すると剥がれる恐れがあります。

## タイヤ空気圧モニタリング(TPM)用センサー

- ▷ ホイールを交換する前に、この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。
- ▷ 詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ホイールの交換

- ▷ 車両からホイールを取り外す場合は、それぞれのホイールが付いていた位置（前後左右）と、前進時のタイヤの回転方向をマーキングしてください。

例：

右前のホイールは「FR」、左前は「FL」、右後は「RR」、左後は「RL」

- ▷ ホイールを再度取り付けるときは、マーキングに従って同じ位置に取り付けてください。

## ホイール・アライメント

トレッドの摩耗度合いに偏りがあるときは、ホイール・アライメントに狂いがあることを示しています。この場合にはホイール・アライメントを点検してください。

- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## 警告

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生したりする

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生したりして、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、注意して運転し、最寄りのポルシェ正規販売店で点検を受けてください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤ交換

ZR(Y)品質のタイヤは、300km/hの速度に耐えられるよう設計されていますが、その速度を強要するものではありません。法定速度を遵守して走行してください。

- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の認証タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。

**4輪に装着するタイヤは必ず同一メーカー、同一仕様(N0、N1...)に統一してください。**

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の100～200kmは、高速走行を避けて慎重に運転してください。

フロントまたはリヤ・タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この変化は特にリヤ・アクスルに新品タイヤを取り付けた場合に生じやすくなります。

この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。

- ▶ 損傷したタイヤのみを交換する場合は、左右のタイヤ・トレッド溝の深さに30%以上の差がないように注意してください。トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤを同時に交換することをお勧めします。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。

## タイヤ・バルブ

- ▶ プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。
- ▶ 金属製バルブの取り付けおよび交換に関する手順書を参照してください。
- ▶ ポルシェ純正品の金属製バルブのみを使用してください。
- ▶ バルブの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップを取り付けてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。

## ホイールの交換

- ▶ 車両からホイールを取り外す場合は、それぞれのホイールが付いていた位置（前後左右）と、前進時のタイヤの回転方向をマーキングしてください。例：右前のホイールは「FR」、左前は「FL」、右後は「RR」、左後は「RL」
- ▶ ホイールを再度取り付けるときは、マーキングに従って同じ位置に取り付けてください。

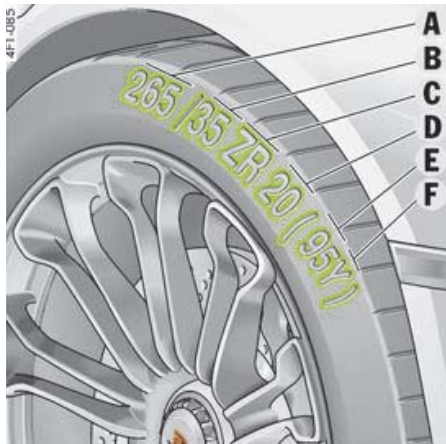
## スノー・チェーン

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。

- ▶ スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が推奨または承認したファイン・リンク・チェーンのみを使用してください。

認定スノー・チェーンに関するインフォメーション：

- ▶ 「タイヤ、ホイール」(255ページ)を参照してください。
- ▶ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。



- A - タイヤ幅 (mm)
- B - 偏平率 (%)
- C - タイヤ構造記号 (ラジアル)
- D - リム径 (インチ)
- E - ロード・インデックス
- F - 速度記号

## ラジアル・タイヤの見方

### 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。

この記号はタイヤの側面 (サイド・ウォール) に表示されています。

- (Y) 300km/hまで (Y記号タイヤの場合) タイヤのロード・インデックス (最大積載容量) の85%までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することが可能です (300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です)。

### i インフォメーション

許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないタイヤは使用しないでください。

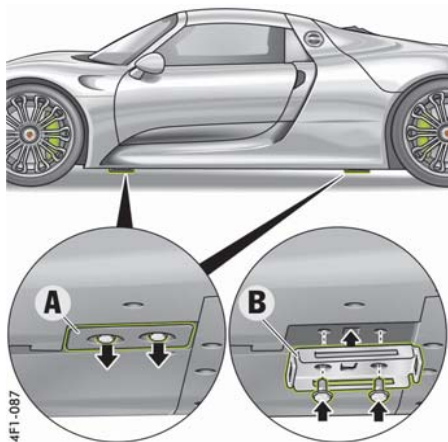


- G - リム幅 (インチ)
- H - リムフランジ形状記号
- I - ドロップ・センター・リム記号
- J - リム径 (インチ)
- K - ダブル・ハンブ
- L - リム・オフセット (mm)

## 軽合金製ホイールの記号

ホイールの情報は、ホイールの裏面に表示されています。





リフティング・プラットフォームおよびトロリー・ジャッキ用のジャッキ・ポイント

## リフトおよびトロリー・ジャッキによるリフト・アップ

- ▷ リフトに乗り入れるときは、車両下部とリフト・プラットフォームの間に十分なスペースがあることを確認してください。
- ▷ 車両をリフト・アップする前に、ジャッキ・ポイントのカバー **A** を取り外してください。カバーを取り外した後、リフト・アップ専用のサポート・アダプター **B** を車両に取り付ける必要があります。これらのアダプターはポルシェ正規販売店から入手できます。
- ▷ 車両は必ず、前後にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▷ エンジン、トランスミッション、アクスルにはジャッキをかけないでください。重大な損傷を招く恐れがあります。

## タイヤ交換

ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

センター・ナットをゆるめたり締め付けたりする際には、ワークショップ・ツール（トルク・レンチなど）が必要となります。

### **i** インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具（トルク・レンチ、ジャッキなど）は車両に標準装備されておりません。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### **i** インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイール・サイズは異なります。

- ▷ 前輪/後輪を間違えて取り付けないように注意してください。
- ▷ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール、タイヤを必ず使用してください。

## センター・ロック付きホイール

レース技術の一般車両への応用：

センター・ロック付きホイールはモーター・スポーツの世界では非常に一般的になっていますが、一般道路用としてはあまり普及していません。

ホイールは、専用のセンター・ナットを使用し、ホイール・ハブに取り付けられています。

走行中にゆるむのを防止するため、車両左側には右ねじのセンター・ナット、車両右側には左ねじのセンター・ナットを使用しています。

取り違いを避けるため、Weissachパッケージのセンター・ナットは色分けされています：

- 車両左側 - 赤色
- 車両右側 - 青色

## サーキット走行（スポーツ・ドライブング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）

ホイールは一般道での走行に比べ、激しいスポーツ走行（特にレース・サーキットでの走行時）では大きなストレスを受けます。このため、レース・サーキットでの走行時には、常に下記の指示に注意し、従う必要があります。

- ▷ レース・サーキットでの走行前には、必ず運転や整備方法について、お近くのポルシェ正規販売店にご相談ください。

レース・サーキット走行時には、すべてのシャーシ構成部品と同様にセンター・ロックにも特別な注意を払う必要があります。

- ▷ レース・サーキットでの走行前、必要に応じて走行中および走行後にセンター・ナットの締め付けトルクを点検してください。
  - ▷ ホイールを装着した後、必ずホイールのコーン、ねじ面、ハブ、およびセンター・ナットにポルシェ社が承認したスライディング・コンパウンドをスプレーしてください。絶対に部品にグリースを塗布しないでください。
- スライディング・コンパウンドを上記の構成部品にスプレーするときは、ホイールとブレーキ・ディスクの接触面にコンパウンドが付着しないよう注意してください。

### i インフォメーション

ホイールとホイール・ハブの接触面は、潤滑剤、グリース、ほこりの付着や損傷がない状態に保つ必要があります。

- ▷ ハブにセーフティー・キャップが付いていない状態で車両を走行させないでください。
- ▷ サーキット走行後は、必ずセンター・ホイール・ロック・システムのすべての構成部品（センター・ナット、ホイール、ホイール・ハブ、ホイール・アダプターおよびブレーキ・ディスク）が摩耗していないか点検し、必要に応じて交換してください。

- ▷ 高負荷にさらされる軸部品は、ポルシェが規定している間隔で交換してください。レース・サーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▷ その他の部品（ボール・ジョイント、ラバー・マウントなど）の摩耗は、車両のハンドリングに直接影響するため、必ず点検し、必要な場合は直ちに適切な方法で交換してください。

### ⚠ 警告

定期的な点検、メンテナンスおよび交換作業

定期的な点検、メンテナンスおよび交換作業を怠ると事故を起こす恐れがあります。

これはレース・サーキットにおいて、**高速で走行する場合に特に重要**です。

この作業はポルシェ正規販売店で実施することを推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ⚠ 警告

承認されていない部品  
やホイールの使用による  
不適切なねじ接続

構成部品が破損、または損傷する恐れがあります。不正なサイズのホイールまたは**ホイール用アクセサリー**などのハブ周辺の不正なサイズの部品、スペーサーの使用などは、取り付けられたホイールの機能を損なう恐れがあります。

- ▷ ポルシェ社によってテスト、認証されたホイール/タイヤの組み合わせでのみ使用してください。
- ▷ いかなる場合でも、スペーサーは使用しないでください。

## センター・ナット

センター・ナットおよびセーフティー・キャップは安全性に関わる部品です。摩耗および損傷の兆候がないか日頃から定期的に点検してください。

- ▷ センター・ナットの円錐面、台形ねじ、およびセーフティー・キャップのねじ部に傷や割れ、損傷があってはなりません。
  - ▷ 損傷したセンター・ナットは交換してください。
- 必ずこの車両専用のポルシェ純正センター・ナットのみを使用してください。
- ▷ ホイール・ナット接続部のすべての接触面、円錐面、およびすべてのねじ部に擦れまたはほこり、砂利、切削粉などの付着がないことを確認してください。

センター・ナットの締め付けトルク：650Nm

## ホイールの交換

- ▷ ホイールはポルシェ正規販売店で交換してください。
- この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、トルク・レンチなど）は車両に標準装備されておりません。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ホイールの交換が必要な場合、下記の手順を遵守してください。これを怠ると、ホイールが途中でゆるみ、損傷することがあります。このような場合、メーカーとしての責任を負いかねます。センター・ナットを求められる高い締め付けトルクで締め付けるには、650Nmでの締め付けが可能な市販の適切なトルク・レンチを使用してください。

**トルク・マルチプライヤーは使用できません。**

ホイールのゆるめ/固定には、しっかりとブレーキをかけてホイールが回転するのを防ぐため、**別の作業が必要**です。

#### ▲ 警告

車両の横転または落下

大きな締め付け力が必要なため、ジャッキを使用している場合、車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ 利用可能な場合、必ずリフティング・プラットフォームを使用してください。

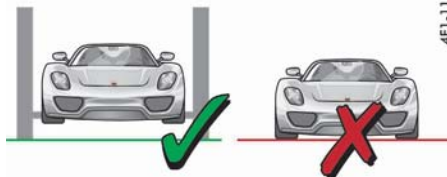
#### 知識

車両の横転、またはリフト装置からの滑落、または不正な工具の使用により、損傷の危険性があります。

大きな締め付け力が必要となるため、ジャッキを使用している場合、車両が滑り落ちる恐れがあります。インパクト・レンチを使用すると、センター・ロックを損傷することがあります。

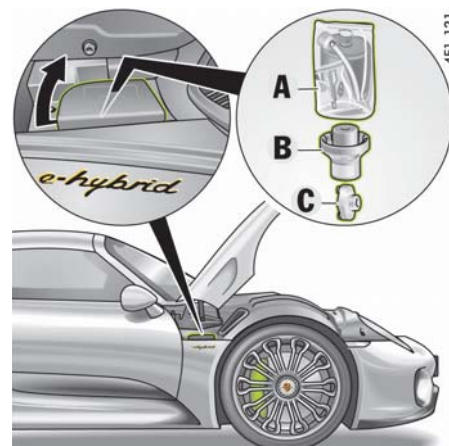
- ▶ 利用可能な場合、必ずリフティング・プラットフォームを使用してください。
- ▶ **インパクト・レンチは使用しないでください。**

1. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、イグニッション・キーを抜き取ってください。
2. 交換するホイールの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が前後に不意に動き出さないように固定してください。これは特に坂道で重要です。
3. **車両を持ち上げ**、ホイールを地面から浮かせてください。車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。
  - ▶ 「リフトおよびトローリー・ジャッキによるリフト・アップ」(231ページ)を参照してください。



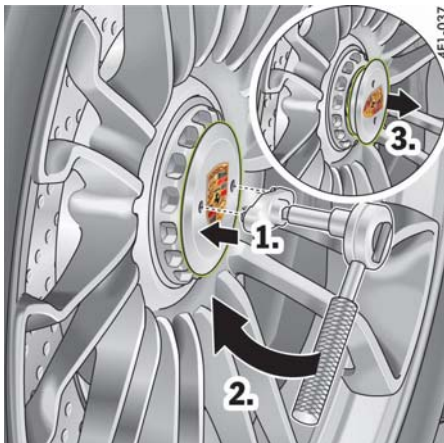
#### i インフォメーション

取り付けの際、ホイールを締め付ける前に車両を接地状態にしないでください。



- A - タイヤ・シーラント
- B - 脱着ツール
- C - ピン・レンチ

4. トランク・リッドを開き、プラスチック・カバーを持ち上げてください。中にあるタイヤ・シーラント、脱着ツール、ピン・レンチを取り外してください。センター・ナットは、この純正の脱着ツールを使用しなければゆるめたり締め付けたりすることはできません。脱着ツールは常にトランク・ルームに保管し、故障の際にいつでも使用できるようにしておいてください。

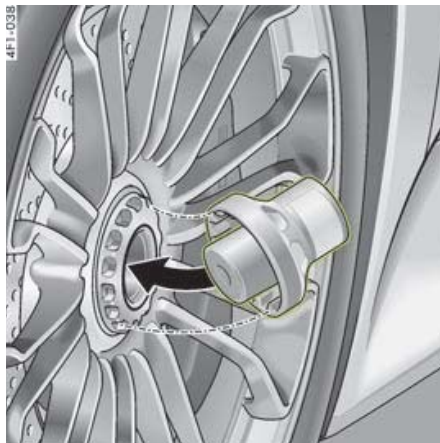


#### 知識

引っかかり傷が付く恐れがあります。

▷ セーフティー・キャップは慎重に取り外してください。

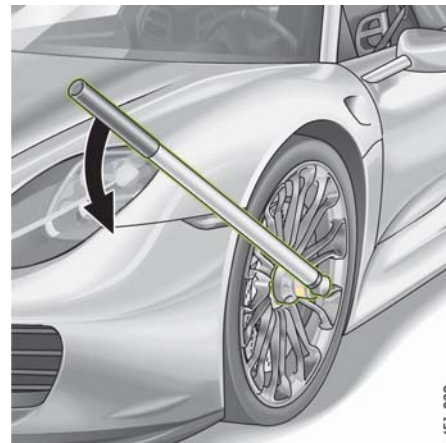
5. セーフティー・キャップをゆるめるためのピン・レンチは、脱着ツールのスクウェア・ドライブ内にあります。  
 車両左側のセーフティー・キャップには左ねじ、車両右側のセーフティー・キャップには右ねじを使用しています。  
 ピン・レンチを使用して、セーフティー・キャップをゆるめてください。



6. ナットをゆるめる方向は、各センター・ナットに矢印で表示されています：  
 - 車両左側は右ねじ  
 - 車両右側は左ねじ  
 脱着ツールをセンター・ナットのカラーと接触する位置にセットしてください。

#### i インフォメーション

センター・ナットをゆるめるには、(長期間ゆるめていない場合は特に) 非常に大きなトルクが必要です。

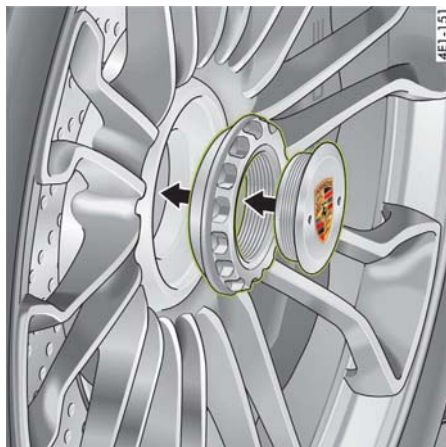


7. 正しい方向に回してください。  
 レバーが外れた際に作業者がケガをしたり車両部品が損傷しないよう、十分な空間を確保してください。  
 ホイールが回転しないよう、別の作業者にブレーキ・ペダルを踏み込んで確実にブレーキをかけてもらってください。  
 フロント・ホイールをゆるめる際は、別の作業員にステアリング・ホイールをしっかり保持してもらってください。

#### 知識

センター・ナットが損傷する恐れがあります。  
 ▷ センター・ナットをゆるめるときは、ツールをしっかりと奥まで押し込み、滑って外れないようにしてください。

8. センター・ナットを取り外し、円錐面やねじ部に汚れが付かないように置いてください。



### 知識

ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)のブレーキ・ディスクが損傷する恐れがあります。

- ▷ 取り外すときにホイールを傾けないでください。
- ▷ ホイールを取り付けるときは、傾けたり、ブレーキ・ディスクに当たらないようにしてください。

9. ホイールは慎重に取り外してください。
10. ホイールを装着した後、必ずホイールのコーン、ねじ面、ハブ、およびセンター・ナットに**ポルシェ社が承認したスライディング・コンパウンド**をスプレーしてください。絶対に部品にグリースを塗布しないでください。スライディング・コンパウンドを上記の構成部品にスプレーするときは、ホイールとブレーキ・ディスクの接触面に付着しないよう注意してください。

### i インフォメーション

他のすべての部位、特にホイールとホイール・ハブの接触面を潤滑したりグリースを塗布したりしないでください。また、汚れや損傷があってはなりません。

### ⚠ 警告

センター・ホイール・ロック部品の損傷、紛失、または不適切なねじ込み

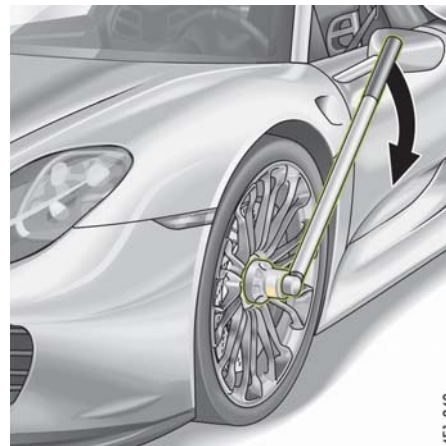
定期的な点検、メンテナンスおよび交換作業を怠ると事故を起こす恐れがあります。

ホイールを取り付ける前に、すべての部品の目視点検を実施してください。

センター・ナットおよびセーフティー・キャップは安全性に関わる部品です。摩耗および損傷の兆候がないか日頃から定期的に点検してください。

- ▷ 構成部品に損傷または作動状態に不完全な部分が疑われる場合、該当する部品をポルシェ正規販売店にて交換してください。

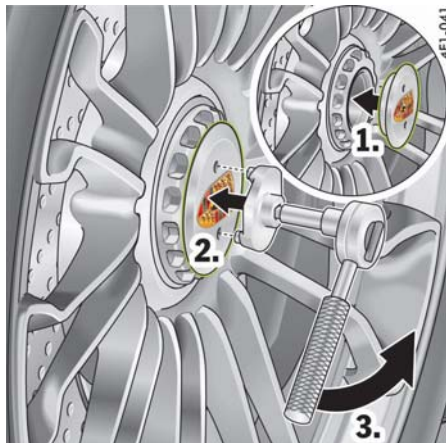
11. センター・ナットを脱着ツールに挿入し、センター・ナットがホイールに対して直角になるように取り付け、傾けないようにねじ込んでください。



12. 適切なトルク・レンチを使用して、センター・ナットを**650Nm**のトルクで締め付けてください。ホイールが回転しないよう、**別の作業員**にしっかりとブレーキ・ペダルを踏んでもらってください。フロント・ホイールを締め付ける際は、別の作業員にステアリング・ホイールをしっかりと保持してもらってください。

新しいホイールまたは新しいセンター・ナットを取り付けるときは、必ず以下のステップを実施してください：

- ▷ センター・ナットを再度1回転(360°)ゆるめてください。
- ▷ センター・ボルトを650Nmのトルクで再度締め付けてください。
- ▷ センター・ナットを再度1回転(360°)ゆるめてください。
- ▷ センター・ナットを650Nmのトルクで本締めしてください。



## パンクしたとき

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。  
ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを作動させてください。
3. エレクトリック・パーキング・ブレーキをかけてください。
4. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
5. 誤ってエンジンが始動しないように、またステアリングをロックするため、イグニッション・キーを抜き取ってください。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。
7. 停止表示板\*を適切な場所に設置してください。

13. セーフティー・キャップをホイール・ハブに対して垂直に取り付け、傾けないようにねじ込んでください。次に、ピン・レンチを使用して、15Nmのトルクで締め付けてください。**ハブにセーフティー・キャップが付いていない状態で車両を走行させないでください。**センター・ホイール・ロックの機能を確保できなくなります。
14. これで車両をリフトなどから降ろす準備ができました。

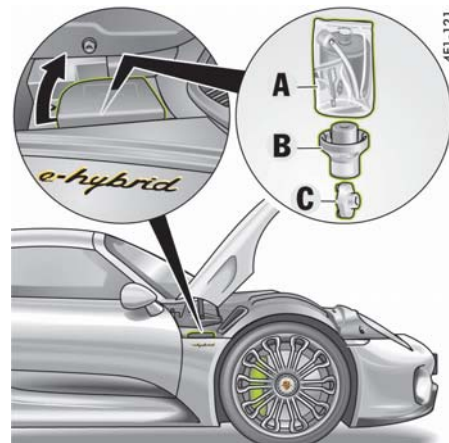
## リム・クリーナー

### 知識

リム・クリーナーの使用：

リム・クリーナーは、センター・ナットのアルマイト処理を退色させる恐れがあります。

- ▷ ポルシェ認定のリム・クリーナーのみを使用し、使用説明に従って適度に使用してください。



- A - タイヤ・シーラント
- B - 脱着ツール
- C - ピン・レンチ

## タイヤ・シーラントの充填

タイヤ・シーラントはトランク・ルームの収納ボックス内にあります。コンプレッサーは、トランク・ルーム・フロア下の車載工具の中に収納されています。

- ▷ 「停止表示板\*、応急処置セット\*、タイヤ充填コンプレッサー、けん引フック」(169ページ)を参照してください。

タイヤ・シーラントは、タイヤ・トレッドの小さな傷から空気が漏れている場合に使用できます。

パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。パンク修理剤を使うとタイヤの気密性が一時的に保持されますが、緊急の場合の応急処置であり、短距離移動のみに使用してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

### タイヤ・シーラント・セットの構成：

- 充填ボトル
- 充填ホース
- バルブ回し
- スペア・バルブ・インサート
- 許容最高速度表示用ステッカー
- コンプレッサー
- 操作説明書

#### ▲ 警告 使用の制限

タイヤ・シーラントはタイヤの小さな傷にのみ使用できます。リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。

- ▷ タイヤ・シーラントは4mm以下の切り傷や刺し傷にのみ使用してください。
- ▷ ホイール・リムが損傷している場合、タイヤ・シーラントを使用しないでください。

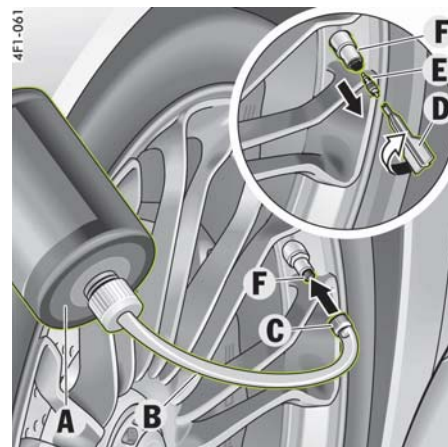
#### ▲ 警告 シーラントの燃焼

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。

- ▷ タイヤ・シーラントを取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしないでください。
- ▷ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▷ お子様の手が届かない場所に置いてください。
- ▷ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

### シーラントが付着したとき：

- ▷ 皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▷ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▷ バイク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▷ 誤って飲み込んだときは、口の周りを多量の水でゆすぎ、更に多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。至急医師の診察を受けてください。



- A - 充填ボトル
- B - 充填ホース
- C - 充填ホース・プラグ
- D - バルブ回し
- E - バルブ・インサート
- F - タイヤ・バルブ

### シーラントの充填

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. トランク・ルームからシーラントと同封のステッカーを取り出してください。
3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。
4. 充填ボトルAを振ってください。
5. 充填ホースBを充填ボトルに取り付けてください。ここで充填ボトルを開封してください。
6. タイヤ・バルブFからバルブ・キャップを取り外してください。
7. バルブ回しDを使用して、バルブ・インサートEをタイヤ・バルブから取り外してください。バルブ・インサートは、乾いた汚れのない場所に置いてください。

8. 充填ホースBのプラグCを取り外してください。
9. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
10. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
11. 充填ホースをタイヤ・バルブから抜いてください。
12. バルブ回しDを使用して、バルブ・インサートEをタイヤ・バルブにしっかりねじ込んでください。
13. コンプレッサーを助手席シートのソケットに接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を充填してください。  
タイヤ空気圧が規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。  
このようなタイヤで運転を続けしないでください。
14. バルブ・キャップをタイヤ・バルブFに取り付けてください。
15. 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。  
タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合は、運転を中止してください。  
タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
  - ▷ 「冷間時のタイヤ空気圧 (20°C)」(255ページ)を参照してください。
16. ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
  - ▷ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。



警告

タイヤ空気圧が検出されない

シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▷ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。



警告

タイヤの損傷

タイヤ・シーラントを使用したタイヤの修理は、緊急の場合に限ります。

- ▷ 速やかにポルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。  
ポルシェ正規販売店にタイヤ・シーラントを使用したことを伝えてください。
- ▷ 急加速やカーブを高速で走行することは避けてください。
- ▷ 80km/hの最高速度を遵守してください。
- ▷ パンク修理剤およびコンプレッサーに添付している安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。



## 電気系統

車両の電気/電子回路の損傷を回避するため、電装品（アクセサリ）などの取り付け作業はボルシェ正規販売店にお任せください。この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ ボルシェ社が承認した電装品（アクセサリ）のみを使用してください。



警告

作業時の電気系統の  
ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▷ 電気系統の作業をするときは事前にバッテリー・マイナス端子を外してください。

## リレーおよび専用ヒューズ

リレーおよび専用ヒューズの点検および交換は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。



## ソケット

電装品（アクセサリ）を助手席シートの12Vプラグ・ソケットに接続することができます。



インフォメーション

プラグ・ソケットの最大許容電流値は20Aです。



インフォメーション

ソケットは、イグニッションがOFFのときでも、イグニッション・キーを抜いても使用できます。

エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、15分後に電源供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをもう1回ONにしてください。

## ヒューズの交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

ヒューズ・ボックスは運転席と助手席の足元、および車両後部のサービス・フラップの下にあります。

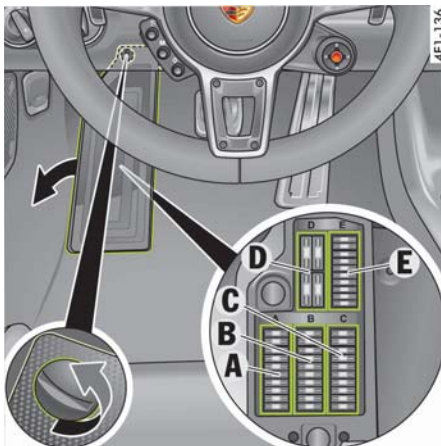
1. 交換するヒューズに関連する電装品をOFFにしてください。
2. 該当するプラスチック・カバーをゆるめるか取り外してください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズ・リムーバー（助手席側足元のヒューズ・ボックス・カバーに収納）を使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。  
切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。

4. 同じ容量のヒューズと交換してください。  
スペア・ヒューズはリヤ・ヒューズ・ボックス内およびトランク・ルーム・フロア下の発泡材に収納されたバッグの中にあります。  
交換する際は、ポルシェ純正ヒューズの使用を推奨します。

### i インフォメーション

ヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因をすぐに修理してください。

- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## 運転席足元のヒューズ・ボックス

### A列

No.	用途	A
1	エアコン・コントロール・ユニット	7.5
2	レイン・センサー	3
3	TPMコントロール・ユニット	3
4	リフト機能コントロール・ユニット	3
5	日本仕様ナビゲーション・システムの電源	5
6	Burmesterアンプ	40
7	リヤ・ヒューズ・ボックス、A列	25
8	セレクター・レバー・コントロール・ユニット	3
9	ルーフ・コンソール	3
10	未使用	

## B列

No.	用途	A
1	HVバッテリー保護 サービス用断路器	10
2	フロントBCM	10
3	フロントBCM	40
4	運転席ドア・コントロール・ユニット	25
5	ロータリー・ライト・スイッチ、 イグニッション・ロック、 ステアリング・コラム・ロック	5
6	高電圧バッテリー・システム	7.5
7	PSMコントロール・ユニット	25
8	インストルメント・クラスター、 ステアリング・コラム・スイッチ・ モジュール、 センター・コンソール・ボタン・ パネル	10
9	ドメイン・コントローラー・ディスプレイ	10
10	センター・ディスプレイ、 タッチ・パネル	10

## C列

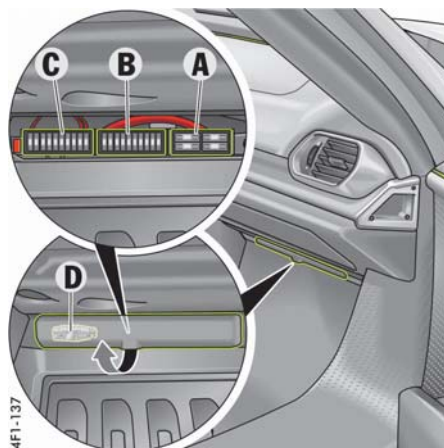
No.	用途	A
1	アラーム・サイレン	3
2	左ホーン - 高音、 右ホーン - 低音	15
3	ワイパー・モーター	30
4	電動走行用パワー・エレクトロニクス	5
5	ブレーキ・ブースター	3
6	HV充電器	5
7	未使用	
8	未使用	
9	助手席シート下プラグ・ソケット	20
10	未使用	

## D列

No.	用途	A
1	PSMコントロール・ユニット	40
2	リフト機能コントロール・ユニット	40
3	運転席シート調節コントロール・ユニット	25
4	助手席シート調節コントロール・ユニット	25

## E列

No.	用途	A
1	高電圧バッテリー・システム	3
2	電動走行用パワー・エレクトロニクス	3
3	セレクター・レバー・コントロール・ユニット	3
4	故障診断用ソケット、ゲートウェイ・コントロール・ユニット	3
5	PSMコントロール・ユニット	3
6	ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール タッチ・パネル	3
7	未使用	
8	アクセル・ペダル	3
9	未使用	
10	未使用	



D-プラスチック製ヒューズ・リムーバー

## 助手席足元のヒューズ・ボックス

### A列

No.	用途	A
1	PASMコントロール・ユニット	40
2	左フロント・ラジエーター・ファン	50
3	ブLOWER・レギュレーター	40
4	右フロント・ラジエーター・ファン	50

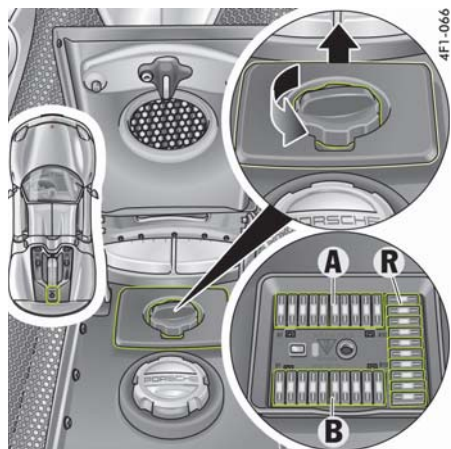
### B列

No.	用途	A
1	フロントBCM	40
2	リヤBCM	15
3	未使用	
4	リヤBCM	15
5	リヤBCM	30
6	VTSコントロール・ユニット	3

No.	用途	A
7	ゲートウェイ・コントロール・ユニット、 故障診断用ソケット、 室内モニタリング・システム・センサー	3
8	運転席ドア・コントロール・ユニット	25
9	未使用	
10	未使用	

## C列

No.	用途	A
1	左ヘッドライト	15
2	シート・センサー・コントロール・ユニット	3
3	AFSコントロール・ユニット	3
4	エアバッグ・コントロール・ユニット	5
5	VTSコントロール・ユニット、 PDKコントロール・ユニット、 DMEコントロール・ユニット、 リヤBCM	5
6	ホームリンク・コントロール・ユニット	3
7	PTCヒーター、 電動ステアリング・ギヤ	3
8	ブレーキ・ブースター、 PASMコントロール・ユニット	5
9	リヤ・ヒューズ・ボックス、A列	25
10	右ヘッドライト	15



## リア・ヒューズ・ボックス

### A列

No.	用途	A
1	エンジン・ルーム掃気ブLOWER	10
2	スピンドル・アクチュエーター	30
3	電動モーター走行用パワー・エレクトロニクス2、リヤ	5
4	DMEコントロール・ユニット、MED17.1.11	10
5	低温冷却システム用ウォーター・ポンプ、低温冷却システム用ウォーター・ポンプのリレー・アダプター7	10
6	PDKコントロール・ユニット	10
7	電動モーター走行用パワー・エレクトロニクス2、リヤ	5
8	スピンドル・アクチュエーター	5
9	エレクトロニック・パーキング・ブレーキ・コントロール・ユニット	5

No.	用途	A
10	リヤ・アクスル・ステアリング調整、右 リヤ・アクスル・ステアリング調整、左	5

### B列

No.	用途	A
1	左フロント・ラジエーター・ファン、右フロント・ラジエーター・ファン、クーリング・ルーバー1、クーリング・ルーバー2	10
2	エンジン・ルーム掃気ブLOWER、タンク漏れ自己診断、オイル・レベル・センサー、カムシャフト・センサー、ハイブリッド・プレッシャー・レギュレーター・タンクのシャットオフ・バルブ 左リヤ・ラジエーター・ファン、右リヤ・ラジエーター・ファン	7.5
3	タンク・ベント・バルブ、カムシャフト・コントロール	15
4	ロッド・イグニッション・モジュール、シリンダー No.1~8	25
5	DMEコントロール・ユニット、MED17.1.11	25
6	燃料ポンプ・システム	25
7	O2センサー	15
8	補助ウォーター・ポンプ、中温	10
9	未使用	
10	未使用	

### R列

スペア・ヒューズ

## トランク・リッドの非常時ロック解除

バッテリーが上がった場合、トランク・リッドを開くには12Vの救援用バッテリーとジャンパー・ケーブルを使用する必要があります。

### i インフォメーション

この方法でエンジンを始動することはできません。

### リッドのロック解除

1. キーでドア・ロックを解除してください。
2. 助手席足元にあるヒューズ・ボックスのカバーを取り外してください。
3. プラスチック製のヒューズ・リムーバー D (カバーに収納) を使用して、ヒューズ・ボックス内のプラス端子 (赤) を引き出してください。



4. 赤いジャンパー・ケーブルで救援用バッテリーのプラス端子とヒューズ・ボックス内のプラス端子を接続してください。

### i インフォメーション

バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、マイナス・ケーブルを接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

5. 黒いジャンパー・ケーブルで救援用バッテリーのマイナス端子とヒューズ・ボックス内のマイナス端子を接続してください。
6. 運転席ドアのトランク・リッド・リリース・ボタンAを押してください。  
トランク・リッドがロック解除され、警報システムがOFFになります。
7. マイナス・ケーブルを先に外し、次にプラス・ケーブルを外してください。
8. ヒューズ・ボックスのプラス端子を押し込み、ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り付けてください。

## 12Vバッテリー

リチウム・イオン・バッテリーは車両の下周りに取り付けられています。

- ▶ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。  
この作業はポルシェ正規販売店で実施することを推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ⚠ 警告

感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。

車両電気系統への作業が原因でショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス(-)ケーブルの端子を外してください。
- ▶ 工具や電気を通すアクセサリ（指輪、ブレスレット、時計など）が、車両の通電部品と接触しないように注意してください。

### 知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス(-)ケーブルの端子を外してください。
- ▶ 工具や電気を通すアクセサリ（指輪、ブレスレット、時計など）が、車両の通電部品と接触しないように注意してください。



作業の前に取扱説明書をお読みください。



保護眼鏡を必ず着用してください。



お子様を絶対に近づけないでください。



### 廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。



古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

鉛バッテリーとは異なり、リチウム・イオン・バッテリーには電解液として硫酸を含んでいません。代わりに、エチレン・カーボネート、エチル・メチル・カーボネート、六フッ化リン酸リチウム、およびすすなどの成分で構成された電解液を使用しています。

### ⚠ 警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーが損傷した場合、または不適切に取り扱った場合、電解液および有毒ガスが流出することがあります。

電解液が水や湿気と反応する恐れがあります。

- ▶ 蒸発ガスの吸入や電解液との皮膚接触を避けてください。
- ▶ 周辺にいる人を風上に避難させてください。
- ▶ 漏出物を排水溝、表流水、地下水に流さないでください。
- ▶ 残留電解液は、吸着剤（砂、万能固着剤、珪藻土など）を使用して吸い取ってください
- ▶ 回収物は、適正な方法で廃棄してください。

## 応急処置

吸入した場合：

- ▶ 直ちに医師の診察を受けてください。患者を空気の新鮮な場所に移し、安静にさせてください。

皮膚に接触した場合：

- ▶ 皮膚に接触した場合、直ちに多量の水と石けんで洗い流してください。皮膚への刺激が続く場合は、医師の診察を受けてください。

目に入った場合：

- ▶ 電解液が入っていない方の目を保護してください。直ちに多量の水で電解液が入った方の目を洗い、医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合：

- ▶ 至急医師の診察を受けてください。無理に嘔吐しないでください。

医師への注意事項：

- ▶ 症状に合わせて治療してください。

## 車両のお手入れ

バッテリーを十分に充電することにより、始動時のトラブルがなくなり、バッテリーの寿命も延びます。

交通渋滞および騒音、排ガス、燃費に関する要求により、エンジン回転数、つまりオルタネーター出力は抑えられます。

その一方で、電気装備類が驚異的に増え、必要な電力は増加しています。このような状況の中において、不意にバッテリーが上がる恐れがあります。

### 不意のバッテリー上がりを防ぐため、次の点に注意してください：

- ▷ 市街地/短距離の運転時、および渋滞時には、不要な電気装備類をOFFにしてください。
- ▷ 車両を離れるときは、必ずイグニッション・キーを抜いてください。
- ▷ エンジン停止中は、ポルシェ・コミュニケーション・システム(PCM)を使用しないでください。
- ▷ 「車両キー（リモート・コントロール）用電池の交換」（246ページ）を参照してください。

外気温度が低下すると、バッテリーからの供給電圧および蓄電効率が低下します。更に、冬季はライト類、ヒーター、フロント・ワイパーなどの使用頻度が増えるため、より大きなバッテリー電力が必要となります。

## 車両を保管するとき

車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。

- ▷ 「トランク・リッドの非常時ロック解除」（243ページ）を参照してください。
- ▷ イグニッション・キーを抜いてください。
- ▷ 車両をトリクル充電するには、車両をACまたはDC Wallbox\*に接続してください。

### i インフォメーション

- ▷ バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

警報システムの作動を解除するには：

- ▷ 1回車両をロックし、再度ロックを解除してください。

### 警報システム、セントラル・ロッキング

- ▷ バッテリーの接続を外しても、警報システムやセントラル・ロッキングの作動状態は切り替わりません。

### i インフォメーション

車両を使用せず、保管している間も、バッテリーは常に放電しています。

- ▷ バッテリーの充電状態を維持するには、車両をDC\*またはAC Wallboxに接続してください。

## バッテリーの交換

バッテリーは年月の経過とともに消耗します。バッテリーの寿命は、通常の使用状態に左右され、特に、お手入れ、気候、走行条件（距離、積載物）によって違ってきます。

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

### i インフォメーション

- ▷ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

- ▷ バッテリーを交換するときは、車両に合った性能のバッテリーのみを使用してください。ポルシェ純正バッテリーを使用することを推奨します。
- ▷ バッテリーの廃棄に関する規則を遵守してください。リチウム・イオン・バッテリーの廃棄については、最寄りのポルシェ正規販売店にご相談ください。

## バッテリーの充電

- ▷ バッテリーの充電状態を維持するため、車両をDC\*またはAC Wallboxに接続してください。

## 車両キー（リモート・コントロール）用電池の交換

### i インフォメーション

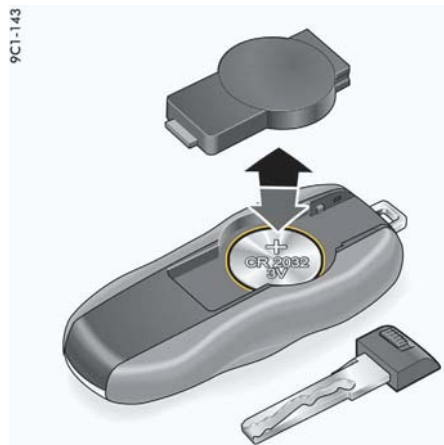
- ▷ 電池を廃棄処分するときは、定められた規則に従ってください。

## 車両キー

リモート・コントロールの電池が弱まると、メッセージ「Replace ignition key battery（車両キーの電池を交換してください）」がインストルメント・パネルの「Car & Info」ディスプレイに表示されます。

このような場合、電池を交換してください。

9C1-143



## 電池(CR 2032、3V)の交換

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

- ▷ 「エマージェンシー・キー」（19ページ）を参照してください。
2. 小さなドライバーなどを使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げて外してください。
  3. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
  4. カバーを元通りに取り付け、しっかりとめ合わせてください。
  5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

\* 日本仕様に設定はありません。



## ライトの交換

車両の灯火類およびインテリア・ライトには発光ダイオード(LED)が使用されています。

ライト類に不具合が発生した場合は、ボルシェ正規販売店で交換してください。

この作業はボルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ 国によっては予備用バルブの携行が義務付けられています。詳しくは、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ヘッドライト

### 知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ▷ ヘッドライトにカバー（ストーン・ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

### i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトおよびテール・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行するとこの曇りは取れます。

## ヘッドライトの調整

ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施可能です。

## けん引、車両の救援

### i インフォメーション

- ▷ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。  
発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引についての通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。

ボルシェ車を運搬する際は、油圧式フラット荷台付きの車両輸送専用車を使用することを推奨します。

けん引にはクレーン車を使用することも可能ですが、918 Spyderのホイール・サイズに適合するホイール・クランプを使用する必要があります。**ホイール・リフティング・ストラップは使用できません。**

### ⚠ 警告

パワー・アシストがないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

エンジン停止中はパワー・アシストが機能しません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要になります。

- ▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。

### 知識

車両を正しくけん引または輸送しなかった場合、技術的な仕様（地上高、傾斜角度、タイヤ・サイズなど）により、車両を損傷する恐れがあります。

- ▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。
- ▷ けん引は、4輪すべてが接地した状態で行ってください。

### 知識

ホイール（リム）やシャーシ部品を損傷する恐れがあります。

- ▷ 車両は、タイヤの周りにストラップを掛けて固定してください。  
決してホイール（リム）やシャーシ部品にストラップを掛けて車両を固定しないでください。

## けん引ロープ

- ▷ けん引ロープの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▷ けん引ロープの定格荷重を遵守してください。けん引ロープの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▷ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▷ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急な衝撃を与えないでください。

## けん引バー

- ▷ けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▷ けん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引バーの許容荷重がけん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▷ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。
- ▷ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

## けん引または押しがけによる始動

- ▷ この車両では、トランスミッションの重大な損傷を避けるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動ができません。

## けん引

4輪すべてが接地している状態でけん引するか、または車両輸送専用車またはトレーラーで輸送してください。

エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください：

### 4輪が接地した状態でのけん引：

- ▷ PDKトランスミッションが緊急作動モードにある場合、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
- ▷ PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。  
セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引することができます。
- ▷ けん引中は、4輪すべてが常に接地していなければなりません。  
また、けん引中にブレーキ・ライトと方向指示灯が作動し、ステアリング・ロックがかからないようにするため、イグニッションをONにしておかなければなりません。
- ▷ けん引される車両が周囲から目立つようにしてけん引してください。
- ▷ けん引されるときは速度は50km/h以下にしてください。  
けん引距離は50km以内にしてください。  
50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

### 雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▷ 立ち往生した車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▷ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引かないでください。

\* 日本仕様には設定はありません。



## けん引フック

けん引フックはトランク・ルーム・フロア下の停止表示板の真下に収納されています。

### けん引フックの取り付け

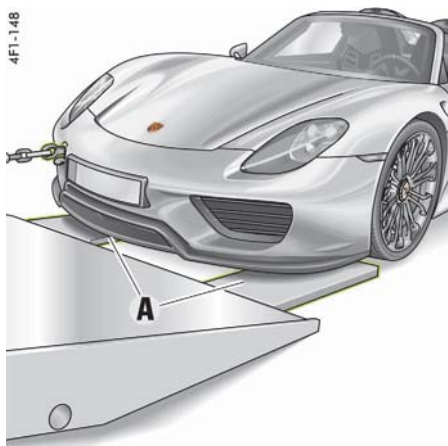
1. プラスチック・カバーの下端をバンパー内に押し込んで、カバーを外してください。
2. カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック**A**をいっぱいにねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けてください。

### けん引フックの取り外し

1. けん引フック**A**を外してください(時計回りに回転させてください(逆ねじ))。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください。
3. カバーをかぶせ、上端を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

## 鉄道、船舶、積載車での輸送

- ▷ 車両は、タイヤの周りにストラップを掛けて固定してください。  
決してホイール(リム)やシャーシ部品にストラップを掛けて車両を固定しないでください。
- ▷ 室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*を解除してください。
- ▷ 「警報システム」(207ページ)を参照してください。



## フラット荷台付き車両輸送専用車での車両の運搬

### 操作上の知識

車両の積載は平坦な場所で行ってください。

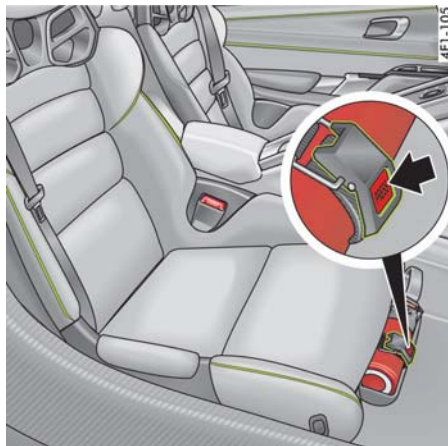
タイヤが損傷した車両を積載するときは、通常時より地上高が低くなるため、必ず適切な乗込板Aを使用してください。

1. 車両輸送専用車のフラット荷台を完全に下げ、けん引ロープをけん引フックに固定し、必要に応じて適切な乗込板を車両のトレッドと同じ幅にして傾斜板の前に設置してください。
2. けん引ロープをゆっくり巻き上げ、車両下周りおよびフロント・スポイラーが地面に接触しないか確認してください。

3. 必要に応じて、積載中に油圧式フラット荷台を調節し、車両底面が接触しないように注意してください。
4. 車両輸送専用車に車両を確実に固定してください。  
車両は、タイヤの周りにストラップを掛けて固定してください。  
決してホイール（リム）やシャーシ部品にストラップを掛けて車両を固定しないでください。

## フラット荷台付き車両輸送専用車から車両を降ろす

1. 車両輸送専用車のフラット荷台を完全に下げ、必要に応じて適切な乗込板を車両のトレッドと同じ幅にして傾斜板の前に設置してください。
2. 巻き上げたけん引ロープをゆっくりと伸ばし、注意して車両を降ろしてください。  
更に、車両下周りおよびフロント・スポイラーが地面に接触しないか確認してください。
3. リヤ・ホイールが接地したら、直ちに油圧式フラット荷台を調節し、車両が地面と接触するのを防いでください。
4. 車両を完全に降ろした後、注意してけん引ロープおよびけん引フックを外してください。



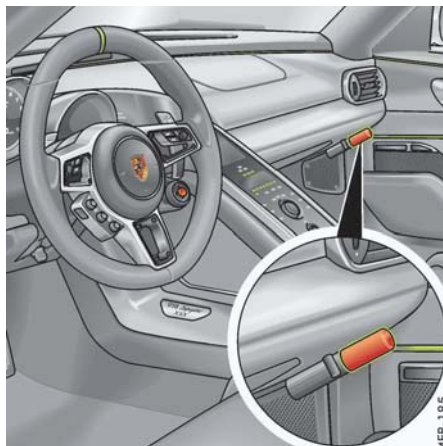
## 消火器\*

車両に消火器が装備されている場合は、助手席シートの下に取り付けられています。

- ▶ 緊急時に消火器を取り外す場合、片手で消火器を押さえ、消火器ホルダーの**PRESS**ボタン(矢印)をもう片方の手で押してください。

### i インフォメーション

- ▶ 消火器の最終点検を確認してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。
- ▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▶ 消火器のハンドルに貼り付けされている消火器メーカーの安全上の注意事項を遵守してください。
- ▶ 消火器は1~2年ごとにポルシェ正規販売店で点検を行ってください。
- ▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。



## 発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

### ⚠ 警告

火傷や火災につながる恐れがあります

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けて、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様やさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。

### ⚠ 注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

### 発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り葉でこすると着火します。

### 知識

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

\* 日本仕様には設定はありません。

# タイヤ空気圧とテクニカル・データ

車両の識別データ .....	253
動力ユニット・データ（メーカー 発表値） .....	254
燃費、電力消費量および排出ガス （メーカー発表値） .....	254
タイヤ、ホイール .....	255
冷間時のタイヤ空気圧（20°C） .....	255
重量（メーカー発表値） .....	257
充填容量 .....	257
動力性能（メーカー発表値） .....	258
車両寸法（メーカー発表値） .....	258

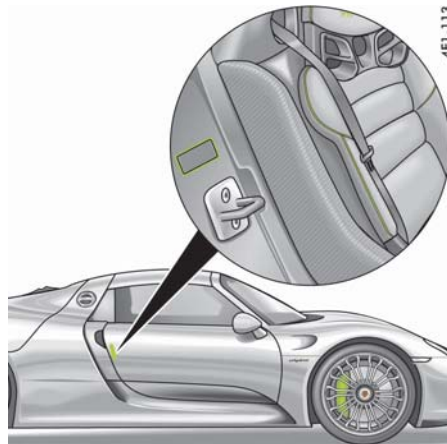


## 車両の識別データ

スペア・パーツの注文や問い合わせをする場合は、必ず車台番号を明示してください。

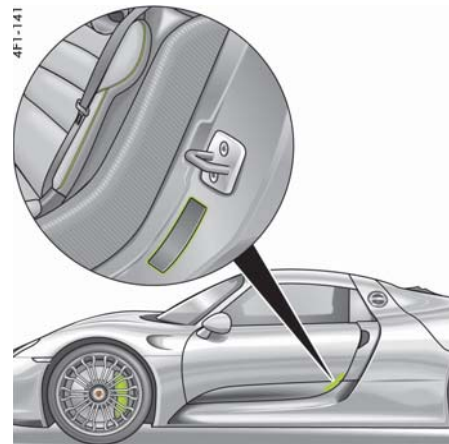
## 車台番号

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の左下にあります。



## ビークル・プレート\*

ビークル・プレートは助手席側ドア・シル（ドア開口部）に貼られています。



## タイヤ空気圧プレート

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドア・シル（ドア開口部）に貼られています。

## データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、整備手帳の中に添付されています。

データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 動力ユニット・データ（メーカー発表値）

システム合計	システム最高出力：652 kW以上 (887 hp)/8,500 rpm システム最大トルク：1,280 Nm以上/750~1,300 rpm
内燃エンジン	V8高回転型エンジン、総排気量4,593 cm <sup>3</sup> 最高出力(80/1269/EEC)：447 kW (608 hp)/8,700 rpm 最大トルク(80/1269/EEC)：540 Nm/6,700 rpm
電動モーター走行システム	2基の永久励起同期式モーター・ジェネレーター 合計最高出力（メカニカル）：210 kW (286 hp)
フロント リヤ	最高出力：95 kW (129 hp) 最高出力：115 kW (156 hp) 最大トルク：585 Nm
エンジン・オイル消費量	最大0.8 ℓ/1,000 km
エンジン許容最高回転数	9,150 rpm
バッテリー	液冷式高性能リチウム・イオン駆動用バッテリー 容量6.8 kWh（定格）/最高出力210 kW以上

## 燃費、電力消費量および排出ガス（メーカー発表値）

**Euro 5に基づく測定法：**このデータはNEDC(New European Driving Cycle)のEuro 5 EU規制No.566/2011に基づく測定方法に則って標準仕様車で測定したものです。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデルの比較のために利用できますが、詳細についてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

	合計燃料消費量 (ℓ/100 km)	合計電力消費量 (Wh/km)	総CO <sub>2</sub> 排出量 (g/km)
918 Spyder	3.1	127	72
918 Spyder Weissachパッケージ 装備車	3.0	127	70



## タイヤ、ホイール

- ▷ 指定のタイヤとホイールのサイズは広範囲のテストを元に認可されているものです。最新の認可情報についてはポルシェ正規販売店までお問い合わせください。ポルシェ社が承認したタイヤを装着することで、この車両に最適な走行性能が得られます。タイヤは、積載容量係数（95など）と記号文字（Yなど）以上の性能のものを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：「タイヤとホイール」（227ページ）を参照してください。
- ▷ スノー・チェーンはリヤ・ホイールのみ装着できます。スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェ社が認可したファイリンク・クロスタイプ・チェーンまたはエッジ・チェーンのみをご使用ください。

ホイール	フロント・アクスル：9.5J x 20、R0 57 リヤ・アクスル：12.5 J x 21、R0 57
タイヤ	フロント・アクスル：265/35 ZR20 (95Y) リヤ・アクスル：325/30 ZR21 (104Y)

## 冷間時のタイヤ空気圧（20°C）

これらのタイヤ空気圧は、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

### 標準タイヤ空気圧

フロント・アクスル	2.8 bar (40 psi)
リヤ・アクスル	2.8 bar (40 psi)

## 270km/hの速度までに対応するパフォーマンス・タイヤ空気圧

### 手順

「Car & Info」ディスプレイ、タイヤ空気圧モニタリング(TPM)、およびタイヤ空気圧タイプに関するインフォメーション:

- ▷ 「GCAR & INFO」ディスプレイの操作」(57ページ)を参照してください。
- ▷ 「GCAR & INFO」ディスプレイでタイヤ空気圧機能を選択する」(64ページ)を参照してください。

1. 「Car & Info」ディスプレイ・メイン・メニューで「**TPM (タイヤ空気圧)**」を選択し、決定してください。

2. タイヤ空気圧タイプの「**Performance (パフォーマンス)**」を選択し、決定してください。

パフォーマンス・プレッシャーをタイヤに設定するには:

3. 「Car & Info」ディスプレイ・メイン・メニューで「**TPM (タイヤ空気圧)**」を選択し、決定してください。
4. 「**Fill info (充填情報)**」メニューを選択し、決定してください。

### i インフォメーション

タイヤ空気圧を補正するときは、「**Fill info (充填情報)**」ディスプレイに表示される空気圧の差のみを使用してください。

5. 補正すべきタイヤ空気圧をディスプレイから読み取り、タイヤに設定してください。

- ▷ 「Car & Info」ディスプレイで、車両のパフォーマンス/標準プレッシャーを設定してください。「Car & Info」ディスプレイに従ってタイヤ空気圧を調整してください。「パフォーマンス/標準プレッシャーの選択」(65ページ)を参照してください。

## パフォーマンス・タイヤ空気圧

フロント・アクスル	2.1 bar (30 psi)
リヤ・アクスル	2.3 bar (33 psi)



警告

パフォーマンス・プレッシャーでの制限速度を超過して走行する

パフォーマンス・プレッシャーでの制限速度を超過して走行すると、タイヤに修復不可能な損傷を与える恐れがあります。

- ▷ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- ▷ 高速走行するときは、必ずタイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

## 重量（メーカー発表値）

空車重量（装備により異なります）：

DIN 70020規格	1,675~1,705 kg 1,634~1,695 kg（918 Spyder Weissachパッケージ装備車）
70/156/EEC規格 <sup>1)</sup>	1,750~1,780 kg 1,709~1,770 kg（918 Spyder Weissachパッケージ装備車）
最大軸荷重、フロント <sup>2)</sup>	905 kg
最大軸荷重、リヤ <sup>2)</sup>	1,035 kg
総重量 <sup>2)</sup>	1,900 kg

- 1) EU規格に基づき、空車重量は標準装備を搭載した車両の重量とします。  
オプション装備を搭載すると重量は増加します。車両重量値には運転者1名分(68kg)および荷物(7kg)の重量が含まれています。
- 2) 最大総重量および最大軸荷重を超えないようにしてください。  
知識：追加アクセサリなどが装備されている場合、それに応じて積載重量が減少します。

## 充填容量

ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エンジン・オイル交換（フィルターを含む）	約8.5リットル
燃料タンク	約70リットル この車両のエンジンは、EN228に基づき、 <b>金属系添加剤を含まない、オクタン価が98RON/88MONの無鉛プレミアム・ガソリン</b> を使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。 この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。
燃料オクタン価	オクタン価が <b>95RON/85MON以上</b> の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合、エンジンのノッキング・コントロール・システムが自動的に点火時期を調整します。この場合、エンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。 ▷ このような燃料を使用した場合、アクセル・ペダルを全開にしないでください。 ポルシェ社では、オクタン価が <b>95RON/85MON以下</b> の <b>金属系添加物を含まない無鉛ガソリンの使用を承認していません</b> 。
フロント・ウィンドウ・ウォッシャー・システム	約2.5リットル

## 動力性能（メーカー発表値）

DIN規格の空車重量で測定しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

	918 Spyder	918 Spyder Weissachパッケージ装備車
最高速度	システム合計：345 km/h (214 mph) 電動モーター走行：150 km/h (93 mph)	システム合計：345 km/h (214 mph) 電動モーター走行：150 km/h (93 mph)
加速性能	0～100 km/h：2.6秒 0～200 km/h：7.3秒 0～300 km/h：20.9秒	0～100 km/h：2.6秒 0～200 km/h：7.2秒 0～300 km/h：19.9秒
電動モーター走行の加速性能	0～60 km/h：3.0秒 0～100 km/h：6.2秒	0～60 km/h：3.0秒 0～100 km/h：6.1秒

## 車両寸法（メーカー発表値）

全長	4,645 mm
ドア・ミラーを含まない全幅	1,940 mm
ドア・ミラーを含む全幅	2,053 mm
DIN規格空車重量での車高	1,168 mm
ホイールベース	2,730 mm
最小回転直径	13.2 m

## 適合性

ラジオ周波数帯と自動および手動選局	
間隔 .....	260
規格との適合 .....	260
Bluetooth®認証 .....	261
Bluetooth®認定 .....	262

## ラジオ周波数帯と自動および手動選局間隔

欧州：	87.5～108.0 MHz (100 KHz間隔)
米国：	87.9～107.9 MHz (200 KHz間隔)
日本：	76.0～90.0 MHz (100 KHz間隔)
中国：	87.5～108.0 MHz (50 KHz間隔)
南米：	87.5～107.9 MHz (100 KHz間隔)
オーストラリア：	87.5～107.9 MHz (200 KHz間隔)
アフリカ：	87.5～108.0 MHz (100 KHz間隔)

## 規格との適合

S1nn GmbH & Co. KGは、製品PCM(ADR)が意図した使用用途に基づいて使用された場合、R&TTE指令の第3条および他の関連規約の基本要件に適合していることを宣言します。

本製品はCE規格に適合しています。



適合宣言書は<http://www.s1nn.de>から入手できます。

# Bluetooth®認証

## 認証国

アイスランド  
アイルランド  
アゾレス諸島（ポルトガル）  
アメリカ合衆国  
アラブ首長国連邦  
アルゼンチン  
アルバニア  
イギリス  
イスラエル  
イタリア  
インド  
インドネシア  
エストニア  
オーストリア  
オランダ  
カタール  
カナダ  
カナリー諸島  
韓国  
キプロス  
ギリシャ  
クウェート

クロアチア  
サウジアラビア  
サンマリノ  
スイス  
スウェーデン  
スペイン  
スロバキア  
スロベニア  
タイ  
台湾（無線通信）  
チェコ共和国  
中国（SRRC、無線認証）  
デンマーク  
ドイツ  
ノルウェー  
バーレーン  
バチカン市国  
ハンガリー  
フィンランド  
フランス  
ブルガリア  
ベルギー

ポーランド  
ボスニア・ヘルツェゴビナ  
ポルトガル  
マルタ共和国  
メキシコ  
ラトビア共和国  
リトアニア共和国  
リヒテンシュタイン  
ルーマニア  
ルクセンブルグ  
ロシア（RFテレコム）

国/地域	認定情報
カナダ	<p>本機器はFCC規則のパート15およびカナダ産業省のライセンス免除RSS基準に適合しています。本機器は次の2つの条件に従って作動します：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 本機器が有害な干渉を引き起こすことはありません。</li><li>(2) 本機器は誤作動を発生させる電波干渉を含め、あらゆる電波干渉を許容します。</li></ol> <p>Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.</p>
欧州連合(EU)	<p>“Konformitätserklärung”/適合宣言書を参照してください。</p>
メキシコ	<p>La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y</li><li>(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.</li></ol>
韓国	<p>해당 무선 설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음.</p> <p>(この無線機器は作動中に電波干渉を起こす可能性があります。)</p>



**国/地域**

台湾

**認定情報**

本產品符合低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條、第十四條等條文規定

(1) 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低電力無線周波電氣機器は、型式認証を取得しており、関係当局から認可は受けていません。企業、事業体、またはユーザーは、任意に周波数変更、出力向上、当初の設計仕様や機能の変更・改造を行うことはできません。

(2) 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

低電力無線周波電氣機器の使用によって飛行機の安全性を損なったり、法的な通信に干渉してはなりません。干渉が発見された場合は直ちに機器の作動を停止し、干渉を防止するための改善をする必要があります。干渉がなくなった場合、機器の使用を継続できます。

前述の法的な通信は、電気通信法に準拠した無線通信を示します。

低電力無線周波電氣機器は、法的な通信または産業、科学、医療用放射線の電気装置による干渉を許容しなければなりません。

**国/地域**

米国

**認定情報**

(FCC パート15.19、5.21、および15.105に準拠)

「本機器は、FCC規則のパート15に適合しています。本機器は次の2つの条件に従って作動します：

(1) 本機器が有害な干渉を引き起こすことはありません。

(2) 本機器は誤作動を発生させる電波干渉を含め、あらゆる電波干渉を許容します。」

「準拠責任者による明示的な承認を受けずにこのデバイスを改変または改造した場合、使用者はこのデバイスの操作を行う権限を失う場合があります。」

ラジオ 82



HD Radio Technologyの製品は、iBiquity Digital Corporationのライセンスに基づいています。米国およびその他の国の特許があります。HD Radio™、HD、HDラジオ、「Arc」ロゴは、iBiquity Digital Corp.の登録商標です。

これに関する詳しい情報は、当社のウェブサイト<http://www.s1nn.de>をご覧ください。

## 数字

12Vバッテリー	
一般的なインフォメーション	244
4WD	
機能説明	156
6点式シートベルト	
付属の取扱説明書の指示に従ってください	22

## A

A/C (エアコン)	127
A/C MAXボタン	
エアコン・システム	33
A/Cボタン	
エアコン・システム	32
ABD (オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル)	
機能説明	157
ABS (アンチロック・ブレーキ・システム)	
インストルメント・パネルの警告灯	161
機能説明	161
「Speed & Assist」ディスプレイ	54
機能を作動させる/メニューを開く/ オプションを見る	73
作動原理	72
PSM (ボルシェ・スタビリティ・マネージメント)	
「Speed & Assist」ディスプレイの警告灯	53
AUTO (ライト・スイッチ)	44
ドライビング・ライト・アシスタント	44

## B

Bluetooth®	106
Bluetooth®のON/OFF	106
Bluetooth®ハンズフリー装置	106
PCM探索可能状態	106
携帯電話を登録する	107
セキュア・シンプル・ペアリング	107, 108
接続を確立する	107
レガシー・ペアリング	107, 108
Bluetooth®ハンズフリー装置	106

## C

「Car & Info」ディスプレイ	
機能を作動させる/メニューを開く/ オプションを見る	58
作動原理	57

\* 日本仕様に設定はありません。

追加車両情報の表示	61
電動モーター走行のデータを表示する	187
表示エリア	58
ステータス・エリア	188
ディスプレイの変更	61
「Car & Info」ディスプレイの設定	
乗車タイマーのプログラミング	188
電動モーター走行のデータを表示する	187
「Car & Info」ディスプレイの表示	
ステータス・エリア	188
Charge (充電) メニュー	104

## D

DC充電*	199
「Power & Drive」ディスプレイ	54

## E

Eパワー・モード	
アクセル・ペダルのプレッシャー・ポイント (調節補助)	190
作動/停止	189
Eパワー・モード (連続した電動モーター走行)	
前提条件	189
Eブースト	187
Eメール	112
作成する	113
受信トレイ	112
ボイス・メール	114
読む	112
リスト	112

## F

FMラジオ	116
-------	-----

## G

GForceディスプレイ	71
--------------	----

## I

INFO	96
システム・バージョン	97
ライセンス情報	97
iPodインターフェース、取り付け位置	122

## M

MFSボタン、マルチファンクション・ステアリング・ホイール	58
-------------------------------	----

## N

NAVI*	130
-------	-----

## P

PASM (ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント)	
「Car & Info」ディスプレイの警告メッセージ	162
概要	155
機能説明	161
シャシー設定の選択	162
PCC	101
PCCB (ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ)	
一般的なインフォメーション	148
PCM	
CAR (車両)	99
INFO	96
NAVI*	130
ON/OFF	90
PCMの操作	90
SDV	93
インフォメーション・ディスプレイ	92
エアコン	127
音量設定	92
車速感応式音量調節機能	93
操作	90
操作ボタン	91
タッチスクリーン・ディスプレイ	91
タッチ操作	90
探索可能状態のON/OFF	106
地図設定*	95
着信音の音量	92
チューナー	116
通話音量	92
テザリング	94
電話	106
メディア	121
PCMの操作	90
PDK	
惰性走行モード	151
PDKトランスミッション	149
警告メッセージ	154
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト	152
スポーツ・ハイブリッドおよびレース・ハイブリッド・モード	151
セレクター・レバー・ポジション	151
走行制限プログラム	154

Phonebook (電話帳)	
送信	109
表示する	109
POI (施設情報*)	131
Porsche Doppelkupplung	
惰性走行モード	151
Porsche Doppelkupplung(PDK)	149
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト	152
スポーツ・モード	151
セレクター・レバー・ポジション	149
走行制限プログラム	154
ローンチ・コントロール	152
「Power & Drive」ディスプレイ	54
PSM (ボルシェ・スタビリティ・マネージメント)	
OFFにする	158
PSMを再度ONにする	159
「Speed & Assist」ディスプレイの警告灯	53
概要	155
機能説明	156
PTM (ボルシェ・トラクション・マネージメント)	
機能説明	156
PTVプラス	
ボルシェ・トルク・ベクトリング	162

## S

SDV	93
SMS	112
「Speed & Assist」ディスプレイ	54
機能を作動させる/メニューを開く/ オプションを見る	73
作動原理	72
Stored destinations (登録済目的地) *	138
SYNCモード	32

## T

TC (トラクション・コントロール)	
機能説明	157
TMC	135, 137
TP	118
TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	63
Transmission	
Porsche Doppelkupplung(PDK)	149

## U

USBポート、取り付け位置	121
---------------	-----

## V

Vision (視界) メニュー	103
------------------	-----

## W

Wallbox(DC) *	198
---------------	-----

## あ

アームレスト	
リッドを開く	168
アクセル・ペダルのプレッシャー・ポイント (Eパワー・モードの調節補助)	190
アダプティブ・ライト・システム、ドライビング・ ライト・アシスタント	44
圧力	
タイヤ(bar/psi)	255
アルカンターラ、お手入れの諸注意	221
アルミニウム・リム	
お手入れの諸注意	220
記号	230
安全に関する知識	175
警告ラベル	175
アンチロー・ロック	
解除する	146
作動	146
アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)	
機能説明	161

## い

イグジット機能	
遅延消灯	45
イグニッション・ロック	
イグニッション・キーを抜き取る、PDKトラ ンスミッション	151
キーの緊急操作	16
機能説明	143
一定速度の走行	181
イモビライザー	
ON/OFF	208
機能説明	208
インストルメント・クラスター	
スピードメーター	54
タコメーター (回転数)	54
燃料計	55
ライト調節	46
インストルメント・パネル	
スピードメーター	54
タコメーター (回転数)	54
燃料計	55
ライト調節	46
インストルメント・パネルの設定	100
インストルメント・パネルの表示	186
インテリア・ライト	
オリエンテーション・ライト	48
ルーム・ライト	47

インテリア・ライトの遅延消灯	100
インフォテイメント	
CAR (車両)	99
INFO	96
NAVI*	130
PCMの操作	90
エアコン	127
チューナー	116
電話	106
メディア	121
インフォメーション・ディスプレイ	92, 96
カスタマイズ	96
インフォメーションを知らせるメッセージ 概要	76

## う

ウイジェット	96
インフォメーション・ディスプレイ	96
カテゴリ	96
タッチスクリーン・ディスプレイ	96
ウインター・タイヤ	130
ウインドウ	
お手入れの諸注意	219
停止位置の保存	39
バッテリー接続後の調節	39
ロッカー・スイッチによる開閉	38
ウェルカム・ホーム機能	
ONにする	45
ウォッシャー液	
不凍液	213
補充	213
容量	257
ウルトラ・ハイ・パフォーマンス・タイヤ	141
運転	
一定速度の走行	181
加速	180
サーキットで	142
制動/回生	181
惰性走行 (駆動力なしの走行)	181
停止	181
発進	180
運転席	
スピードメーター	54
タコメーター (回転数)	54
燃料計	55
ライト調節	46
運転中の装備の設定および操作	141
運搬 (カー・トレイン、フェリーなど)	
傾斜センサー*をOFFにする	207
車両の固定	249

\* 日本仕様に設定はありません。

## え

エア・クリーナー、メンテナンス上の諸注意	226
エア・ベント	
開閉操作	35
調節	35
エアコン	127
エア配分	127
温度	128
電気補助ヒーター	35
エアコン・コンプレッサー	
エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション	31
エアコン・システム	127
A/C MAXモードのON/OFF	33
A/CモードのON/OFF	32
SYNCモードのON/OFF、エアコン SYNCモードのON/OFF 32	
エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション	31
エアコン・コンプレッサーのON/OFF	32
温度の設定	34
間接ベンチレーション・パネル	35
送風口を切り替える	35
送風量の設定	34
電気補助ヒーター	35
内気循環モードのON/OFF	34
バッテリー電圧低下時の自動停止	31
フロント・ウィンドウ・デフロスター	33
エア配分	35
エアバッグ	
安全に関する指示	24
お手入れの諸注意	221
機能説明	24
タコメーターのエアバッグ警告灯	25
取り付け位置	24
廃棄	25
エクステリア	102
エクステリア・ライトの設定	103
エマージェンシー・キー	19
エミッション・コントロール・システム	214
エミッション・コントロール (チェック・エンジン)	
機能説明	56
エラー・メッセージ	
概要	76
エレクトリック・パーキング・ブレーキ	
解除する	145
緊急ブレーキ機能	145
警告灯	145
故障	146
操作	145

\* 日本仕様には設定はありません。

発進時のパーキング・ブレーキ自動解除	145
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定	210
エレクトリック・ボルシェ・トラクション・マネージメント(ePTM)	
機能説明	156
エンジン	
オイル・レベルの点検	60, 212
オイルの補充	212
始動	144
停止	144
テクニカル・データ	254
慣らし運転の知識	140
エンジン・オイル	
一般的なインフォメーション	212
エンジン油圧	76
給油量	213
交換容量	257
消費量	254
マルチファンクション・ディスプレイ上でのオイル・レベルの警告	60
レベルの点検	60
エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR)	
機能説明	157
エンジンの始動	182
エントリー機能、乗車時の遅延消灯機能	45
<b>お</b>	
オーディオ・インターフェース、取り付け位置	121
オートマチック・カミングホーム・ライト、遅延消灯	
ウェルカム・ホーム機能	45
エントリー機能	45
オートマチック・スピード・コントロール (クルーズ・コントロール)	
加速	149
機能説明	148
作動する	148
速度の設定	148
中断操作	149
オートマチック・ドライビング・ライト・アシスト	
タント	44
オートマチック・トランスミッション	149
オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD)	
機能説明	157
オイル	
一般的なインフォメーション	212
交換容量	257
補充	212
マルチファンクション・ディスプレイ上でのオイル・レベルの警告	60
油圧	76
レベルの点検	60, 212

お気に入り	
エアコン	128
お気に入り地点の登録*	138
オクタン価、燃料	215
お手入れの諸注意	
アルカンターラ	221
ウィンドウ	219
エアバッグ	221
カーペット	221
革製品	220
高圧洗浄機の使用	217
シートベルト	221
シール	220
車両下周り	219
車両の長期保管	222
洗車	218
塗装	218
ファブリック・ライニング	221
ヘッドライト、プラスチック部品、接着フィルム	219
ホイール	220
マット	221
お出かけの前の点検	140
オリエンテーション・ライト	48
オルタネーター	
車両エレクトリカル・システムの警告	56
温度の設定	128
エアコン・システム	34
オンボード・コンピューター	
オイル・レベルの測定	60
作動原理	57, 72
タイヤ空気圧モニタリング	63
マルチファンクション・ディスプレイ	57, 72
オンライン・サービス (ボルシェ・カー・コネクト)*	84
オンライン検索、ナビゲーション*	131
音量設定	92
<b>か</b>	
カー・トレイン	249
カーペット、お手入れの諸注意	221
海外旅行	142
会議通話	111
外部オーディオ・ソース、インターフェース	121
開閉操作	
概要	10
車内からのドアの開閉操作とロック	12
車両キーを使用する場合	11
車両のロックが解除できない	16
概要	
車外からの車両のロック解除/ロック	10

燃費効率の良い運転	177
フロント・ワイパー	49
格納式リヤ・スポイラー	
作動原理	163
加速	180
ガソリン	
オクタン価	215
給油	215
タンク容量	257
燃料計	55
燃料残量警告灯	55
燃料消費量	254
品質	216
予備燃料タンク	215
カバーフロー、PCM	124
画面調整	99
ガラス・ドア・オープナー*	
機能説明	202
操作	203
プログラミングした信号の消去	203
プログラミング信号（可変コード式システム）	204
プログラミング信号（固定コード式システム）	203
革、お手入れの諸注意	220
間接ベンチレーション・パネル	127
<b>き</b>	
キー	
エマージェンシー・キーの取り出し	19
緊急操作、イグニッション・ロック	16
スベア・キー	19
ドアのロック	12
バッテリーの交換	246
ギヤ・ポジション・ディスプレイ	55
キャリア・バッグ	
固定ストラップの取り付け	170
給油	216
切り替える	111
緊急操作	
イグニッション・キーの抜き取り	16
グローブ・ボックスを開く	167
緊急ロック	
アンチロール・ロックを解除する	146
アンチロール・ロックをかける	146
緊急ロック解除	
トランク・リッド	243
<b>く</b>	
クーラント（冷却水）	
補充	225

レベルの点検	225
クーリング・エア・フラップ	219
クーリング・ルーバー	219
クルーズ・コントロール	
加速	149
機能説明	148
作動する	148
速度の設定	148
中断操作	149
車台番号、位置	253
グローブ・ボックス	
緊急時の操作、開く	167
閉じる	167
開く	167
クロノ	69
<b>け</b>	
計器照明	46
軽合金製ホイール	
お手入れの諸注意	220
記号	230
警告音	56
警告メッセージ	
概要	76
タイヤ空気圧	68
警告ラベル	175
傾斜センサー*	
機能表示	207
車両キーによるOFF（リモート・コントロール）	207
軽修理	
けん引	249
けん引による始動	248
知識	224
パンクしたとき	236
警報システム	
OFFにする	207
ONにする	207
機能説明	207
警報システムの誤作動を回避するために	207
警報をOFFにする	207
室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*を手動でOFFにする	207
ロックした車両に残る人/動物	207
經由地*	133
減光	
インストルメント・ライトの明るさ調節	46
インテリア・ライトの明るさ調節	47
言語設定	99
けん引	248
一般的なインフォメーション	249

けん引バー	248
けん引フックのねじ込み	249
けん引ロープ	248
けん引による始動、バッテリー上がりなど	248
けん引フック	169
けん引防止（傾斜センサー*）	
車両キーによるOFF（リモート・コントロール）	207
<b>こ</b>	
高圧洗浄機	
取扱説明書	217
公共充電	197
工具	169
工具セット	169, 224
交通情報*	135
交通情報番組*	118
高電圧バッテリー	200
トリクル充電	222
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続状態	195
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続表示	195
国外での走行	142
故障	
イグニッション・ロック内のイグニッション・キーの緊急操作	16
ウィンドウ停止位置の保存	39
開閉操作とロック時	16
パワー・ウィンドウ	39
故障診断用ソケット	5, 143
故障の表示	
概要	76
固定ストラップ	
キャリア・バッグ	170
小物入れ	
グローブ・ボックス	167
収納	167
フロント・アームレスト、開く	168
コントロール・システム	
概要（PTM、PSM、PASM、PTVプラス）	155
<b>さ</b>	
サーキット	142
サービス・フラップ	
開き方	15
閉操作	15
作動モード	
Eパワー	184

\* 日本仕様に設定はありません。

ハイブリッド	184
スポーツ・ハイブリッド	185
ホット・ラップ	185
レース・ハイブリッド	185
サマー・タイヤ	228
サンバイザー	29
<b>し</b>	
シート	
シート位置の調節	21
シートの調節	21
チャイルド・シート・システム	25
シート位置の調節	21
シートベルト	
お手入れの諸注意	221
シートベルトを外す	23
タコメーターの警告灯	22
知識	22
着用する	23
シートベルト・プリテンショナー	
機能説明	22
シール、車両のお手入れ	220
視界	103
室内防塵用フィルター、メンテナンス上の諸注意	226
室内モニタリング・システム	207
車両キーによるOFF（リモート・コントロール）	207
始動	
エンジン	144
エンジンの始動	182
シフト・ギヤ	
Porsche Doppelkupplung(PDK)	149
シフトアップ・インジケータ	54
シフトアップ・インジケータ	54
シャーシ・コントロール・システム	
概要（PTM、PSM、PASM、PTVプラス）	155
シャーシ設定	
機能説明	161
選択	162
車速感応式音量調節機能	93
車幅灯	
点灯する	44
車両	
Charge（充電）メニュー	104
Exterior（エクステリア）メニュー	102
Interior（インテリア）メニュー	99
PCC	101
Vision（視界）メニュー	103
インストルメント・パネルの設定	100

インテリア・ライトの遅延消灯	100
エクステリア	102
エクステリア・ライトの設定	103
画面調整	99
言語設定	99
乗車タイマーの設定	104
設定のリセット	101
ドライビング・データをリセットする	101
ハイブリッド・ディスプレイ	105
ボタンの割り当て、マルチファンクション・ステアリング・ホイール	101
ボルシェ・カー・コネクト*	101
リバース・カメラの調節	103
ロック	102
車両キー（リモート・コントロール）	
イグニッション・ロック内のキーの緊急操作	16
ウィンドウの開閉	38
ドアのロック	12
車両キー（リモート・コントロール）用電池の交換	
交換	246
車両下周り、お手入れの諸注意	219
車両情報	
マルチファンクション・ディスプレイの呼び出し	59
車両寸法（メーカー発表値）	258
車両データ	253
車両ドア	
開閉操作とロックの故障	16
車内からのロック	13
車両キーによるロック（リモート・コントロール）	12
車両のお手入れ	
アルカンターラ	221
ウィンドウ	219
エアバッグ	221
革製品	220
高圧洗浄機の使用	217
シートベルト	221
シール	220
車両下周り	219
車両の長期保管	222
洗車、諸注意	218
知識	217
塗装	218
ファブリック・ライニング	221
ヘッドライト、プラスチック部品、接着フィルム	219
ホイール	220
車両の技術的な仕様変更に関するインフォメーション	
メーション	140
車両の救援	248

車両のリフト・アップ	
リフティング・プラットフォームまたはト	
ロリー・ジャッキによる	231
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	193
充電（高電圧バッテリー）	
安全に関する知識	191
公共充電	197
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続表示	195
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	
開始	193
充電時間	197
充電装置の概要	191
充電タイマー機能の作動/解除	196
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	194
充電時間	
充電時間（概要）	197
充電装置（概要）	191
充電タイマー機能	
作動および停止	196
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	194
充填容量	
ウォッシャー液の補充	257
エンジン・オイル	257
収納	
グローブ・ボックス	167
収納オプション	167
フロント・アームレストの小物入れを開く	168
重量、テクニカル・データ	257
消火器の収納位置*	251
乗車タイマーの設定	104
照明	
乗車時に点灯	45
触媒コンバーター	
エミッション・コントロール（チェック・エンジン）	56
助手席ミラー	
調整	26
<b>す</b>	
スターター・バッテリー	
トリクル充電	222
スチーム・ジェット・クリーナー、取扱説明書	217
ステアリング	226
ステアリング・コラム・ロック	208
ステアリング・ホイール	
ステアリング・ロック	143
調整	27
電話機能付きマルチファンクション・ステアリング・ホイール	
ステアリング・ホイール	28

\* 日本仕様には設定はありません。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの機能説明	28
ステンレス・テール・パイプ	
お手入れの諸注意	220
ストップウォッチ	69
スノー・チェーン	
一般的なインフォメーション	229
スピード・コントロール (クルーズ・コントロール)	
加速	149
機能説明	148
作動する	148
速度の設定	148
中断操作	149
スピードメーター	54
スベア・キー	19
スポーツ・クロノ	69
スポーツ・タイヤ	141
スポーツ・モード	142
Porsche Doppelkupplung	151
スポイラーを展開する	
展開/格納	163

## せ

制動/回生	181
性能、テクニカル・データ	254
セキュア・シンプル・ベアリング	107
接続を確立する	108
接着フィルム、お手入れの諸注意	219
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイ	54, 50
洗車、諸注意	218
センター・アームレスト	
ドア・ポケットを開く	168
センター・コンソール	7
センター・ロック	231
セントラル・ロッキング	12
車内からのドアの開閉操作とロック	12

## そ

走行距離の表示	62
走行時間の表示	62
走行制限プログラム、PDK	154
走行モードの切り替え	183
送風量の設定	
エアコン・システム	34
ソケット(12V)	239
その他の車両情報の表示	61

## た

ダイナミック・ルート・プランニング*	137
タイマー	104

## タイヤ

新しいタイヤの慣らし運転	140
一般的なインフォメーション	227
シララント	236
スノー・チェーン (一般的なインフォメーション)	229
タイヤ空気圧、データ(bar/psi)	255
タイヤ空気圧プレート	253
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション)	229
パンク修理	236
ラジアル・タイヤの見方	230
タイヤ・シララント	169
タイヤ・シララント/パンク修理剤	236
タイヤ・バルブ	229
タイヤ空気圧	
空気圧(bar/psi)	255
警告	66
現在の設定	64
システムの登録	66
車速警告	68
充填情報	65
タイヤ空気圧プレート	253
データ(bar/psi)	255
パフォーマンス・プレッシャー	65
パフォーマンス・プレッシャー車速警告	66
タイヤ空気圧プレート	253
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	63
タイヤ交換	231
タイヤ充填コンプレッサー、コンプレッサー	169
タイヤ修理用シララント/シール・セット	236
タイヤの速度記号	230
タコメーター (回転数)	
表示	54
惰性走行 (駆動力なしでの走行)	181
惰性走行モード	151
タッチスクリーン・ディスプレイ	91
MirrorLink	98
アプリ	98
アプリケーション	98
ボタン操作音のON/OFF	93
要素	91
タッチ操作	90
縦方向の加速度	
ディスプレイ	71

## ち

チェックエンジン (エミッション・コントロール)	
機能説明	56
警告灯	56
遅延消灯	
ONにする	45

遅延消灯、エントリー機能	45
地上高	142
地図*	95
オートズーム*	95
交通情報メッセージの有効/無効*	95
ノース・アップ*	95
昼用と夜用のデザイン*	95
地図設定*	95
チャイルド・シート	22, 25
着信音の音量	92
着信を拒否する	108
着脱式ルーフ・パネル	39
チューナー	116
駐車	

パーキング・ブレーキを 작동させる	145
-------------------	-----

## つ

ツアー*	133
通話音量	92

## て

データ・バンク	253
テール・パイプ	142
ステンレス、お手入れの諸注意	220
停止	181
エンジン	144
停止制御	
機能説明	160
停止表示板*	169
デイトタイム・ドライビング・ライト*	44
ディフューザー	163
ディフューザー・チャンネル	219
テクニカル・データ	
エンジン	254
重量 (メーカー発表値)	257
タイヤ、ホイール	255
タイヤ空気圧(bar/psi)	255
動力性能 (メーカー発表値)	258
動力ユニット・データ (メーカー発表値)	254
燃費	254
テザリング	94
デジタル・オーディオ・ブロードキャスティング (DAB)*	119
デジタル・スピードメーター	54
テスト・スタンド	
ブレーキ・テスト	210
電気系統	
知識	239
非常時ロック解除、トランク・リッド	243

\* 日本仕様に設定はありません。



電気補助ヒーター	35
電動モーター走行	
一定速度の走行	181
電話	106
Bluetooth®	106
会議通話	111
切り替える	111
携帯電話を登録する	107
着信を受ける	108
着信を拒否する	108
通話を終了する	108
電話する	108
電話接続の遮断	106
電話帳	109
電話帳の送信	109
電話帳の項目を並べ替える	109
電話帳を表示する	109
電話番号を入力する	109
電話をかける、受ける	108
電話を切り替える	111
同時通話	111
ハンズフリー・マイク	108
ハンズフリー機器をミュートにする	108
ハンズフリーの通話品質	106
別の着信	111
電話する	108
電話接続の遮断	106
電話帳	109
項目を検索する	110
並べ替える	109
連絡先に電話する	110
連絡先を検索する	110
電話をかける、受ける	108
<b>と</b>	
ドア	
開閉操作とロックの故障	16
車内からの開閉操作とロック	12
車両キーによるロック（リモート・コントロール）	12
ドア・ロックの解氷	218
ドア・ミラー	
調整	26
ドア・ミラー・ヒーター	102
盗難を防止するために	208
動力性能、テクニカル・データ	258
動力ユニット・データ（メーカー発表値）	
テクニカル・データ	254
塗装	
お手入れの諸注意	218

\* 日本仕様に設定はありません。

傷の補修	218
つや出し	218
保護する	218
汚れ、染みの除去	218
ドライビング・データ	62
ドライビング・ライト・アシスタント	
ONにする	44
デイトタイム・ドライビング・ライト*	44
ロー・ビーム	44
トラクション・コントロール(TC)	
機能説明	157
トランク・リッド	
非常時ロック解除	243
開閉操作	14
トランク・リッドを閉じる	15
トランク・リッドを開く	
車両キーを使用する場合	15
トランク・ルーム	
概要	169
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム	
概要（PSM、PASM、PTVプラス）	155
トリクル充電	222
トルク、テクニカル・データ	254
<b>な</b>	
内気循環ボタン	
エアコン・システム	34
内気循環モードをONにする	
エアコン・システム	34
ナビ*	130
以前設定したことのある目的地*	133
経由地*	133
操作概要*	130
ツアー*	133
ナビゲーション音声案内*	130
他のルート*	133
目的地の登録*	133
ルート案内の開始*	133
ルート案内の停止*	133
ナビゲーション*	
Google検索*	131
POI（施設情報）*	131
Stored destinations（登録済目的地）*	138
TMC*	135, 137
迂回ルート*	135
お気に入り*	138
お気に入り地点の登録*	138
オンライン検索*	131

経済的ルート*	137
交通情報*	135
最速ルート*	137
最短ルート*	137
避けたい道路の設定*	137
住所入力*	131
周辺検索*	131
ダイナミック・ルート・プランニング*	137
目的地の入力*	130
ルート・オプション*	137
ルート案内オプション*	135
ナビゲーション音声案内*	130
慣らし運転	
新しいタイヤ	140
新しいブレーキ・パッド	140
オイル消費量/燃費	140
慣らし運転の知識	140

## に

入力する

電話番号	109
------	-----

## ね

燃費効率の良い運転	177
-----------	-----

燃料

オクタン価	215
給油	215
タンク容量	257
燃料計	55
燃料残量警告灯	55
燃料消費量	254
品質	215
予備燃料タンク	215

燃料インジケータ

燃料計	55
燃料計	55

## の

上り坂での発進アシスタンス

機能説明	160
------	-----

## は

パーキング・ブレーキ

解除する	145
故障	146
操作	145
停車時のパーキング・ブレーキの自動ロック	145
発進時のパーキング・ブレーキ自動解除	145



レイン・センサーの調節	51
フロント・ワイパーの調節	103
<b>へ</b>	
平均速度の表示	62
平均燃費の表示	62
ヘッドライト	
お手入れの諸注意	219
知識	247
調整	247
ベンチレーション・パネル	
間接	127
<b>ほ</b>	
ホームリンク (ガレージ・ドア・オープナー) *	
機能説明	202
操作	203
プログラミングした信号の消去	203
プログラミング信号 (可変コード式システム)	204
プログラミング信号 (固定コード式システム)	203
ホイール	
一般的なインフォメーション	227
概要	255
軽合金製ホイールの記号	230
交換	232
サイズ	255
締め付けトルク	232
スノー・チェーン (一般的なインフォメーション)	229
センター・ナット	232
センター・ロック	231
タイヤ・シールド	236
タイヤ・バルブ	229
タイヤ空気圧、データ(bar/psi)	255
タイヤ空気圧プレート	253
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)用センサー	228
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション)	229
バンク修理	236
ホイール・バランス	210, 228
ラジアル・タイヤの見方	230
リム・オフセット	230
方向指示灯操作レバー	45
他のルート*	133
ポタンの割り当て、マルチファンクション・ステアリング・ホイール	101
ボルシェ・アクティブ・エアロダイナミクス(PAA)	163

ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	
「Car & Info」ディスプレイの警告メッセージ	162
概要	155
機能説明	161
ボルシェ・カー・コネクト・アプリ*	84
ボルシェ・カー・コネクト*	84, 101, 183
設定	84
ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)	90
ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)	
ハイブリッド・ディスプレイ	189
ボルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	
OFFにする	158
PSMを再度ONにする	159
「Speed & Assist」ディスプレイの警告灯	53
概要	155
機能説明	156
ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ (PCCB)	148
一般的なインフォメーション	148
ボルシェ・トルク・ベクトリング (PTVプラス) の機能説明	162
ボルシェ急速充電ステーション(DC)*	198
<b>ま</b>	
マップ・スイッチ	183
マルチファンクション・ステアリング・ホイール	
MFSボタン	58
機能説明	28
基本操作	57, 72
電話機能*	28
ボタンの割り当て	101
マルチファンクション・ディスプレイ	
オイル・レベルの点検	60
警告メッセージ	76
作動原理	57
車両情報の呼び出し	59
乗車タイマーのプログラミング	188
タイヤ空気圧警告	66
タイヤ空気圧モニタリング	63
電動モーター走行のデータを表示する	187
トリップ情報	62
表示エリア	58, 73
マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作	57, 72

## み

ミラー	
ドア・ミラーの調節	26

## め

メッセージ	112
送信	113
読み上げる	112
メディア	121
Bluetooth®メディア・ソース	122
PCM WiFi/パスワード	123
WiFiメディア・ソース	122
カバーフロー	124
検索	125
再生	123
プレーヤー	123
プレイリスト	126
メディア・ソース	121
ランダム再生機能	124
リスト	125
メディアの再生	123
メンテナンス	
ウォッシャー液の補充	213
エア・クリーナーの交換	226
エンジン・オイル・レベルの点検	212
エンジン・オイルの補充	212
クーラント・レベルの点検と補充	225
室内防塵用フィルターの交換	226
メンテナンスの諸注意	210

## も

目的地の入力*	130
文字メッセージ	112
作成する	113
受信トレイ	112
読む	112
リスト	112
モニタリング・センサー (室内)	
車両キーによるOFF (リモート・コントロール)	207

## よ

横方向の加速度	
ディスプレイ	71
予備燃料タンク	215
夜用デザイン	95

\* 日本仕様に設定はありません。

## ら

ライト	
イグジット機能（遅延消灯）	45
インテリア・ライトの自動点灯/消灯機能	47
ウェルカム・ホーム機能の作動	45
お手入れの諸注意	219
交換	247
車両から離れるときに点灯する	45
乗車時の遅延消灯機能の設定	45
ヘッドライト・バッシング	45
ライト・スイッチ	
AUTO機能	44
概要	44
ラゲッジ・コンパートメント	
ロック解除	4
ラジオ	116
DAB*	119
FM	116
TP*	118
交通情報番組*	118
選局	116
デジタル・オーディオ・ブロードキャスト ング*	119
放送局サーチ	117
放送局情報	116
放送局を登録する	117
リ	
リサイクル、使用済み自動車の廃棄	222
リダイヤル	110
リッド	
非常時ロック解除、トランク・リッド	243
リバース・カメラ	202
リバース・カメラの調節	103
リム・クリーナー	236
リモート・コントロール	
車両キー用電池の交換	246
ドアのロック	12
リヤ・アクスル・ステアリング	165
リヤ・スポイラー・ボタン	163
リヤ・スポイラー、作動原理	163
リヤ・フォグ・ライト	
点灯する	44
リレー	
交換	239

## る

ルート・オプション*	137
ルート案内オプション*	135
ルート案内の開始*	133
ルート案内の停止*	133
ルーフ・パネル	39
ルーム・ミラー	
調整	27
ルーム・ライト	100

## れ

レース用タイヤ	142
レイン・センサー	
ONにする	51
調節	51
レガシー・ベアリング	107
接続を確認する	108
連絡先に電話する	110
連絡先を検索する	110

## ろ

ロー・ビーム	
点灯/消灯	44
ローンチ・コントロール	152
ロック	102
車両キーを使用する場合	11
車両ドアと車両キー（リモート・コン トロール）	12
車両に残る人/動物	12
ロック解除	
車内からドアを開く	12
車内からのドア・ロックの解除	13
車両のロックが解除できない	16
ドアのロック解除機能の設定	12
ロックする	
車内からのドア・ロック	12, 13

## わ

ワイパー・ブレード	
お手入れの諸注意	219
交換	214

\* 日本仕様に設定はありません。

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

**ポルシェ ジャパン株式会社 アフターセールス部**

〒153-0064

東京都目黒区下目黒1-8-1

アルコタワー16F

車両受領証  
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

---

販売店スタンプ

---

日時

お客様の署名

## 無線装置の検査マーク

### ヨーロッパ

ポルシェ社では、当社車両に装着されている無線装置が指令1999/5/ECの基本要件および他の関連規約に適合していることを承認します。

### ブラジル

SA1-366

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

SA1-364



Agência Nacional de Telecomunicações

0354-09-2149



0107894476026649



Agência Nacional de Telecomunicações

1165-09-2149



0107894476026960



2438-09-5484

ANATEL



(01)07898499100058



2441-09-5484

ANATEL



(01)07898499100072

### イスラエル

שם הדגם (Hebrew :Model name)  
5Wk50137 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)

Continental AG  
Siemensstraße 12  
93055 Regensburg

SA1-367

### マレーシア

RAAU/25A/0409/S(09-0408)

### シンガポール

Complies with IDA Standards DB01752

### 中国

CMIIT ID:2011DJ4971  
CMIIT ID:2009DJ5053  
CMIIT ID:2009DJ4899

### 台湾

CCAB10LP3800T1

### 日本



### アラブ首長国連邦

TRA REGISTERED No.:0016889 / 09,  
DEALER No.:0014972/08

### メキシコ

Radar de largo alcance, 77GHz,  
MARCA:BOSCH, MODELO:LRR3,  
COFETEL:(RCPBOLR09-0828)

### モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC  
Numéro d'agrément :MR 5371 ANRT 2010  
Date d'agrément :02 / 02 / 2010

### 韓国

SA1-365



BO2-LRR3



KCC-CRM-KVZ-TSSRE4D5

SA1-367



TAL-5WK5-0137

### 南アフリカ



ICASA

TA-2009/464